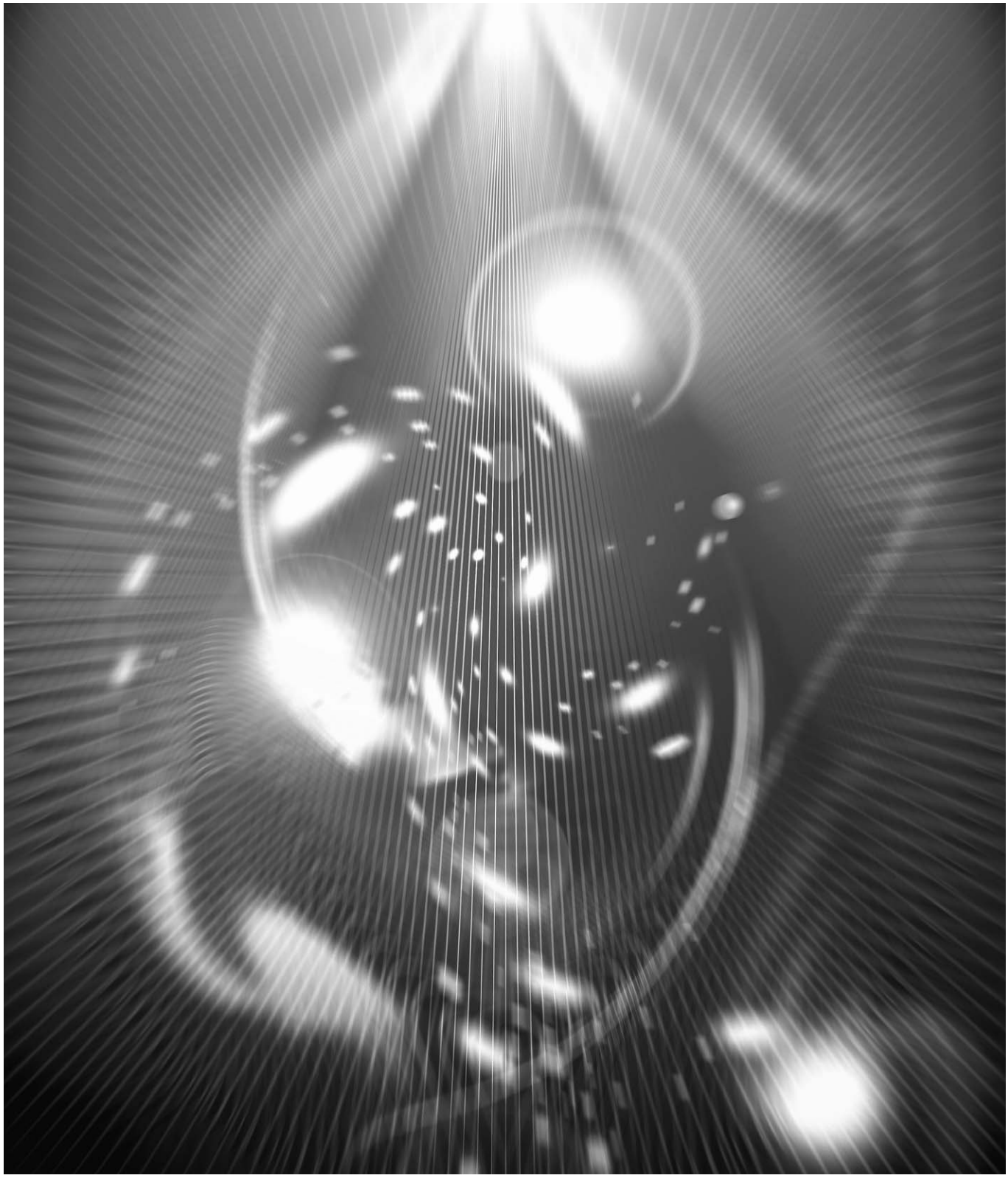
saxa

XT300

取扱説明書

ビジネスコミュニケーションシステム

Actys II



このたびは、「Actys Ⅱ」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。

	XT300主装置
適用回線	デジタル回線(INSネット64) アナログ回線 IP電話回線
内線収容数(最大)	5内線
外線収容数(最大)	デジタルまたはアナログ 2外線
IP電話回線収容数(最大)	2回線

ご 注 意

1 本製品を分解したり改造することは、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。
2 本製品の故障や誤動作、停電あるいは、天災などにより、本製品が使えなかったことによる付随的損害保証については当社では、一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
3 本製品を設置するための配線工事および修理は、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもとになりますので、絶対におやめください。
4 本書の内容につきましては、万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、販売店にお申しつけください。
5 本書に記載されている内容については、将来予告なしに変更することがあります。
6 本書に記載されている内容の一部または全部を無断記載・無断複写することは固くお断りいたします。

●ご使用にあたってのお願い

このシステムをご使用にあたって、NTTへのレンタル電話機が不要となる場合はNTTへご連絡ください。

詳しくは局番なしの116番(無料)へお問い合わせください。

目　　次

① はじめに

取扱説明書の見かた …… 1
略図の説明 …… 2
お客様登録について …… 3
安全にお使いいただくために …… 5
電話機の種類と各部の名称 …… 10
ご使用前の注意事項 …… 19
VoIPユニットの自動ファームアップ …… 25
主装置のプログラム自動更新 …… 25
各種音量の調節
着信音量を調節する（着信音量調節）…… 26
外線着信音を停止する
（外線着信鳴動拒否）…… 27
受話音量を調節する（受話音量調節）…… 28
スピーカ受話音量を調節する
（スピーカ受話音量調節）…… 29
話中着信音量を調節する
（話中着信音量調節）…… 29
ボタン押し下げ音を停止する
（キー押下音）…… 30
外線ボタンに各種機能のボタンを割り付ける …… 31
メニューの説明 …… 33
コントラスト調整 …… 35
カレンダー・時計の設定 …… 36
バックライトの設定 …… 38
CL620電話機の独自機能
CL620子機からCL620親機へ通話を切り換える …… 39
CL620親機からCL620子機へ通話を切り換える …… 39

② 基本編

電話をかける
外線発信 …… 40
プリセットダイヤル …… 41
オフフックダイヤル …… 41
自動選局発信（オンフックダイヤル）…… 41
オフフック発信 …… 42
短縮番号検索発信 …… 42
電話帳カナ検索発信 …… 43
電話帳グループ検索発信 …… 45
電話帳一覧から発信する …… 46
発信履歴発信 …… 47
リダイヤル …… 48
オートリピートダイヤル …… 49
着信履歴発信 …… 50
内線発信
内線オンフック発信 …… 51
内線オフフック発信 …… 51
内線プリセットダイヤル …… 51
電話を受ける
着信自動応答 …… 52
任意外線応答 …… 53
外線通話を保留する …… 54
自動転送 …… 55
強制転送 …… 56
口頭転送 …… 57
電話帳に登録する
電話帳に登録する …… 58
発信履歴から電話帳に登録する …… 61
着信履歴から電話帳に登録する …… 61
電話帳を変更する …… 62
電話帳を確認する …… 63
発信履歴を確認する
初期表示設定（一覧／詳細）のしかた …… 64
発信履歴を確認する …… 64
着信履歴を確認する
初期表示設定（一覧／詳細）のしかた …… 66
着信履歴を確認する …… 67
電話帳、各履歴情報を消去する
電話帳を消去する …… 68
発信履歴を消去する …… 69
着信履歴を消去する …… 70
迷惑電話を登録する
通話中からの登録のしかた …… 71
登録のしかた …… 71
着信履歴からの登録のしかた …… 72
迷惑電話拒否機能のセット／解除のしかた… 72
一件消去のしかた …… 73
全件消去のしかた …… 73
グループ名を登録する（グループ名登録）…… 74
グループ名を登録する（グループ名登録）… 75
グループ識別着信 …… 76
誰カラー着信 …… 77
グループFAX指定 …… 77
メロディ切替 …… 78

③ 外線転送機能編

外線転送について …… 79
外線転送のセット
転送先電話番号の登録 …… 82
外線自動転送セット …… 83
外線転送タイマ連動 …… 85
一次応答付き外線自動転送 …… 85
グループ識別着信転送 …… 85
外線手動転送 …… 86
外線会議転送 …… 86
外線転送コールバック …… 87
リモコン機能
外線転送リモコン用暗証番号 …… 88
ダイレクトリモコン …… 88
サブアドレスリモコン …… 89
自動着信リモコン …… 90

リモコン操作一覧 …… 91

④ 留守番機能編

留守番の概要について …… 92
留守番指定電話機 …… 96
各種メッセージの録音／確認／変更／消去のしかた …… 98
留守番電話機をセットする
留守番自動応答時間指定 …… 100
留守番セットのしかた …… 100
留守番サイレント設定 …… 101
留守番セット中に電話がかかってきたら … 101
追っかけ転送先電話番号を登録する …… 103
録音された用件の再生／消去 …… 104
留守番タイマ連動 …… 105
ワンショット留守番 …… 106
留守子機切替 …… 106
グループ識別着信留守番 …… 107
お待たせメッセージ応答 …… 107
非通知着信メッセージ応答 …… 108
通話メモ …… 109
用件一括消去 …… 111
リモコン機能
留守番リモコン用暗証番号 …… 112
外出先からリモコン操作をする …… 113
リモコン操作一覧 …… 114

⑤ 応用編

外線の便利な機能
ワンタッチで電話をかける
（ワンタッチ発信） …… 115
子機を上げてすぐにダイヤルできる
（クイック通話） …… 115
こちらの声を相手に聞こえなくする
（送話ミュート） …… 116
複数の短縮番号を組み合わせて発信する
（ネスティングダイヤル） …… 116
ダイヤル操作で外線をつかむ
（指定外線捕捉） …… 117
自動応答できない外線着信に応答する
（コールピックアップ） …… 117
他の外線通話中の電話に割り込む
（外線通話割込） …… 118
他の外線通話に受話だけで割り込む
（送話ミュート付き外線通話割込） …… 118
短縮番号などを続けて発信する
（チェーンダイヤル） …… 119
携帯電話対応ACR機能 …… 119
擬似コールウェイティング …… 120
外線を再捕捉する（フラッシュ機能） …… 120
使用しない外線を話中にする
（話中設定） …… 121
外線通話中のメニュー操作
（外線通話中メニュー） …… 121
内線の便利な機能
内線をワンタッチで呼び出す
（内線ワンタッチ発信） …… 122
内線一覧を表示する（内線一覧） …… 122
内線／ドアホンに名前を登録する
（内線／ドアホン名前登録） …… 124
続けて別の内線を呼び出す
（リセットコール） …… 125
他の内線呼出に応答する
（内線代理応答） …… 126
使用中の内線を呼び出したとき他の内線を呼び出す（スライド着信） …… 126
すべての内線を呼び出す
（一斉呼出／電話機グループ呼出） …… 127
内線通話を保留する（内線独占保留） …… 128
内線通話を保留して、他の子機で再応答する
（内線システム保留） …… 129
不在理由を登録する
（不在理由表示機能） …… 129
内線を受けられないようにする
（不在設定） …… 130
不在時の内線呼出を他の子機に転送する
（不在転送） …… 132
通話中に他の電話機へ転送する
（話中／不応答転送） …… 133
全電話機の不在設定を一括解除する
（不在設定一括解除） …… 134
通話中の電話機を呼び出す（話中呼出） … 134
話中のときはそのまま待って相手を呼び出す
（コールウェイティング） …… 135
受話器を上げるだけで特定の内線、または内線グループに電話をかける
（オフフック内線自動発信） …… 135
内線捕捉中のメニュー操作
（内線捕捉中メニュー） …… 136
会議通話
外線・内線で会議をする（会議通話） …… 137
内線で会議をする（内線会議通話） …… 138
オートダイヤルにいろいろな機能を登録する
（オートダイヤル） …… 139
タイマ連動について …… 144
特定日を設定する（特定日設定） …… 145
外線転送機能を日時指定で利用する
（外線転送タイマ連動） …… 147
留守番機能を日時指定で利用する
（留守番タイマ連動） …… 149
夜に指定した電話機だけ鳴動する
（夜間タイマ連動） …… 151
指定時刻にチャイムが鳴動する
（チャイムタイマ連動） …… 153
その他の便利な機能
内線呼出時に受話器を置いたままで応答する
（パーソナルハンズフリー） …… 155
外線通話中に受話器を置いたままで相手と話す
（外線ハンズフリー） …… 156
通話中に相手の声をスピーカから聞く
（スピーカ受話） …… 157
内線番号の確認 …… 157
夜に指定した電話機だけ鳴動する
（夜間モード切替） …… 158

指定した電話機からアラーム音を出す（時刻アラーム） …… 160
全電話機の時刻アラームを一括解除する（時刻アラーム一括解除） …… 161
着信ランプの色を変える（着信ランプ切替） …… 162
通話料金を集計する（通話料金集計） …… 163
アナログ回線（DP）からプッシュ信号を送出する（プッシュ信号送出） …… 165
キッチンタイマ …… 165
リモートコールバック …… 166
電話機のボタン操作を規制する（キーロック） …… 168
2つの機能を同時に登録する（W機能登録） …… 169
電話機から着信メロディを登録する（着信メロディ登録） …… 170
ドアホン
ドアホンからの呼び出しで通話をする（ドアホン通話） …… 171
ドアホンの周囲をモニタする（ドアホンモニタ） …… 171
IP電話
IP電話回線で電話をかける（IP電話対応ACR機能） …… 172
他システムの内線を個別に呼び出す（IP電話自動交換） …… 173
コンテンツ表示
コンテンツ表示の利用方法について …… 174
コンテンツを手動で更新する（コンテンツ更新） …… 175
電話機ごとに表示する／しないを設定する（コンテンツ個別表示設定） …… 175
コンテンツ一覧を見る（コンテンツ一覧表示） …… 175
その他のオプション
FAXを自動的に受信する（TEL/FAX自動切替） …… 176
ヘッドセットの接続 …… 178

⑥ DC230独自機能編

名前を確認してから電話をかける（メモリダイヤル）
登録のしかた …… 179
かけかた …… 179
変更または消去のしかた …… 180
機能モード
機能モードの使いかた …… 180
機能項目一覧 …… 181
自営発信モードの設定 …… 181
パスワードの設定 …… 182
パスワードロックの設定／解除 …… 182
着信音種の設定 …… 182
アラームの設定 …… 183
バイブレータ（振動着信）の設定 …… 183
リレー着信モードの設定 …… 183
圏外警告音の設定 …… 183
Fキーモードの設定 …… 184
ワンタッチダイヤルの設定 …… 184
全設定初期化 …… 184

⑦ 単独電話機編

内線優先編
受話器を上げて電話をかける（外線発信） …… 185
再度かけ直す（リダイヤル） …… 185
ダイヤル操作で外線をつかむ（指定外線捕捉） …… 185
短縮ダイヤルから電話をかける …… 186
受話器を上げて応答する（外線着信） …… 186
外線通話を保留にする（外線保留） …… 186
内線通話後に外線を転送する（自動転送） …… 186
内線通話をしないで直接外線を転送する（強制転送） …… 187
外線で会議をする（外線会議通話） …… 188
内線をかける（内線発信） …… 188
内線呼出音を切り替える（音声／信号音切替） …… 188
続けて別の内線を呼び出す（リセットコール） …… 189
すべての内線を呼び出す（一斉呼出／電話機グループ呼出） …… 189
話中のときはそのまま待って相手を呼び出す（コールウェイティング） …… 190
受話器を上げるだけで特定の内線、または内線グループに電話をかける（オフフック内線自動発信） …… 190
他の内線呼出に応答する（内線代理応答） …… 190
内線通話を保留する（内線保留） …… 191
内線通話を保留して他の内線と通話後に転送する（内線保留転送） …… 191
通話中の電話機を呼び出す（話中呼出） … 191
内線で会議をする（内線会議通話） …… 192
ドアホンからの呼び出しで通話をする（ドアホン通話） …… 192
ドアホンの周囲をモニタする（ドアホンモニタ） …… 192
外線優先編
受話器を上げて電話をかける（外線発信） …… 193
受話器を上げて応答する（外線着信） …… 193
内線優先モードと共通操作 …… 193
内線をかける（内線発信） …… 193

⑧ NTT付加サービス

ISDNの基本サービス
ISDNのサービス一覧 …… 194
料金情報通知 …… 194
サブアドレス通知 …… 195
発信者番号通知 …… 195
ISDNの付加サービス
迷惑電話おことわりの登録／確認／消去 …… 196

ナンバー・ディスプレイ …… 197
ネーム・ディスプレイ …… 197
INSボイスワープ
INSボイスワープの転送について …… 198
転送元電話番号受信サービス対応 …… 198
転送先電話番号の登録／確認 …… 199
転送先リストの指定 …… 200
サービスの開始／確認／停止 …… 200
無応答時転送の起動時間の指定 …… 201
転送通知用トーキの設定／確認 …… 201
転送元案内トーキの設定／確認 …… 202
リモートコントロール機能 …… 203

⑨ その他システム

各種情報の確認
システムバージョンを確認する
（システムバージョン確認） …… 204
ネットワークの情報を確認する
（ネットワーク情報確認） …… 205
Web設定
パソコンから電話帳を編集する
（電話帳Web編集） …… 206
グローバルIPアドレスを通知する
（グローバルIPアドレス通知） …… 206
パソコンから着信メロディを登録する
（着信メロディWeb登録） …… 207

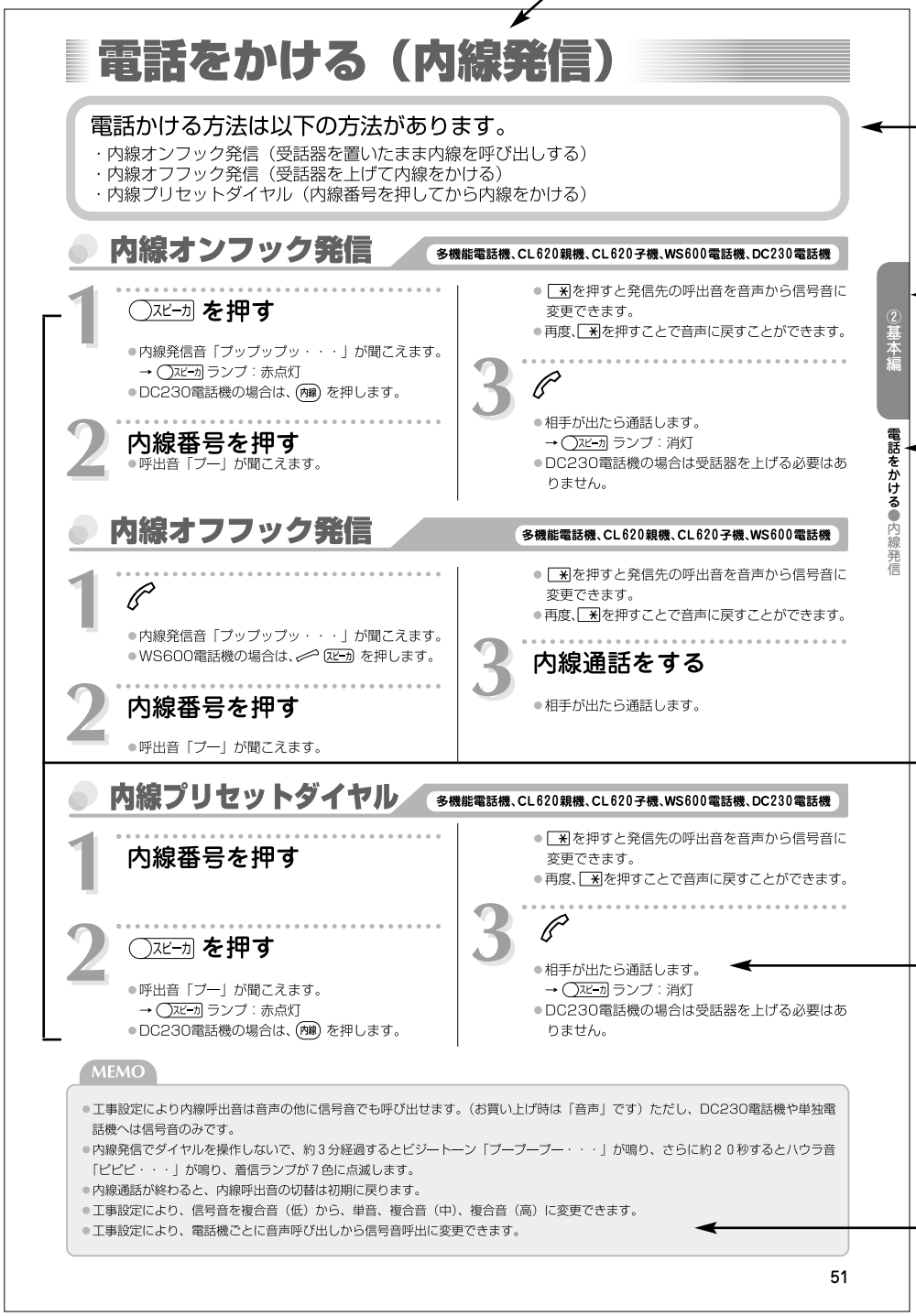
⑩ さいごに

停電について …… 208
機能ランプリセット …… 209
故障かな？とお考えになる前に …… 210
保証とアフターサービス …… 211
内線番号／内線特番の一覧 …… 212
機能特番の一覧 …… 213
メニュー特番のショートカット一覧 …… 214
特殊番号の一覧 …… 218
オートダイヤル登録補助機能 …… 219
文字、番号入力のしかた …… 222
文字入力一覧 …… 224

索引 …… 225
サクサエコ商品認定基準 …… 228
保証書 …… 230
お問い合わせ窓口のご案内 …… 231

取扱説明書の見かた

この取扱説明書は次のフォーマットをベースに記載してあります。



見出し
機能を示す見出しタイトルです。

機能概要
機能の内容を簡単に説明しています。

タイトル

サブタイトル
サブタイトルごとに検索できます。

操作手順説明
操作や表示内容を簡単に説明しています。

補足説明
操作手順の補足的な内容を説明しています。

MEMO
関連項目や注意点を説明しています。

略図の説明

多機能電話機（TD610、TD620、APF610、IPF610、LD600、SS610、SS620）

受話器を置いている状態を基本とします。

略 図	操作説明
ア1 カ2 サ3 タ4 ナ5 ハ6 マ7 ヤ8 ラ9 ワ0 ＊ ＃	ダイヤルボタンを押す
	受話器を上げる
	受話器を置く
	電話機スピーカから音が鳴る

略 図	操作説明
保留 発信 短縮 機能 フラッシュ スピーカ	各機能名称のボタンを押す
確定	確定ボタンを押す
	MFキーの上下左右を押す

※多機能電話機の「略図」をCL620子機、WS600電話機、DC230電話機の「略図」の代わりに使用している場合があります。

CL620電話機

CL620子機をCL620親機に置いている状態を基本とします。

CL620親機

CL620親機は、多機能電話機の略図と同様です。

CL620子機

略 図	操作説明
ア1 カ2 サ3 タ4 ナ5 ハ6 マ7 ヤ8 ラ9 ワ0 ＊ ＃	ダイヤルボタンを押す
	CL620子機を上げる
	CL620子機を置く
	CL620子機スピーカから音が鳴る

略 図	操作説明
フラッシュ 短縮 切 通話 スピーカ 保留	各機能名称のボタンを押す
確定	確定ボタンを押す
	MFキーの上下左右を押す

WS600電話機

WS600子機は、CL620子機の略図と同様です。WS600子機のダイヤル面を上にして充電器に置いている状態を基本とします。

DC230電話機

充電器から上げている状態を基本とします。

略 図	操作説明
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 ＊ ＃	ダイヤルボタンを押す
	(発信／応答)ボタンを押す

略 図	操作説明
	(切)ボタンを押す
保留 再送/決定 内線 フック 機能/クリア コール 文字/P	各機能名称のボタンを押す

お客様登録について

「お客様登録」のお願い

この度は、サクサ株式会社製品をおもとめいただき誠にありがとうございます。当社では、お客様へ納入させて頂きました電話システムの構成を把握し、お客様へ十分なアフターサービスを提供することを目的に、お客様へ「ユーザー登録」をお願いしております。
「ユーザー登録」して頂きましたお客様は、オンラインによるバージョンアップや、当社への問い合わせ時での的確な対応などが可能となります。具体的な「ユーザー登録のしかた」については、下記の《ユーザー登録のしかた》を、ご参照下さい。
また、本情報の処理は、当社で行うほか、当社グループ会社であるサクサビジネスシステム㈱に預託しますが、お預かりしました情報に付きましては、個人情報保護方針に基づき、安全管理義務を果たします。なお、お客様の個人情報に関する、当社個人情報保護方針に付きましては、当社ホームページhttp://www.saxa.co.jp を参照願います。

ユーザー登録のしかた

多機能電話機、CL620親機

1 確定を押す

2 ◇を押し、[その他]を選択し、確定を押す

3 ◇を押し、[ユーザー登録]を選択し、確定を押す

4 ◇を押し、[会社名]を選択し、確定を押す

- ア 1を押しても手順5に進みます。

5 登録する文字をダイヤルボタンで入力します

- 文字入力はダイヤルボタンから入力します。
  （文字数は全角で最大16文字です）
- 短 縮で文字入力モードを変更します。
  かな（漢）→カナ（カナ）→英字（英）→数字（数）を繰り返します。
- 入力できる文字は、☞ 224ページの文字入力一覧をご覧ください。

6 ○を押して変換し、確定を押す

- 「かな」モードで入力された文字を漢字に変換します。
- ◇で変換する文字範囲を変更できます。
- 表示された候補の次候補を表示させたいときは○を押してください。
- 変換候補で確定する漢字が表示されないときは、フラッシュを押した後にかな文字で変換文字範囲を変更してください。

7 入力した名前に間違いがないか確認し、確定を押す

- 確定を押すと会社名が仮登録され、「ユーザー登録」に戻ります。

8 ◇を押し、[郵便番号]を選択し、確定を押す

- カ ABC 2を押しても手順9に進みます。

つづく➡

9 郵便番号を入力します

- ダイヤルボタンから入力します。
- 郵便番号は必ず７桁入力してください。
- フラッシュ を押すと、１文字消去できます。
- ７桁入力すると郵便番号が仮登録され、「ユーザー登録」画面に戻ります

10 ◎を押し、[電話番号]を選択し、確定 を押す

- 3 を押しても手順１１へ進みます。

11 電話番号を入力します

- ダイヤルボタンから入力します。
- 桁数は最大２４桁です。
- フラッシュ を押すと、１文字消去できます。
- 短　縮 を押すと、「－」（ハイフン）を入力できます。

12 確定 を押す

- 確定 を押すと電話番号が仮登録され、「ユーザー登録」画面に戻ります。

13 ◎を押し、[ＦＡＸ番号]を選択し、確定 を押す

- 4 を押しても手順１４へ進みます。

14 ＦＡＸ番号を入力します

- ダイヤルボタンから入力します。
- 桁数は最大２４桁です。
- フラッシュ を押すと、１文字消去できます。
- 短　縮 を押すと、「－」（ハイフン）を入力できます。

15 確定 を押す

- 確定 を押すとＦＡＸ番号が仮登録され、「ユーザー登録」画面に戻ります。

16 ◎を押し、[データ送信]を選択し、確定 を押す

17 ◎を押して、[はい]を選択し、確定 を押す

- 「いいえ」を選択すると「ユーザー登録」画面に戻ります。
- 「はい」を選択するとデジタル回線またはインターネットを通してサクサのサーバへデータが送信されます。完了画面後、フラッシュ を押すと「カレンダー・時計」表示に戻ります。

安全にお使いいただくために

必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の説明

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷(※1) を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷(※1) を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害(※2)を負う可能性が想定される内容および物的損害(※3)のみの発生が想定される内容を示しています。

※1：重傷とは失明や、けが、やけど（高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
※2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
※3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

禁止	禁止(してはいけないこと)を示します。
強制	強制(必ずすること)を示します。

免責事項

- 地震および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本装置の使用または使用不能から生じる付随的な損害(記憶内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断、通信機会の喪失など)に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 電話サービスを利用することによる金銭上の損害、および逸失利益について第三者からのいかなる請求についても当社はその責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

安全にお使いいただくために

⚠ 警告

一般のゴミとして放置しないでください

火災・けがの原因となります。
廃棄するときは、販売店にご相談ください。

AC100Vの商用電源以外は、絶対に使用しないでください

火災・感電・故障の原因となります。

内線・外線の各端子をショートさせないでください

火災・故障の原因となります。

テーブルタップや分岐コンセント・分岐ソケットを使用したタコ足配線はしないでください

火災・過熱の原因となります。

主装置、電話機を傾いた台の上や、振動、衝撃の多いところに置かないでください

落下・転倒により、けがの原因となります。万一、落下・転倒により破損したときは、主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください

感電・けがの原因となります。

主装置、電話機に火の気を近づけたり、加熱しないでください

鉛蓄電池(バッテリー)が液もれ・発熱・破裂し、火災・けがの原因となります。

電源コードを傷付けたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工しないでください

電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだ場合は(芯線の露出、断線など)主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて販売店に交換をご依頼ください。

工事・保守者以外は、装置の蓋などを開けないでください

感電、故障の原因となります。

電源プラグは電源コンセントの奥までしっかり差し込んでください

電源プラグの刃に、金属などが触れると火災・感電の原因となります。

電源プラグの刃および刃の取付面に、ほこりが付着している場合は、よくふいてください

火災の原因となります。

主装置に鉛蓄電池(バッテリー)を使用する場合、寿命は(使用頻度にもよりますが)設置後2～3年です。2～3年ごとに販売店にまとめて交換をご依頼ください

寿命が過ぎた鉛蓄電池(バッテリー)を使用し続けるとバッテリー内部の液もれの原因となります。万一、バッテリー内部からもれた液が皮膚や衣装についたときは、すぐきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれることがあります。また、バッテリー内部の液もれが発生したときは、主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

分解・改造・修理しないでください

火災・感電・故障の原因となります。
電話機の改造は法令違反になります。故障のときは、販売店に修理をご依頼ください。

歩行中に電話機を操作したり見たりしないでください

転倒・交通事故などの原因となります。

電話機を電子レンジや高圧容器に入れたりしないでください

火災・故障の原因となります。

引火性ガスが発生する場所では、電話機を絶対に充電しないでください

火災の原因となります。

万一、充電器が落下したり、破損した場合は、そのまま使用しないでください

必ず電源アダプタを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店に至急ご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

安全にお使いいただくために

⚠危険

電池パックはプラス ⊕ ・マイナス ⊖ の向きが決められています。電話機に接続するときは、プラス ⊕ ・マイナス ⊖ の向きを確かめてください

電池パックの液もれ・発熱・破壊により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。

電池パックを単体では充電しないでください

電池パックの液もれ・発熱・破壊により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。

電池パックは、指定の電話機以外には使用しないでください

電池パックの液もれ・発熱・破壊により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。

電池パックを分解・改造しないでください

電池パックの液もれ・発熱・破壊により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。

電池パックを使用する場合は、以下のことを必ず守ってください

電池パックの液もれ・発熱・破壊により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。

- 火の中に投入したり、加熱しない
- 直接はんだ付けしない
- プラス⊕・マイナス⊖を針金などの金属類で接触させない
- 水・雨水・海水・薬品などにつけたり、ぬらさない
- ネックレスなどの金属製品と一緒に持ち運んだり、保管しない
- 針を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたり、投げつけない

電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがあります。こすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください

⚠警告

取付位置を変更しないでください

火災・感電・けがの原因となります。
配線工事を行うには資格が必要です。販売店にご相談ください。

主装置の通風孔や電話機の開口部などから、金属類を入れないでください

火災・感電・故障の原因となります。万一、金属類が内部に入ったときは、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

主装置をぬれた手で操作したり、ぬれた布でふかないでください

感電の原因となります。

万一、内部に水などが入った場合、そのまま使用しないでください

すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

主装置、電話機の上や近くに液体の入った容器(花びん・植木鉢・コップ・化粧品・薬品など)を置かないでください

液体がこぼれて内部に入ると、火災・感電・故障の原因となります。万一、液体が内部に入ったときは、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

雷が鳴り出したら、主装置・電源コードなどに触れないでください

感電の原因となります。

万一、煙が出ている、異常音がする、変なにおいがするなどの異常状態が発生した場合、そのまま使用しないでください

すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。なお、お客様による修理は危険ですからおやめください。

安全にお使いいただくために

⚠ 警告

高精度な制御や、微弱な信号を取り扱う電子機器の近くで使用しないでください

電子機器が誤動作するなど影響が出る可能性があります。また、使用を制限された場所での使用はお控えください。
（ご注意いただきたい電子機器の例：補聴器・医療用電子機器・ペースメーカ・火災報知機・自動ドア・自動制御機器など）

充電器の開口部から金属類を入れないでください

万一、内部に異物が入った場合は、すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店に至急ご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

電池パックが液もれしたり、異臭がするときは、すぐに火気から遠ざけてください

所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合には、すぐに充電をやめて、お買い求めの販売店にご連絡ください

ぬれた手で電池パックを交換したり、ぬれた手で充電器の電源アダプタを抜き差ししないでください

感電の原因となります。

専用の充電器を使用してください

火災・感電の原因となります。

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください

⚠ 注意

主装置や電話機を壁掛けに変更するときは、販売店にご相談ください

配線工事を行うには資格が必要です。また主装置の重みに耐える適正な取り付けが必要です。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください

電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

主装置、電話機の上に乗ったり、座ったりしないでください

けがや故障の原因となることがあります。

直射日光の当たるところや、暖房設備・ボイラーなどのため著しく温度が上昇するところに置かないでください

内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください

火災・感電・故障の原因となることがあります。

調理台のそばなど油煙や湯気が当たるような場所、ほこりが多い場所に置かないでください

火災・感電・故障の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かないでください

火災・感電・故障の原因となることがあります。

主装置や電話機の開口部をふさがないでください

開口部をふさぐと、内部の熱が上昇し、火災の原因となることがあります。

「VoIPユニットの自動ファームアップ」(☞25ページ)で、最新ファームウェア書き換えのときは絶対に電源を落とさないでください

故障の原因となります。

電話機のアンテナを持って持ち運んだり、アンテナを無理に曲げたり引っ張ったりしないでください

故障の原因となります。

安全にお使いいただくために

⚠注意

禁止

電気雑音を発生するものに近い場所に置かないでください

通話に雑音が入ったり、使用できなくなることがあります。

＜電気雑音の原因としては＞

- 車やオートバイが近くを通る場合
- 放送局や無線局(アマチュア無線、CB無線など)の近くで使用する場合
- テレビ・ラジオ・蛍光灯・OA機器・電子レンジ・電気コタツなどの近くで使用する場合
- 高周波溶接機・高周波ミシン・電気溶接機・ワイヤカッタなどの工作機械の近くで使用する場合

禁止

火のそばや炎天下などの高温の場所で、充電はしないでください

高温になると危険を防止する保護装置が働き、充電できなくなったり、保護装置が壊れる原因となります。

強制

電池パックは、事故防止のため、小さいお子様の手の届かないところに保管してください

電源プラグを抜く

長時間ご使用にならないときは、安全のため必ず充電器の電源アダプタまたは電源プラグを電源コンセントから抜いてください

禁止

充電器の電源コードを熱器具に近づけないでください

電源コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

電源アダプタまたは電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源アダプタまたは電源プラグを持って抜いてください

電源コードを引っ張ると、電源コードが傷つき、火災・感電・断線の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

充電器をお手入れする際は、安全のため、あらかじめ電源アダプタまたは電源プラグを電源コンセントから抜いてください

感電の原因となることがあります。

禁止

充電器の上に指輪、ネックレスなどの金属類を置かないでください

金属が熱くなり、火災・やけどなどの原因となることがあります。

強制

充電は周囲温度5℃～35℃の範囲で行ってください

正常な充電ができなかったり、故障の原因となります。

●取扱上のお願い／主装置、電話機、他

海外では使用できません

本製品は、日本国内の基準に適合するように設計されています。

別売品の停電用電源を接続している場合は、電源スイッチが「入」のままで、電源プラグを抜いたり、配電盤などの電源を切らないでください

バッテリーが放電してしまい、停電時に動作しなくなります。また、バッテリーの寿命を縮める原因となります。

DC230電話機で、DC子機の側面に取り付けられたゴムキャップを取り外さないでください

ゴムキャップがないまま、ぬれた手で使用すると、故障や感電の原因となります。

コードレス電話機は、防水対応ではありません

寒い戸外から急に暖かい室内にコードレス電話機を持ち込むと、急激な温度変化により、コードレス電話機内部に水滴(結露)がつくことがあります。結露が生じたときは電源を切って、水滴が蒸発するまでしばらく放置しておいてください

結露したままで使用すると、故障の原因となります。

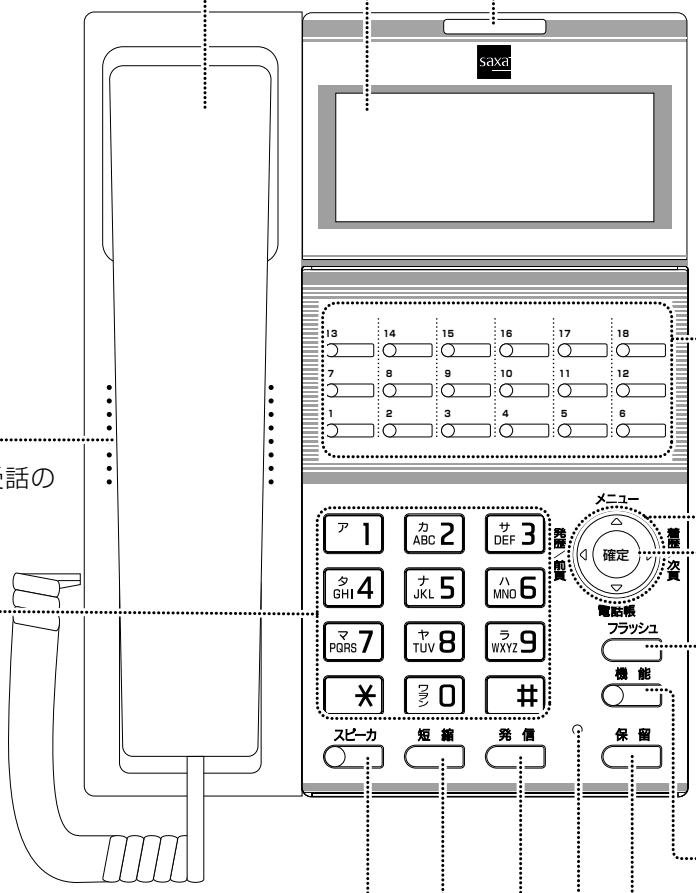
コードレス電話機の通話は盗聴されにくくなっていますが、電波を利用しているため、通常の手段を超えた方法で第三者が故意に通話の内容を傍受する場合があります。この点を十分に留意して使用してください

ご注意

●本商品は、電話に代表される、個人情報の保存または保持可能な商品です。設置工事、保守、廃棄、譲渡および返却される際は、本商品内に保存または保持された個人情報を消去する必要があります。

電話機の種類と各部の名称

TD610、APF610、IPF610電話機



受話器

表示部

着信ランプ（7色）
外線着信と内線呼出など、7色の点滅をします。

外線ボタン、オートダイヤルボタン
ボタン1～18は外線ボタンとして利用できます。また、未使用外線ボタンは、オートダイヤルボタンとして利用できます。

MFキー
表示部のメニュー選択や、電話帳検索のスクロールキーなどに使います。

スピーカ
呼出音やスピーカ受話の音が聞こえます。

確定ボタン
表示部のメニュー選択や、電話帳検索など確定ボタンとして使います。

ダイヤルボタン
ダイヤル時やカナ／漢字文字入力などに使います。

フラッシュボタン
キャッチホンサービスなどを受けるときに使います。

機能ボタン／ランプ（赤色）
機能ボタンなどを利用するときに使います。

スピーカボタン／ランプ（赤色）
スピーカ受話などをするときに使います。

短縮ボタン
短縮ダイヤルで電話をかけるときなどに使います。

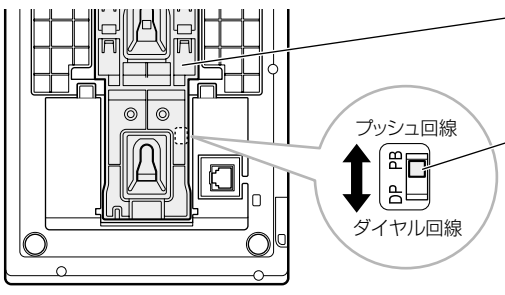
保留ボタン
外線、内線通話を保留にするときに使います。

発信ボタン
電話をかけるときに発信ボタンを押すと、未使用の外線を自動的に捕捉します。

マイク
ハンズフリー、パーソナルハンズフリー通話のときに使用します。

停電時には、アナログ回線のときはAPF610電話機、デジタル回線のときはIPF610電話機で発着信ができます。

●APF610電話機（底面）

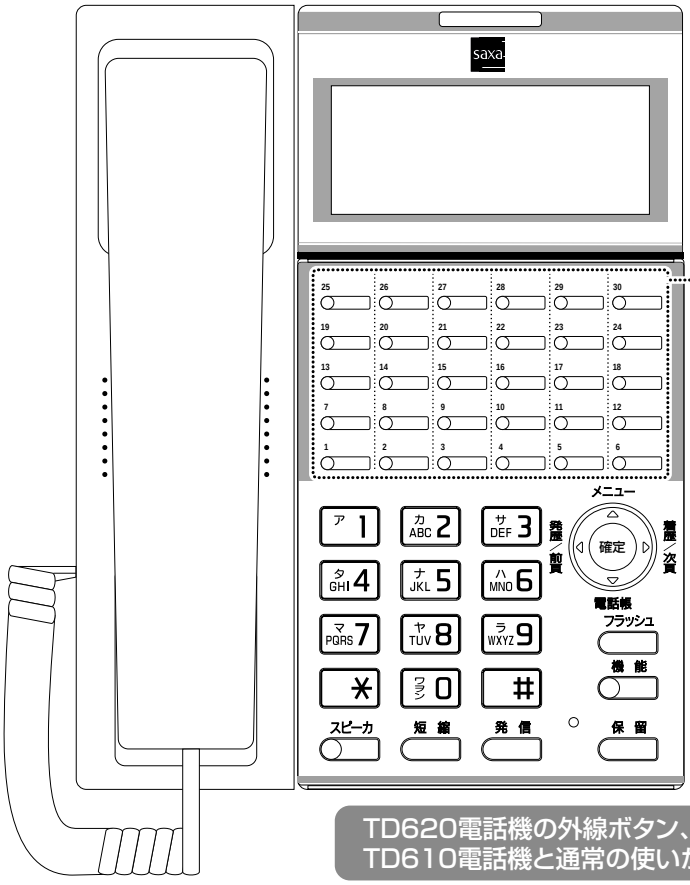


ベース
※DP（20PPS）/PB切替スイッチを切り替えるときは、ベースを引き上げます。

DP（20PPS）／PB切替スイッチ
電話回線に合わせてダイヤル回線（DP）またはプッシュ回線（PB）に設定します。停電用電話機として使用する場合、正しく設定しないと停電中にダイヤルできません。
・お買い上げ時は「ＰＢ」です。

電話機の種類と各部の名称

TD620電話機

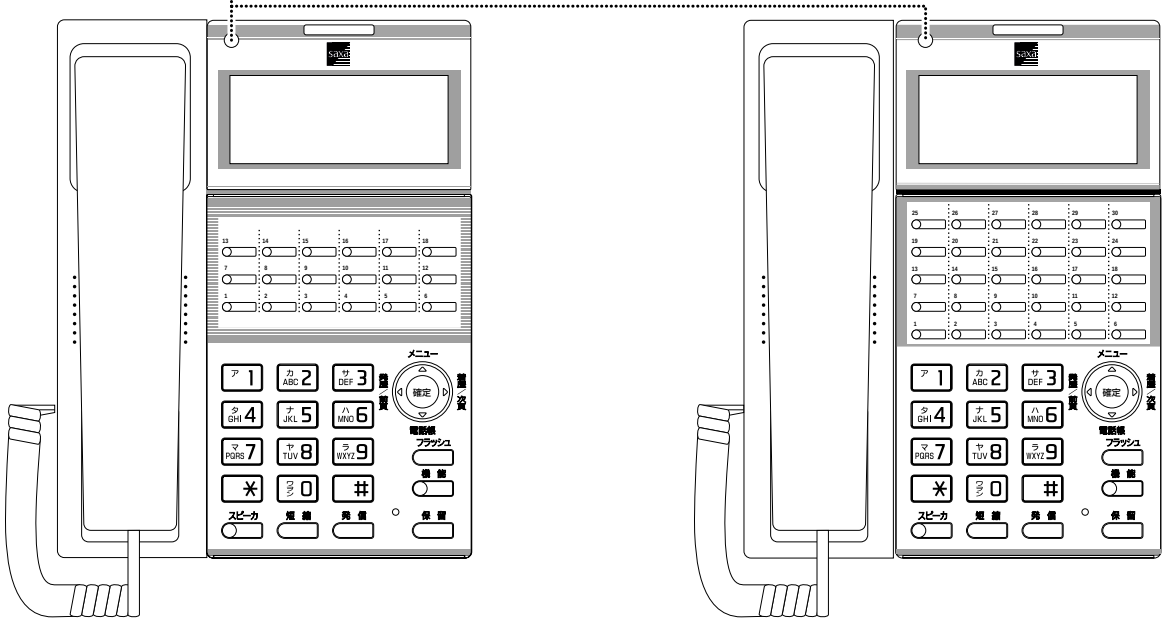


TD620電話機の外線ボタン、オートダイヤルボタン以外は、TD610電話機と通常の使いかたは同じです。

SS610電話機

SS620電話機

人感センサ
人感センサが異常を検知するとランプが点滅したり、威嚇音などが鳴ります。また、通報先へ異常を知らせることができます。

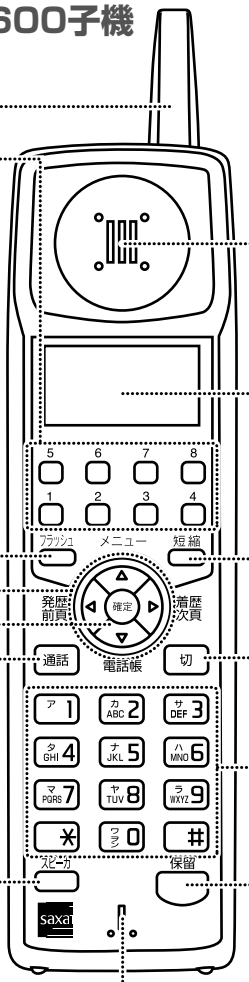


SS610、SS620電話機は「人感センサ」以外はTD610、TD620電話機と通常の使いかたは同じです。
SS610、SS620電話機を使用したセキュリティ機能についてはBSS専用CF/取説セットに同封されている取扱説明書～セーフティ機能編を御覧下さい。

電話機の種類と各部の名称

CL620電話機、WS600電話機

CL620子機／WS600子機



アンテナ

外線ボタン／ランプ
ボタン1～8は外線ボタンとして利用できます。また、未使用外線ボタンは、オートダイヤルとして利用できます。

フラッシュボタン
キャッチホンサービスなどを受けるときに使います。

MFキー
表示部のメニュー選択や、電話帳検索のスクロールキーなどに使います。

確定ボタン
表示部のメニュー選択や、電話帳検索などの確定ボタンとして使います。

通話ボタン
電話をかけるときに通話ボタンを押すと未使用の外線を自動的に捕捉します。

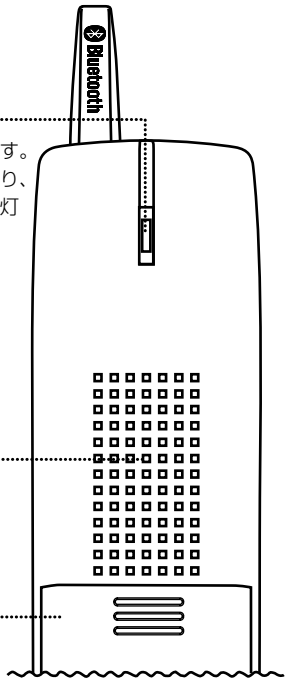
スピーカボタン
スピーカ受話などのときに使います。

送話口

着信ランプ
外線着信と内線呼出など、7色の点滅をします。また、CL620子機をCL620親機に置いたり、り、WS600子機を充電器に置くと赤点灯し充電されます。

受話口

表示部



スピーカ
各種呼出音などが聞こえます。

電池カバー

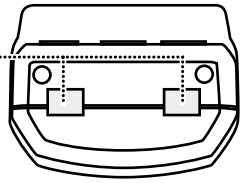
短縮ボタン
短縮ダイヤルで電話をかけるときに使います。

切ボタン
通話を終了するときに使います。
また、電源を入れたり、切るときに長く押し続けます。
- 通常は電源を入れた状態で使用します。長時間お使いにならないときは電源を切ってください。

ダイヤルボタン
ダイヤル時やカナ／漢字文字入力などに使います。

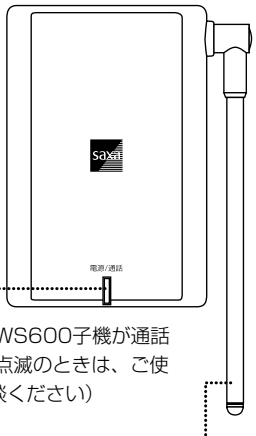
保留ボタン
外線、内線通話を保留するときに使います。

【CL620子機／WS600子機底面】



充電端子
電池パックを充電するための端子です。

WS600親機

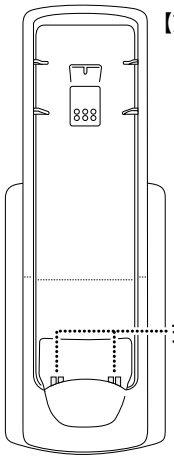


電源ランプ（赤色）
通話ランプ（緑色）
通電中のときは赤点灯します。WS600子機が通話中のときは緑点灯します。（緑点滅のときは、ご使用できません。 販売店へご相談ください）

アンテナ
アンテナを立ててお使いください。

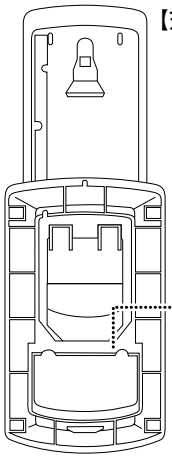
WS600子機充電器

【充電器正面】



充電端子
WS600子機を充電するための端子です。

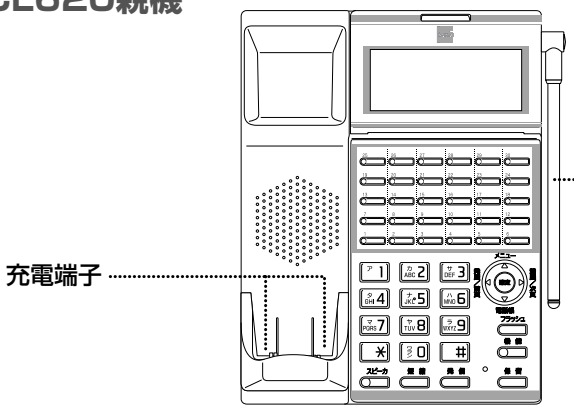
【充電器裏面】



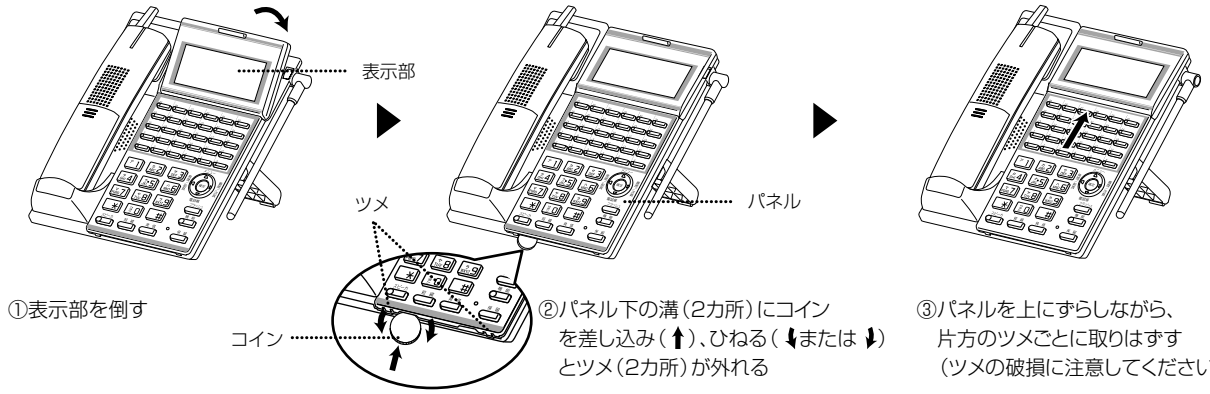
電源ジャック
付属のACアダプタを接続します。

電話機の種類と各部の名称

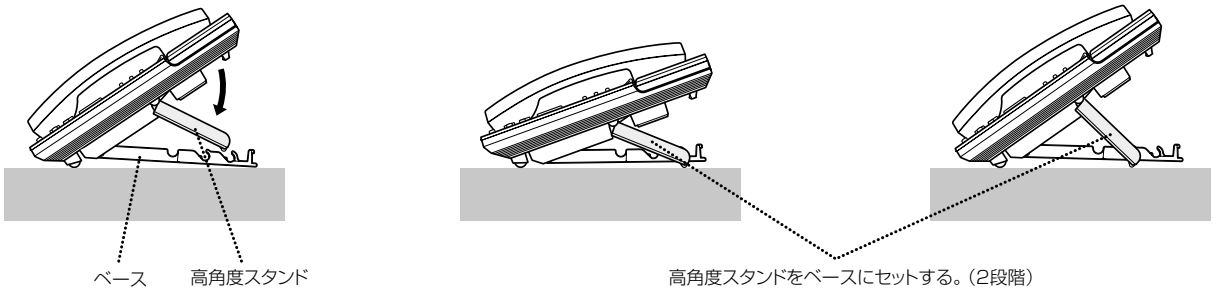
CL620親機



パネルの取り外しかた



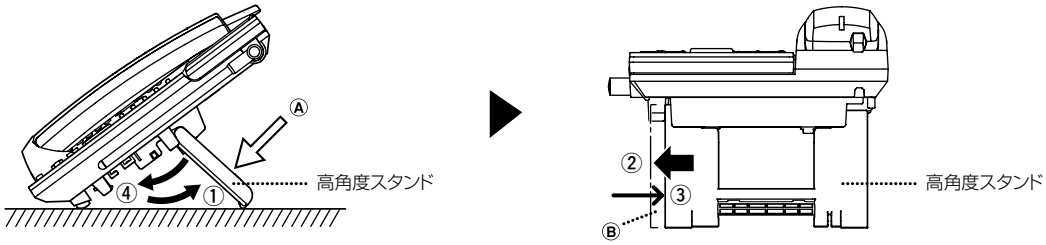
TD610、TD620、APF610、IPF610電話機の角度調節のしかた



●高角度スタンドを取り外すときは、ベースを押さえて、電話機を引き上げてください。
（無理に引き上げると破損する恐れがあります）
●電話機を壁に取り付けるときは、購入された販売店にご相談ください。

CL620 電話機のスタンド固定のしかた

●充電不良の原因になるので、必ず高角度スタンドを立てて使用してください。

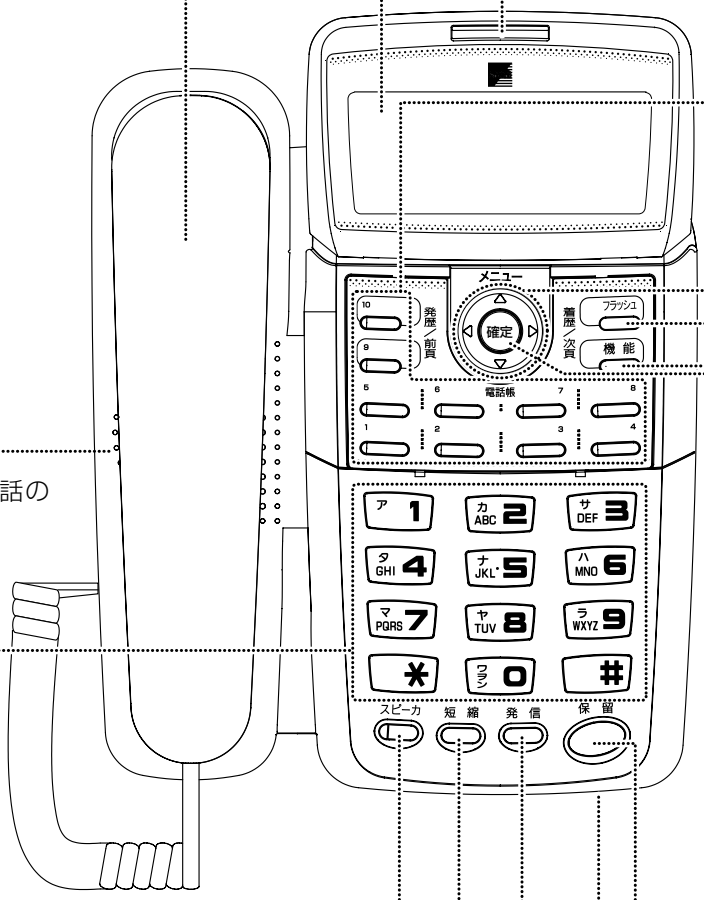


1 高角度スタンドがストップするまで①方向に引き上げる。 **2** 高角度スタンドをⒷ位置まで②方向に移動させる。

●高角度スタンドを戻すときは、最初に手順2で高角度スタンドを③方向に移動させ、次に手順1で④方向に戻します。

電話機の種類と各部の名称

LD600電話機



受話器

表示部

着信ランプ（7色）
外線着信と内線呼出など、7色の点滅をします。

外線ボタン、オートダイヤルボタン
ボタン1～10は外線ボタンとして利用できます。また、未使用外線ボタンは、オートダイヤルボタンとして利用できます。

MFキー
表示部のメニュー選択や、電話帳検索のスクロールキーなどに使います。

スピーカ
呼出音やスピーカ受話の音が聞こえます。

フラッシュボタン
キャッチホンサービスなどを受けるときに使います。

ダイヤルボタン
ダイヤル時やカナ／漢字文字入力などに使います。

機能ボタン／ランプ（赤色）
機能ボタンなどを利用するときに使います。

確定ボタン
表示部のメニュー選択や、電話帳検索など確定ボタンとして使います。

スピーカボタン／ランプ（赤色）
スピーカ受話などをするときに使います。

保留ボタン
外線、内線通話を保留にするときに使います。

短縮ボタン
短縮ダイヤルで電話をかけるときなどに使います。

マイク
ハンズフリー、パーソナルハンズフリー通話のときに使用します。

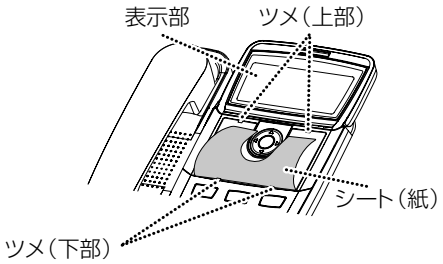
発信ボタン
電話をかけるときに発信ボタンを押すと、未使用の外線を自動的に捕捉します。

LD600電話機は、TD610、TD620電話機と外観寸法、形状が異なりますが、通常の使いかたは同じです。

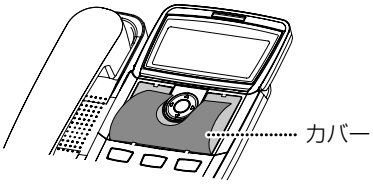
電話機の種類と各部の名称

シート、カバーの取り付けかた

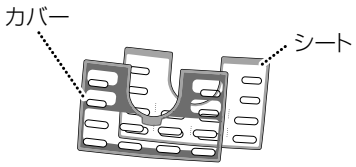
1 シートをツメ(下部)の内側に入れてから、ツメ(上部)にはめ込みます。



2 シートの上からカバーを**1**と同じ手順ではめ込みます。



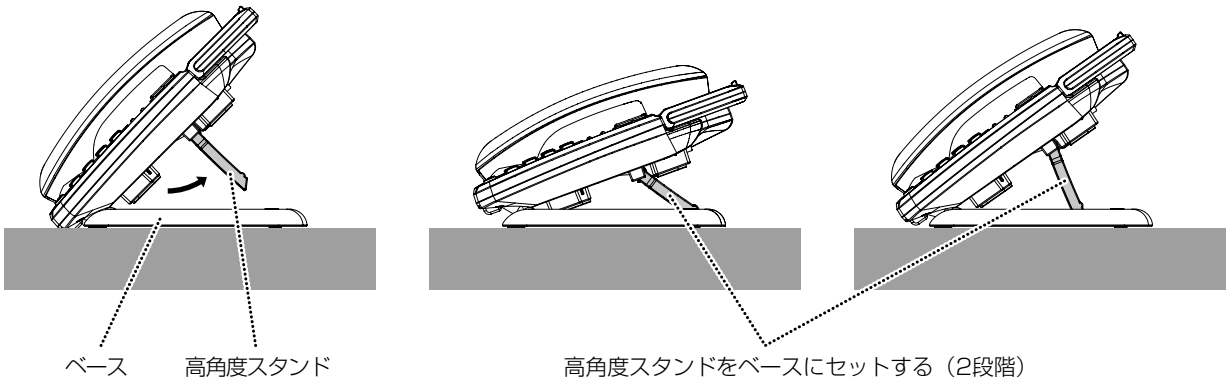
● シート、カバーをLD600電話機に取り付けるときは、「シート」の上に「カバー」をかけます。



● シート、カバーを取り外す場合は、ツメ(上部)から「カバー」、「シート」の順に外します。

● シート、カバーはLD600電話機の添付品です。カバーを取り付けるときは、カバーの両面のフィルムをはがしてください。

LD600電話機角度調節のしかた



●高角度スタンドを取り外すときは、ベースを押さえて、電話機を引き上げてください。
（無理に引き上げると破損する恐れがあります）

●電話機を壁に取り付けるときは、購入された販売店にご相談ください。

電話機の種類と各部の名称

DC230電話機

DC子機

着信／充電ランプ
着信のときに赤ランプが早く点滅します。また、充電中は赤ランプが点灯し、充電完了で緑ランプが点灯します。

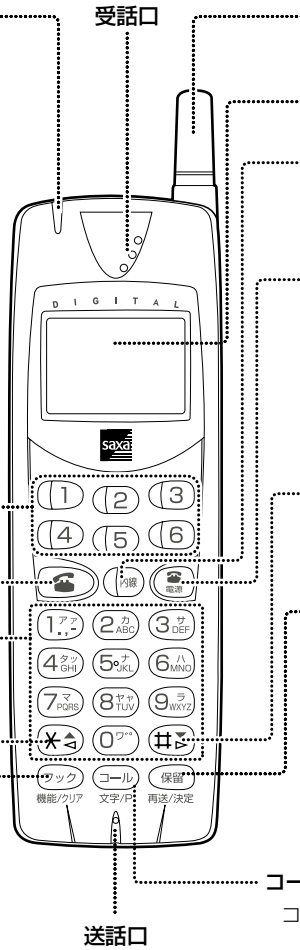
外線ボタン／ランプ
外線1～6ボタンは外線をかけるときなどに押します。自分が使用中のときは緑色、他人が使用中のときは赤色で点灯します。また、各種機能のボタンとして設定できます。
- 保留したあとに（電源）ボタンを押したときなどのランプ表示は変化することがあります。

発信／応答ボタン／ランプ（緑色）
電話をかけるときや電話を受けるときに押します。電話をかけるときに発信/応答ボタンを押すと、未使用の外線を自動的に捕捉し、ランプは外線通話中に点灯します。

ダイヤルボタン
電話番号をダイヤルするときやメモリダイヤルの名前を登録するときなどに押します。

アスタリスクボタン
メモリダイヤルの名前や電話番号を逆順に表示させるときなどに押します。

フック／機能／クリアボタン
フック:キャッチホンサービスなどを受けるときに押します。
機　能:待機状態で、ダイヤルボタンと組み合わせて便利な端末機能を選ぶときなどに押します。
クリア:登録したメモリダイヤルを消去するときなどに押します。



アンテナ
伸縮式です。

表示部

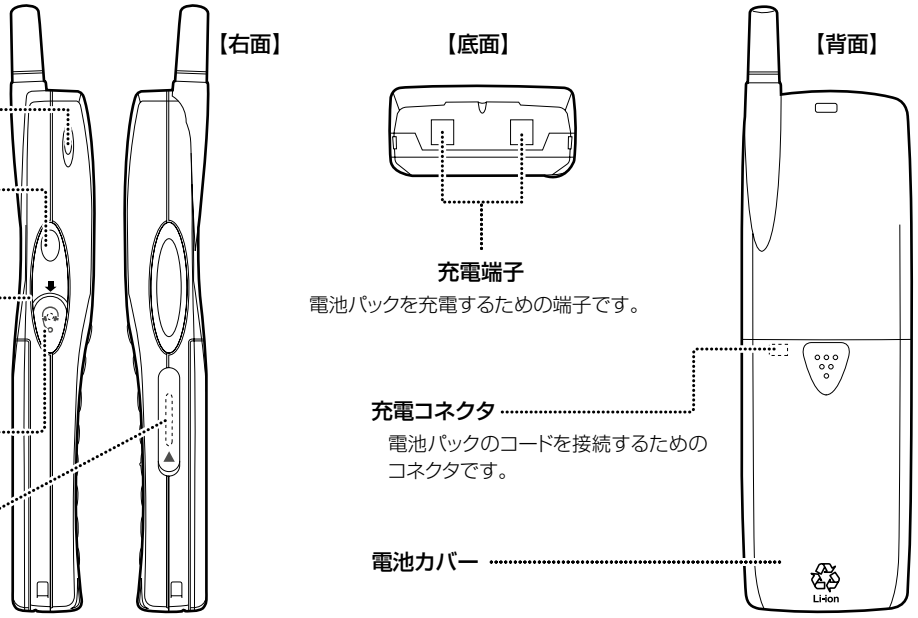
内線ボタン／ランプ（緑色）
内線をかけるときなどに押します。ランプは内線通話中に点灯します。

切ボタン
通話を終了するときなどに押します。また、電源を入れたり、切るときに長く押し続けます。
- 通常は電源を入れた状態で使用します。長時間お使いにならないときは電源を切ってください。

シャープボタン
メモリダイヤルの名前や電話番号を順番に表示させるときなどに押します。

保留／再送／決定ボタン
保留:外線・内線の通話を保留するときなどに押します。
再送:リダイヤルのメモリの呼び出しなどに使います。
決定:端末機能の設定や、メモリダイヤルの登録／検索で入力したデータを決定するときなどに押します。

コール／文字／Pボタン
コール:メモリダイヤルに名前や電話番号を登録したり、登録したメモリダイヤル（最大300件）の内容を表示させ発信するときなどに押します。
文　字:メモリダイヤルの登録や検索をする場合、カナ／英字／数字のいずれかに切り替えるときに押します。
P　:メモリダイヤルにポーズを登録するときなどに押します。



サウンダ
着信音や呼出音などが聞えます。

音量ボタン
着信音量や受話音量を調節するときに押します。

ゴムキャップ
- 爪先などで、矢印方向（↓）へ押してゴムキャップを持ち上げるとイヤホンマイクジャックがあります。

イヤホンマイクジャック
イヤホンマイクを接続します。

外部接続端子
メンテナンスのときだけ使用しますのでさわらないでください。

充電端子
電池パックを充電するための端子です。

充電コネクタ
電池パックのコードを接続するためのコネクタです。

電池カバー

電話機の種類と各部の名称

接続装置

アンテナ

アンテナを立ててお使いください。

電源ランプ（赤色）

通電中のときに点灯します。

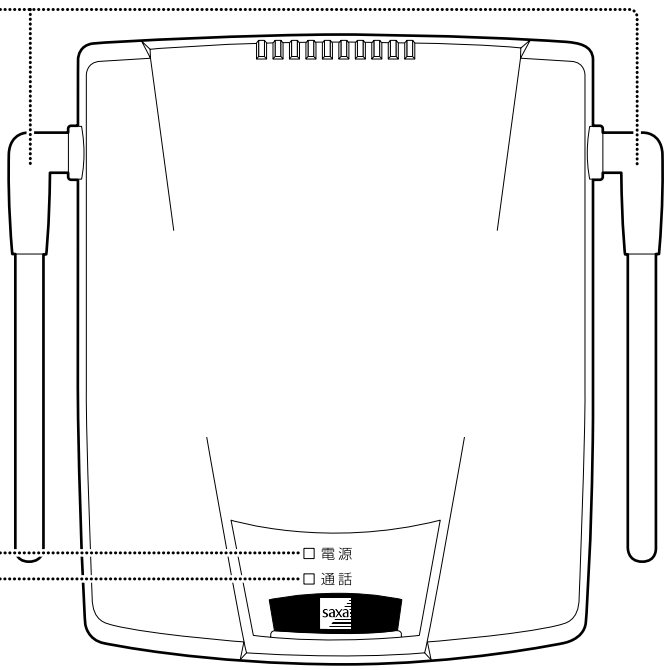
- 消灯のときは電源が供給されていません。
- 電源供給直後は一時的に点滅します。

通話ランプ（緑色）

通電中のときに点灯します。

点灯	正常状態です。
点滅	無線のチャンネルを使用している状態です。（通話中などのとき、点滅します）

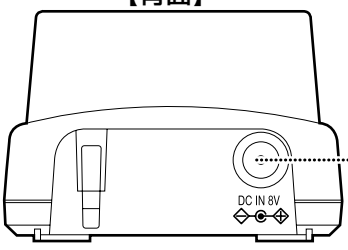
- 電源供給直後は数秒間点滅します。
- 両ランプの点灯または点滅パターンが上記以外か、消灯している場合は、故障の可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。



充電器

【正面】

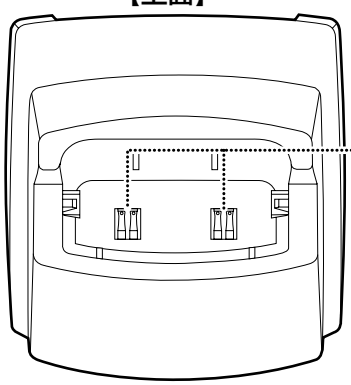
【背面】



電源ジャック

付属のACアダプタを接続します。

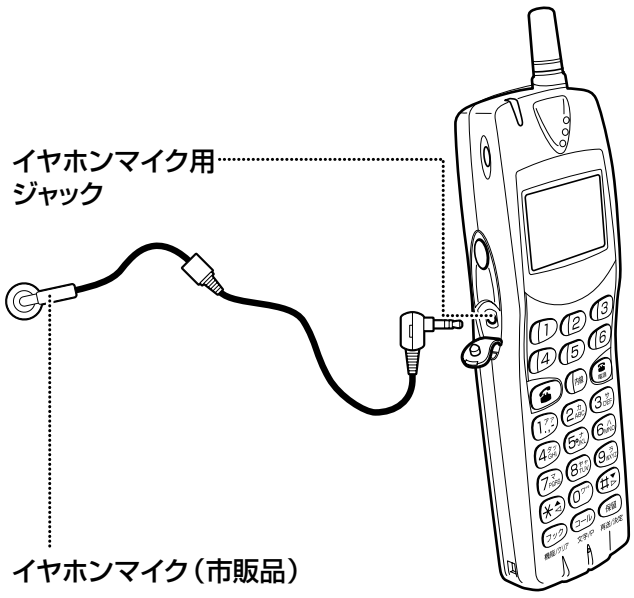
【上面】



充電端子

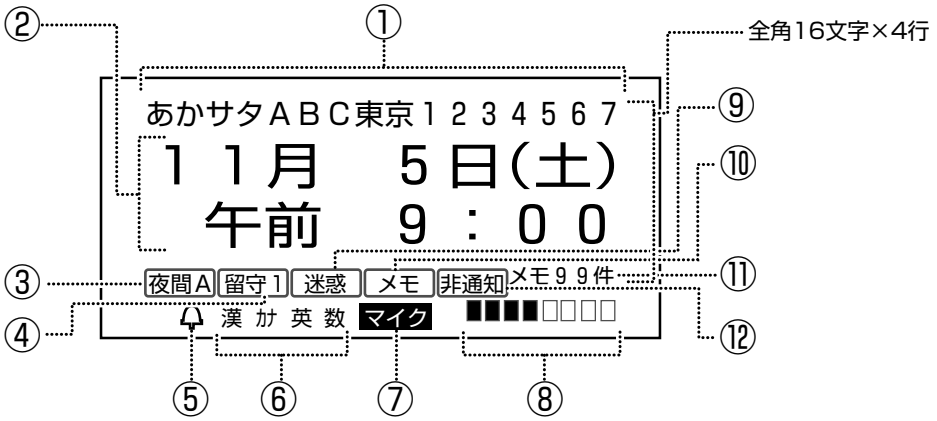
イヤホンマイク用ジャック

φ2.5mmタイプ（イヤホン：32Ω 3極ミニプラグ）のイヤホンマイク（市販品）を接続して使用できます。



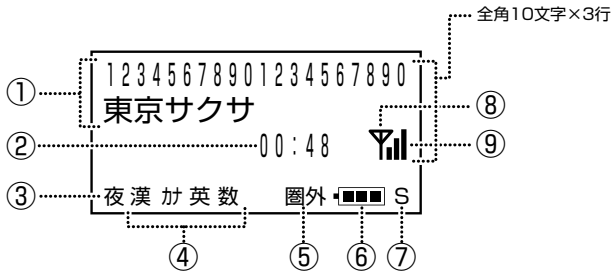
電話機の種類と各部の名称

多機能電話機、CL620親機の表示部



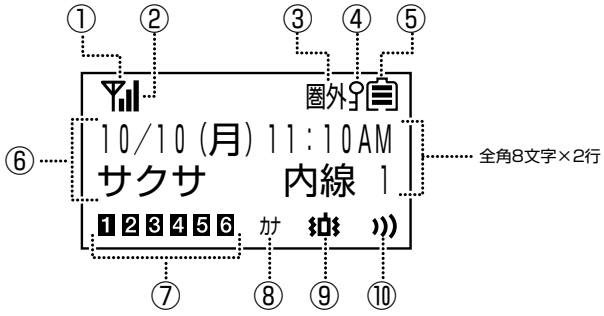
番号	表　示　例	内　　容
①	あかサタＡＢＣ東京１２３４５６７	通話時間、通話料金、内線番号などを表示する
②	１１月５日（土） 午前　９：００	カレンダー、時計を表示する •設定（☞37ページ）により横倍、縦倍、標準の表示ができます
③	夜間Ａ	夜間モードに設定すると表示する
④	留守１	留守番モードを設定すると表示する
⑤	🔔	時刻アラームが設定されたとき表示する
⑥	漢 カ 英 数	文字入力時のモードを表示する
⑦	マイク	ハンズフリー通話が設定されたとき表示する
⑧	■■■■□□□□	各種音量の大きさを調整すると表示が変わる
⑨	迷惑	迷惑電話拒否を設定すると表示する
⑩	メモ	通話メモを設定すると表示する
⑪	メモ９９件	録音された通話メモの件数を表示する
⑫	非通知	非通知拒否を設定すると表示する

CL620子機、WS600電話機の表示部



番号	表　示　例	内　　容
①	1234567890123456789O 東京サクサ	内線名、電話番号、内線番号などを表示する
②	００：４８	通話時間、各種音量表示をする
③	夜	夜間モードに設定すると表示する
④	漢 カナ 英 数	文字入力時のモードを表示する
⑤	圏外	子機と親機の距離が離れすぎると表示する
⑥	▪■■■	電池残量を4段階で表示する
⑦	S	外線の着信音を止めると表示する
⑧	Y	親機の電波を受信し着信可能な待ち受け状態になったときに表示する
⑨	📶	4段階の電波の強さ（電界強度）を表示する

DC230電話機の表示部



番号	表　示　例	内　　容
①	Y	接続装置の電波を受信し着信可能な待ち受け状態になったときに表示する
②	📶	4段階の電波の強さ（電界強度）を表示する
③	圏外	電波の届かない場所にいると表示する
④	🔑	不正利用防止のパスワードロックを設定すると表示する
⑤	🔋	電池残量を4段階で表示する
⑥	10/10(月)11:10AM サクサ　内線 1	カレンダー、時刻、名前、電話番号、内線番号などを表示する
⑦	1 2 3 4 5 6	外線（または機能割り付け）ランプと連動して表示する
⑧	カナ（またはAB）	文字入力時モードを表示する
⑨	📳	バイブレータを設定すると表示する
⑩	🔊	待ち受け中または着信中は5段階の着信音量が表示する。また、通話中は3段階の受話音量を表示する

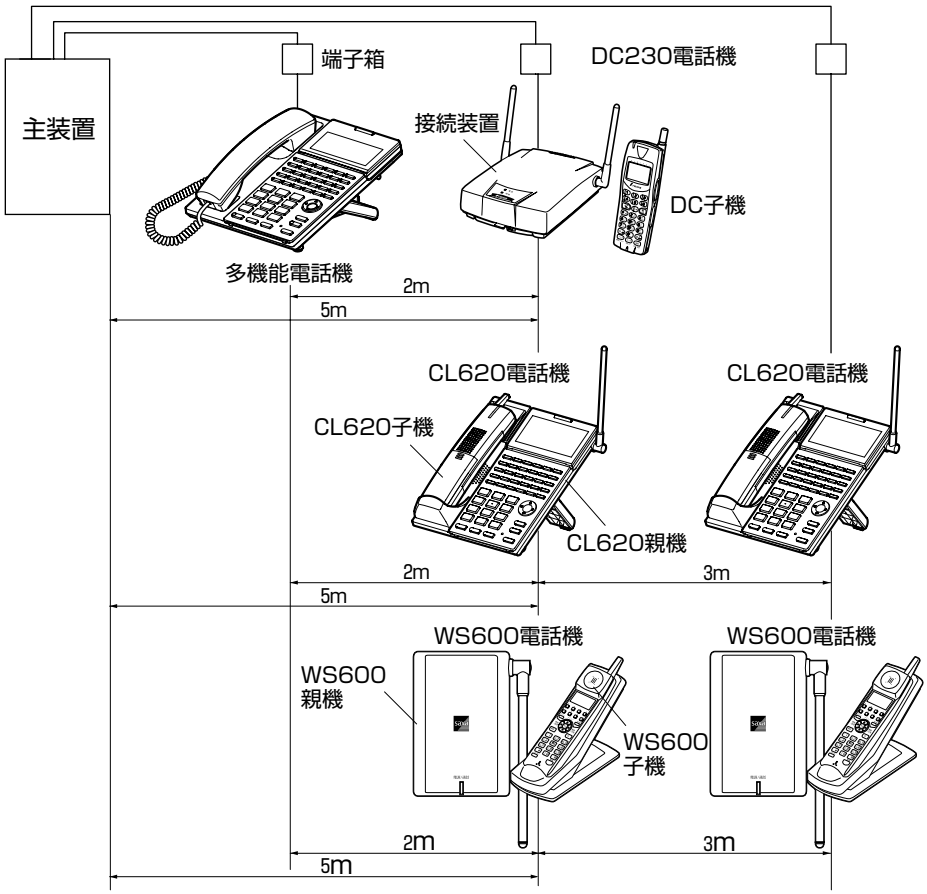
CL620、WS600電話機

1. 使用上のご注意

①CL620親機・WS600親機のアンテナは、垂直に立てて使用してください。
②子機は、お使いになる前に充電してください。
　・CL620子機、WS600子機：約8時間以上の充電で約8時間の連続通話ができます。
③CL620親機にはCL620子機以外の子機を置かないでください。また、CL620子機を他の充電器に置かないでください。その状態では充電ができません。
④ＷS600の充電器にはWS600子機以外の子機を置かないでください。また、WS600子機を他の充電器に置かないでください。その状態では充電ができません。
⑤子機の電池パックは、専用のものを使用してください。
⑥親機の上に、物を載せないでください。雑音がはいることがあります。
⑦CL620電話機とWS600電話機を合わせて複数台ご使用の場合、他の子機をCL620親機に置きますと、注意音「ピッ」が約2秒間隔で鳴りますが、故障ではありません。子機を元のCL620親機に置いてください。

2. 無線に関するご注意

①CL620、WS600電話機は以下の技術により、傍受されにくくなっておりますが、電波を使用しているため、通常の手段を超えた方法で第三者が故意に通話の内容を傍受する場合がまったくないとは言えません。この点について十分配慮してご使用ください。機密が必要な通話は、多機能電話機のいずれかをご使用することをおすすめします。
　・CL620、WS600電話機：デジタル信号
②移動しながら使用するときは、位置や向きによって雑音が入ることがあります。
③CL620、WS600電話機は、通常半径100m（見通し距離）以内でご使用できますが、親機と子機間に下記の障害物などがあると、通話中に雑音が入ったり、子機に「圏外」と表示され使えなくなることがあります。このため、設置環境を確認のうえ、親機の設置場所を決めてください。
　●金属製のドア
　●アルミはく入りの断熱材が入っている壁
　●コンクリートやトタン製の壁
④同一室内で無線LAN、電子レンジなどを使用している場合、通話中に雑音が入ることがあります。
⑤親機は主装置から5m以上、多機能電話機から2m以上、他の親機から3m以上離して設置してください。通話中に雑音が入ることがあります。



⑥CL620、WS600電話機は、2.4～2.4835GHzの全帯域を使用する無線設備です。移動体識別装置の帯域が回避可能で、変調方式は「FH-SS方式」、与干渉距離は80mです。この機器（親機、子機ともに）には、それを示す右記のマークが貼付されています。

2、4FH8

●電波に関するご注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

・この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。

・万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにこの機器の電波の発射を停止した上で（親機に接続されている電話機コードを引き抜き、子機の電池パックを取り外します）、お買い上げの販売店あるいは下記のお客様相談室にご連絡頂き、混線回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。

・その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店あるいは下記のお客様相談室へお問い合わせください。

お客様相談室　電話：03－3493－5432　E-mail：customer@saxa.biz

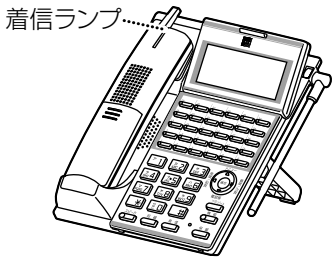
3. CL620子機、WS600子機が圏外にでると

①通話中に、親機・子機の距離が遠くなり子機が通話圏外にでると、子機の表示部に「圏外」が表示され、通話圏外警報音「ピーピーピー……」が鳴ります。
②通話圏外では電話をかけることも、受けることもできません。・電話がかかってきたときは、着信音が鳴りません。

4. 充電と接続のしかた

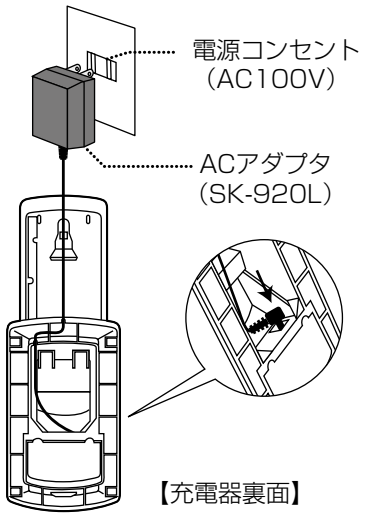
子機の充電やWS600電話機のACアダプタは、次のようになります。
①子機はお買上げ時、電池パックが接続されておりません。お使いになる前に電池パックを接続してください。（☞22ページ）
②はじめてお使いになるときは、CL620子機、WS600子機は約8時間以上充電してください。

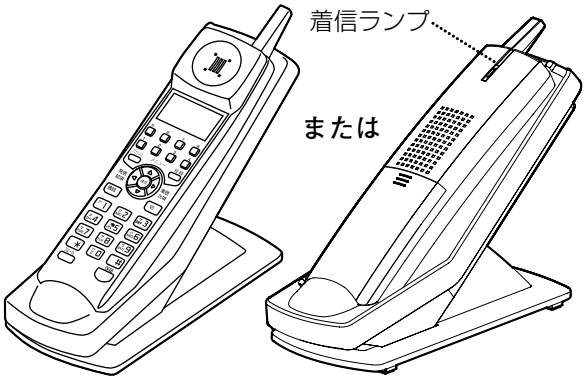
CL620電話機



●CL620子機を充電する場合には、ダイヤル面を裏にしてCL620親機に置いてください。
●CL620子機が充電されているときの確認方法は、CL620子機の着信ランプが赤点灯します。満充電時は、緑点灯します。
●CL620子機をCL620親機に置いて、CL620子機の着信ランプが赤点灯後、直ぐに緑点灯に切り替わる場合には、充電端子の接触不良が考えられます。CL620親機・CL620子機の充電端子および電池パックの充電端子を綿棒などでふいて確認してください。
●CL620子機をCL620親機に置いて、CL620子機の着信ランプが赤点滅する場合には、電池パックの不良（劣化など）が考えられます。電池パック（BP3711L-A）を交換して確認してください。

WS600電話機





●WS600子機はダイヤル面が表裏のどちらかを充電器に置くと充電できます。
●WS600子機が充電されている確認方法は、ダイヤル面が表のときは「充電中」と表示し、裏のときはCL620子機と同様に着信ランプが赤点灯します。

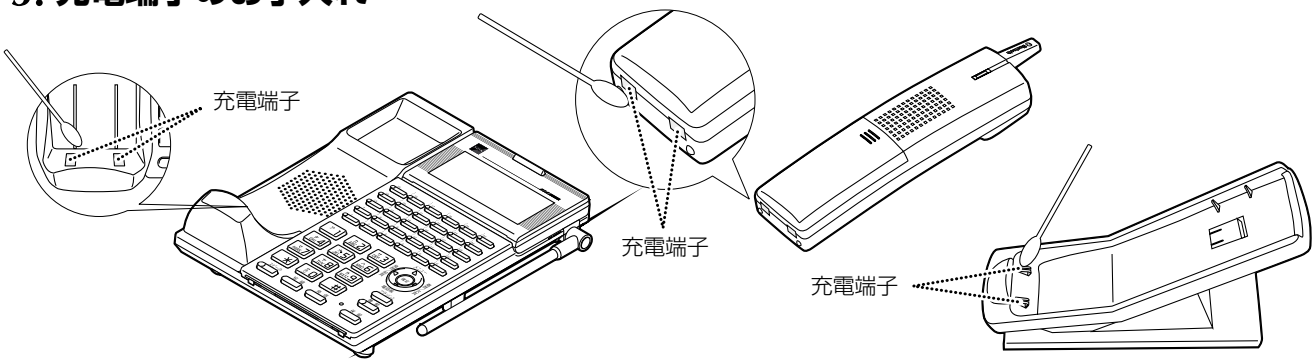
MEMO

●子機を使用しないときは、CL620親機や充電器に置いてください。
●充電中や充電直後に子機の電池カバー付近が温かいことがありますが、異常ではありません。
●満充電時の使用時間は、次のとおりです。

	連続通話時間	連続待受時間※1
CL620子機	約8時間	約24時間
WS600子機		

※1　電源が入った状態で、通話をしないで親機の電波だけを正常に受信できる平均的な時間です。

5. 充電端子のお手入れ

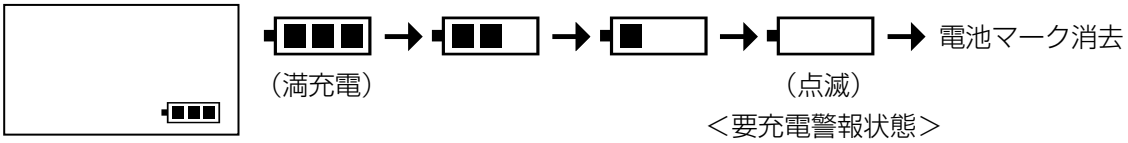


①子機、CL620親機、および充電器の充電端子（金属部分）は、いつもきれいに保つようにしてください。
②端子が汚れていると充電できなくなることがありますので、月に1回以上、乾いた綿棒で清掃してください。
・シンナー、ベンジンなどを使用すると表面を傷めたり、変色したりすることがありますので使用しないでください。

6. 電池残量

CL620、WS600電話機

CL620子機、WS600子機の表示部に電池残容量を下図の4段階表示しますので、充電の目安としてお使いください。



①要充電状態のときは、約10秒ごとに要充電警報音「プープー」が鳴ります。
②電池残量が少なくなると、通常使用状態になるまで充電をします。
・要充電警報音が鳴ってから充電すると、約8時間で通常の使用状態になります。この場合、約8時間の連続通話ができます。
・通話中に要充電警報音が鳴り始めると、約90秒で通話が切れます。
・電池パックを取り外した状態でCL620子機、WS600子機をCL620親機や充電器に置かないでください。
・要充電警報状態のまま充電せずに放置すると、CL620、WS600電話機が使用不可の状態となりますが、故障ではありません。CL620子機、WS600子機をCL620親機や充電器に置いて充電してください。この場合、CL620子機、WS600子機の着信ランプがすぐに赤点灯しない場合がありますが、故障ではありません。（約10～20分後に着信ランプが赤点灯します）

7. 電池パックの交換

子機の電池パックは、消耗品です。満充電しても、続けて通話できる時間が極端に短くなった場合は、CL620子機、WS600子機は新しい電池パック（型名：BP3711L-A）をお買い求めのうえ交換してください。使用頻度によっても異なりますが、電池交換の目安はCL620子機、WS600子機の場合は500回の充電ができます。
・電池の購入方法については、お買い上げになった販売店または ☞231ページの「お問い合わせ窓口のご案内」の営業所などへお問い合せください。
・電池の抜き差しを行うと、CL620子機、WS600子機は一時的に が表示されますが故障ではありません。

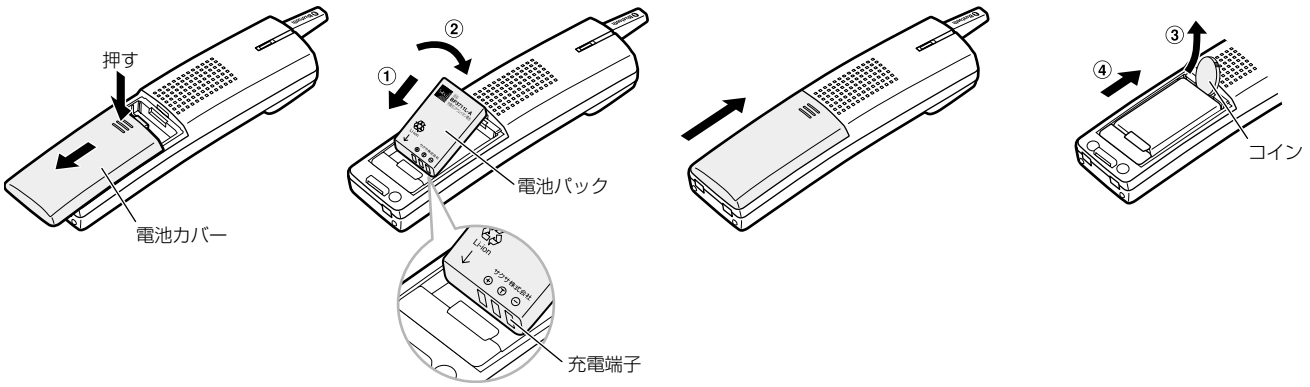
CL620子機、WS600子機

1 電池カバーを押しながらスライドさせて、電池カバーを取り外します。

2 電池パックのラベル面を上にして、①方向に差し込みながら、②方向にはめこみます。
- 子機と電池パックの充電端子が接触します。

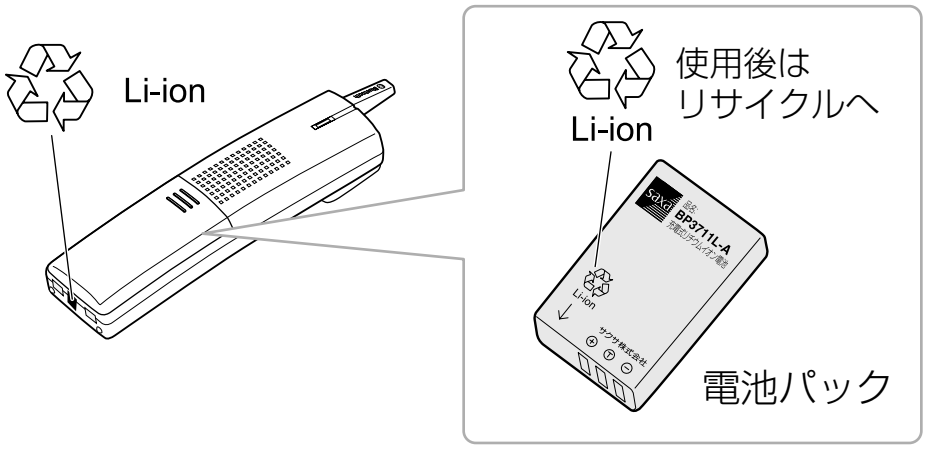
3 「カチッ」音がするまで、電池カバーを押し込みます。

- 電池パックを取り外すときは、電池パックを③方向にコインで持ち上げながら、④方向に取り外します。



●リサイクル推進へのお願い

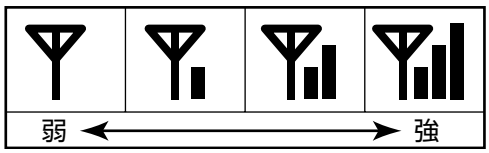
CL620子機、WS600子機の電池パック（型名：BP3711L-A）はリサイクル可能な貴重な資源です。電池交換などで使用済みの電池パックを廃棄するときは、お買い上げになった販売店またはお近くのリチウムイオン電池リサイクル協力店へお持ちいただき、リサイクル推進にご協力をお願いいたします。



8. 電波の強さ

CL620子機、WS600子機は、CL620親機、WS600親機からの電波状態を4段階で表します。

●電話をかける前に電波の強さを確認してください。

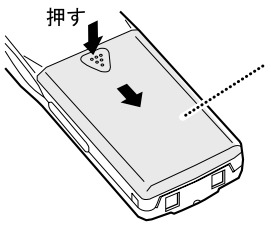


強	受信状態が良好です。
弱	電話がかかりにくくなったり、通話が切れることがあります。 （電波状態の良い場所へ移動してください）
圏外	電話をかけることも受けることもできません。 • 圏外に近づくと、警報音「ピーピーピー……」が鳴り、圏外ピクトが点滅します。圏外になると、圏外ピクトが点灯し、通話が切れます。

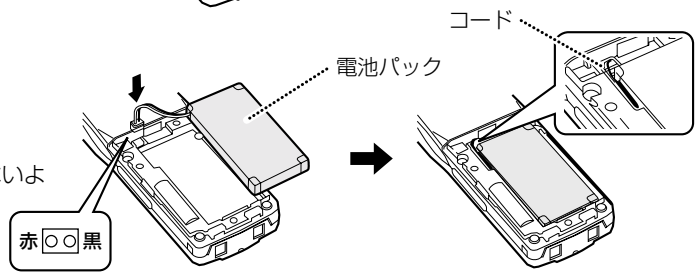
DC230電話機

1. 電池パックを取り付ける

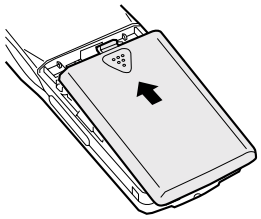
① 電池カバーを押しながら、スライドさせて電池カバーを取り外す。



② 電池パックを取り付ける。
- コードはしっかりと差し込み、挟まないように注意して収納してください。



③ 電池カバーを取り付ける。



MEMO

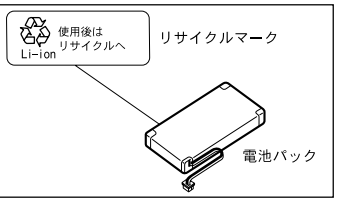
DC子機の電源が入ったままで電池パックを取り外すと、故障の原因となります。

電池パックの交換

電池パックの交換は、必ず電源を切ってから行ってください。電池パックは消耗品です。いっぱいに充電しても、続けて通話できる時間が極端に短くなった場合は新しい当社指定の電池パック（BP3742L-A）をお買い求めのうえ交換してください。
- 電池パックの購入方法については、お買い上げになった販売店などへお問い合わせください。

リサイクル推進へのお願い

電池パックはリサイクル可能な貴重な資源です。電池交換などで使用済みの電池を廃棄するときは、お買い上げになった販売店または、お近くのリチウムイオン電池リサイクル協力店へお持ちいただき、リサイクル推進に協力をお願いいたします。

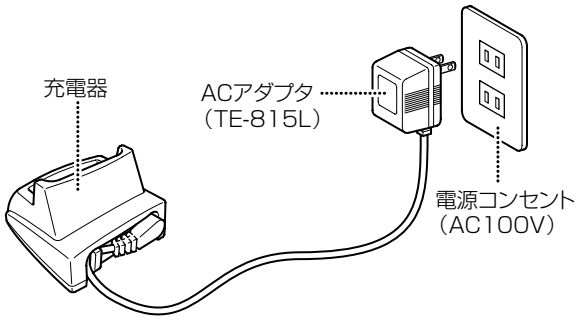


2. 充電する

ACアダプタの接続およびDC子機の充電は、次のようになります。

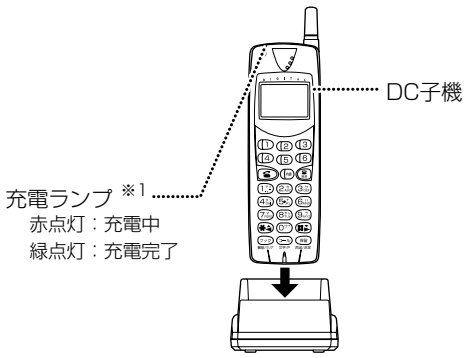
はじめてお使いになるときや、新しい電池パックに交換したときは、必ず3.5時間以上、充電してください。

① ACアダプタを充電器と電源コンセントに差し込む。



② 図のようにDC子機を充電器に置く。
- 充電を開始します。
- DC子機を充電器に置くとき、方向を間違えると充電できません。

※1 充電ランプが点灯しない場合は、再度DC子機を充電器に置き直してください。
それでも、充電ランプが点灯しない場合は、充電端子が汚れていないかを確認してください。

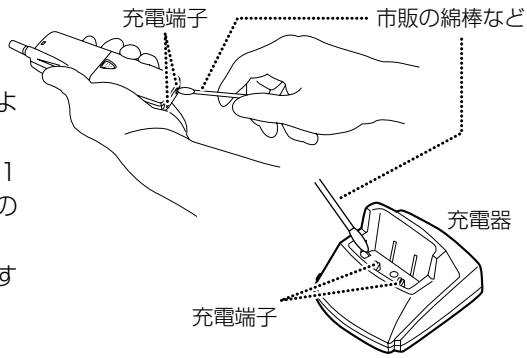


MEMO

- 充電中のＤＣ子機や充電器、およびACアダプタは温かくなりますが、異常ではありません。
- 満充電後の使用可能時間
  連続通話をする場合……約5時間、連続待ち受けの場合……約150時間 ※2
  ※2 通話をしないで電源が入った状態で、接続装置の電波だけを正常に受信できる平均的な時間です。それ以外は短い時間となります。
- 充電器は平らなところに置いてください。充電器が傾いていると充電できない場合があります。
- DC子機は、電源が「入」・「切」のどちらでも充電できます。

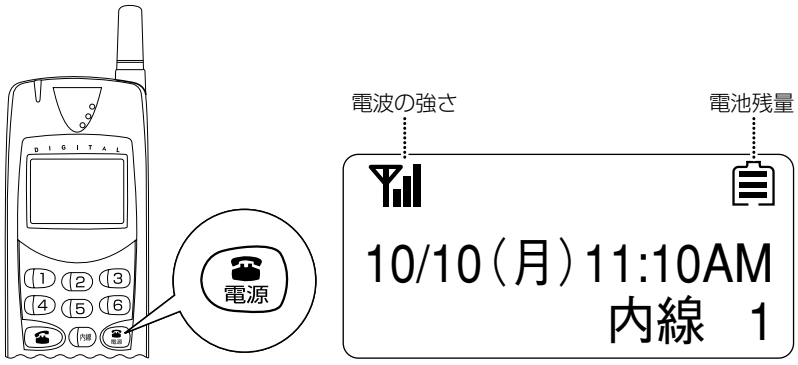
●充電端子のお手入れ

①DC子機と充電器の充電端子（金属の部分）は、いつもきれいに保つようにしてください。
②充電端子が汚れていると充電できなくなることがありますので、月に1回または汚れているときは、やわらかい布でからぶきするか、市販の綿棒などでふいてください。
- シンナー、ベンジンなどを使用すると表面を傷めたり、変色したりすることがありますので使用しないでください。



3. 電源を入れる

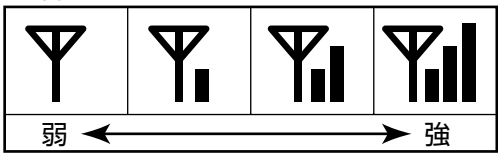
充電してから電源ボタンを長く押し続けると、電源が入り表示部が点灯します。



●電波の強さ

接続装置からの電波状態を4段階で表します。

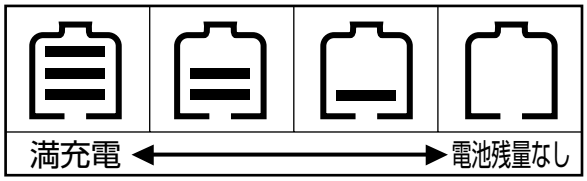
●電話をかける前に電波の強さを確認してください。



強	受信状態が良好です。
弱	電話がかかりにくくなったり、通話が切れることがあります。 （電波状態の良い場所へ移動してください）
圏外	電話をかけることも受けることもできません。 また、一時的に圏外となっている場合は、発信できることもあります。 • 圏外に近づくと、警報音「プップッ……（断続音）」が鳴り、圏外に出ると通話が切れます。

●電池残量

電池残量を4段階で表示しますので充電の目安としてお使いください。



…満充電です。 …電池残量なしの状態です。

•通話中に電池残量なしの状態になると、電池切れ警告音が「ピーッピーッ」と30秒ごとに鳴ります。

MEMO

- DC子機の内線番号や名前などの待機時表示を変更しても、その内容が更新されないときは、再度、発信捕捉したあとに切る操作をしてください。
  - ・他の電話機を使って変更したときも、対象となるDC子機で上記の操作をしてください。
- DC子機の時計データ（年月日、曜日、時分）は、システムから自動的にダウンロードされます。
  - ・他の電話機の時計表示とは一致しないことがあります。（誤差が生じます）
  - ・待機状態のカレンダー・時計表示形式は、他の電話機と異なります。
  - ・システムのカレンダー・時計設定をしたときや電池パックを取り外したときなどは、DC子機で発信を捕捉し、他の多機能電話機での時刻（分）表示が変わるのを待って切る操作をすると、時計データをすぐに更新することができます。
- DC子機は、電源が「入」・「切」のどちらでも充電できます。

●電源を切る

再度、電源ボタンを長く押し続けます。その場合、表示が消えます。

VoIPユニットの自動ファームアップ

VoIPユニットはIP電話サービス提供会社の仕様変更や更新要求などにより、自動的にファームアップを行うことがあります。

- この機能を利用するには、VoIPユニットが必要です。

1 最新ファーム受信中

```
VoIP  F/W受信中
 11月  5日(土)
 午前  9:00
```

- 最新ファームウェアをサーバーからダウンロード中です。

```
VoIP  F/W書き換え中
 11月  5日(土)
 午前  9:00
```

- ダウンロードしたファームを書き換え中です。

2 再起動中

```
IP電話回線はご利用できません 208※1
 11月  5日(土)
 午前  9:00
```

- ファームアップ書き換え終了後、自動的にVoIPユニットの再起動がかかります。

※1 208（表示例）は、サーバ登録中です。

```
VoIPユニット起動中
 11月  5日(土)
 午前  9:00
```

MEMO

- 自動ファームアップしているときは、約5分間IP電話での通話ができなくなります。（CL620子機、WS600電話機、DC230電話機は通常表示のままです）

主装置のプログラム自動更新

主装置は、機能変更などにより、自動的にプログラムを更新します。

- この機能を利用するには、主装置がインターネットに接続できる環境が必要となります。（ブロードバンドルータユニットが必要です）

主装置は、定期的にインターネットのサーバをチェックし、最新プログラムがある場合には自動的にダウンロードします。プログラムが更新される場合は、電話機などを使用していないときに、システムが自動的にリセットします。

MEMO

- 自動プログラム更新をしているときは、約2分間システムが使用できなくなります。

各種音量の調節

着信音量を調節する(着信音量調節)

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

外線着信の場合

1 (確定)を押す

- CL620子機の場合は、(切)を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから(確定)を押します。

2 (◆)を押し、[音関係]を選択し、(確定)を押す

3 (◆)を押し、[外線着信音量]を選択し、(確定)を押す

多機能電話機、CL620親機の場合は
- お買い上げ時は「レベル9」です。

CL620子機、WS600電話機の場合は
- お買い上げ時は「レベル2」です。

4 (◆)を押して音量を調節する

- 大きくする場合は(△)を押します。
- 小さくする場合は(▽)を押します。
- 調節範囲は以下のとおりとなります。

多機能電話機、CL620親機の場合は
- 調節範囲はレベル4(最小)～レベル16(最大)です。

CL620子機、WS600電話機の場合は
- 調節範囲はレベル1(最小)～レベル3(最大)です。

5 (確定)を押す

- 外線着信音量が設定され、手順3に戻ります。

MEMO
- 手順1～3はメニュー特番71として、電話機の(オート)に登録できます。(☞141ページ)

内線呼出の場合

1 「外線着信の場合」の手順1～2を行う

2 (◆)を押し、[内線着信音量]を選択し、(確定)を押す

3 「外線着信の場合」の手順4～5を行う

MEMO
- 手順1、2はメニュー特番72として、電話機の(オート)に登録できます。(☞141ページ)

ドアホン呼出の場合

1 「外線着信の場合」の手順1～2を行う

2 (◆)を押し、[ドアホン着信音量]を選択し、(確定)を押す

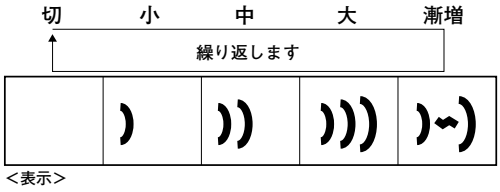
3 「外線着信の場合」の手順4～5を行う

MEMO
- 手順1、2はメニュー特番73として、電話機の(オート)に登録できます。(☞141ページ)

着信音量を調節する（着信音量調節）

DC230電話機

未使用時に音量ボタンを押すと、外線着信音、内線呼出音、ドアホン呼出音を「切・小・中・大・漸増」の5段階で調節できます。
- お買い上げ時は「小」です。



MEMO

- ドアホン呼出音以外の着信音は、その鳴動中に (電源) を押すと、着信音が停止します。
- 着信音量を「切」に設定すると、工事設定に関係なく着信音は鳴動しません。夜間モードのとき工事設定により、着信音が鳴動しないことがあります。夜間モード設定状態は、夜間モード切替（☞159ページ）で確認できます。
- 外線着信、内線呼出、ドアホン呼出などの着信後に、「着信あり」の表示が残ることがありますが、(電源) を押すと「カレンダー·時計」表示に戻ります。

外線着信音を停止する（外線着信鳴動拒否）

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

セット／解除のしかた

1 (確定) を押す

- CL620子機の場合は、(切) を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから (確定) を押します。

2 ◇を押してメニューから[その他]を選択し、(確定) を押す

3 ◇を押して[電話機]を選択し、(確定) を押す

4 ◇を押して[外線着信鳴動拒否設定]を選択し、(確定) を押す

- CL620子機、WS600電話機の場合は、「子機サイレント設定」を選択します。

5 ◇を押してON/OFFを選択します

- お買い上げ時は「OFF」です。

6 (確定) を押す

- 外線着信鳴動拒否が設定され、「カレンダー·時計」表示に戻ります。

「ON」場合は
- 着信音が停止します。
  → (機 能) ランプ：赤点滅
- CL620子機、WS600電話機の場合は、表示部の右下に「S」を表示します。

「OFF」の場合は
- 着信音が鳴動します。
  → (機 能) ランプ：消灯

MEMO

- 外線着信鳴動拒否セット時、サブアドレスなどの個別着信、内線呼出、ドアホン呼出音は鳴動します。
- 手順1～4はメニュー特番921として、電話機の (オート) に登録できます。（☞141ページ）
  CL620子機、WS600電話機の場合は、手順1～4をメニュー特番92#として、電話機の (オート) に登録できます。（☞141ページ）
  登録後は、(オート) を押すたびに「セット」→「解除」を繰り返します。
- 付属のステッカ「着信鳴動拒否」（多機能電話機、CL620親機）、「サイレント」（CL620子機、WS600子機）シールを貼ると便利です。

受話音量を調節する(受話音量調節)

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

1 確定を押す

●CL620子機の場合は、切 を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから 確定 を押します。

2 ◯を押し、[音関係]を選択し、確定を押す

3 ◯を押し、[受話音量]を選択し、確定を押す

多機能電話機の場合は
●お買い上げ時は「レベル9」です。
CL620親機、CL620子機、WS600電話機の場合は
●お買い上げ時は「レベル2」です。

4 ◯を押して音量を調節する

●大きくする場合は ◯ を押します。
●小さくする場合は ◯ を押します。
●調節範囲は以下のとおりとなります。

多機能電話機の場合は
●調節範囲はレベル3(最小)～レベル16(最大)です。
CL620親機、CL620子機、WS600電話機の場合は
●調節範囲はレベル1(最小)～レベル3(最大)です。

5 確定を押す

●受話音量が設定され、手順3に戻ります。

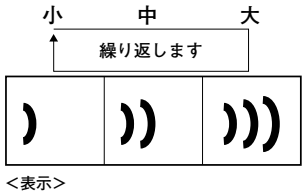
MEMO

●手順1～3はメニュー特番74として、電話機の オート 登録できます。(☞141ページ)
●通話中に ◯ を押すことでよって、受話音量を調節することもできます。

受話音量を調節する(受話音量調節)

DC230電話機

外線通話、内線通話、ドアホン通話などの通話中に音量ボタンを押すことにより、DC230電話機から聞こえる相手の音声の大きさを「小・中・大」の3段階で調節できます。
●お買い上げ時は「中」です。



<表示>

スピーカ受話音量を調節する(スピーカ受話音量調節)

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

1 確定を押す

- CL620子機の場合は、切 を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから 確定 を押します。

2 ◯を押し、[音関係]を選択し、確定 を押す

3 ◯を押し、[スピーカ受話音量]を選択し、確定 を押す

多機能電話機、CL620親機の場合は
- お買い上げ時は「レベル5」です。

CL620子機、WS600電話機の場合は
- お買い上げ時は「レベル2」です。

4 ◯を押して音量を調節する

- 大きくする場合は ◯ を押します。
- 小さくする場合は ◯ を押します。
- 調節範囲は以下のとおりとなります。

多機能電話機、CL620親機の場合は
- 調節範囲はレベル1(最小)～レベル8(最大)です。

CL620子機、WS600電話機の場合は
- 調節範囲はレベル1(最小)～レベル3(最大)です。

5 確定を押す

- スピーカ受話音量が設定され、手順3に戻ります。

MEMO

- 手順1～3はメニュー特番75として、電話機の オート に登録できます。(☞141ページ)
- スピーカ受話中に ◯ を押すことでよって、スピーカ受話音量を調節することもできます。

話中着信音量を調節する(話中着信音量調節)

多機能電話機、CL620子機、WS600電話機

1 確定を押す

- CL620子機の場合は、切 を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから 確定 を押します。

2 ◯を押し、[音関係]を選択し、確定 を押す

3 ◯を押し、[話中着信音量]を選択し、確定 を押す

多機能電話機の場合は
- お買い上げ時は「レベル3」です。

CL620子機、WS600電話機の場合は
- [話中着信音設定]を選択します。
- お買い上げ時は「ON」です。

4 ◯ を押して音量を調節する

多機能電話機の場合は
- 調節範囲はレベル1(最小)～レベル8(最大)です。
- 大きくする場合は ◯ を押します。
- 小さくする場合は ◯ を押します。
- 話中着信音量を確認したい場合、 すると
- すると、話中着信音量を停止します。

CL620子機、WS600電話機の場合は
- 調節範囲はON(セット)またはOFF(解除)です。

5 確定を押す

- 話中着信音量が設定され、手順3に戻ります。
- CL620子機、WS600電話機の場合は、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

MEMO

- 着信音量(☞26ページ)より大きくなりません。
  話中着信音を大きくしたい場合は着信音量を大きくしてください。
- 手順1～3はメニュー特番76として、電話機の オート に登録できます。(☞141ページ)
  CL620子機、WS600電話機の場合は、オート を押すたびに「セット」→「解除」を繰り返します。

ボタン押し下げ音を停止する(キー押下音)

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

セット／解除のしかた

1 確定 を押す

- CL620子機の場合は、 切 を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから 確定 を押します。

2 を押し、[音関係]を選択し、確定 を押す

3 を押し、[ボタン押下音設定]を選択し、確定 を押す

- お買い上げ時は「ON」です。

4 を押して「ON」か「OFF」を選択し、確定 を押す

- 「ON」を選択するとボタン押下音がセットされ「設定しました」の表示後、「カレンダー・時計」表示に戻ります。
- 「OFF」を選択するとボタン押下音が解除され「解除しました」の表示後、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

MEMO

- 手順1～3はメニュー特番78として、電話機の オート に登録できます。(☞141ページ)
  登録後、オート を押すたびに「セット」→「解除」を繰り返します。
- キー押下音を止めた状態で停電から復旧すると、お買い上げ時の設定「ON」に戻ります。

ボタン押し下げ音を停止する(キー押下音)

DC230電話機

セット／解除のしかた

1 フック 機能/クリア を押す

2 6 ハ MNO を押す

3 1 アア を押す

- お買い上げ時は「ON」です。

4 ＊ （または ＃ ）を押す

- ＊ または ＃ を押して、「ON」「OFF」の設定を切り替えます。

5 保留 再送/決定 を押す

外線ボタンに各種機能のボタンを割り付ける

外線ボタンに各種機能のボタンを割り付ける

CL620子機、WS600電話機

CL620子機、WS600電話機の未使用 外線 に 外線/オート 、会議 、機能 、内線 を割り付けると、各種機能の設定・変更などがCL620子機、WS600電話機からも操作できるようになります。

- お買い上げ時は「外線ボタン」です。

登録のしかた

1 確定 を押す

- CL620子機の場合は、 切 を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから 確定 を押します。

2 ◆ を押し、[その他]を選択し、確定 を押す

3 ◆ を押し、[キー登録]を選択し、確定 を押す

4 ◆ を押して外線 1 ～ 8 を選択し、確定 を押す

5 ◆ を押して割り付けたい機能を選択し、確定 を押す

- 「会議」「機能」「内線」を割り付ける場合は ◆ でカーソルを上下移動させます。
- 外線／オートを選択し、確定 を押した場合は手順 6 の操作を実施します。「会議」「機能」「内線」を割り付けた場合は「設定しました」の表示後、手順 4 に戻ります。

6 オート番号を入力します

- ダイヤルボタンを使用して登録したいオート番号（01～30）を入力します。
- 必ず 2 桁入力してください。
- オート番号の 2 桁が入力されると「キー登録」が登録され、手順 4 に戻ります。

MEMO

- 手順 1 ～ 3 はメニュー特番9#として、電話機の ○外 線 に登録できます。（☞１４１ページ）
- 登録済みのボタンを別の ○オート に割り付けると、登録したボタンと登録する前のボタンが入れ替わります。
- 付属のステッカ「会議」「機能」シールを貼ると便利です。

確認のしかた

「登録のしかた」の手順 1 ～ 4 を行います

外線ボタンに各種機能のボタンを割り付ける

DC230電話機

DC230電話機の未使用 (外線) に (会議)、(機能(F))、(オート)、(短縮) などを以下方法で割り付けると、各種機能の設定・変更などがDC230電話機からも操作できるようになります。

●お買い上げ時は「外線ボタン」です。

登録のしかた

1 (内線) (#) を押す

2 外線（(1)～(6)）のいずれかを押す

3 (#)（または (*)）で割り付けるボタンを選択する

● (#) を押すたびにボタン表示が順番に切り替わります。
（(*) は逆順に切り替わります）

外線番号((1)～(6))　例:外線6

「外線6」表示	外線ボタンになります。
⇕ (*) (#)	
「発信」表示	発信ボタンになります。
⇕	
「応答」表示	応答ボタンになります。
⇕	
「会議」表示	会議ボタンになります。
⇕	
「機能(F)」表示	機能（F）ボタンになります。
⇕	
「短縮」表示	短縮ボタンになります。
⇕	
「オート6」表示	オートボタン
⇕	（「6」はオートダイヤル番号を示します）
「Fオート13」表示	Fオート13ボタンになります。
⇕	
「Fオート14」表示	Fオート14ボタンになります。

4 (☎) を押す

●割り付け完了です。

5 割り付けを終える時は (電源) を押す

●続けて他の外線に割り付ける時は (電源) を押さずに手順2から操作します。

確認のしかた

1 「登録のしかた」の手順1～2を行います

2 (電源) を押す

メニューの説明

メニューの説明

多機能電話機、CL620親機

メインメニューから◇で選択して確定を押すか、またはメニュー画面の左端の番号を押すことにより各種機能を選択できます。

メインメニューの概要

1 確定を押す

1履歴（発信／着信）
- 1発信履歴（☞４７ページ）
- 2システム着信履歴（☞５０ページ）
- 3個別着信履歴（☞５０ページ）

2電話帳
- 1新規登録（☞５８ページ）
- 2一覧表示（☞４６ページ）
- 3カナ検索（☞４３ページ）
- 4グループ検索（☞４５ページ）
- 5個別カナ検索（☞４３ページ）

3内線一覧
- 内線番号､名前を表示（☞１２２ページ）
- 内線番号へ発信（☞１２３ページ）

2 ◯を押す

4外線転送関係
- 1外線自動転送モード（☞８３ページ）
- 2外線自動転送先電話番号（☞８２ページ）
- 3外線転送タイマ連動（☞１４７ページ）
- 4外線転送リモコン用暗証番号（☞８８ページ）

5留守番関係
- 1各種メッセージの設定（☞９８ページ）
- 2留守番自動応答時間（☞１００ページ）
- 3用件の一括消去（☞１１１ページ）
- 4留守番サイレント設定（☞１０１ページ）
- 5追っかけ転送先電話番号（☞１０３ページ）
- 6留守番タイマ連動（☞１４９ページ）
- 7留守番リモコン用暗証番号（☞１１２ページ）

6オートダイヤル
- オートダイヤルの登録、確認（☞１３９ページ）

3 ◯を押す

7音関係
- 1外線着信音量（☞２６ページ）
- 2内線着信音量（☞２６ページ）
- 3ドアホン着信音量（☞２６ページ）
- 4受話音量（☞２８ページ）
- 5スピーカ受話音量（☞２９ページ）
- 6話中着信音量（☞２９ページ）
- 7メロディ設定（☞７８ページ）
- 8ボタン押下音設定（☞３０ページ）
- 9メロディダウンロード（☞１７０ページ）

8コンテンツ表示
- 1一覧表示（☞１７５ページ）
- 2スクロール設定（☞１７５ページ）
- 3手動更新（☞１７５ページ）

9その他
- 1システム
- 2電話機
- 3通話料金集計（☞１６３ページ）
- 4ネットワーク（☞２０５ページ）
- 5ユーザー登録（☞３ページ）
- 6セーフティ関係※1
- 7リモートコールバック（☞１６６ページ）

※１：取扱説明書～セーフティー機能編を参照してください。

メニューの説明

CL620子機、WS600電話機

メインメニューから◇で選択して確定を押すことにより各種機能を選択できます。

メインメニューの概要

1 確定を押す

●CL620子機の場合は、切を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから確定を押します。

履歴（発信／着信）
- 発信履歴（☞47ページ）
- システム着信履歴（☞50ページ）
- 個別着信履歴（☞50ページ）

電話帳
- 新規登録（☞58ページ）
- 一覧表示（☞46ページ）
- カナ検索（☞43ページ）
- グループ検索（☞45ページ）
- 個別カナ検索（☞43ページ）

2 ◇を押す

内線一覧
- 内線番号、名前を表示（☞122ページ）
- 内線番号へ発信（☞123ページ）

外線転送関係
- 外線自動転送モード（☞83ページ）

3 ◇を押す

オートダイヤル
- オートダイヤルの登録、確認（☞139ページ）

音関係
- 外線着信音量（☞26ページ）
- 内線着信音量（☞26ページ）
- ドアホン着信音量（☞26ページ）
- 受話音量（☞28ページ）
- スピーカ受話音量（☞29ページ）
- 話中着信音設定（☞29ページ）
- ボタン押下音設定（☞30ページ）

4 ◇を押す

その他
- システム
  - 手動夜間設定（☞158ページ）
- 電話機
  - 子機サイレント設定（☞27ページ）
  - 不在設定（☞130ページ）
  - ハンズフリー応答設定（☞155ページ）
  - コントラスト調整（☞35ページ）
  - 自己内線情報の確認（☞157ページ）
  - ＬＣＤバックライト設定（☞38ページ）
- キー登録（☞31ページ）

メニューの説明

DC230電話機

メインメニューから#▽*△で選択して保留（再送/決定）を押すことにより、各種機能を選択できます。

メインメニューの概要

1 内線 保留（再送/決定）を押す

履歴（発信／着信）
- 発信履歴（☞47ページ）
- システム着信履歴（☞50ページ）
- 個別着信履歴（☞50ページ）

2 #▽を押す

電話帳
- 新規登録
- 一覧表示（☞46ページ）
- カナ検索（☞44ページ）
- グループ検索（☞45ページ）
- 個別カナ検索（☞44ページ）

3 #▽を押す

内線一覧
- 内線番号、名前を表示（☞123ページ）
- 内線番号へ発信（☞123ページ）

4 #▽を押す

外線転送関係
- 外線自動転送モード（☞84ページ）

5 #▽を押す

オートダイヤル
- オートダイヤルの登録、確認（☞142ページ）

6 #▽を押す

その他
- システム
  - 手動夜間設定（☞159ページ）
- 電話機
  - 不在設定（☞131ページ）
  - 自己内線情報確認（☞157ページ）

コントラスト調整

コントラスト調整

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

1 確定を押す

- CL620子機の場合は、切を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから確定を押します。

2 ◯を押し、[その他]を選択し、確定を押す

3 ◯を押し、[電話機]を選択し、確定を押す

4 ◯を押し、[コントラスト調整]を選択し、確定を押す

多機能電話機、CL620親機の場合は
- お買い上げ時はレベル4です。

CL620子機、WS600電話機の場合は
- お買い上げ時はレベル5です。

5 ◯を押してコントラストを調整する

- 濃くする場合は ◯ を押します。
- 薄くする場合は ◯ を押します。
- 調整範囲はレベル1(薄い)～レベル8(濃い)です。

6 確定を押す

- コントラスト調整値が設定され、手順4の表示に戻ります。

MEMO

- 手順1～4はメニュー特番924として、電話機の オート に登録できます。（☞141ページ）

コントラスト調整

DC230電話機

1 フック 機能/クリア 8 ヤ TUV 2 カ ABC を押す

LCDコントラスト
淡■■■□□濃

2 ＊（または ＃）を押す

- ＃ または ＊ を押して濃淡（5段階）の調節をします。

3 保留 再送/決定 を押す

カレンダー・時計の設定

カレンダー・時計の設定

多機能電話機、CL620親機

カレンダーの設定

1 確定を押す

2 ◯を押し、[その他]を選択し、確定を押す

3 ◯を押し、[システム]を選択し、確定を押す

4 ◯を押し、[カレンダー／時計設定]を選択し、確定を押す

5 ◯を押し、[カレンダー]を選択し、確定を押す

6 年／月／日を入力する

- 0 0～9 9のいずれかで西暦の下2桁を入力します。
- 0 1～1 2のいずれかで月を入力します。
- 0 1～3 1のいずれかで日を入力します。
- 年、月、日を入力すると自動的に曜日が表示されます。

7 確定を押す

- カレンダーが更新され、手順5の表示に戻ります。

MEMO

- 手順1～5はメニュー特番９１６１として、電話機の〇オートに登録できます。（☞１４１ページ）

時計の設定

1 確定を押す

2 ◯を押し、[その他]を選択し、確定を押す

3 ◯を押し、[システム]を選択し、確定を押す

4 ◯を押し、[カレンダー／時計設定]を選択し、確定を押す

5 ◯を押し、[時刻]を選択し、確定を押す

6 時間を入力します。

- 時刻は２４時間制で入力してください。

7 確定を押す

- 時計が更新され、手順5の表示に戻ります。

MEMO

- 手順1～5はメニュー特番９１６２として、電話機の〇オートに登録できます。（☞１４１ページ）

待機状態でのカレンダー・時計表示

1 確定を押す

2 ◯を押し、[その他]を選択し、確定を押す

3 ◯を押し、[システム]を選択し、確定を押す

4 ◯を押し、[表示設定]を選択し、確定を押す

5 ◯を押し、[待機表示]を選択し、確定を押す

- お買い上げ時は「横倍」です

6 ◯を押して文字サイズを選択する

- 横倍（カレンダー・時計表示が２行）
- 縦倍（カレンダー・時計表示が１行）
- 標準（カレンダー・時計表示が１行）

7 確定を押す

- 文字サイズが設定され、手順５の表示に戻ります。

MEMO

- 手順１～５はメニュー特番９１５５として、電話機の〇オートに登録できます。（☞１４１ページ）
  登録後、〇オートを押すたびに「横倍」→「縦倍」→「標準」を繰り返します。
- コンテンツ表示を利用しているときは、「標準」となります。

待機状態での時刻表示

1 確定を押す

2 ◯を押し、[その他]を選択し、確定を押す

3 ◯を押し、[システム]を選択し、確定を押す

4 ◯を押し、[表示設定]を選択し、確定を押す

5 ◯を押し、[時刻表示]を選択し、確定を押す

- お買い上げ時は「１２時間」制です

6 ◯を押して時刻表示を選択する

- １２時間制（午前12:00～午後11:59）
- ２４時間制（00:00～23:59）

7 確定を押す

- 時刻表示が設定され、手順５の表示に戻ります。

MEMO

- 手順１～５はメニュー特番９１５６として、電話機の〇オートに登録できます。（☞１４１ページ）
  登録後、〇オートを押すたびに「１２時間」制→「２４時間」制を繰り返します。

バックライトの設定

バックライトの設定

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

多機能電話機、CL620親機の場合は

- 表示部のバックライトは、３つの状態に変更できます。

バックライトの状態	内容
都度点灯	電話をかけたり、受けたりするときなどに一時的に点灯します。（待機中は消灯）
常時点灯	使用中または待機中、常に点灯状態です。
常時消灯	使用中または待機中、常に消灯状態です。

CL620子機、WS600電話機は

バックライトの状態	内容
ON（都度点灯）	電話をかけたり、受けたりするときなどに一時的に点灯します。（待機中は消灯）
OFF（常時消灯）	使用中または待機中、常に点灯状態です。

1 確定を押す

- CL620子機の場合は、切 を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから 確定 を押します。

2 ◯を押し、[その他]を選択し、確定を押す

3 ◯を押し、[電話機]を選択し、確定を押す

4 ◯を押し、[ＬＣＤバックライト設定]を選択し、確定を押す

- お買い上げ時は以下のとおりとなります。

多機能電話機、CL620親機の場合は

- 都度点灯です。

CL620子機、WS600電話機の場合は

- ＯＮです。

5 ◯を押してバックライトの点灯の設定を選択する

- 設定の選択は以下のとおりとなります。

多機能電話機、CL620親機の場合は

- 都度点灯、常時点灯、常時消灯より選択します。

CL620子機、WS600電話機の場合は

- ＯＮ／ＯＦＦより選択します。

6 確定を押す

- LCDバッライト設定が設定され、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

MEMO

- 手順１～４はメニュー特番９２７として、電話機の オート に登録できます。（☞１４１ページ）
  登録後、オート を押すたびに「都度点灯」→「常時点灯」→「常時消灯」を繰り返します。(CL620子機、WS600電話機の場合は「ON」→「OFF」を繰り返します)

CL620電話機の独自機能

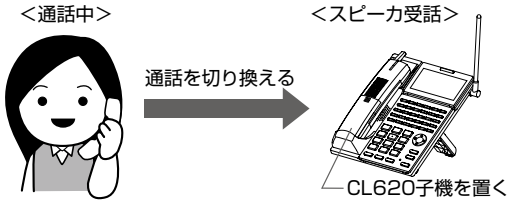
CL620子機からCL620親機へ通話を切り換える

CL620親機、CL620子機

CL620子機が通話中またはスピーカ受話中のとき、CL620親機へ通話を切り替えることができます。

- スピーカ受話とは、通話相手の声をスピーカから聞くだけで、こちらの声は相手に流れません。
  ただし、CL620親機は外線ハンズフリーセットのとき、こちらの声が相手に流れます。

CL620子機で通話中の場合



1 外線または内線通話中

- CL620子機が通話中です。
  →〇外　線 ランプ：緑点灯（外線通話中の場合）

2 〇スピーカ を押す

- CL620親機の 〇スピーカ を押します。
  → 〇スピーカ ランプ：赤点灯

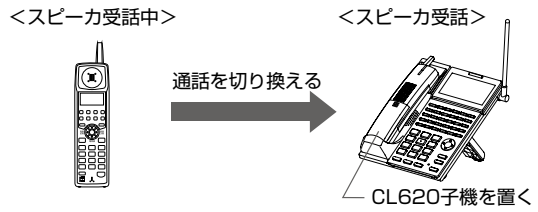
3

- CL620子機をCL620親機に置きます。

4 スピーカ受話になる

- CL620親機のスピーカから相手の声が聞こえます。

CL620子機がスピーカ受話中の場合



1 スピーカ受話中

- CL620子機がスピーカ受話中です。

2

- CL620子機をCL620親機に置きます。

3 〇スピーカ を押す

- CL620親機の 〇スピーカ を押します。
  → 〇スピーカ ランプ：赤点灯

4 スピーカ受話になる

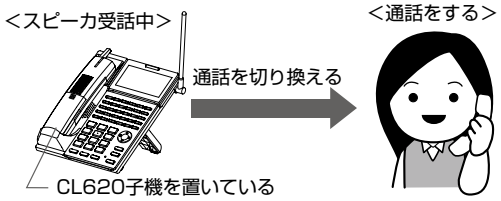
- CL620親機のスピーカから相手の声が聞こえます。
- CL620子機はスピーカ受話が止まります。

CL620親機からCL620子機へ通話を切り換える

CL620親機、CL620子機

CL620親機がスピーカ受話中のとき、CL620子機へ通話を切り換えることができます。

CL620子機を置いている場合



1 スピーカ受話中

- CL620親機がスピーカ受話中です。
  → 〇スピーカ ランプ：赤点灯

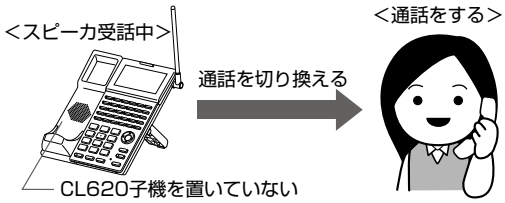
2

- CL620子機をCL620親機から上げます。
  → 〇スピーカ ランプ：消灯

3 通話をする

- CL620子機と相手とが通話します。

CL620子機を置いていない場合



1 スピーカ受話中

- CL620親機がスピーカ受話中です。
  → 〇スピーカ ランプ：赤点灯

2 通話 を押す

- CL620子機の 通話 を押します。
  → 〇スピーカ ランプ：消灯

3 通話をする

- CL620子機と相手とが通話します。

電話をかける（外線発信）

電話かける方法は以下の方法があります。

・プリセットダイヤル（電話番号を押してから電話をかける）
・自動選局発信（未使用外線を自動的につかむ）
・オンフックダイヤル（受話器を置いたまま電話をかける）
・オフフックダイヤル（受話器を上げて電話をかける）
・オフフック発信（受話器を上げるだけで電話をかける）
・短縮番号検索発信
・電話帳カナ検索発信
・電話帳グループ検索発信
・電話帳一覧からの発信
・発信履歴からの発信
・リダイヤル
・オートリピートダイヤル
・着信履歴からの発信

電話を終えた時の操作

- 多機能電話機、CL620親機の場合は、受話器を置きます。パーソナルハンズフリー、外線ハンズフリー機能を使用している場合は（スピーカ）を押します。
- CL620子機、WS600電話機の場合は、⏍または、［切］を押します。
- DC230電話機の場合は、（☎電源）を押します。

電話番号の入力間違いの訂正

- プリセットダイヤルのみです。
- 電話番号を途中で間違えたときは、（フラッシュ）を押すたびに最後の番号から1つづつ消去されます。
- （フラッシュ）を長押しすると、入力したすべての番号が消去されます。

短縮番号検索発信、電話帳カナ検索発信、電話帳グループ検索発信、電話帳一覧からの発信、発信履歴発信、着信履歴発信の発信方法について

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機の場合は ◈ にて以下から選択し、（確定）を押します。
DC230電話機の場合は（#）（または（*））にて選択し、（保留 再送/決定）を押します。

- 発信：「発信」を選択すると、「通知発信」または「非通知発信」となります。（お買い上げ時は「通知発信」です。変更する場合は工事設定が必要です）
- 184発信：184を付与して発信します。
- 186発信：186を付与して発信します。

発信電話番号の通知／非通知

手順A

- 相手先電話番号の前に１８４(非通知)／１８６(通知)を押す。

発信者番号を通知したくない場合

- [1][8][4]を押してから発信相手先の電話番号を押します。

発信者番号を通知したい場合

- [1][8][6]を押してから発信相手先の電話番号を押します。

手順B

- 外線捕捉後、（フラッシュ）を押すことで非通知／通知を選択する。(DC230電話機の場合は（フラッシュ）の代わりに（フック 機能/クリア）を押します)
- デジタル回線またはIP電話回線のときは、（発　信）または（外　線）を押した後に（フラッシュ）を押すたびに発信者番号の「通知」→「非通知」を繰り返します。
- アナログ回線のときは、発信電話番号の通知状態の契約により次のとおりとなります。(変更する場合は、工事設定が必要です)

・通常通知の場合、外線を捕捉したあとに（フラッシュ）を押すたびに「非通知」→「契約」を繰り返します。
・通常非通知の場合、外線を捕捉したあとに（フラッシュ）を押すたびに「通知」→「契約」を繰り返します。

プリセットダイヤル

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

1 電話番号を押す

- CL620子機の場合は、[切] を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから (確定) を押します。
- プリセットダイヤルの電話番号を押す間隔は１０秒以内に行ってください。１０秒以上あけると、入力したすべての番号が消えます。また、プリセットダイヤル時はポーズを入れることはできません。

2 [発　信]（または[外　線]）を押す

- CL620子機、WS600電話機は [通話] を押し、DC230電話機は [☎] を押します。
  → [外　線] ランプ：緑点灯
  → [スピーカ] ランプ：赤点灯

3

受話器をあげて通話する

- CL620子機、DC230電話機の場合は受話器を上げる必要はありません。
  → [スピーカ] ランプ：消灯

オフフックダイヤル

多機能電話機、CL620親機

1

- 内線発信音「プップップッ・・・」が聞こえます。

2 「自動選局発信」の手順 1～2 を行います

ダイヤルボタンで入力します

- 電話番号が１７桁以上になると、下１６桁を表示します。
- デジタル回線、IP電話回線の場合は [#] を押すとすぐに電話がかかります。

自動選局発信（オンフックダイヤル）

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

1 [発　信] を押す

- CL620子機の場合は、[切] を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから [通話] を押します。
- WS600電話機は [通話] を押し、DC230電話機は [☎] を押します。
- [発　信] ボタンの代わりに [外　線] を押すことも出来ます。（オンフックダイヤル）
- [スピーカ]（または）[ラ 0] を押すと未使用のNTT外線やIP電話回線などの自動選局状態となります。また、[スピーカ]（または）[ラ 9] [ヤ 8] [ラ 9] を押すとIP電話回線を優先的に捕捉します。
- DC230電話機の場合は、[スピーカ] の代わりに (内線) を押します。
- 外線発信音「ツー」が聞こえます。

2 電話番号を押す

- 外線捕捉後、電話番号を押す間隔は 5 秒以内にしてください。 5 秒以上になると相手につながらないことがあります。（デジタル回線）
- 構内交換機（PBX）に接続している場合の外線発信は、相手の電話番号の前にPBXへアクセスする番号を押します。

3

- CL620子機、DC230電話機の場合は受話器を上げる必要はありません。

オフフック発信

多機能電話機、CL620親機

1 電話番号を押す

2

●未使用の外線を選択して発信します。
→未使用〔外線〕ランプ：緑点灯

MEMO

- 本機能を利用する場合には、工事設定が必要です
- 電話機の〔外線〕が赤点灯の場合は、他の電話機がその外線を使用しています。使用中の〔外線〕を押すと話中音「プープープー・・・」が鳴り、使用中の内線番号が表示されます。
- 外線自動選局を行うとき、お買い上げ時は老番の外線番号を選びます。工事設定により、若番の未使用外線から選ぶように変更する事ができます。
- 相手が応答すると通話時間が表示されます。（DC230電話機は表示されません）
- 構内交換機（PBX）やアダプタ等に接続してあると、通話時間が表示されない場合があります。
- 通話時間は目安としてご利用下さい。
- 電話帳登録済みの電話番号であれば登録名（会社名など）を表示します。

短縮番号検索発信

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

1 〔短縮〕を押す

●CL620子機の場合は、〔切〕を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから〔短縮〕を押します。

2 短縮番号を入力する

短縮番号をダイヤルボタンで4桁(0000～3999)入力すると登録内容の＜詳細画面＞が表示されます。

- ◯ にて登録されている詳細内容を確認できます。
- DC230電話機の場合は、詳細画面にて〔新着〕を押すと登録されている詳細内容を確認できます。電話番号や名前が表示桁数以上の場合は、〔会議〕を押すと続きが表示されます。

3 ◯ を押して発信したい短縮番号を選択する

●DC230電話機の場合は〔#ピ〕（または〔*ミ〕）を押して発信したい短縮番号を選択します。

4 〔確定〕を押す

●DC230電話機の場合は〔保留 再送/決定〕を押します。

5 短縮番号検索発信での発信方法にて発信します（☞40ページ）

MEMO

- 手順4で〔発信〕を押すと未使用の〔外線〕を捕捉し、選択された短縮番号へ発信します。
- 手順4で未使用〔外線〕を押すと選択された短縮番号へ発信します。
- DC230電話機の場合は、〔新着〕は特殊番号17として、電話機の〔オート〕に登録します。（☞143ページ）
  また、未使用〔外線〕に〔会議〕と〔短縮〕を登録します。（☞32ページ）

電話帳カナ検索発信

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

かけかた（カナ検索）

1 確定 を押す

- CL620子機の場合は、切 を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから 確定 を押します。

2 ◇ を押して[電話帳]を選択し、確定 を押す

3 ◇ を押して[カナ検索]を選択し、確定 を押す

4 カナ入力後、確定（または ◇）を押す

- カナ入力は、ダイヤルボタンから入力します。（文字数は半角で最大5文字）
- 文字入力モードは 短 縮 でモード変更をします。
- 入力できる文字は文字入力一覧（☞224ページ）をご覧ください。

5 ◇ を押して発信相手を選択する

- ◇ を押して、短縮番号4桁（0000～3999）のいずれかを選択します。
- 候補がない場合は、登録されている名前の優先順位の1つ後の名前を表示します。
- 短 縮 を押すと詳細画面が表示されます。再度、短 縮 を押すと元の表示に戻ります。
- 詳細画面にて ◇ を押すと、登録されている詳細内容を確認出来ます。

6 確定 を押す

7 電話帳カナ検索発信の発信方法にて発信します（☞40ページ）

MEMO

- 手順6で未使用 ○外 線 を押すと選択された短縮番号へ発信します。
- 手順6で 発 信 を押すと未使用の外線を捕捉し、選択された短縮番号へ発信します。
- 電話帳検索で、文字の表示優先順位は次のとおりです。
  「－（バー）」→「゛（濁点）」→「゜（半濁点）」→「ア」→「ァ」→「イ」→「ィ」→（中略）→「ヲ」→「ン」→「A」→「a」→「B」→「b」→（中略）→「Z」→「z」→「0」→「1」→「2」→（中略）→「9」→「!」→「"」→「#」→「$」→「%」→「&」→「'」→「(」→「)」→「*」→「+」→「,」→「－（マイナス）」→「.」→「／」→「:」→「;」→「<」→「=」→「>」→「?」→「@」→「[」→「¥」→「]」→「^」→「_」→「`」→「{」→「|」→「}」→「￣」→「。」→「「」→「」」→「、」→「・」→「　（スペース）」
- 手順1～3はメニュー特番23として電話機の ○オート に登録できます。（☞141ページ）

かけかた（個別カナ検索）

1 「かけかた（カナ検索）」の手順1～2の操作をします

2 ◇ を押して[個別カナ検索]を選択し、確定 を押す

3 「かけかた（カナ検索）」の手順4～7の操作をします

MEMO

- 電話帳検索で、文字の表示優先順位は上記の「メモ」をご覧ください。
- 手順1～2はメニュー特番25として電話機の ○オート に登録できます。（☞141ページ）
- 付属のステッカ「個別カナ検索」シールを貼ると便利です。（多機能電話機、CL620親機のみ）

電話帳カナ検索発信

DC230電話機

かけかた（カナ検索）

1 内線 、保留（再送/決定） を押す

2 #▷（または *◁）を押して[電話帳]を選択し、保留（再送/決定） を押す

3 #▷ （または *◁ ）を押して[カナ検索]を選択し、保留（再送/決定） を押す

4 カナを入力し、保留（再送/決定） を押す

- カナ入力は、ダイヤルボタンから入力します。（文字数は半角で最大５文字）
- 文字入力モードは 短縮 でモード変更をします。
- 入力できる文字は文字入力一覧（☞２２４ページ）をご覧ください。

5 #▷（または *◁ ）を押して発信相手を選択する

- #▷（または *◁ ）を押して、短縮番号４桁（００００～３９９９）のいずれかを選択します。
- 候補がない場合は、登録されている名前の優先順位の１つ後の名前を表示します。
- 短縮 を押すと詳細画面が表示されます。再度、短縮 を押すと元の一覧表示に戻ります。
- 詳細画面にて 表示/消 を押すと登録されている詳細内容を確認できます。電話番号や名前が表示桁数以上の場合は、会議 を押すと続きが表示されます。

6 保留（再送/決定） を押す

7 電話帳カナ検索発信の発信方法にて発信します（☞４０ページ）

MEMO

- 手順６で未使用 外線 を押すと選択された短縮番号へ発信します。
- 手順６で ☎ を押すと未使用の 外線 を捕捉し、選択された短縮番号へ発信します。
- 電話帳検索で、文字の表示優先順位は次のとおりです。
  「－（バー）」→「゛（濁点）」→「゜（半濁点）」→「ア」→「ァ」→「イ」→「ィ」→（中略）→「ヲ」→「ン」→「A」→「a」→「B」→「b」→（中略）→「Z」→「z」→「0」→「1」→「2」→（中略）→「9」→「!」→「"」→「#」→「$」→「%」→「&」→「'」→「(」→「)」→「*」→「+」→「,」→「－（マイナス）」→「.」→「／」→「:」→「;」→「<」→「=」→「>」→「?」→「@」→「[」→「¥」→「]」→「^」→「＿」→「`」→「{」→「|」→「}」→「~」→「。」→「「」→「」」→「、」→「・」→「　（スペース）」
- 手順１～３はメニュー特番２３として電話機の オート に登録できます。（☞１４３ページ）
- 表示/消 は特殊番号１７として、電話機の オート に登録できます。（☞１４３ページ）
- 未使用 外線 に 短縮 と 会議 を登録します。（☞３２ページ）

かけかた（個別カナ検索）

1 「かけかた（カナ検索）」の手順１～２の操作をします

2 #▷（または *◁）を押して、[個別カナ検索]を選択し、保留（再送/決定） を押す

3 「かけかた（カナ検索）」の手順４～７の操作をします

MEMO

- 電話帳検索で、文字の表示優先順位は上記の「メモ」をご覧ください。
- 手順１～２はメニュー特番２５として電話機の オート に登録できます。（☞１４３ページ）

電話帳グループ検索発信

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

1 確定 を押す

- CL620子機の場合は、切 を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから 確定 を押します。

2 を押して[電話帳]を選択し、確定 を押す

3 を押して[グループ検索]を選択し、確定 を押す

4 を押して検索するグループを選択し、確定 を押す

- 候補がない場合には、「登録なし」を表示し、手順4に戻ります。

5 を押して発信する相手を選択します

- を押して、短縮番号4桁（0000～3999）のいずれかを選択します。
- 短縮 を押すと詳細画面が表示されます。再度、短縮 を押すと元の表示に戻ります。
- 詳細画面にて を押すと、登録されている詳細内容を確認出来ます。

6 確定 を押す

7 電話帳グループ検索発信の発信方法にて発信します（☞40ページ）

電話帳グループ検索発信

DC230電話機

1 内線 、保留 再送/決定 を押す

2 #▷（または #▷）を押して[電話帳]を選択し、保留 再送/決定 を押す

3 #▷ にて[グループ検索]を選択し、保留 再送/決定 を押す

4 #▷（または ＊◁ ）を押して検索するグループを選択し、保留 再送/決定 を押す

- 候補がない場合には、「登録なし」を表示し、手順4に戻ります。

5 #▷（または ＊◁）を押して発信相手を選択します

- #▷（または ＊◁）を押して、短縮番号4桁（0000～3999）のいずれかを選択します。
- 短縮 を押すと詳細画面が表示されます。再度、短縮 を押すと元の表示に戻ります。
- 詳細画面にて 新機 を押すと登録されている詳細内容を確認できます。電話番号や名前が表示桁数以上の場合は、会議 を押すと続きが表示されます。

6 保留 再送/決定 を押す

7 電話帳グループ検索発信の発信方法にて発信します（☞40ページ）

MEMO

- 手順6で未使用 ○外 線 を押すと選択された短縮番号へ発信します。
- 手順6で 発 信 を押すと未使用の ○外 線 を捕捉し、選択された短縮番号へ発信します。
- 電話帳検索で、文字の表示優先順位は ☞43、44ページの「メモ」をご覧ください。
- 手順1～3はメニュー特番24、手順1～4はメニュー特番24Xとして電話機の ○オート に登録できます。（☞141、143ページ）
  （X：0 グループ0～9 グループ9、＊ 個別）
- 付属のステッカ「グループ検索」シールを貼ると便利です。（多機能電話機、CL620親機のみ）

「DC230電話機」の場合

- 新機 は、特殊番号17として、電話機の オート に登録できます。（☞143ページ）
- 未使用 外線 に 短縮 と 会議 を登録します。（☞32ページ）

電話帳一覧から発信する

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

1 確定 を押す

- CL620子機の場合は、切 を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから 確定 を押します。

2 ◆ を押して[電話帳]を選択し、確定 を押す

3 ◆ を押して[一覧表示]を選択し、確定 を押す

4 ◆ を押して発信する相手を選択する

5 確定 を押す

6 電話帳一覧からの発信方法にて発信します（☞40ページ）

電話帳一覧から発信する

DC230電話機

1 内線 、保留（再送/決定） を押す

2 #▽（または *△）を押して[電話帳]を選択し、保留（再送/決定） を押す

3 #▽（または *△）を押して[一覧表示]を選択し、保留（再送/決定） を押す

4 #▽（または *△）を押して発信する相手を選択する

- #▽（または *△）を押して、短縮番号4桁（0000～3999）のいずれかを選択します。
- 候補がない場合は、登録されている名前の優先順位の1つ後の名前を表示します。
- 短縮 を押すと詳細画面が表示されます。再度、短縮 を押すと元の表示に戻ります。
- 詳細画面にて 新機能 を押すと登録されている詳細内容を確認できます。電話番号や名前が表示桁数以上の場合は、会議 を押すと続きが表示されます。

5 保留（再送/決定） を押す

6 電話帳一覧からの発信方法にて発信します（☞40ページ）

MEMO

- 手順5で未使用 外線 を押すと選択された短縮番号へ発信します。
- 手順5で 発信 を押すと未使用の 外線 を捕捉し、選択された短縮番号へ発信します。
- 電話帳検索で、文字の表示優先順位は ☞43、44ページの「メモ」をご覧ください。
- 手順1～3はメニュー特番22として電話機の オート に登録できます。（☞141、143ページ）

「DC230電話機」だけの場合

- 新機能 は、特殊番号17として、電話機の オート に登録できます。（☞143ページ）
- 未使用 外線 に、短縮 と 会議 を登録します。（☞32ページ）

発信履歴発信

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

1 確定 を押す

- CL620子機の場合は、切 を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから 確定 を押します。

2 ◯ を押して[履歴（発信／着信）]を選択し、確定を押す

3 ◯ を押して[発信履歴]を選択し、確定 を押す

- 発信履歴が無い場合、「登録なし」が約2秒間表示されます。

4 ◯ を押して発信する相手を選択する

5 確定 を押す

6 発信履歴発信の発信方法にて発信します（☞40ページ）

発信履歴発信

DC230電話機

1 内線 、保留 再送/決定 を押す

2 #▷（または *◁）を押して[履歴(発／着)]を選択し、保留 再送/決定 を押す

3 #▷（または *◁）を押して[発信履歴]を選択し、保留 再送/決定 を押す

- 最後にかけた電話番号が表示されます。
- 発信履歴が無い場合、「登録なし」が約2秒間表示されます。

4 #▷（または *◁）を押して発信する相手を選択する

5 保留 再送/決定 を押す

6 発信履歴発信の発信方法にて発信します（☞40ページ）

MEMO

- 手順1～3の代わりに ◯ を押しても発信履歴が表示されます。（DC230電話機は除く）
- 手順5で未使用 ◯外 線 を押すと選択された発信履歴へ発信します。
- 手順5で 発 信 を押すと未使用の ◯外 線 を捕捉し、選択された発信履歴へ発信します。
- 手順1～3はメニュー特番11として電話機の ◯オート に登録できます。（☞141、143ページ）

リダイヤル

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

1 発信（または 外線）を押す

- CL620子機の場合は、切 を押し、「カレンダー・時計」にしてから 通話（または 外線）を押します。
- WS600電話機は 通話（または 外線）を押します。
- 外線発信音「ツー」が聞こえます。
  → 外線 ランプ：緑点灯
  → スピーカ ランプ：赤点灯

2 リダイヤル（または ）を押す

- 最後にかけた電話番号へ自動発信します。

多機能電話機、CL620親機の場合は
- 電話番号が１４桁以上の場合は確認できません。
- 発信履歴がない場合は、「Error」を表示します。

CL620子機、WS600電話機の場合は
- 電話番号が１８桁以上の場合は確認できません。
- 発信履歴がない場合は、「ERROR」を表示します。

MEMO

- 電話機の 外線 が赤点灯の場合は、他の電話機がその外線を使用しています。使用中の 外線 を押すと話中音「プープープー・・・」が鳴り、使用中の内線番号が表示されます。
- 手順２の代わりに 短縮 ＃ を押してもリダイヤルできます。
- リダイヤル と押すだけでも最後にかけた電話番号へ自動発信します。オートリピートダイヤルとなります。
- リダイヤル（特殊番号４３）は、電話機の オート に登録できます。（☞１４１ページ）
- 付属のステッカ「リダイヤル」シールを貼ると便利です。
- 相手が応答すると通話時間が表示されます。
- 構内交換機（PBX）に接続してあると、通話時間が表示されない場合があります。
- 通話時間は目安としてご利用下さい。
- 電話帳登録済みの電話番号であれば登録名（会社名など）を表示します。

リダイヤル

DC230電話機

1 （または 外線）を押す

- 外線発信音「ツー」が聞こえます。
  → 老番の未使用 外線 ランプ：緑点灯
  → ランプ：緑点灯

2 短縮 を押す

3 ＃ を押す

- 最後にかけた電話番号へ自動発信します。
- 電話番号が１４桁以上の場合は確認できません。
- 発信履歴がない場合は、「Error」を表示します。

MEMO

- 未使用 外線 に 短縮 を登録します。（☞３２ページ）
- 相手が応答した場合は通話時間が表示されません。
- 電話帳登録済みの電話番号であれば登録名（会社名など）を表示します。

DC230電話機が持つ、リダイヤル機能を利用する

1 保留 を押す

再送/決定

- 保留を押すごとにリダイヤル０～９までを表示します。
- ＃ （または ＊ ）を押して、リダイヤル０～９を移動します。

2 を押す

→ 未使用 外線 ランプ：緑点灯
→ ランプ：緑点灯

MEMO

DC230電話機が持つ、リダイヤル機能の留意事項について
- プリセットダイヤルで発信した時のみ記憶されます。
- 電池が無くなるとリダイヤルに記憶された電話番号が消える場合があります。
- 短縮ダイヤルおよび指定外線捕捉の電話番号は、リダイヤルの番号として記憶されません。

オートリピートダイヤル

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

1 相手が話中

→ 外線 ランプ：緑点灯
→ スピーカ ランプ：赤点灯

2 リダイヤル（または 機能 短縮）を押す

- 最後にかけた電話番号へ自動発信します。
  → 機能 ランプ：赤点滅

3 自動的にオートリピートを行う

- 途中でオートリピートダイヤルを解除するときは スピーカ を押します。

MEMO

- 工事設定によりオートリピートダイヤルの呼出時間、待ち時間、回数を変更できます。

呼出時間（秒）	待ち時間（秒）	回数	
120	3	15	←お買い上げ時
120	10	15	
120	30	15	
120	60	100	

- オートリピート中は、プッシュ信号を送出できません。
- リダイヤル（特殊番号４３）は、電話機の オート に登録できます。（☞１４１ページ）
- 相手が応答すると通話時間が表示されます。
- 構内交換機（PBX）に接続してあると、通話時間が表示されない場合があります。
- 通話時間は目安としてご利用下さい。
- 電話帳登録済みの電話番号であれば登録名（会社名など）を表示します。

着信履歴発信

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

1 確定 を押す

- CL620子機の場合は、切 を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから 確定 を押します。

2 ◎ を押して、[履歴（発信／着信）]を選択し、確定 を押す

3 ◎ を押して、[システム着信履歴]、[個別着信履歴]のいずれかを選択し、確定 を押す

- システム着信履歴から発信したい場合は[システム着信履歴]を選択します。
- 個別着信履歴から発信したい場合は[個別着信履歴]を選択します。
- 各着信履歴が無い場合、「登録なし」が約2秒間表示されます。

4 ◎ を押して発信する相手を選択する

5 確定 を押す

6 着信履歴からの発信方法にて発信します（☞40ページ）

着信履歴発信

DC230電話機

1 内線 保留（再送/決定）を押す

2 #▷（または *◁）を押して[履歴(発／着)]を選択し、保留（再送/決定）を押す

3 #▷（または *◁）を押して[システム着信履歴]、[個別着信履歴]のいずれかを選択し、保留（再送/決定）を押す

- システム着信履歴から発信したい場合は[システム着信履歴]を選択します。
- 個別着信履歴から発信したい場合は[個別着信履歴]を選択します。
- 各着信履歴が無い場合、「登録なし」が約2秒間表示されます。

4 #▷（または *◁）を押して発信相手を選択する

5 保留（再送/決定）を押す

6 着信履歴からの発信方法にて発信します（☞40ページ）

MEMO

- システム着信履歴は手順1～3の代わりに ◎ を押しても、表示されます。（DC230電話機は除く）
- 手順5で未使用 ○外 線 を押すと選択された着信履歴へ発信します。
- 手順5で 発 信 を押すと未使用の ○外 線 を捕捉し、選択された着信履歴へ発信します。
- ネーム・ディスプレイ（☞197ページ）の着信履歴は、例「001>東京サクサ」が表示されます。
- 手順1～3はメニュー特番12（システム着信履歴）、13（個別着信履歴）として電話機の ○オート に登録できます。（☞141、143ページ）

電話をかける（内線発信）

電話かける方法は以下の方法があります。
・内線オンフック発信（受話器を置いたまま内線を呼び出しする）
・内線オフフック発信（受話器を上げて内線をかける）
・内線プリセットダイヤル（内線番号を押してから内線をかける）

内線オンフック発信

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

1 ◯スピーカ を押す

- 内線発信音「プップップッ・・・」が聞こえます。
  → ◯スピーカ ランプ：赤点灯
- DC230電話機の場合は、内線 を押します。

2 内線番号を押す

- 呼出音「プー」が聞こえます。

3

- 相手が出たら通話します。
  → ◯スピーカ ランプ：消灯
- DC230電話機の場合は受話器を上げる必要はありません。

- ＊を押すと発信先の呼出音を音声から信号音に変更できます。
- 再度、＊を押すことで音声に戻すことができます。

内線オフフック発信

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

1

- 内線発信音「プップップッ・・・」が聞こえます。
- WS600電話機の場合は、スピーカ を押します。

2 内線番号を押す

- 呼出音「プー」が聞こえます。

3 内線通話をする

- 相手が出たら通話します。

- ＊を押すと発信先の呼出音を音声から信号音に変更できます。
- 再度、＊を押すことで音声に戻すことができます。

内線プリセットダイヤル

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

1 内線番号を押す

2 ◯スピーカ を押す

- 呼出音「プー」が聞こえます。
  → ◯スピーカ ランプ：赤点灯
- DC230電話機の場合は、内線 を押します。

3

- 相手が出たら通話します。
  → ◯スピーカ ランプ：消灯
- DC230電話機の場合は受話器を上げる必要はありません。

- ＊を押すと発信先の呼出音を音声から信号音に変更できます。
- 再度、＊を押すことで音声に戻すことができます。

MEMO

- 工事設定により内線呼出音は音声の他に信号音でも呼び出せます。（お買い上げ時は「音声」です）ただし、DC230電話機や単独電話機へは信号音のみです。
- 内線発信でダイヤルを操作しないで、約3分経過するとビジートーン「プープープー・・・」が鳴り、さらに約20秒するとハウラ音「ピピピ・・・」が鳴り、着信ランプが7色に点滅します。
- 内線通話が終わると、内線呼出音の切替は初期に戻ります。
- 工事設定により、信号音を複合音（低）から、単音、複合音（中）、複合音（高）に変更できます。
- 工事設定により、電話機ごとに音声呼び出しから信号音呼出に変更できます。

電話を受ける

電話を受ける方法は以下の方法があります。

・着信自動応答（受話器を上げるだけで応答する）
・任意外線応答（電話がかかってきたら外線ボタンを押す）
・外線通話を保留する
・自動転送（内線通話後に外線を転送する）
・強制転送(内線通話しないで外線を転送する)
・口頭転送（相手に呼びかけて転送する）

着信自動応答

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

1 着信音が鳴る

→〔外線〕ランプ：赤点滅
→着信ランプ：点滅

2

→〔外線〕ランプ：緑点灯
→着信ランプ：消灯

- CL620子機、WS600電話機の場合は、〔通話〕を押しても応答できます。
- DC230電話機の場合は、〔☎〕を押します。

MEMO

- 外線通話中の電話機に別の外線着信が鳴ったときは、外線着信中の〔外線〕を押すと通話が出来ます。ただし、前の外線との通話は切れます。
- 外線通話中の電話機を保留して別の外線着信の相手と通話するときは、次の操作を行って下さい。
  〔保留〕、外線着信中の〔外線〕、外線着信の相手と通話、終話、保留中の〔外線〕を押します。最初の相手と通話できます。
- 工事設定により、外線着信音を8種類の着信音またはメロディに変更できます。メロディに変更した場合は、10曲のメロディから選択して利用できます。（☞76、78ページ）
- 電話機ごとに、外線着信音を停止することができます。（☞27ページ）
- 工事設定により、自動応答しないようにできます。
- 外線着信表示ランプを8種類の表示色から選択して利用できます。（☞77ページ）
- 電話帳登録済みの電話番号であれば、登録名（会社名など）または電話番号を縦倍で表示することができます。
  ・縦倍表示の設定方法は、〔確定〕〔ラ WXYZ 9〕〔ア 1〕〔ナ JKL 5〕〔タ GHI 4〕を押して〔カ ABC 2〕を押します。（多機能電話機、CL620親機のみ）

任意外線応答

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

1 着信音が鳴る

→〔外　線〕ランプ：赤点滅
→着信ランプ：点滅

●**DC230電話機の場合は**
→〔外線〕ランプ：赤点滅
→着信ランプ：赤点滅

2 〔外　線〕を押す

●かかってきた外線に対応するボタンがないときは、指定外線捕捉（☞117ページ）またはコールピックアップ（☞117ページ）の操作をしてください。

●外線着信音が止まります。
→〔外　線〕ランプ：緑点灯
→〔スピーカ〕ランプ：赤点灯
→着信ランプ：消灯

3

→〔スピーカ〕ランプ：消灯

●CL620子機、DC230電話機の場合は受話器を上げる必要はありません。

外線通話を保留する

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

1 外線通話中

→〔外線〕ランプ：緑点灯

- **DC230電話機の場合は**
  → (外線) ランプ：緑点灯
  → (☎) ランプ：緑点灯

2 〔保留〕を押す

- 外線相手に保留音を流します。
  → 〔外線〕ランプ：緑点滅
- **DC230電話機の場合は**
  → (☎) ランプ：消灯
  → (外線) ランプ：緑点滅
  → (内線) ランプ：緑点灯
- 内線発信音「プップップッ・・・」が聞こえます。
- 保留後3分経過すると保留警報音「プープー・・・」が鳴ります。
- 工事設定により1分、2分、3分、4分、無制限のいずれかに変更できます。

3

- 受話器を置くと「カレンダー・時計」表示に戻ります。
- **DC230電話機の場合は (電源) を押します。**
- **DC230電話機の場合は**
  → (外線) ランプ：赤点滅（点滅周期も変わります）
  → (内線) ランプ：消灯

MEMO

- 保留音をメロディ（10曲）から選択して利用できます。
  （☞78ページ）
  また、お客様がご用意された曲をWeb設定から登録することで、保留音として利用することができます。
  （☞207ページ）

保留再応答のしかた

1

- 内線発信音「プップップッ・・・」が聞こえます。（WS600電話機除く）
  → 〔外線〕ランプ：緑点滅
- **DC230電話機の場合は手順2のみの操作となります。**

2 保留中の〔外線〕を押す

- 保留中の〔外線〕を押すと、再通話ができます。
  → 〔外線〕ランプ：緑点灯
- **DC230電話機の場合は**
  → (外線) ランプ：緑点灯
  → (☎) ランプ：緑点灯

MEMO

- 外線に対応する〔外線〕がないときや、複数の外線を保留したときは、「 → 9 6 2」の操作で最後に保留した外線に再応答します。

自動転送

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

転送する側の操作

1 外線通話中

→〔外線〕ランプ：緑点灯

- **DC230電話機の場合は**
  → ☎ ランプ：緑点灯
  → (外線) ランプ：緑点灯

2 〔保留〕を押す

- 外線相手に保留音を流します。
  →〔外線〕ランプ：緑点滅
- 内線発信音「プップップッ・・・」が聞こえます。
- **DC230電話機の場合は**
  → ☎ ランプ：消灯
  → (外線) ランプ：緑点滅
  → (内線) ランプ：緑点灯

3 転送先の内線番号を押す

- 呼出音「プー」が聞こえます。

4 転送先の相手と通話します

- 例：……さんからの電話です。

5

- 受話器を置くと「カレンダー・時計」表示に戻ります。
  →〔外線〕ランプ：赤点灯
- **DC230電話機の場合は、(電源) を押下します。**
  → (外線) ランプ：赤点灯
  → (内線) ランプ：消灯

転送される側の操作

1 呼出音が鳴る

- 内線呼出音が鳴り、音声が聞こえます。
  →〔外線〕ランプ：赤点滅
  →着信ランプ：点滅
- **DC230電話機の場合**
  → (外線) ランプ：赤点滅
  →着信ランプ：赤点滅
  → (内線) ランプ：緑点滅

2

- 受話器を上げて内線相手と通話します。
  →着信ランプ：消灯
- **DC230電話機の場合は (内線) を押します。**
  → (内線) ランプ：緑点灯
  →着信ランプ：消灯

- 転送元が通話を切ると、外線が自動的に転送されます。
  →〔外線〕ランプ：緑点灯
- **DC230電話機の場合**
  → (外線) ランプ：緑点灯
  → ☎ ランプ：緑点灯

MEMO

- 内線番号は〔オート〕に登録できます。(☞122、140、142ページ)
  内線番号一覧は☞212ページを御参照下さい。
- 内線番号を登録したあと、「転送する側」の手順2、3の代わりに外線通話中に〔オート〕などを直接押し、保留、内線呼出がワンタッチで可能になります。
- 工事設定により、自動転送が停止できます。

強制転送

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

転送する側の操作

1 外線通話中

→ 〇外 線 ランプ：緑点灯
- **DC230電話機の場合は**
  → (外線) ランプ：緑点灯
  → (☎) ランプ：緑点灯

2 保 留 を押す

- 内線発信音「プップップッ・・・」が聞こえます。
- 外線相手に保留音を流します。
  → 〇外 線 ランプ：緑点滅
- **DC230電話機の場合は**
  → (☎) ランプ：消灯
  → (外線) ランプ：緑点滅
  → (内線) ランプ：緑点灯

3 転送先の内線番号を押す

- 呼出音「プー」が聞こえます。

4

- 受話器を置くと「カレンダー・時計」表示に戻ります。
  → 〇外 線 ランプ：赤点滅
- **DC230電話機の場合は、(電源) を押下します。**
  → (外線) ランプ：赤点滅
  → (内線) ランプ：消灯

転送される側が応答しないで、約30秒経過したときは、次の手順5'～7'の操作をします。

5' 保留警報音が鳴る

- 保留警報音「プープー・・・」が鳴ります。
  → 〇外 線 ランプ：緑点滅
- **DC230電話機の場合は**
  → (外線) ランプ：緑点滅
  →着信ランプ：赤点滅

6'

- 内線発信音「プップップッ・・・」が聞こえます。
- **DC230電話機の場合は、本操作を行う必要はありません。**

7' 〇外 線 を押す

- 保留中の 〇外 線 を押して、再度外線相手と通話します。
  → 〇外 線 ランプ：緑点灯
- DC230電話機の場合は、
  → (外線) ランプ：緑点灯
  →着信ランプ：消灯
  → (☎) ランプ：緑点灯

MEMO

- 内線番号は、電話機の 〇オート に登録できます。(☞122、140、142ページ)
- 内線番号を登録したあと、「転送する側」の手順2、3の代わりに外線通話中に 〇オート を直接押し、保留、内線呼び出しがワンタッチで可能になります。
- 工事設定により、強制転送が停止できます。

転送される側の操作

1 呼出音が鳴る

- 転送されたことを表す呼出音が鳴ります
  → 〇外 線 ランプ：緑点滅
  →着信ランプ：点滅
- 約30秒後経過した場合、呼出音が止まり「カレンダー・時計」表示に戻ります。このとき転送する側に保留警報音が鳴ります。
- **DC230電話機の場合は、転送されたことを表す呼出音が鳴ります。**
  → (外線) ランプ：緑点滅
  →着信ランプ：赤点滅

2

- 呼出音が鳴ってから、約30秒以内に受話器を上げると、自動的に外線とつながります。
  → 〇外 線 ランプ：緑点灯
  →着信ランプ：消灯
- **DC230電話機の場合は、保留中の (外線)(または (☎)) を押すと外線相手と繋がります。**
  → (外線) ランプ：緑点灯
  →着信ランプ：消灯
  → (☎) ランプ：緑点灯

口頭転送

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

転送する側の操作

1 外線通話中

→ 〇外 線 ランプ：緑点灯

- **DC230電話機の場合は**
  → 外線 ランプ：緑点灯
  → ☎ ランプ：緑点灯

2 保 留 を押す

- 内線発信音「プップップッ・・・」が聞こえます。
- 外線相手に保留音を流します。
  →〇外 線 ランプ：緑点滅
- **DC230電話機の場合は**
  → 外線 ランプ：緑点滅
  → ☎ ランプ：消灯
  → 内線 ランプ：緑点灯

3

- 受話器を置くと「カレンダー・時計」表示に戻ります。
  → 〇外 線 ランプ：赤点滅
- **DC230電話機の場合 電源 を押します。**
  → 外線 ランプ：赤点滅
  → 内線 ランプ：消灯

4 口頭で呼びかける

- 例：・・・さんからの電話です！

MEMO

- 「転送する側」の手順4で、口頭で呼びかけるときに、保留した外線が何番か伝えるようにしてください。

転送される側の操作

1

- 内線発信音「プップップッ・・・」が聞こえます。
  → 〇外 線 ランプ：赤点滅
- **DC230電話機の場合は、本操作を行う必要はありません。**
  → 外線 ランプ：赤点滅

2 保留中の 〇外 線 を押す

→ 〇外 線 ランプ：緑点灯

- **DC230電話機の場合は**
  → ☎ ランプ：緑点灯
  → 外線 ランプ：緑点灯

3 外線相手と通話する

- 外線相手と通話します。

電話帳に登録する

電話帳に登録する

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

1 確定を押す

- CL620子機の場合は、切を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから確定を押します。

2 を押し、[電話帳]を選択し、確定を押す

3 を押し、[新規登録]を選択し、確定を押す

4 登録したい短縮番号をダイヤルボタンで入力します

- 短縮番号をダイヤルボタンで4桁（0000～3999）入力すると、短縮番号が仮登録され、「電話帳登録」へ進みます。
- 入力された短縮番号が登録済みの場合は、登録内容が表示されます。ただし、他の電話機でグループ登録「個別」に登録されている短縮番号は指定できません。
- ＊を押すと空きの短縮番号が自動で入力されます。ただし、空き短縮番号がない場合は登録できません。

5 を押し、[グループ]を選択し、確定を押す

- 「電話帳－グループ」へ進みます。
- ☞59ページの「グループの入力のしかた」をご覧ください。

6 を押し[電話番号]を選択し、確定を押す

- 「電話帳－電話番号」へ進みます。（必須項目）
- ☞59ページの「電話番号の入力のしかた」をご覧ください。

7 を押し、[名前]を選択し、確定を押す

- 「電話帳－名前」へ進みます。
- ☞59ページの「名前の入力のしかた」をご覧ください。

8 を押し、[カナ]を選択し、確定を押す

- 「電話帳－カナ」へ進みます。（必須項目）
- ☞59ページの「カナの入力のしかた」をご覧ください。

9 を押し、[着信音]を選択し、確定を押す

- 「電話帳－識別着信音」へ進みます。
- ☞59ページの「着信音の入力のしかた」をご覧ください。

10 を押し、[着信先]を選択し、確定を押す

- 「電話帳－選別着信先」へ進みます。
- ☞60ページの「着信先の入力のしかた」をご覧ください。

11 を押し、[メモ]を選択し、確定を押す

- 「電話帳－メモ」へ進みます。
- ☞60ページの「メモの入力のしかた」をご覧ください。

12 を押して[登録]を選択し、確定を押す

- 本登録され手順3に戻ります。
- **電話番号またはカナが仮登録されていないと、本登録はできません。**
- 指定した短縮番号が登録済みの場合、上書き確認へ移ります。

グループの入力のしかた

1 ◯を押して登録するグループを選択します

- ◯でグループを選択するのではなく、ダイヤルボタンでも選択可能です。
  0グループ0 ～ 9グループ9、＊個別
- グループ名の設定は☞75ページを参照して下さい。

2 登録するグループを確認し、確定を押す

- 確定 を押すとグループが仮登録され、手順5（☞58ページ）に戻ります。

電話番号の入力のしかた

1 登録する電話番号をダイヤルボタンで入力します

- 電話番号を登録します。
- 電話番号は最大24桁まで入力できます。
- 短 縮 を押すと特殊コードを入力できます。（☞60ページ）
- 複数番号を組み合わせて登録するネスティングダイヤルの場合は、[ ]内に短縮番号を入れてください。（最大4つ）
- 入力した番号を間違えた場合は フラッシュ を押して消去します。

2 入力した番号に間違いがないか確認し確定を押す

- 確定 を押すと電話番号が仮登録され、手順6（☞58ページ）に戻ります。

名前の入力のしかた

1 登録する名前をダイヤルボタンで入力します

- 文字入力はダイヤルボタンから入力します。（文字数は全角で最大16文字です）
- 短 縮 で文字入力モードを変更します。
  かな（漢）→カナ（カナ）→英字（英）→数字（数）を繰り返します。
- 入力出来る文字は、☞224ページの文字入力一覧をご覧下さい。

2 ◯を押して変換し 確定 で候補を決定する

- 「かな」モードで入力された文字を漢字に変換します。
- ◯で変換する文字範囲を変更できます。
- 表示された候補の次候補を表示させたいときは◯を押して下さい。
- 変換候補で確定する漢字が表示されないときは、フラッシュ を押した後にかな文字で変換文字を変更してください。

3 入力した名前に間違いがないか確認し、確定を押す

- 確定 を押すと名前が仮登録され、手順7（☞58ページ）に戻ります。

カナの入力のしかた

カナは☞58ページの名前入力時に自動的に入力されます。

1 カナを編集します

- 入力文字はダイヤルボタンから入力します。（文字数は半角で最大16文字です）
- ◯ カーソル移動し、カナを編集します。
- 短 縮 で文字入力モードを変更します。
  カナ（カナ）→英字（英）→数字（数）を繰り返します。
- 入力出来る文字は、☞224ページの文字入力一覧をご覧ください。ただし、「英字」モードで 0 を押したときの「～」は「￣」になります。
- 「カナ」モードで # を押すとスペース（空き）が入力できます。

2 入力したカナに間違いがないか確認し、確定を押す

- 確定を押すとカナが仮登録され、手順8（☞58ページ）に戻ります。

着信音の入力のしかた

識別着信の設定をします。
この機能を使用される場合はナンバー・ディスプレイサービスのご契約と工事設定が必要です。

1 ◯を押して着信音を選択します

- 「設定なし」、「着信音A～着信音H」、「保留メロディ」、「着信メロディ」から着信音を選択できます。
- グループが「個別」に設定されている場合「変更できません」が表示され、手順9（☞58ページ）に戻ります。
- 保留メロディに設定すると、保留音と兼用となります。
- お買い上げ時は「設定なし」です。

2 確定を押します

- CL620子機、WS600電話機の場合は、識別着信音が仮登録され、手順9（☞58ページ）に戻ります。

つづく➡

3 試聴したい場合は ◯ にて、[試聴]を選択する

- 選択した曲を試聴したい場合は[試聴](または [ｱ1])を選択します。[ｱ1] を押した場合は試聴が始まります。(確定) を押すと、試聴が停止します。
- 試聴しない場合には、手順4へ進みます。

4 選択した項目を確認し、[#] を押す

- [#] を押すと識別着信音が仮登録され、手順9（☞58ページ）に戻ります。

着信先の入力のしかた

発ID識別着信の設定をします。発ID識別着信のグループ着信はこの手順のグループA～グループDを設定します。
この機能を使用される場合はナンバー・ディスプレイサービスのご契約と工事設定が必要です。

1 ◯ を押して着信先のグループを選択します

- 発ID識別着信の個別着信はこの手順の[*]電話機を設定します。
- ◯ でグループを選択するのではなく、ダイヤルボタンでも選択可能です。ダイヤルボタンで選択した場合は手順10（☞58ページ）に戻ります。[0] 設定なし（一斉）、[1] グループA ～ [4] グループD、[*] 電話機
- お買い上げ時は「設定なし（一斉）」です。
- 「内線グループA～D」は工事設定により指定された内線電話機が外線着信のときに鳴ります。
- 「電話機」を選択したあとの操作は「(確定) → ◯ を押して内線を選ぶ → (確定) 」です。
- グループが「個別」に設定されている場合「変更できません」が表示され、手順10（☞58ページ）に戻ります。

2 選択した項目を確認し、(確定) を押す

- (確定) を押すと着信先グループが仮登録され、手順10（☞58ページ）に戻ります。

メモの入力のしかた

メモを入力しておくと、電話帳に登録した電話番号の相手から着信があったとき、内線電話機にメモの内容が表示されます。

1 登録するメモをダイヤルボタンで入力します

- 文字入力はダイヤルボタンから入力します。（文字数は全角で最大16文字です）
- (短 縮) で文字入力モードを変更します。かな（漢）→カナ（カナ）→英字（英）→数字（数）を繰り返します。
- 入力出来る文字は、☞224ページの文字入力一覧をご覧下さい。

2 ◯ を押して変換し(確定)で候補を決定する

- 「かな」モードで入力された文字を漢字に変換します。
- ◯ で変換する文字範囲を変更できます。
- 表示された候補の次候補を表示させたいときは ◯ を押して下さい。
- 変換候補で確定する漢字が表示されないときは、(フラッシュ) を押した後にかな文字で変換文字を変更してください。

3 入力したメモに間違いがないか確認し、(確定) を押す。

- (確定) を押すとメモが仮登録され、手順11（☞58ページ）に戻ります。

MEMO

- 電話番号入力時、(短 縮) を押すと特殊コードが入力できます。
  - ・(短 縮) を1回押すと「P」（ポーズ）を入力することが出来ます。（待ち時間：お買い上げ時は約3秒）
    電話番号の途中にポーズを入れないで下さい。相手につながらないことがあります。（デジタル回線）
    （登録されたポーズの後の番号は、相手応答がなくても続けて番号を送出します。）
  - ・(短 縮) を2回押すと「E」（切断コード）を入力することが出来ます。
  - ・(短 縮) を3回押すと「—」（ハイフン）を入力することが出来ます。
  - ・(短 縮) を4回押すと「[]」（ネスティング）を入力することが出来ます。短縮Aに短縮A（ネスティングさせたい短縮番号）を登録することは出来ません。共通短縮番号に個別短縮番号を登録することは出来ません。
  - ・(短 縮) を5回押すと「P」（ポーズ）に戻ります。
- 構内交換機（PBX）に接続している（PBXと一般回線との混在収容を含む）ときは、必ずPBXから外線へのアクセス番号を登録します。（アクセスする番号の後にポーズを登録する必要はありません。）
- 入力モードが「数字」の場合には、「*」と「#」は入力出来ません。
- (保 留) を押すと1つ前のメニューに戻ります。

発信履歴から電話帳に登録する

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

1 確定を押す

- CL620子機の場合は、切を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから確定を押します。

2 ◯を押して[履歴（発信／着信）]を選択し、確定を押す

3 ◯を押して[発信履歴]を選択し、確定を押す

- 発信履歴がない場合、「登録なし」が約2秒間表示されます。

4 ◯を押して登録する電話番号を選択し、確定を押す

5 ◯を押して「電話帳登録」を選択し、確定を押す

6 電話帳登録の「電話帳に登録する」（☞58ページ）の手順4～12を行います

MEMO

- 手順1～3は、メニュー特番11として電話機の◯オートに登録できます。（☞141ページ）

着信履歴から電話帳に登録する

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

1 確定を押す

- CL620子機の場合は、切を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから確定を押します。

2 ◯を押して[履歴（発信／着信）]を選択し、確定を押す

3 ◯を押して[システム着信履歴]、[個別着信履歴]のいずれかを選択し、確定を押す

- **システム着信履歴から登録したい場合は[システム着信履歴]を選択します。**
- **個別着信履歴から登録したい場合は[個別着信履歴]を選択します。**
- 着信履歴がない場合、「登録なし」が約2秒間表示されます。

4 ◯を押して登録する電話番号を選択し、確定を押す

5 ◯を押して[電話帳登録]を選択し、確定を押す

6 電話帳登録の「電話帳に登録する」（☞58ページ）の手順4～12を行います

MEMO

- 手順1～3は、メニュー特番12（システム着信履歴）、13（個別着信履歴）として電話機の◯オートに登録できます。（☞141ページ）

電話帳を変更する

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

変更のしかたは、「短縮番号検索発信」（☞４２ページ）、「電話帳カナ検索発信」（☞４３ページ）、「電話帳グループ検索発信」（☞４５ページ）、「電話帳一覧」（☞４６ページ）のいずれかの操作で、短縮番号を選択します。そのあと、下記の手順４～８を行います。ここでは「電話帳一覧」による、すべての操作について説明します。

1 確定を押す

- CL620子機の場合は、切 を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから 確定 を押します。

2 を押して[電話帳]を選択し、確定 を押す

3 を押して[一覧表示]を選択し、確定 を押す

4 を押して変更する短縮番号を選択し、確定 を押す

5 を押して[変更]を選択し、確定 を押す

- 「電話帳登録」へ進みます

6 を押して変更する内容を選択し、確定 を押して変更する

- 「短縮番号」（☞５８ページ）
- 「グループ」（☞５９ページ）
- 「電話番号」（☞５９ページ）
- 「名前」（☞５９ページ）
- 「カナ」（☞５９ページ）
- 「識別着信音」（☞５９ページ）
- 「着信先」（☞６０ページ）
- 「メモ」（☞６０ページ）
- 短縮番号を変更して、本登録をした場合は元の短縮番号のデータは残っています。必要がない場合は消去してください。

7 を押して[登録]を選択し、確定 を押す

- 「上書き確認」へ進みます。

8 を押して「はい」を選択し、確定 を押す

- 「はい」を選択すると上書きが実行され、本登録が実行され、手順４に戻ります。

MEMO

- 手順１～３は、メニュー特番２２として電話機の オート に登録できます。（☞１４１ページ）

電話帳を確認する

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

確認のしかたは、「短縮番号検索発信」（☞４２ページ）、「電話帳カナ検索発信」（☞４３ページ）、「電話帳グループ検索発信」（☞４５ページ）、「電話帳一覧」（☞４６ページ）のいずれかの操作で、短縮番号を選択します。そのあと、下記の手順４、５を行います。ここでは「電話帳一覧」による、すべての操作について説明します。

1 確定を押す

- CL620子機の場合は、切 を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから 確定 を押します。

2 ◯を押して[電話帳]を選択し、確定を押す

3 ◯を押して[一覧表示]を選択し、確定を押す

4 ◯を押して確認する短縮番号を選択し、短 縮 を押す

5 ◯を押して詳細を確認します

＜詳細画面１＞

- 選択された短縮番号の登録内容が上から順に「短縮番号」「電話番号」「名前」「カナ」が表示されます。（多機能電話機、ＣＬ620親機）
- 「▶」表示は、さらに登録内容があることを示します。
- ◯を押すと＜詳細画面２＞に進みます。さらに、◯を押すと＜詳細画面３＞に進みます。
- 再度 短 縮 を押すと手順３に戻ります。

＜詳細画面２＞

- 選択された短縮番号の登録内容が上から順に「短縮番号」「グループ」「着信音」「着信先」が表示されます。（多機能電話機、CL620親機）
- ◯を押すと＜詳細画面３＞に進みます。
- ◯を押すと＜詳細画面１＞に戻ります。
- 再度 短 縮 を押すと手順３に戻ります。
- 「▶」表示は、さらに登録内容があることを示します。

＜詳細画面３＞

- 選択された短縮番号の登録内容が上から順に「短縮番号」「メモ」が表示されます。（多機能電話機、CL620親機）
- ◯を押すと＜詳細画面２＞に戻ります。
- ◯を押すと＜詳細画面１＞に戻ります。
- 再度 短 縮 を押すと手順３に戻ります。

MEMO

- 手順１～３は、メニュー特番２２として電話機の オート に登録できます。（☞１４１ページ）

発信履歴を確認する

初期表示設定（一覧／詳細）のしかた

多機能電話機、CL620親機

システム全体で発信履歴を一覧で表示と詳細での表示を設定することが出来ます。お買い上げ時は「一覧表示」です。

1 確定 を押す

2 ◯ を押して[その他]を選択し、確定 を押す

3 ◯ を押して[システム]を選択し、確定 を押す

4 ◯ を押して[表示設定]を選択し、確定 を押す

5 ◯ を押して[発信履歴表示]を選択し、確定 を押す

6 ◯ を押して表示設定を選択する

- 「一覧表示」を選択すると発信履歴を一覧で表示します。
- 「詳細表示」を選択すると発信履歴を詳細で表示します。

7 確定 を押す

- 「初期表示」が設定され、手順5に戻ります。

MEMO

- 手順1～5は、メニュー特番９１５２として、電話機の〇オート に登録できます。（☞１４１ページ）
  その場合は、〇オート を押すたびに「一覧表示」→「詳細表示」を繰り返します。

発信履歴を確認する

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

電話機ごとに最後にかけた電話番号から順に１０件まで記録して、一覧表示または詳細表示させることができます。

1 確定 を押す

- CL620子機の場合は、／切 を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから 確定 を押します。

2 ◯ を押して[履歴（発信／着信）]を選択し、確定 を押す

3 ◯ を押して[発信履歴]を選択し、確定 を押す

4 ◯ を押して確認したい発信履歴を選択する

- 発信した電話番号の最新から順に表示します。
- ◯ を押して、発信履歴の０１～１０のいずれかを選択します。

5 短 縮 を押す

- 選択された発信履歴の「電話番号」、「名前」、「発信日時」を表示します。
- 再度 短 縮 を押すと、「一覧表示」に戻ります。

MEMO

- 手順1～3は ◯ を押しても同じ操作になります。
- 発信履歴がない場合、手順1～3を行うと「登録なし」が約2秒間表示されます。
- 初期設定で「詳細表示」を設定している場合は手順4で「詳細表示」が表示されます。
- 「詳細表示」を設定している場合は 短 縮 で「一覧表示」に戻ります。
- 手順1～3は、メニュー特番１１として、電話機の〇オート に登録できます。（☞１４１ページ）

発信履歴を確認する

DC230電話機

1 内線 保留（再送/決定）を押す

2 ＃▷（または＊◁）を押して[履歴(発／着)]を選択し、保留（再送/決定）を押す

3 ＃▷（または＊◁）を押して[発信履歴]を選択し、保留（再送/決定）を押す

4 ＃▷（または＊◁）を押して確認したい発信履歴を選択する

- 最後にかけた電話番号から順に表示されます。
- 短縮を押すと詳細画面１が表示されます。再度、短縮を押すと「一覧表示」に戻ります。
- 電話番号や名前が表示桁数以上の場合は、会議を押すと続きが表示されます。
- 詳細画面１で 新機能 を押すと詳細画面２が表示されます。

MEMO

- 手順４で詳細画面後、＃▷（または＊◁）を押すと次の発信履歴を表示させることが出来ます。
- 発信履歴がない場合、手順１～３を行うと「登録なし」が約２秒間表示されます。
- 未使用の外線に短縮、会議を登録します。（☞３２ページ）
- 新機能は、特殊番号１７として電話機のオートに登録することができます。（☞１４３ページ）
- 初期設定で「詳細表示」を設定している場合は手順４で「詳細表示」が表示されます。
- 「詳細表示」を設定している場合は短縮で「一覧表示」に戻ります。
- 手順１～３は、メニュー特番１１として、電話機のオートに登録できます。（☞１４３ページ）

着信履歴を確認する

「発信者番号通知サービス」で表示された電話番号を最新の記録からシステムで４００件までを記録して、表示することができます。着信履歴には、システム着信履歴、個別着信履歴があります。

- 電話帳に登録してある場合には、名前が表示されます。
- 着信履歴には、最後にその通話に応答した内線番号が記録され、個別着信履歴として一覧表示できます。
- ナンバー・ディスプレイ契約時、公衆電話機からの発信や相手非通知、サービス提供不可なども着信履歴に残ります。
  工事設定により、残らないようにすることもできます。
- 個別着信履歴は、システム着信履歴４００件の中から電話機毎に履歴された電話番号を表示させることができます。
- この機能を使用される場合はナンバー・ディスプレイサービスのご契約と工事設定が必要です。

初期表示設定（一覧／詳細）のしかた

多機能電話機、CL620親機

システム全体で着信履歴を一覧で表示と詳細での表示を設定することが出来ます。お買い上げ時は「一覧表示」です。

1 確定 を押す

2 ◯ を押して[その他]を選択し、確定 を押す

3 ◯ を押して[システム]を選択し、確定 を押す

4 ◯ を押して[表示設定]を選択し、確定 を押す

5 ◯ を押して[着信履歴表示]を選択し、確定 を押す

6 ◯ を押して表示設定を選択する

- 「一覧表示」を選択すると着信履歴を一覧で表示します。
- 「詳細表示」を選択すると着信履歴を詳細で表示します。

7 確定 を押す

- 「初期表示」が設定され、手順５に戻ります。

MEMO

- 手順１～５は、メニュー特番９１５３として、電話機の〔オート〕に登録できます。（☞１４１ページ）
  その場合は、〔オート〕を押すたびに「一覧表示」→「詳細表示」を繰り返します。

着信履歴を確認する

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

1 確定 を押す

- CL620子機の場合は、切 を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから 確定 を押します。

2 ◯ を押して[履歴（発信／着信）]を選択し、確定 を押す

3 ◯ を押して[システム着信履歴]、[個別着信履歴]のいずれかを選択し、確定 を押す

- システム着信履歴から確認したい場合は[システム着信履歴]を選択します。
- 個別着信履歴から確認したい場合は[個別着信履歴]を選択します。

4 ◯ を押して確認したい着信履歴を選択し、確定 を押す

- 着信した電話番号の最新から順に表示します。
- ◯ を押して、着信履歴の００１～４００のいずれかを選択します。

5 短　縮 を押す

- 選択された着信履歴の「電話番号」、「名前」、「着信日時」「着信外線」を表示します。
- 再度 短　縮 を押すと、「一覧表示」に戻ります。

着信履歴を確認する

DC230電話機

1 内線 保留（再送/決定） を押す

2 ＃▷（または ＊◁）を押して[履歴(発／着)]を選択し、保留（再送/決定） を押す

3 ＃▷（または ＊◁）を押して[システム着信履歴]、[個別着信履歴]のいずれかを選択し、保留（再送/決定） を押す

4 ＃▷（または ＊◁）を押して確認したい着信履歴を選択する

- 着信した電話番号の最新から順に表示されます。
- 短縮 を押すと詳細画面１が表示されます。再度、短縮 を押すと「一覧表示」に戻ります。
- 電話番号や名前が表示桁数以上の場合は、会議 を押すと続きが表示されます。
- 詳細画面１で 表示/消 を押すと詳細画面２が表示されます。さらに、表示/消 を押すと詳細画面３が表示されます。

MEMO

- システム着信履歴は手順１～３のかわりに ◯ を押しても、システム着信履歴を表示できます。（DC230電話機は除く）
- 手順１～３は、メニュー特番１２（システム着信履歴）、１３（個別着信履歴）として電話機の オート に登録できます。（☞ １４１、１４３ページ）
- 各着信履歴がない場合、手順１～３を行うと「登録なし」が約２秒間表示されます。
- ネームディスプレイの着信履歴は、例「００１＞東京サクサ」が表示されます。
- 工事設定により、電話機ごとに「着信した履歴を残す／残さない」の設定を行うことができます。
- 初期設定で「詳細表示」を設定している場合は手順４で「詳細表示」が表示されます。
- 「詳細表示」を設定している場合は 短　縮 で「一覧表示」に戻ります。

電話帳、各履歴情報を消去する

消去のしかたは、「短縮番号検索発信」（☞４２ページ）、「電話帳カナ検索発信」（☞４３ページ）、「電話帳グループ検索発信」（☞４５ページ）、「電話帳一覧」（☞４６ページ）のいずれかの操作で、短縮番号を選択します。そのあと、下記の手順４～６を行います。ここでは「電話帳一覧」による、すべての操作について説明します。

電話帳を消去する

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

1 確定を押す

●CL620子機の場合は、切を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから確定を押します。

2 ◯を押して[電話帳]を選択し、確定を押す

3 ◯を押して[一覧表示]を選択し、確定を押す

4 ◯を押して消去する短縮番号を選択し、確定を押す

5 ◯を押して[消去]を選択し、確定を押す

6 ◯を押して[はい]を選択し、確定を押す

●選択された短縮番号が消去され、手順４に戻ります。

電話帳を消去する

DC230電話機

1 内線 保留（再送/決定）を押す

2 #▽（または*△）を押して[電話帳]を選択し、保留（再送/決定）を押す

3 #▽（または*△）を押して[一覧表示]を選択し、保留（再送/決定）を押す

4 #▽（または*△）を押して消去する短縮番号を選択し、保留（再送/決定）を押す

5 #▽（または*△）にて[消去]を選択し、保留（再送/決定）を押す

6 1アア（消去）を押す

●選択された短縮番号が消去され、手順４に戻ります。

発信履歴を消去する

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

1 確定 を押す

- CL620子機の場合は、切 を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから 確定 を押します。

2 ◆ を押して[履歴（発信／着信）]を選択し、確定 を押す

3 ◆ を押して[発信履歴]を選択し、確定 を押す

4 ◆ を押して消去する番号を選択し、確定 を押す

5 ◆ を押して[一件消去]を選択し、確定 を押す

- 全件消去をする場合、[全件消去]を選択します。

6 ◆ を押して[はい]を選択し、確定 を押す

- 選択された発信履歴が消去され、手順4に戻ります。（全件消去の場合は、「カレンダー・時計」表示に戻ります）

発信履歴を消去する

DC230電話機

1 内線 保留（再送/決定） を押す

2 #▷（または *◁）を押して[履歴(発／着)]を選択し、保留（再送/決定）を押す

3 #▷（または *◁）を押して[発信履歴]を選択し、保留（再送/決定）を押す

4 #▷（または *◁）を押して消去する番号を選択し、保留（再送/決定）を押す

5 #▷（または *◁）にて[一件消去]を選択し、保留（再送/決定）を押す

- 全件消去をする場合、[全件消去]を選択します。

6 1 アア（消去）を押す

- 選択された発信履歴が消去され、手順4に戻ります。（全件消去の場合は、「カレンダー・時計」表示に戻ります）

MEMO

- 発信履歴がない場合、手順1～3を行うと「登録なし」が約2秒間表示されます。

着信履歴を消去する

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

1 確定 を押す

- CL620子機の場合は、切 を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから 確定 を押します。

2 ◆ を押して[履歴（発信／着信）]を選択し、確定 を押す

3 ◆ を押して着信履歴の種類を選択し、確定 を押す

- システム着信履歴から消去したい場合は[システム着信履歴]を選択します。
- 個別着信履歴から消去したい場合は[個別着信履歴]を選択します。

4 ◆ を押して消去する番号を選択し、確定 を押す

5 ◆ を押して[一件消去]を選択し、確定 を押す

- 全件消去をする場合、[全件消去]を選択します。

6 ◆ を押して[はい]を選択し、確定 を押す

- 選択された着信履歴が消去され、手順4に戻ります。（全件消去の場合は、「カレンダー・時計」表示に戻ります）

着信履歴を消去する

DC230電話機

1 内線 保留（再送/決定） を押す

2 #▷（または *◁）を押して[履歴(発／着)]を選択し、保留（再送/決定）を押す

3 #▷（または *◁）を押して着信履歴の種類を選択し、保留（再送/決定）を押す

- システム着信履歴から消去したい場合は[システム着信履歴]を選択します。
- 個別着信履歴から消去したい場合は[個別着信履歴]を選択します。

4 #▷（または *◁）を押して消去する番号を選択し、保留（再送/決定）を押す

5 #▷（または *◁）にて[一件消去]を選択し、保留（再送/決定）を押す

- 全件消去をする場合、[全件消去]を選択します。

6 1 アア（消去）を押す

- 選択された着信履歴が消去され、手順4に戻ります。（全件消去の場合は、「カレンダー・時計」表示に戻ります）

MEMO

- 着信履歴がない場合、手順1～3を行うと「登録なし」が約2秒間表示されます。
- ネームディスプレイの着信履歴は、例「００１>東京サクサ」が表示されます。

迷惑電話を登録する

迷惑電話に対して、迷惑電話拒否メッセージで応答して外線を自動開放します。
本システムが、あらかじめ、迷惑電話固定メッセージ「恐れ入りますが、おかけになった電話は、お受けできません」があります。ご自分でメッセージを作成することもできますし、メッセージでなくビジートーンとすることもできます。
迷惑電話拒否メッセージの録音方法は ☞９８ページを、確認／変更／消去方法は ☞９９ページを参照してください。

- 迷惑電話拒否メッセージ応答を使用するときは、工事設定とナンバー・ディスプレイサービスのご契約が必要となります。
- 登録は、３００件までできます。登録が満杯になったとき、消去するには「一件消去」と「全件消去」があります。（満杯になったときは、その旨のメッセージを表示します）
- 工事設定により、３００件を超えると、古いものから順に自動的に消去できます。

通話中からの登録のしかた

多機能電話機、CL620親機

外線通話中に次の操作を行ってください。

1 ◯迷惑電話 を押す

MEMO

- ◯迷惑電話（特殊番号２８）は、電話機の◯オート に登録できます。（☞１４１ページ）
- 付属のステッカ「迷惑電話」シールを貼ると便利です。

登録のしかた

多機能電話機、CL620親機

1 確定 を押す

2 ◯ を押して[その他]を選択し、確定 を押す

3 ◯ を押して[システム]を選択し、確定 を押す

4 ◯ を押して[迷惑電話]を選択し、確定 を押す

5 ◯ を押して[新規登録]を選択し、確定 を押す

6 迷惑電話として登録する電話番号を入力し、確定 を押す

- 電話番号を市外局番から登録します。
- 電話番号は最大２４桁まで入力できます。
- 入力番号を間違えた場合は フラッシュ を押して消去します。
- PBX内線との混在の場合は、PBXアクセスコード（お買い上げ時：０）を先頭につけます。
- 迷惑電話を登録し、約2秒後に手順５に戻ります。

MEMO

- 手順１～５はメニュー特番９１３１として電話機の◯オート に登録できます。（☞１４１ページ）

着信履歴からの登録のしかた

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

1 確定を押す

- CL620子機の場合は、切を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから確定を押します。

2 ◯を押して[履歴（発信／着信）]を選択し、確定を押す

3 ◯を押して[システム着信履歴]、[個別着信履歴]のいずれかを選択し、確定を押す

- **システム着信履歴から登録したい場合は[システム着信履歴]を選択します。**
- **個別着信履歴から登録したい場合は[個別着信履歴]を選択します。**

4 ◯を押して登録する電話番号を選択し、確定を押す

5 ◯を押して「迷惑電話登録」を選択し、確定を押す

6 ◯を押して「はい」を選択し、確定を押す

- 着信履歴から選択された電話番号を迷惑電話に登録して、検索した着信履歴の「一覧表示」に戻ります。

MEMO

- 手順１～３は、メニュー特番１２（システム着信履歴）、１３（個別着信履歴）として電話機の オート に登録できます。（☞１４１ページ）
- 着信履歴がない場合、手順１～３を行うと「登録なし」が約２秒間表示されます。

迷惑電話拒否機能のセット／解除のしかた

多機能電話機、CL620親機

工事設定により、迷惑電話に対して留守番指定電話機が応答し、メッセージまたはビジートーンが流れます。迷惑電話拒否を設定できる留守番指定電話機より操作します。

1 留 守を押す

```
迷惑電話拒否          内線 1
１１月   ５日(土)
午前     ９：００
迷惑
```

- オートダイヤルに登録された 留 守を押します。
- 迷惑電話拒否機能をセットします。このとき「迷惑」を表示します。
  →留 守ランプ：赤点灯
- 再度 留 守を押すと、迷惑電話拒否機能を解除し、「迷惑」が消えます。
  →留 守ランプ：消灯

MEMO

- 工事設定により、「迷惑電話拒否」、「非通知着信拒否＆迷惑電話拒否」のいずれかを選択します。
- 「非通知着信拒否＆迷惑電話拒否」に工事設定すると、「非通知着信拒否のセット／解除のしかた」も同時に操作されます。

確認のしかた

1 「迷惑電話の登録のしかた」（☞71ページ）の手順1～4と同じ操作をします

2 ◇を押して[一覧表示]を選択し、確定を押す

MEMO

●手順1～2は、メニュー特番9132として電話機の〔オート〕に登録できます。（☞141ページ）

一件消去のしかた

多機能電話機、CL620親機

1 「迷惑電話の登録のしかた」（☞71ページ）の手順1～4と同じ操作をします

2 ◇を押して[一覧表示]を選択し、確定を押す

3 ◇を押して消去したい電話番号を選択し、確定を押す

4 ◇を押して[一件消去]を選択し、確定を押す

5 ◇を押して[はい]を選択し、確定を押す

●選択した電話番号が「迷惑電話」から消去して、手順3に戻ります。

全件消去のしかた

多機能電話機、CL620親機

1 「迷惑電話の登録のしかた」（☞71ページ）の手順1～4と同じ操作をします

2 ◇を押して[一覧表示]を選択し、確定を押す

3 確定を押す

4 ◇を押して[全件消去]を選択し、確定を押す

5 ◇を押して[はい]を選択し、確定を押す

●登録されている「迷惑電話」を全件消去して、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

グループ名を登録する（グループ名登録）

グループ名の登録を行います。（グループ０～９）
グループ名を登録しておくと、電話帳のグループ検索など、グループごとの操作を行うのに便利です。

グループごとに、以下の機能を使用することができます。
この機能を使用される場合は、ナンバー・ディスプレイサービスのご契約と工事設定が必要です。

◆グループ識別着信（グループによって着信音を変える）

あらかじめ電話帳に割り当てたグループごとに着信音（パターンA～H、保留メロディ、着信メロディ）を設定しておくことにより、着信時に発信者番号と電話帳に登録されている電話番号が一致した場合、グループ識別着信に登録されている着信音で、着信音を鳴動させることができます。ただし、実際の着信音は、設定の優先度（識別着信＞グループ識別着信＞各外線ごとの着信音）によります。

◆誰カラー着信（グループによって着信ランプの色を変える）

あらかじめ電話帳に割り当てたグループごとに外線着信時の着信ランプの色（シグナルレッド、レモンイエロー、グラスグリーン、ロイヤルブルー、ライトブルー、ピーチホワイト、バイオレット、7色）を設定しておくことにより、外線着信時に発信者番号と電話帳に登録されている電話番号が一致した場合、グループごとに色分けすることができます。

◆グループFAX指定（グループによってFAX指定の有無を設定する）

あらかじめ電話帳に割り当てたグループごとに外線着信時に発信者番号と電話帳に登録されている電話番号が一致した場合、FAX指定ありの場合は自動的にFAXが自動受信することができます。FAX指定なしの場合は、通常の着信動作を行います。

※短縮番号ごとにグループ（グループ0～9）分けを行うには、「短縮番号検索発信」（☞42ページ）、「電話帳カナ検索発信」（☞43ページ）、「電話帳グループ検索発信」（☞45ページ）、「電話帳一覧」（☞46ページ）のいずれかの操作で、短縮番号を選択します。そのあと、「電話帳を変更する」の手順5～8の操作をします。

その他として、以下の機能があります。

◆メロディ切替（着信メロディを切り替える）

【着信メロディ】
保留メロディ、着信メロディを使用して外線着信のメロディを選択できます。
- 通常の外線着信音をメロディに指定するときは工事設定が必要です。

グループ名を登録する（グループ名登録）

多機能電話機、CL620親機

登録のしかた

1 確定を押す

2 ◆を押して[その他]を選択し、確定を押す

3 ◆を押して[システム]を選択し、確定を押す

4 ◆を押して[グループ設定]を選択し、確定を押す

5 ◆を押して名前を登録したいグループを選択し、確定を押す

- 0グループ0 ～ 9グループ9

6 ◆を押して[グループ名前登録]を選択し、確定を押す

7 ◆を押して[名前登録]を選択し、確定を押す

8 グループ名を入力し、確定を押す

- グループ名は最大１０桁まで入力できます。
- グループ名の入力方法は、☞２２２ページをご覧下さい。
- グループ名が登録され、手順6に戻ります。

MEMO

- 手順１～４はメニュー特番９１４、手順１～５はメニュー特番９１４Ｘ、手順１～６はメニュー特番９１４Ｘ３、手順１～７はメニュー特番９１４Ｘ３１として。電話機の〇オートに登録できます。（☞１４１ページ）（Ｘ：0グループ0～9グループ9）

消去のしかた

1 「登録のしかた」の手順１～６と同じ操作をする

2 ◆を押して[名前消去]を選択し、確定を押す

3 ◆を押して[はい]を選択し、確定を押す

- グループ名前が消去され「登録のしかた」の手順6に戻ります。

MEMO

- 手順１～３はメニュー特番９１４Ｘ３２として。電話機の〇オートに登録できます。(☞１４１ページ)(Ｘ：0グループ0～9グループ9）

グループ識別着信

多機能電話機、CL620親機

1 確定を押す

2 ◯を押して[その他]を選択し、確定を押す

3 ◯を押して[システム]を選択し、確定を押す

4 ◯を押して[グループ設定]を選択し、確定を押す

5 ◯を押して着信音を変えたいグループを選択し、確定を押す

- 0 グループ0 ～ 9 グループ9

6 ◯を押して[着信音設定]を選択し、確定を押す

7 ◯を押して登録したい着信音を選択し、確定を押す

8 着信音を試聴する場合は、ア 1 を押す

- 確定を押すと試聴を停止します。
- 試聴しない場合は、手順9へ進みます。

9 # を押す

- 着信音が設定され手順6に戻ります。

MEMO

- 手順1～4はメニュー特番914、手順1～5はメニュー特番914X手順1～6はメニュー特番914X1として。電話機の ◯オート に登録できます。(☞141ページ)(X：0 グループ0～9 グループ9)

誰カラー着信

多機能電話機、CL620親機

1 確定を押す

2 ◈を押して[その他]を選択し、確定を押す

3 ◈を押して[システム]を選択し、確定を押す

4 ◈を押して[グループ設定]を選択し、確定を押す

5 ◈を押して着信ランプの色を変えるグループを選択し、確定を押す

- 0 グループ0 ～ 9 グループ9

6 ◈を押して［着信ランプ設定]を選択し、確定を押す

7 ◈を押して登録したい着信ランプの色選択し、確定を押す

- ◈ 押してカーソルを移動させた場合、着信ランプが各色で点滅し、確認できます。
- 着信ランプの色を選択します。
  1 シグナルレッド　2 レモンイエロー
  3 グラスグリーン　4 ロイヤルブルー
  5 ライトブルー　6 ピーチホワイト
  7 バイオレット　8 7色
- 着信ランプの色が設定され手順6に戻ります。

MEMO

- 手順1～4はメニュー特番914、手順1～5はメニュー特番914X手順1～6はメニュー特番914X2として。電話機の〇オートに登録できます。(☞141ページ)（X：0 グループ0～9 グループ9）

グループFAX指定

多機能電話機、CL620親機

1 確定を押す

2 ◈を押して[その他]を選択し、確定を押す

3 ◈を押して[システム]を選択し、確定を押す

4 ◈を押して[グループ設定]を選択し、確定を押す

5 ◈を押してFAX指定の有無を設定したいグループを選択し、確定を押す

- 0 グループ0 ～ 9 グループ9

6 ◈を押して[FAX指定]を選択し、確定を押す

7 ◈を押して[する]を選択し、確定を押す

- お買い上げ時は「しない」です。
- FAX指定　有に設定され、手順6に戻ります。
- FAX指定　無に設定する場合には、[しない]を選択します。

MEMO

- 手順1～4はメニュー特番914、手順1～5はメニュー特番914X手順1～6はメニュー特番914X4として。電話機の〇オートに登録できます。(☞141ページ)（X：0 グループ0～9 グループ9）

メロディ切替

多機能電話機、CL620親機

1 確定を押す

2 ◯を押して[音関係]を選択し、確定を押す

3 ◯を押して[メロディ設定]を選択し、確定を押す

4 ◯を押して[保留メロディ]、[着信メロディ]、のいずれかを選択し、確定を押す

- 保留メロディを変更したい場合は[保留メロディ]を選択します。
- 着信メロディを変更したい場合は[着信メロディ]を選択します。
- 保留メロディのお買い上げ時は「愛の挨拶」です。
- 着信メロディのお買い上げ時は「黒電話」です。

5 ◯を押して変更したいメロディを選択し、確定を押す

- 現在設定されているメロディに「♪」が表示されます。

6 着信音を試聴する場合は、ア 1を押す

- 確定を押すと試聴を停止します。
- 試聴しない場合は、手順7へ進みます。

7 # を押す

- メロディが設定され手順4に戻ります。

原題名	作曲者名
愛の挨拶	ELGAR EDWARD
さくら	森山　直太郎
夏を抱きしめて	春畑　道哉
秋桜	さだ　まさし
Everything	松本　俊明
花	ORANGE RANGE
世界に一つだけの花	槇原　敬之
ニューヨーク・シティ・セレナーデ	ALLEN PETER W
組曲「惑星」の木星	Gustav Holst
カノン	Johann Pachelbel

- 黒電話、ステーション、ハープ、朝、ネクストステージ、琴は「着信メロディ」のメロディです。

MEMO

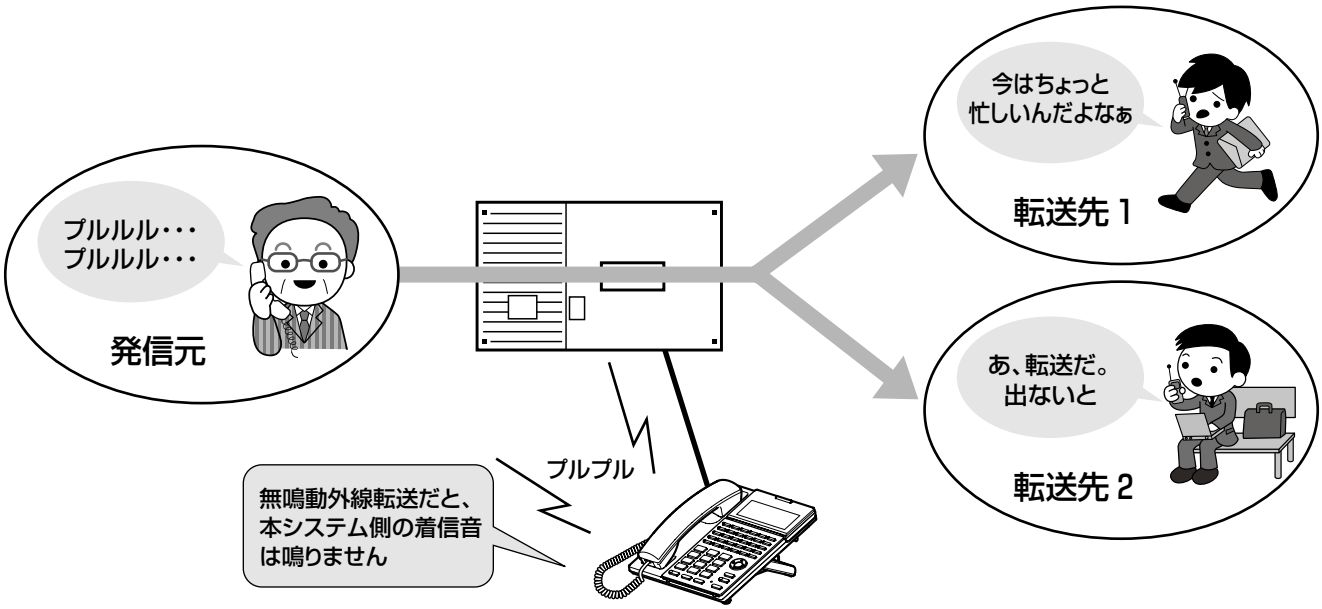
- 通常の外線着信音をメロディに設定するときは工事設定が必要です。
- 手順1～4はメニュー特番として、電話機の〇オートに登録できます。（☞141ページ）
  ・保留メロディ：771
  ・着信メロディ：772
- ユーザメロディ1～4には、お客様がご用意された曲をWeb設定（☞207ページ）、或いは電話機から登録（☞170ページ）することで、保留メロディ、着信メロディとして利用することができます。

外線転送について

本システムは、外線からかかってきた電話を外出先などの電話に転送する、外線転送機能があります。
・転送先が一般回線（特に遠方）の場合、転送先で電話に応答しても、初めの 2 秒間の通話が途切れる場合があります。
・発信元／転送先に使用する回線が共にアナログ回線の場合、設置場所によりご利用できないことがあります。
・本機能を使用する場合には、工事設定が必要です。

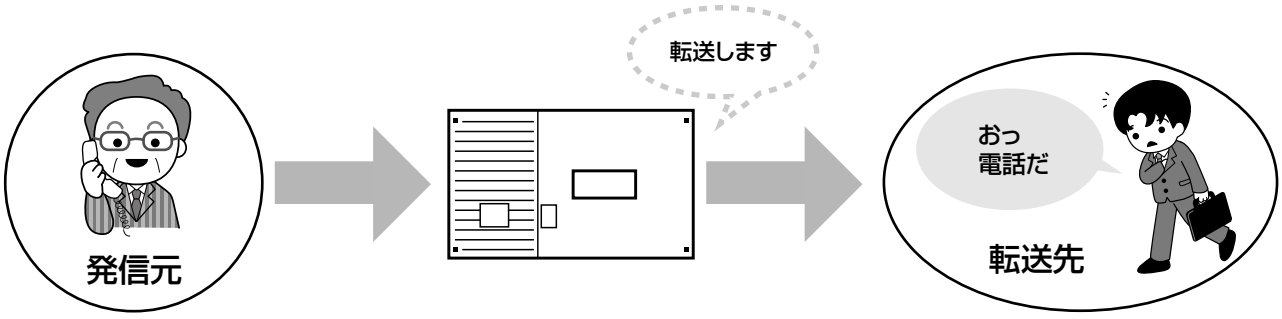
外線自動転送

外線自動転送の転送先電話番号登録は最大 8 ヶ所、転送セットは 4 組できます。
転送のセット／解除はオートダイヤルに登録してワンタッチで利用するのはもちろん、メニューからも簡単に操作できます。
外線自動転送には、転送先を呼び出し中であっても（外線着信鳴動中）、本システムの電話機の受話器を上げると電話をかけてきたお客様と通話ができる「着信鳴動外線転送」と、転送先が応答するまでの間、本システム側の着信音を鳴らないようにする「無鳴動外線転送」があります。
また、１つの転送につき転送先を 2 ヶ所までセットし、外線自動転送時に 2 つの転送先を同時に呼び出す機能を搭載していますので、より確実に転送することができます。
※工事設定により、携帯電話に発信するとき、あらかじめ登録したアクセスコードを自動的に付加して発信することができます。



一次応答付き外線自動転送

電話をかけてきた相手にメッセージを流しながら、転送先へ自動転送できます。メッセージは固定内蔵メッセージ「ただいま電話を転送いたします。すこしお待ちください」または、ご自身に入れていただいたメッセージが流れます。
※一次応答付き外線自動転送では、転送先は１組のみとなります。

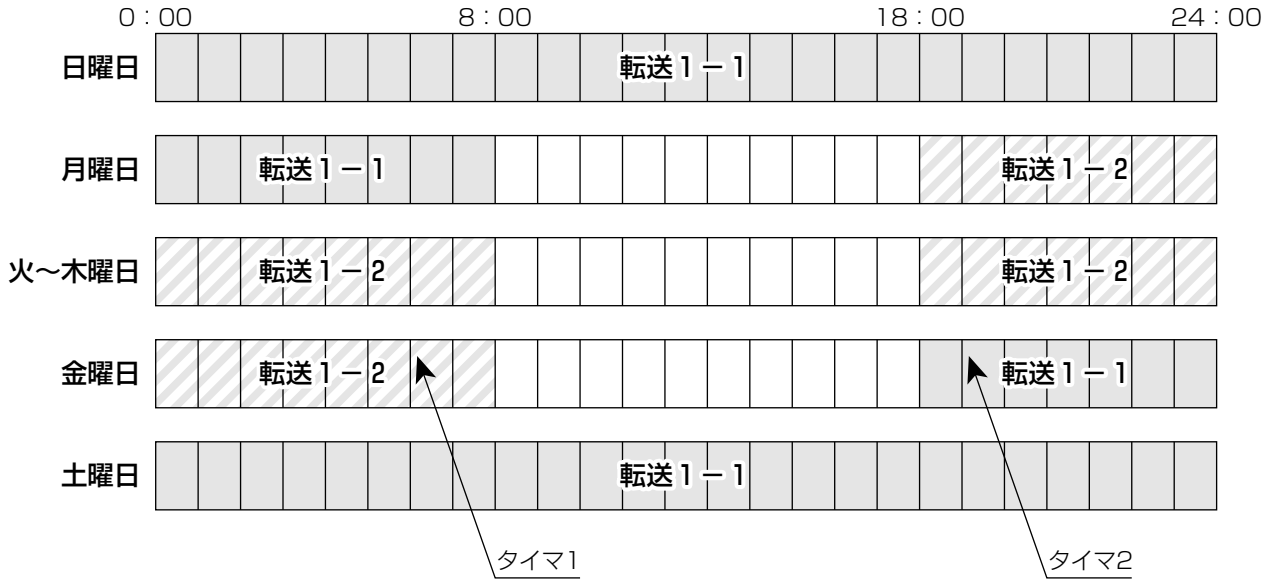


外線手動転送、外線転送コールバック

応答した電話を、空いている回線から転送先を呼び出して転送することが出来ます。
更に、外線転送（手動／自動）の通話が終了後、電話をかけてきた相手（発信元）が先に電話を切った場合、転送先の通話者が電話を切らずにそのまま待っていると、転送先から本システムへの外線着信となり、本システムが呼び出されます。

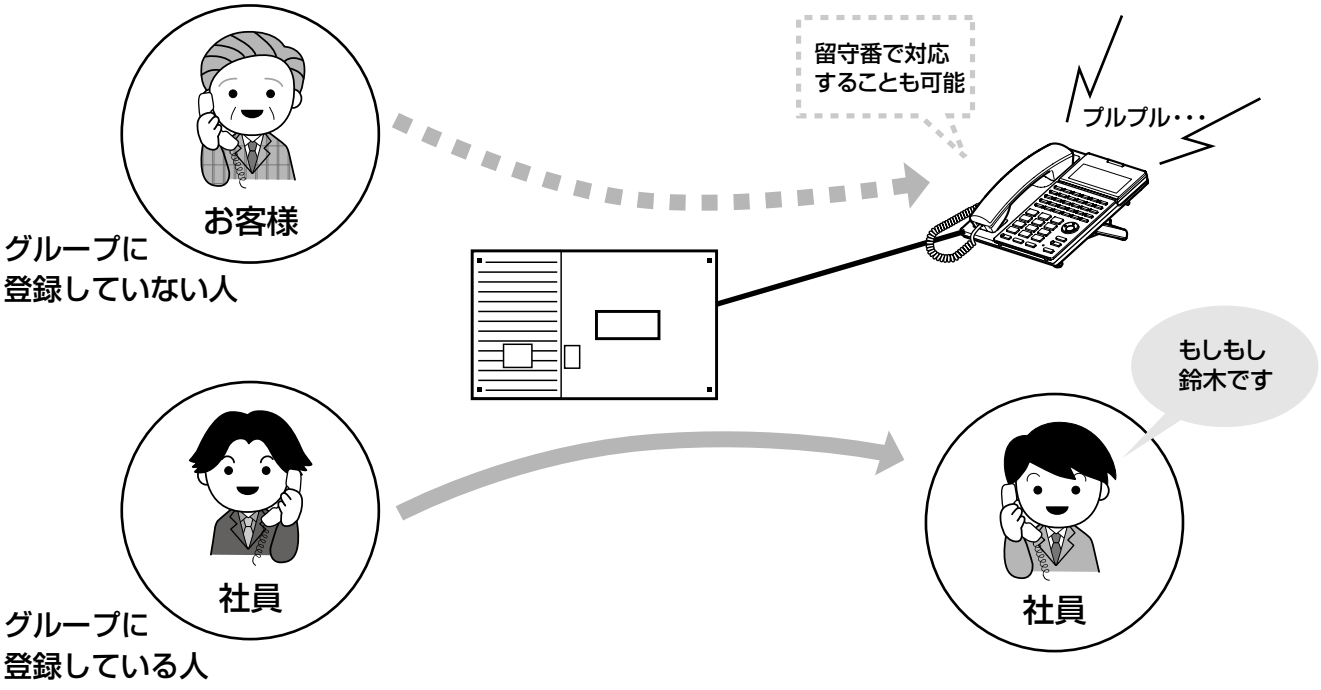
外線転送タイマ連動

あらかじめ設定しておいた時刻になると、自動的に外線自動転送をセット／解除することができます。
タイマは各曜日毎に 2 個のタイマを設定することができます。
※外線転送タイマ連動は、手動で外線自動転送設定が設定されている場合、外線転送タイマ連動は無効となり、手動での外線自動転送設定で動作します。



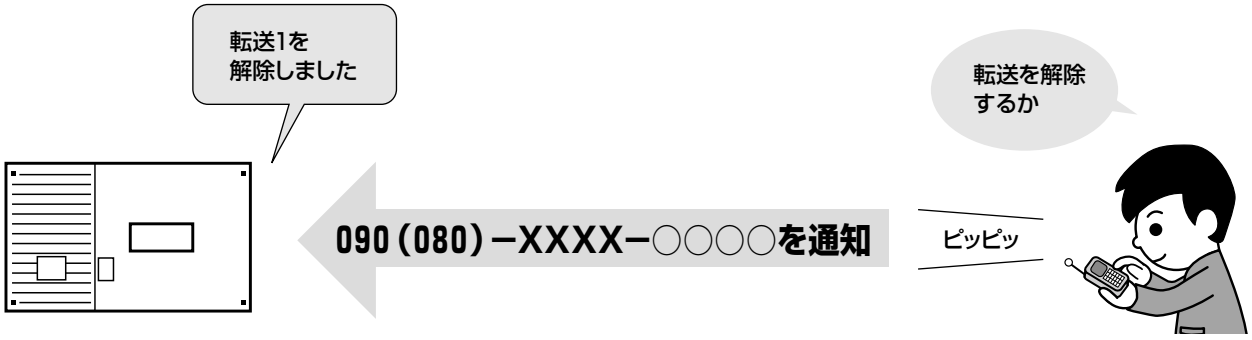
グループ識別着信転送

電話帳に登録されたグループ毎に外線転送するか、しないかを設定することができます。
また、転送させない着信を留守番で応答させることもできます。



外線転送リモコン機能

外出先の電話機から、リモコン操作で外線自動転送セット、または解除したり、転送先電話番号の変更もできます。



外線自動転送失敗時のメール送信について（外線転送不成立メール送信）

外線自動転送が成功しなかった場合、下記の条件により指定メールアドレスにメール送信を行います。
メールアドレスは「外線転送先電話番号」に対し、１件登録することができます。
①転送先が応答しなかったケース
②転送先呼び出し中に転送元がキャンセルしたケース

- 指定メールアドレス編集の詳細については、
  サクサ株式会社ホームページ（http://www.saxa.co.jp）のWEB設定マニュアルを参照してください。

外線転送のセット

転送先電話番号の登録

多機能電話機、CL620親機

転送先は最大８ヵ所まで登録できます。外線転送をセットする際に、ここで登録した中から転送先をセットすることができます。

登録／変更／消去のしかた

1 確定を押す

2 ◇を押して[外線転送関係]を選択し、確定を押す

3 ◇を押して[外線自動転送先電話番号]を選択し、確定を押す

4 ◇を押して設定する各外線転送先を選択し、確定を押す

- 1 外線転送先１～8 外線転送先８

5 ◇を押して[登録]を選択し、確定を押す

6 転送先電話番号を入力し、確定を押す

- 電話番号は最大２４桁まで入力できます。（転送先電話番号の途中にポーズを入れないで下さい。相手につながらないことがあります。）
- 入力番号を間違えた場合は フラッシュ を押して消去します。
- 選択された外線転送先電話番号が登録され、手順４に戻ります。

●消去するときは、手順５で[消去]を選択し、確定を押す。次の操作で、[はい]を選択し、確定を押す。

MEMO

- 手順１～３はメニュー特番４２、手順１～４はメニュー特番４２X(※１)、手順１～５はメニュー特番４２X１(※２)として電話機の ○オート に登録できます。（☞１４１ページ）
  （X：1 外線転送先１～8 外線転送先８）
  ※１：登録後、○オート を押すだけで転送先電話番号が確認できます。
  ※２：登録後、○オート を押すだけで転送先電話番号が登録できます。

確認のしかた

1 確定を押す

2 ◇を押して[外線転送関係]を選択し、確定を押す

3 ◇を押して[外線自動転送先電話番号]を選択し、確定を押す

4 ◇を押して確認する各外線転送先を選択し、確定を押す

- 【　　】内に転送先が表示されます。

外線自動転送セット

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

登録／変更のしかた

1 (確定)を押す

- CL620子機の場合は、✎ [切] を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから (確定) を押します。

2 ◯ を押して[外線転送関係]を選択し、(確定) を押す

3 ◯ を押して[外線自動転送モード]を選択し、(確定) を押す

4 ◯ を押して設定したい外線自動転送モードを選択し、(確定) を押す

- [1] 外線転送 1 ～ [4] 外線転送 4
- お買い上げ時は「設定なし」です。

5 ◯ を押して[登録]を選択し、(確定) を押す

6 ◯ を押して外線転送先を選択し、(確定) を押す

- 外線転送先 1 ～外線転送先 8 から最大 2 カ所まで選択出来ます。（工事設定が必要です）
- 多機能電話機、CL620親機の場合は、外線転送先に選択されると「☑」を表示します。選択されていない場合は、「□」になります。(確定) を押すたびに「☑」→「□」を繰り返します。
- CL620子機、WS600電話機の場合は、外線転送先に選択されると「○」を表示します。選択されていない場合は、「　」になります。(確定) を押すたびに「○」→「　」を繰り返します。

7 [#] を押す

- 外線自動転送モードが登録され、手順 4 に戻ります。

セット／解除のしかた

1 「登録/変更のしかた」の手順 1 ～ 4 と同じ操作を行う

2 ◯ を押して[セット／解除]を選択し、(確定) を押す

●セット

- 外線自動転送モードがセットされ、「カレンダー・時計」表示に戻ります。このとき、選択された外線転送モードと転送先を表示します。

```
[2→2・3]
１１月　　５日(土)
午前　　９：００
```

→ 発信側 ◯[外　線]ランプ：赤点灯
→ 着信側 ◯[外　線]ランプ：赤点滅

●解除

- 外線自動転送モードが解除され、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

→ 発信側 ◯[外　線]ランプ：消灯
→ 着信側 ◯[外　線]ランプ：消灯

消去のしかた

1 「登録/変更のしかた」の手順 1 ～ 4 と同じ操作を行う

2 ◯ を押して[消去]を選択し、(確定) を押す

3 ◯ を押して[はい]を選択し、(確定) を押す

- 登録された外線自動転送モードが消去され、「登録／変更のしかた」の手順 4 に戻ります。

外線自動転送セット

DC230電話機

登録／変更のしかた

1 内線 保留（再送/決定） を押す

2 ＃（または ＊）を押して[外線転送関係]を選択し、保留（再送/決定）を押す

3 ＃（または ＊）を押して[外線転送モード]を選択し、保留（再送/決定）を押す

4 ＃（または ＊）を押して設定したい外線自動転送モードを選択し、保留（再送/決定）を押す

- 外線転送１～４のいずれかを選択します。

5 ＃（または ＊）を押して[登録]を選択し、保留（再送/決定）を押す

6 1 ～ 8 のいずれかを押し、外線転送先を選択します

- 外線転送先１～外線転送先８から最大２ヵ所まで選択できます。（工事設定が必要です）

7 保留（再送/決定） を押す

- 外線自動転送モードが登録され、手順４に戻ります。

セット／解除のしかた

1 「登録のしかた」の手順１～４と同じ操作を行う

2 ＃（または ＊）を押して[セット/解除]を選択し、保留（再送/決定）を押す

●セット

- 外線自動転送モードがセットされ、「カレンダー・時計」表示に戻ります。
  → 発信側 外線 ランプ：赤点灯
  → 着信側 外線 ランプ：赤点滅

●解除

- 外線自動転送モードが解除され、「カレンダー・時計」表示に戻ります。
  → 発信側 外線 ランプ：消灯
  → 着信側 外線 ランプ：消灯

消去のしかた

1 「登録のしかた」の手順１～４と同じ操作を行う

2 ＃（または ＊）を押して[消去]を選択し、保留（再送/決定）を押す

3 1 を押す

- 登録された外線自動転送モードが消去され、「登録／変更のしかた」の手順４に戻ります。

MEMO

- 転送先相手が（発信側）話中のとき、電話にでないときは約６０秒呼び出したあと、自動的に電話を切って約10秒後に再度かけ直します。（合計３回）
- 外線自動転送中に着信があったときでも転送先（発信側）または転送元（着信側）、どちらからでも応答できます。
- 外線自動転送後の通話中に「電話をかけた相手」と「転送先相手」との通話が、工事設定による通話時間を経過すると両方の相手に「ピー」音が聞こえ、約３０秒後に電話が切れます。工事設定により３０分、１時間、２時間、３時間のいずれかに設定できます。お買い上げ時は2時間です。
- 着信側外線は通常どおり発信、着信できます。転送先（発信側）外線は発信できません。ただし、着信は受けることができます。
- 転送先の電話番号が登録されていない場合はセットされません。
- 工事設定により、着信してから転送先を呼び出すまでの時間を遅らせることができます。
- 工事設定により、転送の着信側外線に着信が入ったとき、電話機から着信音を鳴動しないように変更することができます。
- 「登録/変更のしかた」の手順１～３はメニュー特番４１、手順１～４はメニュー特番４１X、手順１～６はメニュー特番４１X１YZ（※1）として、電話機の オート に登録できます。（☞１４１ページ）（X：1 外線転送１～ 4 外線転送４）（Y、Z：1 外線転送先１～ 8 外線転送先８）
  ※1：登録後は、オート を押すだけで外線自動転送のセット／解除ができます。
- 付属のステッカ「外線転送１」、「外線転送２」、「外線転送３」、「外線転送４」シールを貼ると便利です。

外線転送タイマ連動

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

決まった日時に外線転送機能のセット／解除を自動的に行います。外線転送タイマ連動は、各曜日ごとにタイマ１，２があります。
・外線転送タイマ連動の詳細は、☞１４７ページをご覧ください。
・外線転送タイマ連動は、手動で外線自動転送設定が設定されている場合、外線転送タイマ連動は無効となり、手動での外線自動転送設定で動作します。

一次応答付き外線自動転送

本システムにかけてきた相手に、一次応答メッセージを送出しながら外線自動転送をすることができます。この機能を使用される場合は工事設定が必要です。
一次応答メッセージの録音／確認／消去のしかたは、留守番機能の各種メッセージ（外線転送用メッセージ）の「録音のしかた」（☞９８ページ）を参照してください。
・一次応答メッセージは、固定内蔵メッセージ「ただいま電話を転送いたします。すこしお待ちください。」を用意しています。

MEMO

●工事設定により、着信してから転送先を呼び出すまでの時間を遅らせることができます。

グループ識別着信転送

あらかじめ電話帳に登録したグループごとに、外線自動転送しないようにすることができます。この機能を使用される場合はナンバー・ディスプレイサービスのご契約と工事設定が必要です。

MEMO

●転送させない着信を留守番で対応させることもできます。

外線手動転送

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

外線通話中に、他の外線から転送先を呼び出して、転送することが出来ます。

1 外線通話中

→ 〇外 線 ランプ1：緑点灯

2 保 留 を押す

→ 〇外 線 ランプ1：緑点滅

3 〇外 線 を押す

- 未使用の 〇外 線 を押します。
- 外線発信音「ツー」が聞こえます。
  → 〇外 線 ランプ2：緑点灯

4 転送先電話番号を押す

5 転送先と通話をする

- 転送先相手が応答したら転送することを話します。

6 〇手動転送 を押す

- 着信側、転送側の外線ランプが赤点灯します。
  → 〇外 線 ランプ1：赤点灯
  → 〇外 線 ランプ2：赤点灯

7

- WS600電話機の場合は、 または 切 を押し、DC230電話機の場合は 電源 を押します。
- 「電話をかけた相手」と「転送先の相手」が通話します。
- 「カレンダー・時計」表示に戻ります。

MEMO

多機能電話機の場合は

- 〇手動転送 は、特殊番号10として電話機の 〇オート に登録できます。（☞141、143ページ）
- 手順6の 〇手動転送 の代わりに、〇機 能 の後に フラッシュ でも操作できます。
- 付属のステッカ「手動転送」シールを貼ると便利です。

CL620子機、WS600電話機の場合は

- 未使用 外線 に 機能 を登録します。（☞31ページ）
- 手順6の 手動転送 の代わりに、 機能 の後に フラッシュ でも操作できます。

DC230電話機の場合は

- 未使用 外線 に 機能 を登録します。（☞32ページ）
- 手順6の 手動転送 の代わりに、機能 の後に フック（機能/クリア） でも操作できます。

外線会議転送

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

三者での外線会議通話中（三者会議、外線二人、内線一人）に、内線一人が終話する（ぬける）と、外線手動転送と同様に、外線二人がそのまま外線転送状態になります。

外線会議転送（外線二人、内線一人）

1 外線会議通話中

- 外線2人、内線1人が外線会議通話中
  → 〇外 線 ランプ1：緑点灯
  → 〇外 線 ランプ2：緑点灯
  → 〇会 議 ランプ：赤点灯

2

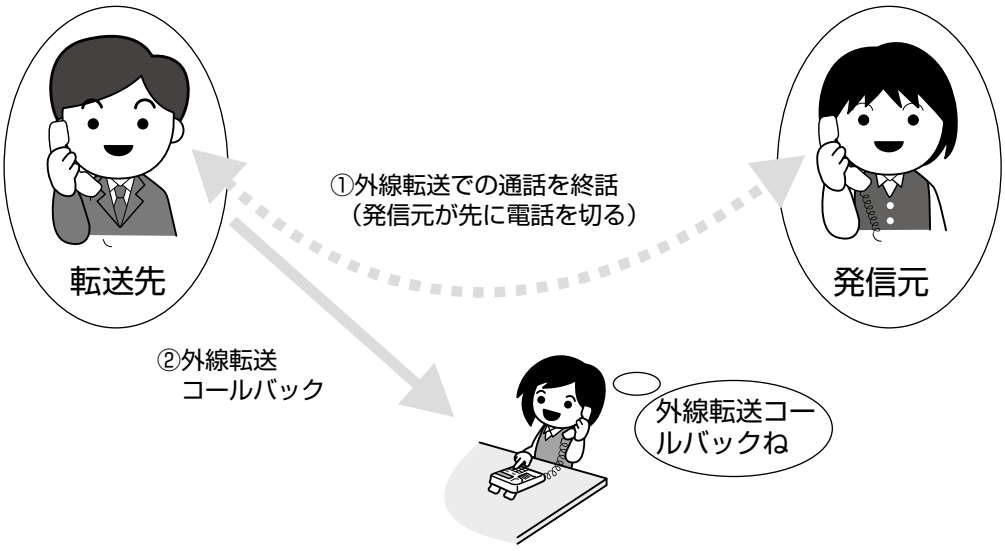
- WS600電話機の場合は、 または 切 を押し、DC230電話機の場合は 電源 を押します。
- 内線1人が通話を終了します。外線2人が外線転送状態に移行します。
  → 〇外 線 ランプ1：赤点灯
  → 〇外 線 ランプ2：赤点灯
  → 〇会 議 ランプ：消灯

MEMO

- 上記内容は外線会議通話中の外線2人・内線1人の場合のみ機能する内容です。
- 〇会 議（特殊番号42）は、電話機の 〇オート に登録できます。（☞141、143ページ）

外線転送コールバック

外線転送（手動／自動）の通話終了後、電話をかけてきた相手（発信元）が先に電話を切った場合、転送先の通話者が電話を切らずにそのまま待っていると、転送先から本システムへの外線着信となり、本システムが呼び出されます。自動転送の場合、工事設定が必要です。



1 外線転送通話中

- 「電話をかけてきた相手」と「転送先相手」が通話する。

2 通話が終わって「電話をかけてきた相手」が受話器を置く

3 転送先相手は、そのまま待っていると（受話側は受話器をあげたまま）、約 4 秒間、ビジートーン「プープープー」が聞こえる

4 約 2 秒後（※ 1）に本システムに着信音がなる

※ 1 ：お買い上げ時は約 2 秒です。工事設定により 0 (コールバックしない)～ 6 秒のいずれかに変更できます。

5 本システムの電話機で応答すると、転送先相手と通話できる

MEMO

- 外線自動転送、外線手動転送のどちらも外線転送コールバックができますが、お買い上げ時は外線手動転送のみです。
- 工事設定により、外線自動転送を「コールバックにする」に設定できます。

リモコン機能

外線転送リモコン用暗証番号

多機能電話機、CL620親機

設定／解除のしかた

1 確定を押す

2 ◇を押して[外線転送関係]を選択し、確定を押す

3 ◇を押して[外線転送リモコン用暗証番号]を選択し、確定を押す

4 暗証番号（４桁）を入力する

- 登録されている場合は「＊＊＊＊」を表示します。登録されていない場合は「－－－－」を表示します。
- ００００～９９９９を入力します。
- ４桁入力されると自動で登録され、「カレンダー・時計」表示に戻ります。
- 必ず４桁入力してください。

●解除するときは、暗証番号の代わりにフラッシュ → 確定を押します。

MEMO

- 暗証番号が未登録のときは、リモコン機能が利用できません。
- 手順１～３はメニュー特番４４として、電話機のオートに登録できます。（☞１４１ページ）
- 手順１～４はメニュー特番４４ＸＸＸＸ(ＸＸＸＸ：００００～９９９９)として、電話機オートに登録できます。（☞１４１ページ）
- 暗証番号の確認はできません。
- 暗証番号を忘れたときは、再度登録し直してください。

ダイレクトリモコン

工事設定により、発信者番号通知を利用して、転送先番号に登録されている番号と通知された番号が一致すると、リモコン操作ができます。
この機能を利用される場合は、ナンバー・ディスプレイサービスのご契約が必要です。

1 外出先から電話をかける

- プッシュ信号送出と発信者番号通知ができる外出先（転送先）の電話機から、工事設定をした本システムのアナログ回線またはデジタル回線へ電話をかけます。

2 自動応答する

- 受付メッセージ「リモコンを開始します。リモコン番号を入力してください。」が聞こえます。

3 操作するリモコン番号を押す

- メッセージ（☞９１ページ）が聞こえます。
- 操作したいリモコン番号は「リモコン操作一覧」を参照下さい。（☞９１ページ）

4 ＊ ０（終了）を押す

- 終了メッセージ「終了します。」が聞こえ、リモコン操作が完了します。

MEMO

- 転送先にサブアドレスが入力されている場合、ダイレクトリモコンは利用できません。
- いずれかのリモコンを利用しているときは、他のリモコンは利用できません。
- 転送先に登録された電話番号からだけ利用できます。
- 暗証番号の登録は必要ありません。
- 外線自動転送の転送先電話から発信者番号を通知して、工事設定した本システムのアナログ回線またはデジタル回線へ電話をかけると、外線転送のセット状態または解除状態にかかわらずリモコン状態に入ります。
- 外線自動転送の転送先電話から、工事設定した本システムのアナログ回線またはデジタル回線へリモコン以外の用事で電話をかけるときは、電話番号の前に「１８４」をダイヤルします。（発信者番号を通知不可にして電話をかけます）
- 受付メッセージ「リモコンを開始します。リモコン番号を入力してください。」が聞こえてから約２０秒以内にリモコン番号を押さないと、自動的に電話が切れます。
- 携帯電話からリモコン操作をする場合は、携帯電話の設定を「発信者番号通知あり」にしてください。

サブアドレスリモコン

デジタル回線の基本サービスであるサブアドレス通知を利用して、外線自動転送機能のリモコン操作ができます。このサブアドレスを付加すれば、システムのどのデジタル回線にかけてもリモコン操作が可能です。

1 サブアドレス[9][0]を付加して電話をかける

- プッシュ信号送出とサブアドレスが通知できる外出先の電話機から、本システムのデジタル回線へ電話をかけます。
- デジタル公衆電話機からかける場合は、「電話番号→サブアドレスボタン→９０→スタートボタン」の順にダイヤルします。

2 自動応答する

- 受付メッセージ「リモコンを開始します。暗証番号を入力してください。」が聞こえます。

3 暗証番号（４桁）を押す

- 受付メッセージ「リモコン番号を入力してください。」が聞こえます。
- 自動応答後、２０秒以内に暗証番号の１桁目を押し、続けて残りの３桁を押します。
- 暗証番号が間違っていると、エラーメッセージ「暗証番号が違います。暗証番号を入力して下さい。」が聞こえます。再度、正しい暗証番号を押します。

4 操作するリモコン番号を押す

- メッセージ（☞９１ページ）が聞こえます。
- 操作したいリモコン番号は「リモコン操作一覧」を参照してください。（☞９１ページ）

5 [*][0]（終了）を押す

- 終了メッセージ「終了します。」が聞こえ、リモコン操作が完了します。

MEMO

- 暗証番号は３回まで受け付けます。それ以上間違えると自動的に電話を切ります。
- サブアドレス通知ができる電話機からだけ利用できます。
- いずれかのリモコンを利用しているときは、他のリモコンは利用できません。
- サブアドレス通知ができる電話機は、デジタル公衆電話機、ＰＨＳ、デジタル回線に接続された電話機だけです。携帯電話は、サブアドレス通知できません。
- リモコン操作で、最後にダイヤルしてから約２０秒以上経過すると自動的に電話が切れます。

自動着信リモコン

外線自動転送の転送先外線（転送セット中のとき、赤点灯になる外線）に指定回数着信させて、リモコン操作ができます。

1 転送先外線へ電話をかける

- プッシュ信号が送出できる外出先の電話機から本システムへ電話をかけます。

2 自動応答する

- 受付メッセージ「リモコンを開始します。暗証番号を入力してください。」が聞こえます。
- 約４２秒（初期値）呼出後、本システムが自動応答します。

3 暗証番号（４桁）を押す

- 受付メッセージ「リモコン番号を入力してください。」が聞こえます。
- 自動応答後、２０秒以内に暗証番号の１桁目を押し、続けて残りの３桁を押します。
- 暗証番号が間違っていると、エラーメッセージ「暗証番号が違います。暗証番号を入力して下さい。」が聞こえます。再度、正しい暗証番号を押します。

4 操作するリモコン番号を押す

- メッセージ（☞９１ページ）が聞こえます。
- 操作したいリモコン番号は「リモコン操作一覧」を参照してください。（☞９１ページ）

5 ＊ ０（終了）を押す

- 終了メッセージ「終了します。」が聞こえ、リモコン操作が完了します。

MEMO

- 暗証番号は3回まで受け付けます。それ以上間違えると自動的に電話を切ります。
- いずれかのリモコンを利用しているときは、他のリモコンは利用できません。
- 工事設定により自動応答する時間を１～１８０秒のいずれかに設定できます。（０秒に設定すると自動応答しません。）
- リモコン操作で、最後にダイヤルしてから約２０秒以上経過すると自動的に電話が切れます。

リモコン操作一覧

種　類	リモコン番号	動作内容
自動転送1セット※1	＊ 1 X Y (X:1～8:転送先1組目) (Y:0～8:転送先2組目、なお2組目を設定しない場合には“0”とする) (X=Yの設定は禁止)	自動転送1で転送先X Y をセット
自動転送2セット※1	＊ 2 X Y (X:1～8:転送先1組目) (Y:0～8:転送先2組目、なお2組目を設定しない場合には“0”とする) (X=Yの設定は禁止)	自動転送2で転送先X Y をセット
自動転送3セット※1	＊ 3 X Y (X:1～8:転送先1組目) (Y:0～8:転送先2組目、なお2組目を設定しない場合には“0”とする) (X=Yの設定は禁止)	自動転送3で転送先X Y をセット
自動転送4セット※1	＊ 4 X Y (X:1～8:転送先1組目) (Y:0～8:転送先2組目、なお2組目を設定しない場合には“0”とする) (X=Yの設定は禁止)	自動転送4で転送先X Y をセット
自動転送1解除※2	＊ 5 1	自動転送1を解除
自動転送2解除※2	＊ 5 2	自動転送2を解除
自動転送3解除※2	＊ 5 3	自動転送3を解除
自動転送4解除※2	＊ 5 4	自動転送4を解除

※1　メッセージ「外線転送Xをセットしました。リモコン番号を入力してください。」が聞こえます。（X：1～4）

※2　メッセージ「外線転送Xを解除しました。リモコン番号を入力してください。」が聞こえます。（X：1～4）

種　類		リモコン番号	動作内容
転送先電話番号の登録(変更)※3	転送先1	＊ 6 1 ↓ 転送先電話番号を押す(最大24桁) ↓ # #	転送先1の電話番号の登録(変更)
	転送先2	＊ 6 2 ↓ 転送先電話番号を押す(最大24桁) ↓ # #	転送先2の電話番号の登録(変更)
	転送先3	＊ 6 3 ↓ 転送先電話番号を押す(最大24桁) ↓ # #	転送先3の電話番号の登録(変更)
	転送先4	＊ 6 4 ↓ 転送先電話番号を押す(最大24桁) ↓ # #	転送先4の電話番号の登録(変更)
	転送先5	＊ 6 5 ↓ 転送先電話番号を押す(最大24桁) ↓ # #	転送先5の電話番号の登録(変更)
	転送先6	＊ 6 6 ↓ 転送先電話番号を押す(最大24桁) ↓ # #	転送先6の電話番号の登録(変更)
	転送先7	＊ 6 7 ↓ 転送先電話番号を押す(最大24桁) ↓ # #	転送先7の電話番号の登録(変更)
	転送先8	＊ 6 8 ↓ 転送先電話番号を押す(最大24桁) ↓ # #	転送先8の電話番号の登録(変更)
終了		＊ 0	リモコン操作終了(＊0を押さないで受話器を置くと、自動的に切れます)

※3　メッセージ「転送先Xは△△△……（電話番号）です。リモコン番号を入力してください。」が聞こえます。（X：1～8）

MEMO

- リモコン番号以外の番号を押すと、エラーメッセージ「番号が違います。リモコン番号を入力してください。」が聞こえます。約20秒以内に正しいリモコン番号を押してください。
- 操作できないリモコン番号を押すと、エラーメッセージ「エラーです。リモコン番号を入力してください。」が聞こえます。約20秒以内に正しいリモコン番号を押してください。
- 操作を途中で間違えたときは、＊＊(訂正）を押してから、正しいリモコン番号を押してください。

留守番の概要について

本システムは、基本的に留守番機能を２系統利用できます。
・本機能を使用する場合には、工事設定により留守番指定電話機の設定が必要です。
・本機能は、多機能電話機、ＣＬ６２０親機のみで使用できます。

デジタル留守録の録音時間

●留守番１～２の２チャンネルで、録音時間は、お買い上げ時にそれぞれ約６０分です。工事設定により、録音時間はチャンネルごとに１０分単位で０～１２０分の範囲で変更することができます。
留守番１台のみで１２０分を使用することも可能です。

留守番1 約60分	留守番2 約60分

留守番モード

≪応答録音（留守番）≫

●留守番セット中にかかってきた電話に、応答録音メッセージを流して、相手の用件を録音します。
用件が録音されると、電話機表示部に用件録音の件数が表示されます。（最大９９件）応答録音には、モード１～３があり、使用状況により使い分けることができます。また、モード１には固定内蔵メッセージ「ただいま、留守にしております。ピーという音のあとに、ご用件をお話ください」を用意してあります。

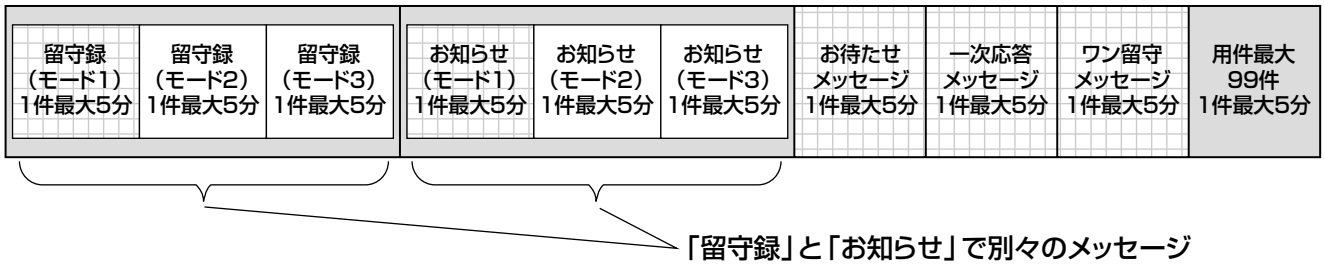
≪応答専用（お知らせ）≫

●留守番セット中にかかってきた電話機に応答専用メッセージを２回流して、通話を終了します。（相手の用件は、録音されません）応答録音には、モード１～３があり、使用状況により使い分けることができます。また、モード１には固定内蔵メッセージ「ただいま、留守にしております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直しください」を用意してあります。

応答録音と応答専用には、それぞれ３つのモードがあります。

■各モード毎のメッセージ例
●モード１・・・「本日の業務は終了しました。」
●モード２・・・「・・・・営業開始時間は、朝９：００からとなっております」
●モード３・・・「・・・・本日は、休業となっております。後日あらためて・・・・」

■留守番１のみで使用する場合 ※留守番2を使用する場合は、それぞれの留守番録音とお知らせのメッセージがあります。



≪追っかけ転送≫

- 留守番セット中に用件が録音されると、あらかじめ登録しておいた携帯電話などへ自動的に電話をかけ、録音されたことを通知します。そのまま外出先からリモコン操作で用件を再生し、確認することもできます。
  転送先へは、用件が録音されてから約１分後に約５０秒間呼び出し、応答しない場合は３分後に繰り返しかけ直します。

※工事設定により、携帯電話に発信するとき、あらかじめ登録したアクセスコードを自動的に付加して発信することができます。

≪留守番サイレント≫

- 留守番応答時に、相手の声を留守番指定電話機のスピーカから送出しないようにすることができます。
  留守番１～２でそれぞれ別々に設定することができます。
  ※一度サイレントモードにセットすると、留守番のセット／解除にかかわらず、サイレントモードを解除するまではサイレント留守番のままになります。

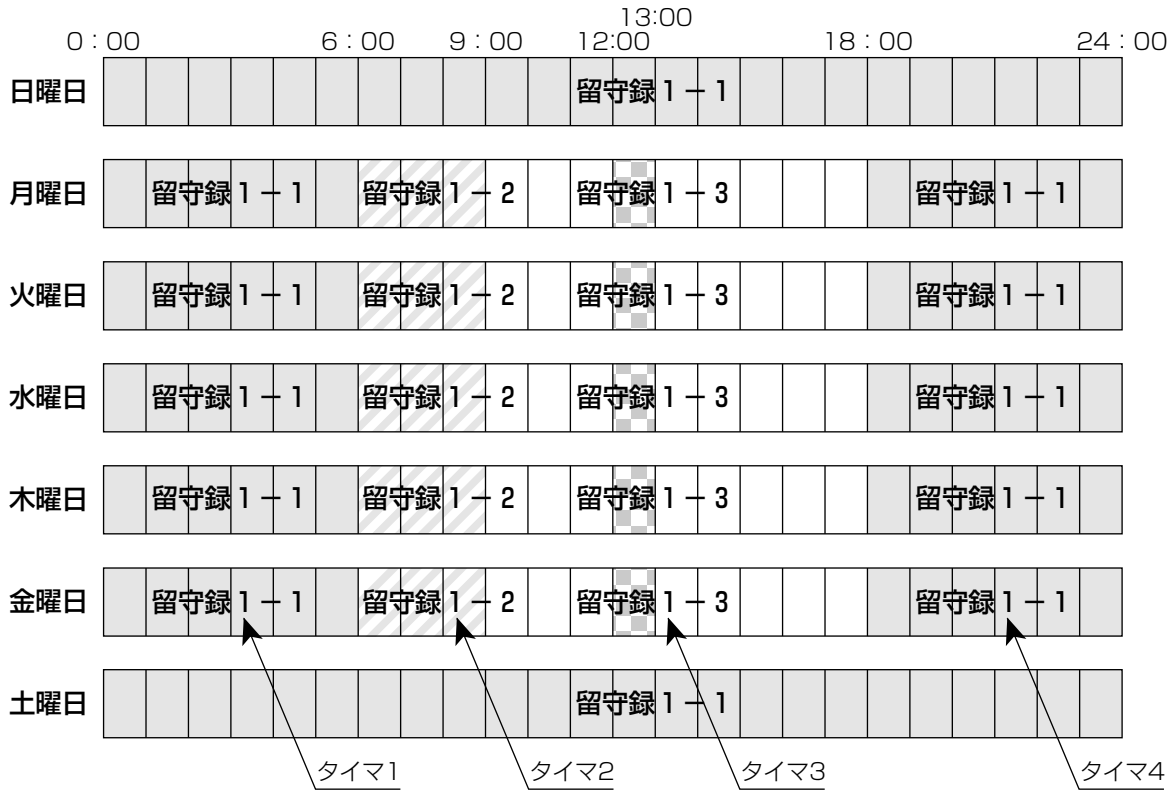
留守番子機切替

- ２系統の留守番を利用している場合に、〇留守機切替を押下した電話機を、留守番指定電話機に切り替えて、各留守番の操作を行うことができます。
  ※留守番１→２→ＲＥＣ　Ｂｕｓｙ→１・・・
  ※〇留守機切替 は〇オートに登録します。

留守番タイマ連動

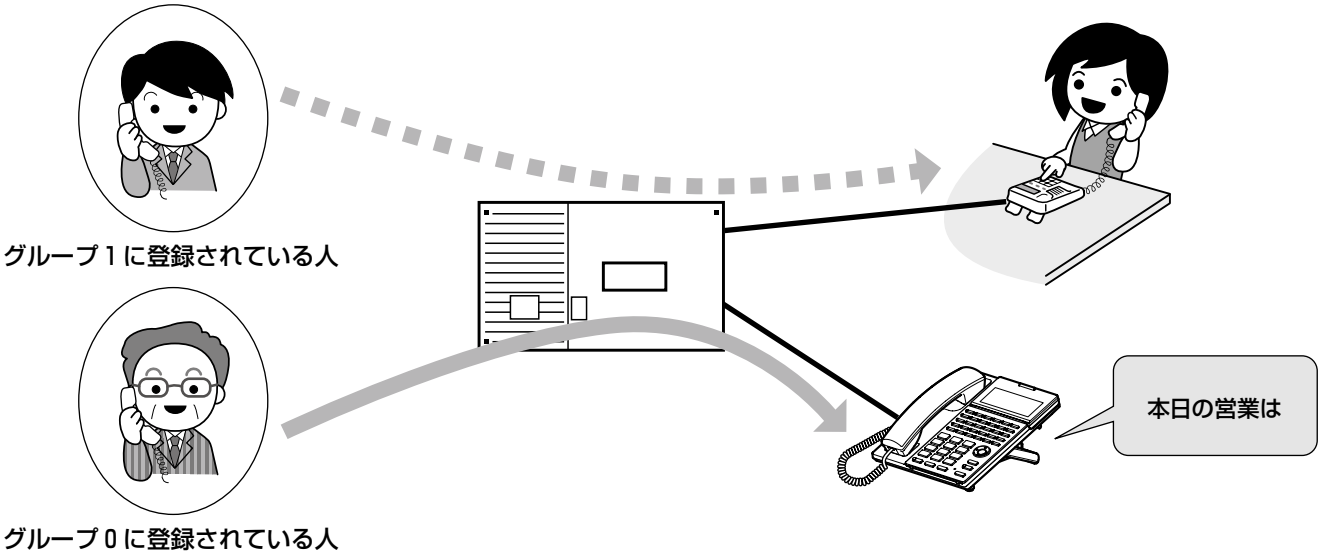
- あらかじめ設定した時刻になると、留守番のセット／解除を自動で行います。
  各曜日ごとに４パターンの留守番セット／解除のタイマを設定できます。
  平日用、休日用、昼休み用などに分けて、留守番タイマが設定できます。
  ※留守番１～２でタイマを設定することができます。
  ※留守番タイマ連動は、手動で留守番設定が設定されている場合、留守番タイマ連動は無効となり、手動での留守設定で動作します。

≪例≫
営業時間は月曜～金曜　９：００～１８：００　途中１２：００～１３：００まで昼休み
留守録１－１:「本日の営業は終了しました。営業時間は月曜から金曜の9:００からとなっております」
留守録１－２:「本日の営業は、９：００からとなっております。9:００以降におかけ直しください」
留守録１－３:「ただいまお昼休みとなっております。１３:００以降におかけ直しください」



グループ識別着信留守番

- 電話帳に登録されたグループ毎に留守番応答するか、しないかを指定することができます。



手動応答（お待たせメッセージ応答）

- 外線通話中のときに、ほかの外線へ着信があっても、応答できる人がいないときなど、通話中の電話機操作で ○お待たせ を押すと、お待たせメッセージを流して応答させることができます。メッセージが流れた後、自動的に保留状態になります。
  お待たせメッセージは固定内蔵メッセージ「ただいま電話が混み合っております。恐れ入りますが、そのままお待ちいただくか、のちほどおかけ直しください」を用意してあります。
  ※ ○お待たせ は、○オート に登録します。

ワンショット留守番

- 外線通話中に他の外線に着信があり電話に応答できる人がいないとき、通話中の電話機で ○ワン留守 を押すと、ワンショットメッセージで応答させることができます。メッセージ送出後は、相手にメッセージを録音してもらうことができますので、通話が終了したら録音されたメッセージを再生し、対応することができます。また、ワンショットメッセージには固定内蔵メッセージ「ただ今、電話が混み合っております。ピーという音のあとにご用件をお話ください」を用意してあります。
  ※○ワン留守 は、○オート に登録します。
  ※本機能は、留守番指定電話機以外でも使用できます。

通話メモ

- 通話中に連絡先やアポイントを取るときなど、ちょっとした予定などをメモする代わりに録音しておくことができます。
  録音は、電話機共通で録音するモードと電話機個別で録音するモードがあります。
- **電話機共通**・・・通話メモに使用するＲＥＣチャンネルが同一のＲＥＣチャンネルグループ同士で共通で録音／再生をします。同一グループであれば、どの電話機からでも再生可能です。
- **電話機個別**・・・各電話機毎に録音／再生をします。録音した電話機からのみ再生可能です。
  ※最大録音件数は、９９件です。
  ※工事設定により、電話機共通と電話機個別を切り替えることができます。

留守番リモコン機能

- 外出先の電話機から、留守番のセット／解除／用件再生などを行うことができます。プッシュ信号を送出できる電話機からであれば、どこからでも操作できます。

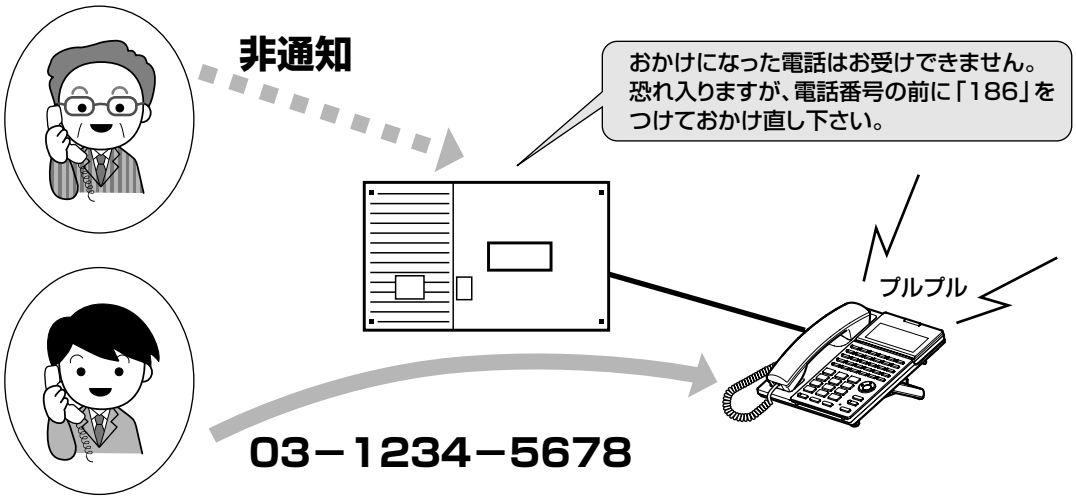
その他の留守番機能

①用件自動消去・・・・一度再生した用件は、次回留守番セットされたときに自動的に一括消去することができます。（工事設定によります）

②用件自動再生・・・・留守番セットを解除すると、録音された用件を自動再生します。用件再生するときに、用件が録音された日時が電話機表示部に表示されます。

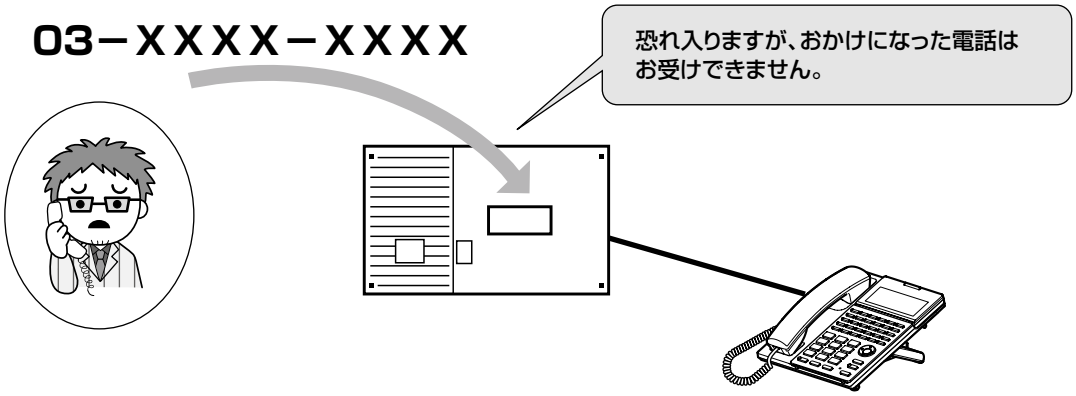
非通知着信拒否

- 発信者番号が非通知状態で電話がかかってきたら、自動応答して非通知着信拒否メッセージを１回流したあとに電話を切ります。
- 非通知拒否用メッセージが録音されていない場合は、内蔵固定メッセージ「おかけになった電話番号はお受けできません。恐れ入りますが、電話番号の前に１８６をつけておかけ直しください」が流れます。
- ナンバー・ディスプレイサービスの契約が必要となります。
- 工事設定により「非通知・迷惑電話拒否」を行うと、「非通知着信拒否」と「迷惑電話拒否」が同時にセットできます。
- 工事設定により、非通知の着信にメッセージではなく、ビジー（話中音）を返すこともできます。



迷惑電話拒否

- 迷惑電話の発信者番号を登録し（最大３００件）、登録されている番号から電話がかかってきたときには、自動応答して迷惑電話拒否メッセージを１回流したあとに電話を切ります。
- 迷惑電話拒否メッセージが録音されていない場合は、固定内蔵メッセージ「恐れ入りますが、おかけになった電話は、お受けできません」が流れます。
- ナンバー・ディスプレイサービスの契約が必要となります。
- 工事設定により、「非通知・迷惑電話拒否」を行うと、「非通知着信拒否」と「迷惑電話拒否」が同時にセットできます。
- 工事設定により、迷惑電話の着信にメッセージではなく、ビジー（話中音）を返すこともできます。



留守番指定電話機

工事設定により、留守番指定電話機を2台まで設定できます。
留守番指定電話機に設定されたとき、次の留守番用ボタンが自動的に割り付けられます。

電話機の種別	ボタン名称				
	レビュー	用件再生	スキップ	消去	留守
TD610、APF610、IPF610電話機	オート14	オート15	オート16	オート17	オート18
TD620電話機	オート26	オート27	オート28	オート29	オート30
LD600電話機	オート6	オート9	オート7	オート8	オート10

登録のしかた

●留守番指定電話機のオートダイヤルのボタンを変更する場合、電話機の〔オート〕に特殊番号が登録できます。（☞141ページ）

特殊番号	ボタン名称	動作内容
25	レビュー	用件および通話メモ再生中に、1つ前の用件を再生するときに使用する
24	用件再生	1件目の用件から再生したり、再生中にメッセージの頭出しに使用する
23	スキップ	用件および通話メモ再生中に、次の用件を再生するときに使用する
22	消去	用件、通話メモの消去に使用する
20	留守	留守番セットまたは解除するときに使用する
21	再生	用件番号を指定して、用件再生をするときに使用する 例：3件目の用件を再生する場合 〔再生〕→〔フラッシュ 0〕〔サブDEF 3〕(用件番号を2桁で入力)
26	通話メモ	通話メモを録音するときに使用する
27	メモ再生	通話メモを再生するときに使用する
29	留守 子機切替	留守番指定電話機に切り替えて操作できます。 留守番1指定電話機 ↓ 留守番2指定電話機 ↓ REC Busy ・本機能は、留守番指定電話機以外でも操作できます。
30	ワン留守	ワン留守応答セットするときに使用する ・本機能は、留守番指定電話機以外でも操作できます。

確認のしかた

●オートダイヤルの「確認のしかた」と同じ操作をする。
（☞１４１ページ）

例：オートダイヤル２２～３０ボタンに登録された場合
（TD620電話機の場合）

オートダイヤルボタン	表　示
レビュー （オート26）	オート２６：特殊番号 ２５ レビュー
再　生 （オート22）	オート２２：特殊番号 ２１ 再生
スキップ （オート28）	オート２８：特殊番号 ２３ スキップ
消　去 （オート29）	オート２９：特殊番号 ２２ 消去
留　守 （オート30）	オート３０：特殊番号 ２０ 留守
用件再生 （オート27）	オート２７：特殊番号 ２４ 用件再生
通話メモ （オート23）	オート２３：特殊番号 ２６ 通話メモ
メモ再生 （オート24）	オート２４：特殊番号 ２７ メモ再生
留守子機切替 （オート25）	オート２５：特殊番号 ２９ 留守子機切替

消去のしかた

●オートダイヤルの「消去のしかた」と同じ操作をする。
（☞１４２ページ）

変更のしかた

●オートダイヤルの「変更のしかた」と同じ操作をする。
（☞１４１ページ）

各種メッセージの録音／確認／変更／消去のしかた

各種メッセージを留守番指定電話機から録音します。（録音時間は各メッセージごとに最大５分です）
内蔵の固定メッセージで利用する場合は、メッセージの録音は不要です。各留守番指定電話機から別々に操作します。

各種メッセージの録音／確認／変更／消去のしかた

多機能電話機、CL620親機

録音のしかた

1 (確定) を押す

2 ◯ を押して[留守番関係]を選択し、(確定) を押す

3 ◯ を押して[各種メッセージの設定]を選択し、(確定) を押す

4 ◯ を押して設定したいメッセージを選択し、(確定) を押す

- メッセージは以下から選択します。
  - 1 留守録メッセージ１
  - 2 留守録メッセージ２
  - 3 留守録メッセージ３
  - 4 応答専用メッセージ１
  - 5 応答専用メッセージ２
  - 6 応答専用メッセージ３
  - 7 お待たせメッセージ
  - 8 外線転送メッセージ
  - 9 非通知着信拒否メッセージ
  - 0 迷惑電話拒否メッセージ
  - ＊ ワン留守メッセージ

5 ◯ を押して[録音] 選択し、(確定) を押す

→ ◯スピーカ ランプ：赤点灯

6

→ ◯スピーカ ランプ：消灯

7 (確定) を押す

- 「録音」を開始します。
- 受話器を上げないで (確定) を押しても、マイクで録音を開始します。

8 受話器からメッセージを録音する

- 録音中に (確定) を押すと、録音を終了します。

9

- マイクから録音した場合は ◯スピーカ を押します。
- 手順４に戻ります。

MEMO

- 手順１～３は、メニュー特番５１、手順１～４は、メニュー特番５１Ｘ、手順１～５は、メニュー特番５１Ｘ１(※１)として電話機の ◯オート に登録できます。（☞１４１ページ）（Ｘ：1 ～ 0、＊）

※１：登録後は ◯オート → (確定) →マイク（または ）からメッセージを録音→ ◯スピーカ（または ）操作になります。

確認のしかた

1 「録音のしかた」の手順 1 ～手順 4 と同じ操作を行う

2 ◯ を押して[再生]を選択し、確定 を押す

3 確定 を押す

- 再生を開始します。
- 再生が終わると「録音のしかた」の手順 4 に戻ります。
- 再生中に 確定 を押すと再生を終了し、「録音のしかた」の手順 4 に戻ります。

MEMO

- 手順 1 ～ 3 は、メニュー特番 5 1 X 2 (※ 1)として電話機の オート に登録できます。(☞141ページ)(X：1 ～ 0、✱)

※ 1：登録後は オート → 確定 を押すと、選択されたメッセージを再生します。

変更のしかた

1 「録音のしかた」と同じ操作を行います

消去のしかた

1 「録音のしかた」の手順 1 ～手順 4 と同じ操作を行う

2 ◯ を押して[消去]を選択し、確定 を押す

3 ◯ を押して[はい]を選択し、確定 を押す

- 選択されたメッセージが消去され、「録音のしかた」の手順 4 に戻ります。

MEMO

- 手順 1 ～ 3 は、メニュー特番 5 1 X 3 (※ 1)として電話機の オート に登録できます。(☞141ページ)(X：1 ～ 0、✱)

※ 1：登録後は オート → 確定 を押すと、選択されたメッセージを消去します。

留守番電話機をセットする

留守番自動応答時間指定

多機能電話機、CL620親機

留守番モードで、着信してから留守番電話が応答するまでの時間を設定できます。各留守番指定電話機で別々に設定します。

変更のしかた

1 確定 を押す

2 ◯ を押して[留守番関係]を選択し、確定 を押す

3 ◯ を押して[留守番自動応答時間]を選択し、確定 を押す

4 応答時間を入力する

- ００１～１８０秒のいずれかを入力してください。
- ０００は入力できません。
- お買い上げ時は「９秒」です。
- 必ず３桁入力してください。
- ３桁入力されると「留守番自動応答時間」が登録され、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

MEMO

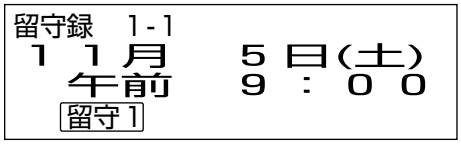
- 手順１～３は、メニュー特番５２、手順１～４は、メニュー特番５２ＸＸＸ(Ｘ：００１～１８０)として電話機の オート に登録できます。(☞１４１ページ)

留守番セットのしかた

多機能電話機、CL620親機

オート に登録された 留 守 を押すと、留守番セット／解除の操作ができます。各留守番指定電話機から別々に操作します。
・留守番を利用する場合は、工事設定が必要です。

1 留 守 を押す



- 留 守 を押すたびにモードが変わります。
  → 留 守 ランプ：赤点灯
- 表示例：留守番１指定電話機で応答録音モード１

→応答録音（モード1）※1～3「留守録　n－1」※4
↓
応答録音（モード2）「留守録　n－2」
↓
応答録音（モード3）「留守録　n－3」
↓
応答専用（モード1）「お知らせ　n－1」
↓
応答専用（モード2）「お知らせ　n－2」
↓
応答専用（モード3）「お知らせ　n－3」
↓
追っかけ転送※5※6（モード1）「追っかけ　n－1」
↓
追っかけ転送（モード2）「追っかけ　n－2」
↓
追っかけ転送（モード3）「追っかけ　n－3」
↓
「カレンダー・時計表示」

※１：応答録音で使うか、応答専用で使うかは工事設定によります。
※２：応答録音（モード２、３）および応答専用（モード２、３）のモードは、応答録音メッセージ（モード２、３）、応答専用メッセージ（モード２、３）が録音されている場合だけセットできます。
※３：応答録音メッセージ（モード１）または、応答専用メッセージ（モード１）が録音（☞９８ページ）されていない場合、内蔵の固定メッセージを流します。
※４：「ｎ」の表記は留守番指定電話機の番号を表示します。（ｎ＝１～２）
※５：転送先電話番号の登録および、リモコン機能の暗証番号の登録がされていない場合、追っかけ転送の留守番セットはできません。(追っかけ転送先電話番号の登録は☞１０３ページ、暗証番号の登録は☞１１２ページ)
※６：追っかけ転送のメッセージは、応答録音メッセージ（モード１～３）と共通です。

MEMO

- 用件自動消去が設定されているときに、未再生用件が残っている場合、手順１を行うと用件は消去されずに留守番セットになります。

留守番サイレント設定

多機能電話機、CL620親機

留守番応答時に留守番指定電話機のスピーカから音声（応答メッセージ、相手の音声）を流さないように設定できます。各留守番指定電話機から別々に操作します。

セット／解除のしかた

1 確定 を押す

2 ◎ を押して[留守番関係]を選択し、確定 を押す

3 ◎ を押して[留守番サイレント設定]を選択し、確定 を押す

4 ◎ を押して[ＯＮ]を選択し、確定 を押す

- お買い上げ時は「ＯＦＦ」です。
- 留守番サイレントに設定され、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

●解除するときは、「ＯＦＦ」を選択し、確定を押します。

MEMO

- 手順１～３は、メニュー特番５４として電話機の オート に登録できます。（☞１４１ページ）登録後は、オート を押すごとに、「セット」→「解除」を繰り返します。
- 留守番サイレントをＯＮに設定すると、留守番セット中の留守番指定電話機の表示部に「Ｓ」が表示されます。

留守番セット中に電話がかかってきたら

多機能電話機、CL620親機

応答録音

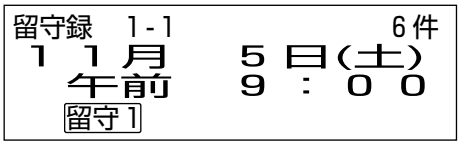
1 電話がかかってきたら自動応答する

2 応答録音メッセージを流す

- 応答録音用のメッセージを録音していないときモード１の場合、固定応答メッセージ「ただ今、留守にしております。ピーという音の後にご用件をお話しください。」を流します。

3 信号音「ピー」音を送出する

4 用件を録音する



- 表示例：留守番１指定電話機で応答録音に用件６件あり
  →留守 ランプ：赤点滅
  →着信ランプ：点滅

応答専用

1 電話がかかってきたら自動応答する

2 応答メッセージを流す

- 応答専用のメッセージを録音していないときモード1の場合、固定応答専用メッセージ「ただいま、留守にしております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直しください」を続けて2回流します。

3 メッセージが終了すると自動的に電話を切る

追っかけ転送

1 留守セット中に用件録音される

- 用件が満杯のときは、追っかけ転送しません。

2 転送先電話に自動発信

- 転送先電話番号の登録方法は、☞１０３ページを参照してください。
- 用件が録音されると、約1分後に転送先電話番号へ自動発信します。
- 約５０秒間転送先を呼出します。応答しないと電話を切ります。
- 転送先が通話中のときは、合計3回までかけ直します。

3 転送先電話が応答する

- 受付メッセージ「リモコンを開始します。暗証番号を入力してください。」が聞こえます。

4 リモコン操作で録音された用件を確認する

- 約20秒以内に暗証番号をダイヤルするとリモコン操作ができます。
- リモコンの操作は、プッシュ信号（PB）での操作になります。
- 以降は、操作するリモコン番号を押します。
  （☞１１４ページ）

MEMO

- 留守機能応答後、留守番指定電話機のスピーカから相手の声が聞こえます。そのとき、留守番指定電話機の受話器をあげれば通話ができます。
- 用件録音が満杯になると、応答専用に自動で切り替わります。（応答専用メッセージまたは固定応答専用メッセージ「ただいま留守にしております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直しください」を2回流したあと、自動的に電話を切ります。用件録音できなくなります）
- 工事設定により、グループ識別着信ごとに留守番応答するか、しないかを指定できます。

追っかけ転送先電話番号を登録する

多機能電話機、CL620親機

各留守番指定電話機から別々に操作します。

登録のしかた

1 確定 を押す

2 ◆ を押して[留守番関係]を選択し、確定 を押す

3 ◆ を押して[追っかけ転送先電話番号]を選択し、確定 を押す

4 ◆ を押して[登録]を選択し、確定 を押す

5 追っかけ転送先の電話番号を入力し、確定 を押す

- 電話番号は最大２４桁まで入力できます。
- 短縮 を押すと特殊コードを入力できます。短縮 を押すごとに、ポーズ：「P」→ハイフン：「−」→ネスティングコード：「[ ]」を繰り返します。
- 入力番号を間違えた場合は フラッシュ を押して消去します。
- 「追っかけ転送先電話番号」が登録され、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

MEMO

- 手順１～３は、メニュー特番５５、手順１～４は、メニュー特番５５１として電話機の ○オート に登録できます。（☞１４１ページ）

確認のしかた

1 確定 を押す

2 ◆ を押して[留守番関係]を選択し、確定 を押す

3 ◆ を押して[追っかけ転送先電話番号]を選択し、確定 を押す

- 【 】内に追っかけ転送先電話番号が表示されます。

変更のしかた

「登録のしかた」と同じ操作を行います。

●登録済みの電話番号は フラッシュ を押すと一文字消せます。

消去のしかた

1 「登録のしかた」の手順１～手順３と同じ操作を行う

2 ◆ を押して[消去]を選択し、確定 を押す

3 ◆ を押して[はい]を選択し、確定 を押す

- 追っかけ転送先電話番号を消去し、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

MEMO

- 手順１～３は、メニュー特番５５２として電話機の ○オート に登録できます。（☞１４１ページ）

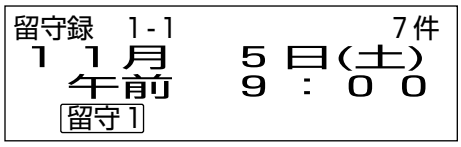
録音された用件の再生／消去

多機能電話機、CL620親機

用件が録音されていれば、留守番解除することで、用件が自動再生されます。

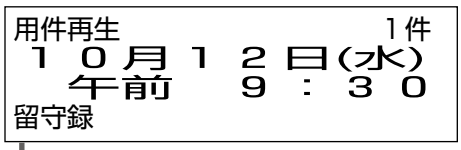
用件再生のしかた

留守番セットの状態から

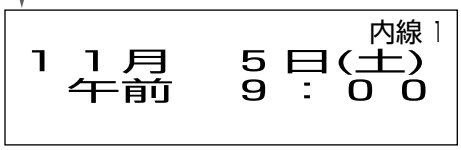


- 表示例：7 件の用件録音あり
  →〇留 守ランプ：赤点滅
  →着信ランプ：青点滅（初期）

1 〇留 守 を押す



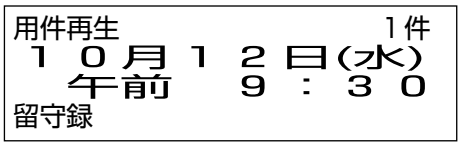
- 用件が録音された日時を表示します。
- 用件は連続で再生されます。
- 再生開始音「ピー」が聞こえます。
  →〇留 守ランプ：消灯
  →〇用件再生ランプ：赤点灯
  →〇ｽﾋﾟｰｶ ランプ：赤点灯



- 再生がすべて終了すると、「カレンダー・時計」表示に戻ります。
- 再生終了音「ピー」が聞こえます。
  →〇用件再生 ランプ：消灯
  →〇ｽﾋﾟｰｶ ランプ：消灯
  →着信ランプ：消灯

用件をもう一度初めから聞きたいとき

1 〇用件再生 を押す



- 〇用件再生 ランプが赤点滅しているときは未再生用件があります。この場合は、未再生用件から再生します。
- 〇用件再生 ランプが消灯しているときは、1 件目から再生します。
- 再生開始音「ピー」が聞こえます。
  →〇用件再生 ランプ：赤点灯
  →〇ｽﾋﾟｰｶ ランプ：赤点灯

MEMO

- 工事設定で「用件自動消去あり」の場合、すべての用件を再生したとき、次の留守番セット時に自動消去されます。未再生の用件がある場合は、自動消去されません。
- 用件再生中に、〇用件再生を押すと、再生が停止され今の用件を初めから再生します。
- 用件再生中に、〇ｽｷｯﾌﾟを押すと、再生が停止され次の用件を再生します。
- 用件再生中に、〇ﾚﾋﾞｭｰを押すと、再生が停止され1 つ前の用件を再生します。

用件消去のしかた（個別消去）

1 ◯用件再生 を押す

```
用件再生                    1件
１０月１２日(水)
  午前   ９：３０
留守録
```

- ◯用件再生 ランプが赤点滅しているときは未再生用件があります。この場合は、未再生用件から再生します。
- ◯用件再生 ランプが消灯しているときは、1 件目から再生します。
- 再生開始音「ピー」が聞こえます。
  → ◯用件再生 ランプ：赤点灯
  → ◯ｽﾋﾟｰｶ ランプ：赤点灯

2 ◯消　去 を押す

```
用件個別消去
消去しますか？

確定 で消去
```

- 再生中の用件を停止し、消去確認へ進みます。

3 (確定) を押す

```
用件個別消去
消去しました
```

- 再生していた用件を消去します。

4 ●次の用件がある場合

```
用件再生                    1件
１０月１２日(水)
  午前   ９：３０
留守録
```

- 次の用件がある場合、次の用件を再生します。

●次の用件がない場合

```
                        内線 1
１１月　５日(土)
  午前   ９：００
```

- 次の用件がない場合、「カレンダー・時計」表示に戻ります。
  → ◯用件再生 ランプ：消灯
  → ◯ｽﾋﾟｰｶ ランプ：消灯
- 再生終了音「ピー」が聞こえます。

用件消去のしかた（一括消去）

- 用件の一括消去は、「用件一括消去」（☞１１１ページ）をご覧ください。

留守番タイマ連動

多機能電話機、CL620親機

決まった日時に留守番機能のセット・解除を自動的に行います。各留守番指定電話機から別々に操作します。留守番タイマ連動は、各曜日ごとにタイマ１～４があります。
・留守番タイマ連動の詳細は、☞１４９ページをご覧ください。
・自動留守設定（留守番タイマ連動）は、手動での留守設定が設定されている場合、自動留守設定は無効となり、手動での留守設定で動作します。

ワンショット留守番

多機能電話機、CL620親機

留守番に設定されていないときでも、かかってきた電話に応答録音メッセージを流して相手の用件を録音します。また、留守番指定電話機以外でも本機能が操作できます。
・以下の条件では、ワンショット留守番することができません。
（1）外線着信が個別着信のとき
（2）ワンショット留守番が工事設定されていないとき
（3）工事設定で指定されている留守番チャンネルが使用中のとき

ワンショット留守番応答

（例）外線1通話中に外線2に着信が入ってきたときの操作

1 外線2 着信中

外線通話中	1：00

→〔外　線〕2ランプ：赤点滅
→着信ランプ：赤点滅（初期）

2 〔ワン留守〕を押す

→〔外　線〕2ランプ：赤点灯
→〔ワン留守〕ランプ：赤点灯
→着信ランプ：消灯
- 外線2の相手に応答メッセージを1 回流したあと、用件録音を開始します。

3 用件録音終了

→〔外　線〕2ランプ：消灯
→〔ワン留守〕ランプ：消灯
→着信ランプ：青点滅（初期）

用件再生のしかた

- 留守子機切替の後、〔用件再生〕を押します。
用件の再生は、「用件をもう一度初めから聞きたいとき」（☞104ページ）をご覧ください。

用件消去のしかた（個別消去）

- 留守子機切替の後、用件の個別消去を行います。
用件の個別消去は、「用件消去のしかた（個別消去）」（☞105ページ）をご覧ください。

用件消去のしかた（一括消去）

- 留守子機切替の後、用件の一括消去を行います。
用件の一括消去は、「用件一括消去（留守録用件の一括消去のしかた）」（☞111ページ）をご覧ください。

MEMO

- 〔ワン留守〕（特殊番号30）は、電話機の〔オート〕に登録できます。（☞141ページ）
- 付属のステッカ「ワン留守」シールを貼ると便利です。
- 最大件数を超えたとき、または最大録音時間を超えたときは、「これ以上録音できません」が表示され、以降ワンショット留守番ができなくなります。

留守子機切替

多機能電話機、CL620親機

他の留守番指定電話機の操作を行うことができます。

1 〔留守子機切替〕を押す

2 留守番機能の操作をする

- 〔留守子機切替〕を押したあと、約20秒以内に留守番機能を操作してください。
- 約20秒以内に留守番機能操作を行わないと、自動的に「カレンダー・時計」表示に戻ります。

MEMO

- 切り替え操作を行うためには、あらかじめ電話機の〔オート〕に〔留守子機切替〕（特殊番号29）を登録する必要があります。（☞141ページ）
- 付属のステッカ「留守子機切替」シールを貼ると便利です。

グループ識別着信留守番

あらかじめ電話帳に登録したグループごとに、留守番セットしたとき、留守番応答せずに着信させることができます。
識別着信による留守番応答設定は、工事設定によりグループ（グループ０～９）ごとにそれぞれ留守番応答するか、しないかを指定することができます。
この機能を利用される場合は、ナンバー・ディスプレイサービスのご契約が必要です。

MEMO

- 留守番応答せずに着信させた場合、その着信を外線自動転送で転送することができます。

お待たせメッセージ応答

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

外線通話中に別外線に着信がかかってきたとき、すぐに応答できない場合は、電話機の操作により、お待たせメッセージを別外線の相手に１回流したあと、保留音を流します。

基本的な操作

（例）外線1通話中に外線2に着信が入ってきたときの操作

1 ◯機 能 を押す

→ ◯機 能 ランプ：赤点灯

2 ◯外 線 （外線２ボタン）を押す

- 着信が入った外線２ボタンを押します。
- 外線２ボタンの相手に応答メッセージを１回流した後に、保留音を開始します。
  → ◯機 能 ランプ：消灯
  → ◯外 線 ２ランプ：緑点滅
  （DC230電話機は赤点滅）
- 外線１との通話終了後に、保留中の ◯外 線 ２を押し、外線２の相手と通話することが出来ます。

ワンタッチでの操作

オートダイヤルに ◯お待たせ を登録しておくと、ワンタッチでお待たせメッセージ応答操作ができます。
◯お待たせ （特殊番号１２）の登録方法は、☞１４１ページを参照してください。

1 ◯お待たせ を押す

- 外線２の相手にお待たせメッセージを１回流した後に、保留音を開始します。
  → ◯外 線 ２ランプ：緑点滅
- 外線１との通話終了後に保留中の ◯外 線 ２を押し、外線２の相手と通話することが出来ます。

MEMO

- 全ての留守番指定電話機が留守番機能を操作中のとき、お待たせ応答は使用できません。
- 外線通話中以外に、内線通話中、ドアホン通話中、未使用状態からでも操作できます。
- お待たせ応答できる外線は、着信鳴動している外線で、お待たせメッセージ送出中に他の外線着信に対してもお待たせ応答できます。
- お待たせ応答後、再応答せずに約3分経過すると再び着信音が鳴動します。（お買上げ時）（工事設定により、再び着信音が鳴動するまでの時間設定を変更できます）
- アナログ回線でお待たせ応答中に、相手が通話を切っても保留状態のままです。一度保留中の ◯外 線 を押してから切ってください。デジタル回線の場合は、相手が通話を切ると、保留中は自動的に切れます。
- 付属のステッカ「お待たせ」シールを貼ると便利です。

非通知着信メッセージ応答

多機能電話機、CL620親機

発信者番号通知が非通知の着信について、非通知着信拒否メッセージまたはビジートーンで応答して外線を自動開放します。非通知着信拒否メッセージの録音方法は ☞９８ページを、確認／変更／消去方法は ☞９９ページを参照してください。
・非通知着信拒否メッセージ応答を使用するときは、工事設定とナンバー・ディスプレイサービスのご契約が必要となります。

設定／解除のしかた

1 確定 を押す

2 ◈ を押して[その他]を選択し、確定 を押す

3 ◈ を押して[システム]を選択し、確定 を押す

4 ◈ を押して[非通知着信メッセージ外線設定]を選択し、確定 を押す

5 ◈ を押して外線を選択し、確定 を押す

- ◈ を押して非通知着信拒否をする外線を選択し、確定 を押すと選択されます。
- 非通知着信拒否する外線が選択されると「☑」を表示します。
- 選択されていない場合は、「□」になります。確定 を押すたびに「☑」→「□」を繰り返します。

6 ＃ を押す

- 選択された外線が非通知着信拒否外線に登録され、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

MEMO

- 「設定／解除のしかた」手順１～４は、メニュー特番９１＊として電話機の ○オート に登録できます。（☞１４１ページ）
- 工事設定により、「非通知着信拒否メッセージ」、「非通知着信拒否メッセージ＆迷惑電話拒否メッセージ」のいずれかを選択します。
- 「非通知着信拒否＆迷惑電話拒否」に工事設定すると、「迷惑電話拒否のセット／解除」も同時に操作されます。
- 非通知着信拒否メッセージが録音されていない場合、内蔵の固定メッセージ「おかけになった電話は、お受けできません。恐れ入りますが、電話番号の前に１８６を付けて、おかけ直しください」が流れます。
- 話中設定（☞１２１ページ）にしている外線では、非通知着信拒否機能が働きません。

非通知着信拒否機能のセット／解除のしかた

- 工事設定により、非通知着信を留守番指定電話機が応答し、メッセージまたはビジートーンが流れます。非通知着信拒否を設定した留守番指定電話機から操作します。

1 ○留　守 を押す

- ○オート に登録された ○留　守 を押します。
- 非通知着信拒否機能をセットします。
  「非通知」を表示します。
  →○留　守 ランプ：赤点灯
- 再度、○留　守 を押すと非通知着信拒否機能を解除し、「非通知」が消えます。
  →○留　守 ランプ：消灯

通話メモ

多機能電話機、CL620親機

外線通話を録音することができます。通話メモをするためには工事設定が必要です。（CL620子機、WS６００電話機、ＤＣ２３０電話機はできません。）
・最大９９件、１件あたりの録音時間は最大時間内で制限なしです。

録音のしかた

1 外線通話中に ◯通話メモ を押す

外線通話中　　１：００
０１：
通話メモ録音中　　確定 で停止

●通話メモ録音を行います。
→ ◯外　線 1ランプ：緑点灯
→ ◯通話メモ ランプ：赤点滅

外線通話中　　１：１５
０１：

●録音中に 確定 を押すと通話メモ録音を停止します。
→ ◯通話メモ ランプ：消灯
→ ◯メモ再生 ランプ：赤点滅
→着信ランプ：点滅

外線通話中　　１：３０
０１：
通話メモ録音中　　確定 で停止

●再度 ◯通話メモ を押すと録音を再開します。
→ ◯通話メモ ランプ：赤点滅

2 （終話）

通話終了　　１：４５

→ ◯外　線 ランプ：消灯
→ ◯通話メモ ランプ：消灯

内線　1
１１月　５日(土)
午前　９：００
メモ　ﾒﾓ 1件

MEMO

●◯通話メモ（特殊番号26）は、電話機の ◯オート に登録できます。（☞１４１ページ）
●付属のステッカ「通話メモ」シールを貼ると便利です。
●最大件数を超えたとき、または最大録音時間を超えたときは、「これ以上録音できません」が表示され、以降通話メモができなくなります。

再生のしかた

1 （「カレンダー･時計」表示）

内線　1
１１月　５日(土)
午前１０：００
メモ　ﾒﾓ 3件

●表示部に件数が表示されています。
→ ◯メモ再生 ランプ：赤点滅
→着信ランプ：点滅

2 ◯メモ再生 を押す

通話メモ再生　　1件
１１月　５日(土)
午前　９：００
メモ　ﾒﾓ 3件

●再生開始音「ピー」が聞こえます。
●通話メモ1 の再生が開始されます。
●通話メモの録音された日時が表示されます。
→ ◯メモ再生 ランプ：赤点灯
→ ◯スピーカ ランプ：赤点灯

3 再生が終わると、続けて次のメモを連続再生する

通話メモ再生　　2件
１１月　５日(土)
午前　９：２０
メモ　ﾒﾓ 3件

●表示例：「通話メモ2 」再生開始
●全てのメモが再生されると、再生終了音「ピー」が聞こえ「カレンダー・時計」表示に戻ります。
→ ◯メモ再生 ランプ：消灯
→ ◯スピーカ ランプ：消灯
→着信ランプ：消灯

MEMO

●◯メモ再生（特殊番号27）は、電話機の ◯オート に登録できます。（☞１４１ページ）
●付属のステッカ「メモ再生」シールを貼ると便利です。
●通話メモ再生中に ◯メモ再生 を押すと、再生が停止され今の通話メモを初めから再生します。
●通話メモ再生中に ◯スキップ を押すと、再生が停止され次の通話メモを再生します。
●通話メモ再生中に ◯レビュー を押すと、再生が停止され1つ前の通話メモを再生します。

消去のしかた（個別消去）

1 ◯メモ再生 を押す

```
通話メモ再生          1件
 １１月   ５日(土)
午前   ９：００
  メモ
```

- ◯メモ再生ランプが赤点滅しているときは未再生メモがあります。この場合は未再生メモから再生します。
- ◯メモ再生ランプが消灯しているときは、1 件目から再生します。
- 再生開始音「ピー」が聞こえます。
  → ◯通話メモランプ：赤点灯
  → ◯メモ再生ランプ：赤点灯
  → ◯スピーカ ランプ：赤点灯

2 ◯消　去 を押す

```
通話メモ個別消去
消去しますか？

確定で消去
```

- 再生中のメモを停止し、消去確認へ進みます。

3 (確定) を押す

```
通話メモ個別消去
消去しました
```

- 再生していたメモを消去します。

4 ●次のメモがある場合

```
通話メモ再生          1件
 １１月   ５日(土)
午前   ９：１０
  メモ
```

- 次のメモがある場合、次のメモを再生します。

●次のメモがない場合

```
                内線 1
 １１月   ５日(土)
午前   ９：３０
  メモ
```

- 次のメモがない場合、「カレンダー・時計」表示に戻ります。
  → ◯通話メモランプ：消灯
  → ◯メモ再生ランプ：消灯
  → ◯スピーカ ランプ：消灯
- 再生終了音「ピー」が聞こえます。

消去のしかた（一括消去）

メモの一括消去は、「用件一括消去」（☞１１１ページ）をご覧ください。

MEMO

- ◯消　去(特殊番号22）は、電話機の◯オートに登録できます。（☞１４１ページ）
- 付属のステッカ「消去」シール　を貼ると便利です。

用件一括消去

多機能電話機、CL620親機

留守番用件および通話メモの一括消去ができます。留守番用件の一括消去は留守番指定電話機より操作します。

留守番用件の一括消去のしかた

1 確定 を押す

2 ◯ を押して[留守番関係]を選択し、確定 を押す

3 ◯ を押して[用件の一括消去]を選択し、確定 を押す

4 ◯ を押して[留守番用件の一括消去]を選択し、確定 を押す

5 ◯ を押して[はい]を選択し、確定 を押す

- 留守番用件を一括消去し、手順3に戻ります。
- 消去する用件が多いときは、消去している間「消去中です」を表示します。

MEMO

- 手順1～4は、メニュー特番531として電話機の オート に登録できます。（☞141ページ）
- 工事設定で「用件自動消去あり」の場合、すべての用件を再生したとき、次の留守番セット時に自動消去されます。未再生の用件がある場合は、自動消去されません。

通話メモの一括消去のしかた

1 「留守番用件の一括消去のしかた」の手順1～3と同じ操作をします

2 ◯ を押して[通話メモの一括消去]を選択し、確定 を押す

3 ◯ を押して[はい]を選択し、確定 を押す

- 通話メモを一括消去し、「留守番用件の一括消去のしかた」の手順3に戻ります。
- 消去する用件が多いときは、消去している間「消去中です」を表示します。

MEMO

- 手順1、2は、メニュー特番532として電話機の オート に登録できます。（☞141ページ）

リモコン機能

留守番リモコン用暗証番号

多機能電話機、CL620親機

設定／解除のしかた

1 確定 を押す

2 ◎ を押して[留守番関係]を選択し、確定 を押す

3 ◎ を押して[留守番リモコン用暗証番号]を選択し、確定 を押す

4 暗証番号（4桁）を入力する

- 登録されている場合は「＊＊＊＊」を表示します。登録されていない場合は「ーーーー」を表示します。
- 0000～9999を入力します。
- 4桁入力されると自動で登録され、「カレンダー・時計」表示に戻ります。
- 必ず4桁入力してください。

●解除するときは、暗証番号の代わりにフラッシュ → 確定を押します。

MEMO

- 手順1～3はメニュー特番57、手順1～4はメニュー特番57XXXX（XXXX：0000～9999（暗証番号））として、電話機の 〇オート に登録できます。（☞141ページ）
- 暗証番号の確認はできません。
- 暗証番号を忘れたときは、再度登録し直してください。
- 暗証番号が未登録のときは、リモコン機能が利用できません。

外出先からリモコン操作をする

外出先でプッシュ信号（ＰＢ）が送出できる電話機から、リモコン操作で用件を聞いたり、応答録音メッセージなどの変更ができます。

1 外出先の電話機からシステムへ電話をかける

2 本システムが自動応答する

- 留守番セット中でのお買い上げ時の留守番応答時間は約9秒です。（留守番応答時間は任意に変更することができます。（☞ １００ページを参照してください）
- 留守番セットされていないときは、約45 秒で自動応答します。（工事設定により応答時間を変更することができます）この後は、手順5から操作してください。

3 応答メッセージが聞こえる

- 手順4は応答メッセージが流れているときに操作してください。

4 ＊ を押す

- 応答メッセージが停止し、受付メッセージ「リモコンを開始します。暗証番号を入力してください。」が聞こえます。

5 暗証番号(4 桁)を押す

- 約20秒以内に暗証番号を押し始めてください。
- 暗証番号は、ダイヤルとダイヤルの間を約5秒以内に押してください。

6 受付メッセージ「リモコン番号を入力してください。」が聞こえる

7 操作するリモコン番号を押す

- メッセージ（☞１１４ページ）が聞こえます。
- 詳細は（☞１１４ページを参照してください。

8 ＊ 0 （終了）を押す

- 終了メッセージ「終了します。」が聞こえ、リモコン操作が完了します。

MEMO

- 受付メッセージが聞こえてから、約20秒以内にリモコン番号を押さないと自動的に電話が切れます。
- 暗証番号を間違えると、エラーメッセージ「暗証番号が違います。暗証番号を入力してください」が聞こえます。再度、正しい暗証番号を入力してください。
- 暗証番号の入力は、3回まで受け付けます。それ以上間違えると自動的に電話が切れます。
- デジタル回線で外出先からリモコン操作をしたいときは、本システムの電話番号にサブアドレスを付加して電話をかけると、すぐに留守番指定電話機が自動応答します。その後、上記手順5～8を行います。
  留守番1 ：サブアドレス 9 1
  留守番2 ：サブアドレス 9 2
- いずれかのリモコンを利用しているときは、他のリモコンは利用できません。

リモコン操作一覧

機能項目			リモコン番号	動作内容
	レビュー※1		＊ 1	1つ前の用件を再生
	用件再生※2		＊ 2	録音された用件を再生
	キュー（スキップ）※3		＊ 3	1つ後の用件を再生
応答録音メッセージ	モード1	再生※4	＊ 4 1	応答録音メッセージ（モード1）の再生
		録音（変更）※5	＊ 5 1	応答録音メッセージ（モード1）録音（変更）
	モード2	再生※4	＊ 4 2	応答録音メッセージ（モード2）の再生
		録音（変更）※5	＊ 5 2	応答録音メッセージ（モード2）録音（変更）
	モード3	再生※4	＊ 4 3	応答録音メッセージ（モード3）の再生
		録音（変更）※5	＊ 5 3	応答録音メッセージ（モード3）録音（変更）
応答専用メッセージ	モード1	再生※6	＊ 4 4	応答専用メッセージ（モード1）の再生
		録音（変更）※7	＊ 5 4	応答専用メッセージ（モード1）録音（変更）
	モード2	再生※6	＊ 4 5	応答専用メッセージ（モード2）の再生
		録音（変更）※7	＊ 5 5	応答専用メッセージ（モード2）録音（変更）
	モード3	再生※6	＊ 4 6	応答専用メッセージ（モード3）の再生
		録音（変更）※7	＊ 5 6	応答専用メッセージ（モード3）録音（変更）
追っかけ転送の 転送先電話番号の登録（変更）※8			＊ 6 ↓ 転送先電話番号 （最大24桁） ↓ # #	追っかけ転送の 転送先電話番号の登録（変更）
留守番セット		応答録音※9	＊ 8 1	応答録音（モード1）のセット
			＊ 8 2	応答録音（モード2）のセット
			＊ 8 3	応答録音（モード3）のセット
		応答専用※10	＊ 8 4	応答専用（モード1）のセット
			＊ 8 5	応答専用（モード2）のセット
			＊ 8 6	応答専用（モード3）のセット
		追っかけ転送※11	＊ 8 7	追っかけ転送留守番（モード1）のセット
			＊ 8 8	追っかけ転送留守番（モード2）のセット
			＊ 8 9	追っかけ転送留守番（モード3）のセット
留守番セットの解除※12			＊ 8 0	留守番セットの解除
用件オールクリア※13			＊ 9 1	すべての用件を消去
終了※14			＊ 0	リモコン操作の終了

※１：メッセージ「前の用件は……（用件の内容）」が聞こえます。
※２：メッセージ「××件です。最初の用件は……（用件の内容）」が聞こえます。
※３：メッセージ「次の用件は……（用件の内容）」が聞こえます。
※４：メッセージ「留守録メッセージXを再生します。」が聞こえます。（X：1～3）
※５：メッセージ「留守録メッセージXを録音します。発信音のあとにメッセージをどうぞ。ピー」が聞こえます。（X：1～3）
※６：メッセージ「お知らせメッセージXを再生します。」が聞こえます。（X：1～3）
※７：メッセージ「お知らせメッセージXを録音します。発信音のあとにメッセージをどうぞ。ピー」が聞こえます。（X：1～3）
※８：メッセージ「追っかけ転送先は△△△……（電話番号）です。」が聞こえます。
※９：メッセージ「留守番Xをセットしました。」が聞こえます。（X：1～3）
※10：メッセージ「お知らせXをセットしました。」が聞こえます。（X：1～3）
※11：メッセージ「追っかけXをセットしました。」が聞こえます。（X：1～3）
※12：メッセージ「留守番X（お知らせX、追っかけX）を解除しました。」が聞こえます。（X：1～3）
※13：メッセージ「すべての用件を消去します。しばらくお待ちください。……消去しました。」が聞こえます。
※14：メッセージ「終了します。」が聞こえます。

MEMO

- 各種メッセージの録音時に＊を押すと、録音を停止します。
- リモコン番号以外の番号を押すと、エラーメッセージ「番号が違います。リモコン番号を入力してください。」が聞こえます。約20秒以内に正しいリモコン番号を押してください。
- 操作できないリモコン番号を押すと、エラーメッセージ「エラーです。リモコン番号を入力してください。」が聞こえます。約20秒以内に正しいリモコン番号を押してください。
- リモコン操作を間違えたとき、＊＊（訂正）を押してから、正しいリモコン番号を押してください。

外線の便利な機能

ワンタッチで電話をかける（ワンタッチ発信）

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

〇オート に電話番号または短縮番号を登録することでワンタッチで発信できます。
名前を登録すると、電話をかけたとき名前が表示されます。
・ご利用されていない〇外　線 は、〇オート として使用することができます。

登録のしかた

- オートダイヤルの「登録のしかた（電話番号）」と同じ操作をします。（☞１３９、１４２ページ）

消去のしかた

- オートダイヤルの「消去のしかた」と同じ操作をします。（☞１４２、１４３ページ）

かけかた

1 発　信 を押す

- WS600電話機の場合は、通話 を押します。
- DC230電話機の場合は、☎ を押します。
- 空き外線を自動で捕捉します。
  → 〇ｽﾋﾟｰｶ ランプ：赤点灯
  （多機能電話機、CL620親機）
  →未使用 〇外　線 ランプ：緑点灯

2 〇オート を押す

- 登録された電話番号へ自動発信します。

3

- 相手が出たら通話します。
  → 〇ｽﾋﾟｰｶ ランプ：消灯
- DC230電話機の場合は、受話器を上げる必要はありません。

MEMO

- 工事設定により、受話器をおいたままで 〇オート を押すと発信できるようにすることもできます。

子機を上げてすぐにダイヤルできる（クイック通話）

CL620親機、CL620子機、WS600電話機

工事設定により「外線優先」に変更すると、すぐに外線発信ができます。
・外線自動選択を行うとき、お買い上げ時は老番の外線から選びます。

かけかた

1

- 外線発信音「ツー」が聞こえます。
- 空き外線を自動で捕捉します。
  →未使用 〇外　線 ランプ：緑点灯

2 電話番号を押す

- デジタル回線、VoIP回線の場合は ＃ を押すとすぐに電話がかかります。
- 電話番号の１桁目は 〇外　線 が点灯してから約１０秒以内に押してください。

MEMO

- 外線捕捉後、電話番号を押す間隔は５秒以内にしてください。
  ５秒以上になると、相手につながらないことがあります。（デジタル回線）

こちらの声を相手に聞こえなくする（送話ミュート）

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

外線、内線通話中にこちらの音声が相手に聞こえず、相手の音声のみが聞こえるようになります。
・送話ミュート状態で通話を終了すると自動的に解除されます。

送話ミュートの設定のしかた

1 外線または内線通話中

2 〔機 能〕を押す

- DC230電話機の場合は、(機能(F))を押します。
  → 〔機 能〕ランプ：赤点灯

3 〔カ ABC 2〕を押す

- 送話ミュートがセットされます。
- 同じ操作を繰り返すと「送話ミュート」が解除されます。
  → 〔機 能〕ランプ：消灯

MEMO

- 手順2，3は、機能特番2として電話機の〔オート〕に登録できます。（☞141、142ページ）
  登録後、外線・内線通話中に〔オート〕を押します。この場合、〔オート〕を押すごとに、「セット」→「解除」を繰り返します。
- 未使用状態（）から「送話ミュート」の設定方法は次の操作を行います。但し、DC230電話機は操作することが出来ません。
  〔機 能〕→〔カ ABC 2〕→ （5秒以内）
- 未使用(外線)に(機能)を登録します。（CL620子機、WS600電話機）（☞31ページ）
- 未使用(外線)に(機能(F))を登録します。（DC230電話機）（☞32ページ）

複数の短縮番号を組み合わせて発信する（ネスティングダイヤル）

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

短縮ダイヤルに、いくつかの短縮ダイヤルを組み合わせて登録しておくと、1回の短縮ダイヤル発信操作で長い電話番号へかけられ、通話できます。1つの短縮番号には最大4つの短縮番号を登録できます。

登録のしかた

1 電話帳の「登録のしかた」の手順1～6と同じ操作をする（☞58ページ）

2 〔短 縮〕で［（ネスティングコード）を選択する

- 〔短 縮〕を押すたびに、P(ポーズ)→E(切断コード)→－(ハイフン)→［(ネスティングコード)表示を繰り返します。

※先頭にE(切断コード)を入力することはできません。

3 短縮番号を入力する

- ネスティングさせたい短縮番号を押します。
- 短縮番号を2つ以上ネスティングさせる場合は、手順2、3を繰り返します。

MEMO

- 短縮Aに短縮A（ネスティングさせたい短縮番号）を登録することはできません。
- 名前を登録すると、電話をかけたとき名前が表示されます。

かけかた

「短縮番号検索発信」（☞42ページ）、「電話帳カナ検索発信」（☞43ページ）、「電話帳グループ検索発信」（☞45ページ）、「電話帳一覧」（☞46ページ）のいずれかの「かけかた」で操作します。

ダイヤル操作で外線をつかむ（指定外線捕捉）

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

外線発信時、ダイヤル操作で使用したい外線番号を指定して捕捉することが出来ます。
特に該当する外線のない電話機で 〇外 線 を捕捉するときに便利です。

1

- WS600電話機の場合は、 スピーカ を押します。
- DC230電話機の場合は、 内線 を押します。
- 内線発信音「プップップッ・・・」が聞こえます。

2 ＊（または ラ WXYZ 9 ハ MNO 6 サ DEF 3 ）を押す

3 外線番号を押す

- ダイヤルボタンで使用したい外線番号を2桁で押します。
- 外線発信音「ツー」が聞こえます。
  → 〇外 線 ランプ：緑点灯

4 電話番号を押す

- デジタル回線、VoIP回線の場合は ＃ を押すとすぐに電話がかかります。

MEMO

- 手順2，3は、内線特番９６３ＸＸ(ＸＸ：０１～３０)として、電話機の 〇オート に登録できます。（☞１４０、１４２ページ）
- 内線特番の一覧は ☞ ２１２ページを参照してください。
- 登録後は、 〇オート を押すだけで、外線を捕捉します。

自動応答できない外線着信に応答する（コールピックアップ）

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

着信応答できない設定の電話機でも、コールピックアップの番号をダイヤルすると外線の着信に応答できます。

1 外線着信中

→ 〇外 線 ランプ：赤点滅

2

- WS600電話機の場合は、 スピーカ を押します。
- DC230電話機の場合は、 内線 を押します。
- 内線発信音「プップップッ・・・」が聞こえます。

3 内線特番（ ラ WXYZ 9 ハ MNO 6 ハ MNO 6 ）を押す

4 外線相手と通話する

→ 〇外 線 ランプ：緑点灯

MEMO

- 手順3は、内線特番９６６として、電話機の 〇オート に登録できます。（☞１４０、１４２ページ）

他の外線通話中の電話に割り込む（外線通話割込）

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

工事設定により「割り込み可能」に設定した電話機は、外線通話を行っている他の電話機に割り込むことができます。

1 **他の電話機が外線通話中**

→ ○外　線 ランプ：赤点灯

2

- WS600電話機の場合は、 スピーカ を押します。
- DC230電話機の場合は、 内線 を押します。
- 内線発信音「プップップッ・・・」が聞こえます。

3 **○機　能 を押す**

→ ○機　能 ランプ：赤点灯

4 **○会　議 を押す**

- ○会　議 を押すと、○外　線 入力待ちになります。
  → ○機　能 ランプ：赤点滅

5 **○外　線 を押す**

- 割り込む ○外　線 を押すと、他の電話機の通話中外線に割り込みます。
  → ○外　線 ランプ：緑点灯
  → ○会　議 ランプ：赤点灯
  → ○機　能 ランプ：消灯

MEMO

- 未使用 ○外　線 に ○会　議（特殊番号４２）を登録します。（☞１４１ページ）
- 未使用 外線 に 機能 と 会議 を登録します。（CL620子機、WS600電話機）（☞３１ページ）
- 未使用 外線 に 機能(F) と 会議 を登録します。（DC230電話機）（☞３２ページ）
- 該当する外線のない電話機は、次の操作でも外線通話割り込みが出来ます。
  ① ○スピーカ → ○機　能 → ○会　議 → ＊ →ダイヤルボタンで割り込む外線を２桁で押す→ ○機　能 を押す。
  ② ○スピーカ → ○機　能 → ○会　議 →ダイヤルボタンで割り込む外線を使用している内線番号（１桁の場合１～８、または２桁の場合１０～８９）のいずれかを押す→ ○機　能 を押す。
  ・DC230電話機の場合は、○スピーカ の代わりに 内線 を押します。

他の外線通話に受話だけで割り込む（送話ミュート付き外線通話割込）

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

工事設定により「割り込み可能」に設定した電話機は、外線通話を行っている他の電話機にこちらの声が相手に聞こえないように割り込むことができます。

1 **他の電話機が外線通話中**

→ ○外　線 ランプ：赤点灯

2

- WS600電話機の場合は、 スピーカ を押します。
- DC230電話機の場合は、 内線 を押します。
- 内線発信音「プップップッ・・・」が聞こえます。

3 **ラ WXYZ 9　ヤ TUV 8　ハ MNO 6 を押す**

→ ○機　能 ランプ：赤点滅

4 **○外　線 を押す**

- 割り込む ○外　線 を押すと、他の電話機の通話中外線に割り込みます。
  → ○外　線 ランプ：緑点灯
  → ○機　能 ランプ：消灯

MEMO

- 手順３は、内線特番９８６として電話機の ○オート に登録できます。（☞１４０、１４２ページ）
  登録後は次のような操作になります。 → ○オート →割り込みたい ○外　線 を押す。
- 該当する ○外　線 のない電話機は、次の操作でも外線通話割り込みができます。
  ① ○スピーカ → ラ WXYZ 9 ヤ TUV 8 ハ MNO 6 → ＊ →ダイヤルボタンで割り込む外線を２桁で押す→ ○機　能 を押す。
  ② ○スピーカ → ラ WXYZ 9 ヤ TUV 8 ハ MNO 6 →ダイヤルボタンで割り込む外線を使用している内線番号（１桁の場合１～８、または２桁の場合１０～８９）のいずれかを押す→ ○機　能 を押す。

短縮番号などを続けて発信する（チェーンダイヤル）

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

ダイヤル、短縮ダイヤル操作を連続してダイヤルすることができます。

1 ダイヤルボタンを押す

- CL620子機の場合は、✎ 切 を押し、「カレンダー·時計」表示にしてからダイヤルボタンを押します。

2 短 縮 を押す

3 短縮番号を押す

- ダイヤルボタンで短縮番号０００００～３９９９のいずれかを押します。

4 発 信（または ○外 線）を押す

- CL620子機、WS600電話機の場合は、通話（または 外線 ）を押します。
- DC230電話機の場合は、☎（または 外線 ）を押します。
  → ○外 線ランプ：緑点灯
  → ○ｽﾋﾟｰｶ ランプ：赤点灯（多機能電話機、CL620親機のみ）

MEMO

- 短縮ダイヤルを ○オート に登録することで、○オート でもチェーンダイヤルを利用できます。
- ○オート に短縮ダイヤル（ネスティングコードと短縮番号＜4桁＞）を登録します。（☞１３９、１４２ページ）
- 未使用 外線 に 短縮 を登録します。（DC230電話機）（☞３２ページ）

携帯電話対応ＡＣＲ機能

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

携帯電話に発信するとき、あらかじめ登録したアクセスコードを自動的に付加して発信することができます。
・本機能を利用するには、別途業者へのサービス申し込みと工事設定が必要です。

かけかた

1 携帯電話の電話番号を押す

- CL620子機の場合は、✎ 切 を押し、「カレンダー·時計」表示にしてからダイヤルボタンを押します。

2 発 信 を押す

- 「携帯ACR　アクセス」表示します。
- CL620子機、WS600電話機の場合は、通話 を押します。
- DC230電話機の場合は、☎ を押します。
- 携帯電話へ発信します。
  → ○外 線ランプ：緑点灯
  → ○ｽﾋﾟｰｶ ランプ：赤点灯（多機能電話機、CL620親機のみ）

NTT回線を利用して外線をかけるとき

- NTT回線を利用する場合は、０００（NTT強制接続コード）を付けてダイヤルしてください。

1 ﾌﾗｯｼｭ 0 ﾌﾗｯｼｭ 0 ﾌﾗｯｼｭ 0 ﾌﾗｯｼｭ 0 を押す

- CL620子機の場合は、✎ 切 を押し、「カレンダー·時計」表示にしてから ﾌﾗｯｼｭ 0 ﾌﾗｯｼｭ 0 ﾌﾗｯｼｭ 0 ﾌﾗｯｼｭ 0 を押します。

2 携帯電話の電話番号を押す

3 発 信 を押す

- CL620子機、WS600電話機の場合は、通話 を押します。
- DC230電話機の場合は、☎ を押します。
- NTT回線を選択して、携帯電話へ発信します。
  → ○外 線ランプ：緑点灯
  → ○ｽﾋﾟｰｶ ランプ：赤点灯（多機能電話機、CL620親機のみ）

擬似コールウェイティング

多機能電話機、CL620親機、CL620子機

デジタル回線で通話中に他の着信があったとき、通話中の外線を保留して、着信に応答できます。
また、通話中の相手と保留中の相手を切り替えることもできます。
・本機能を使用するには工事設定が必要です。

1 外線通話中に着信

- 外線通話中に着信が入ると、（外線着信音）
  →〔外 線〕ランプ：緑点滅

2 〔フラッシュ〕を押す

- 入ってきた着信相手と通話できます。
- 話していた相手は保留されます。
- 外線着信音停止
  →〔外 線〕ランプ：緑点灯

3 〔フラッシュ〕を押す

- 再度〔フラッシュ〕を押すと、以前に話していた相手と通話ができます。
- 今話していた相手は保留されます。

MEMO

- 保留されている相手が終話したあとに〔フラッシュ〕を押すと、通話が切れます。

外線を再捕捉する（フラッシュ機能）

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

キャッチホンサービスを受ける

アナログ回線でキャッチホンサービスを受けるときには、工事設定が必要です。

1 外線通話中

- 通話中にキャッチホン信号「プルルプップッ・・・」が聞こえたら
  →〔外 線〕ランプ：緑点灯

2 〔フラッシュ〕を押す

- DC230電話機の場合は、〔フック 機能/クリア〕を押します。
- 〔フラッシュ〕を押すたびに、通話相手が切り替わります。

MEMO

キャッチホンサービスについて

- キャッチホンサービスとはお話中に他からかかってきたときに、通話相手を切り替えることができるNTTサービスです。
- 現在は、従来のキャッチホンサービスとコールウェイティングを総称してキャッチホンサービスと呼びます。
- キャッチホンサービスのご依頼は、最寄りのNTT窓口にお問い合わせください。
- デジタル回線でキャッチホンサービスを受けることはできません。
- キャッチホンサービスを受けていないときや、キャッチホン信号が聞こえないときに〔フラッシュ〕を押すと通話が切れることがあります。

続けて電話をかける

1 外線通話中

- 受話器を上げたまま
  →〔外 線〕ランプ：緑点灯

2 〔フラッシュ〕を押す

- DC230電話機の場合は、〔フック 機能/クリア〕を押します。
- 〔フラッシュ〕を押すたびに、通話中の外線を開放し、再度、捕捉し直します。

使用しない外線を話中にする（話中設定）

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

使用しない外線を一時的に話中状態(発信、着信ともに不可)にできます。
・本機能は、PBX内線および付加サービス（ダイヤルイン、ナンバー・ディスプレイなど）に契約されていないアナログ回線では利用できません。

設定／解除のしかた

1 ◯機 能 を押す

●CL620子機の場合は、✎ 切 を押し、「カレンダー･時計」表示にしてから 機能 を押します。
→ ◯機 能 ランプ：赤点灯

2 ヤ TUV 8 タ GHI 4 を押す

→ ◯機 能 ランプ：赤点滅

3 外線番号（または ◯外 線 ）を押す

●ダイヤルボタンで設定したい外線番号を2桁で押します。
●複数の外線を設定する場合は、連続で押します。
→話中設定された ◯外 線 ランプ：赤点灯

4 ◯機 能 を押す

→ ◯機 能 ランプ：消灯

●解除するときは、話中設定された外線に対して[設定のしかた]と同じ操作を行います。
→話中解除された ◯外 線 ランプ：消灯

MEMO

- 「設定／解除のしかた」の手順1～4は、機能特番８４ＸＸ（ＸＸ：０１～３０）として、電話機の ◯オート に登録できます。（☞１４１、１４２ページ）
- 未使用 外線 に 機能 を登録します。（CL620子機、WS600電話機）（☞３１ページ）
- 未使用 外線 に 機能(F) を登録します。（DC230電話機）（☞３２ページ）
- 話中設定された状態で停電から復旧すると、話中解除の状態に戻ります。

外線通話中のメニュー操作（外線通話中メニュー）

多機能電話機、CL620親機

外線通話中に以下のメニュー操作を行うことができます。

No.	機能名	機能内容	参照ページ
1	電話帳	「電話帳」メニューを表示	－
1－1	一覧表示	電話帳の一覧表示、および詳細表示	☞46ページ
1－2	カナ検索	電話帳に登録された中からカナ(最大5文字)により検索を行い、50音順に表示	☞43ページ
1－3	グループ検索	電話帳に登録された中からグループ別に検索を行い、50音順に表示	☞45ページ
1－4	個別カナ検索	電話機ごと個別に登録された中からカナ(最大5文字)により検索を行い、50音順に表示	☞43ページ
2	通話メモ	通話メモの開始	☞109ページ
3	迷惑電話登録	通話中の相手の電話番号を迷惑電話に登録	☞71ページ

1 外線通話中

2 確定 を押す

MEMO

- 外線通話中メニュー起動中、相手切断などが発生すると、外線通話中メニューから抜けます。
- 外線通話中メニュー起動時でも、保 留 を押すと、外線保留となります。
- 外線通話中メニュー起動時、フラッシュ を押すと、外線通話中メニューから抜けます。

内線の便利な機能

内線をワンタッチで呼び出す（内線ワンタッチ発信）

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

内線番号(内線特番)や特殊番号を未使用の ○オート に登録しておくと、ワンタッチで内線呼出などができます。TD610、APF610、IPF610、SS610は１８件(オート０１～オート１８)、TD620、SS620、CL620親機は３０件(オート０１～オート３０)、LD600は１０件(オート０１～オート１０)、CL620子機、WS600電話機は8件（オート０１～オート０８)、DC230電話機は6件（オート０１～オート０６）登録できます。

登録のしかた

オートダイヤルの「登録のしかた（内線番号／内線特番)」と同じ操作をします（☞ 140、142 ページ）

消去のしかた

オートダイヤルの「消去のしかた」と同じ操作をします。（☞142、143 ページ）

かけかた

1 ○オート を押す

- CL620子機の場合は、 切 を押し、「カレンダー･時計」表示にしてから オート を押します。
  → ○オート ランプ：赤点灯
  → ○スピーカ ランプ：赤点灯
  （多機能電話機、CL620親機のみ）

MEMO

- 未使用 ○外　線 に ○オート を登録します。（☞３１、３２ページ）

内線一覧を表示する（内線一覧）

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

内線番号と名前を一覧表示することができます。名前登録のしかたは ☞１２４ページを参照ください。
・不在設定（☞１３０ページ）や不在転送（☞１３２ページ）をセットすると、画面に不在の「?」が表示されます。

確認のしかた

1 確定 を押す

- CL620子機の場合は、 切 を押し、「カレンダー･時計」表示にしてから 確定 を押します。

2 ◇ を押して[内線一覧]を選択し、確定 を押す

- 「?」表示は不在、「：」表示は在席。

3 ◇ を押して内線Ｎｏ．を選択し、短　縮 を押す

- 選択した内線No.の詳細を上から順に「内線No.」、「名前」と表示します。
- 再度、短　縮 を押すと、「内線一覧」表示に戻ります。

MEMO

- 手順１、２は、メニュー特番３として ○オート に登録できます。（☞１４１ページ）
- 手順３で不在の場合の表示例を示します。（多機能電話機、CL620親機の場合）

```
内線　１：不在
東京太郎
会議中※1
```

※1：「会議中」の不在理由設定は、☞１２９ページをご覧ください。

- CL620子機、WS600電話機の場合は、◇ を押すと不在理由が表示されます。
- 付属のステッカ「内線一覧」シールを貼ると便利です。

呼び出しする

1 「確認のしかた」の手順１、２と同じ操作をする

2 ◯ を押して内線Ｎｏ．を選択し 確定 を押す

3 ◯ を押して[呼び出し]を選択し、確定 を押す

- 選択した内線No.を呼び出します。
- 自己呼出の場合は、呼び出しをしないで「Error」を表示します。
  → スピーカ ランプ：赤点灯
  （多機能電話機、CL620親機のみ）

MEMO

- 手順１は、メニュー特番３として オート に登録できます。（☞１４１ページ）

内線一覧を表示する（内線一覧）

DC230電話機

確認のしかた

1 内線 保留（再送/決定） を押す

2 ＃▽（または ＊△）を押して[内線一覧]を選択し、保留（再送/決定） を押す。

- 「？」表示は不在、「：」表示は在席。

3 ＃▽（または ＊△）を押して内線Ｎｏ．を選択し、短縮 を押す。

- 選択した内線No.の詳細画面１を表示します。
- 名前が表示桁数以上の場合は、会議 を押すと続きが表示されます。
- 新着 を押すと、詳細画面２を表示します。
- 再度、短縮 を押すと、「一覧表示」に戻ります。

MEMO

- 手順１、２は、メニュー特番３として オート に登録できます。（☞１４３ページ）
- 新着 は、特殊番号１７として、電話機の オート に登録できます。（☞１４３ページ）
- 未使用 外線 に、短縮 、会議 を登録します。（☞３２ページ）

呼び出しする

1 「確認のしかた」の手順１、２と同じ操作をする

2 ＃▽（または ＊△）を押して内線Ｎｏ．を選択し 保留（再送/決定） を押す

3 ＃▽（または ＊△）を押して［呼び出し］を選択し 保留（再送/決定） を押す

- 選択した内線No.を呼び出します。
- 自己呼出の場合は、呼び出しをしないで「Error」を表示します。

内線／ドアホンに名前を登録する（内線／ドアホン名前登録）

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

あらかじめ内線／ドアホン番号に名前を登録（最大１０文字）しておくと、内線の発着信時、他の人が使用している 外線 を押したときに登録されている名前が表示されます。
電話機未使用時に名前を表示します。

登録のしかた（内線の場合）

1 確定 を押す

- CL620子機の場合は、切 を押し、「カレンダー·時計」表示にしてから 確定 を押します。

2 ◆ を押して[内線一覧]を選択し、確定 を押す

- 「?」表示は不在、「:」表示は在席。

3 ◆ を押して内線Ｎｏ．を選択し、確定 を押す

4 ◆ を押して[名前登録]を選択し、確定 を押す

5 名前を入力し、確定 を押す

- 名前は最大１０桁まで入力できます。
- 名前の入力方法は、☞２２２ページをご覧下さい。
- 選択された内線No.の名前が登録され、手順３に戻ります。

MEMO

- 手順１、２は、メニュー特番３として オート に登録できます。（☞１４１ページ）

消去のしかた（内線の場合）

1 「登録のしかた」の手順１～３と同じ操作をする

2 ◆ を押して[名前消去]を選択し、確定 を押す

3 ◆ を押して[はい]を選択し、確定 を押す

- 選択された内線No.の名前が消去され、「登録のしかた」の手順３に戻ります。

内線／ドアホンに名前を登録する（内線／ドアホン名前登録）

DC230電話機

消去のしかた（内線の場合）

1 内線 保留（再送/決定） を押す

2 ＃（または ＊）を押して[内線一覧]を選択し、保留（再送/決定） を押す

- 「?」表示は不在、「:」表示は在席。

3 ＃（または ＊）を押して内線Ｎｏ．を選択し、保留（再送/決定） を押す

4 ＃（または ＊）を押して[名前消去]を選択し、保留（再送/決定） を押す

5 1（消去）を押す

- 選択された内線No.の名前が消去され、手順３に戻ります。

MEMO

- 手順１、２は、メニュー特番３として オート に登録できます。（☞１４３ページ）

内線／ドアホンに名前を登録する（内線／ドアホン名前登録）

多機能電話機、CL620親機

登録のしかた（ドアホンの場合）

1 (確定) を押す

2 ◀▲▶▼ を押して[その他]を選択し、(確定) を押す

3 ◀▲▶▼ を押して[システム]を選択し、(確定) を押す

4 ◀▲▶▼ を押して[ドアホン]を選択し、(確定) を押す

5 ◀▲▶▼ を押してドアホンＮｏ．を選択し、(確定) を押す

6 ◀▲▶▼ を押して[名前登録]を選択し、(確定) を押す

7 名前を入力し、(確定) を押す

- 名前は最大１０桁まで入力できます。
- 名前の入力方法は、☞２２２ページをご覧下さい。
- 選択された内線No.の名前が登録され、手順５に戻ります。

MEMO

- 手順１～４は、メニュー特番９１７、手順１～５は、メニュー特番９１７Ｘ、手順１～６は、メニュー特番９１７Ｘ１として電話機の (オート) に登録できます。(☞１４１ページ)
（Ｘ：1 ドアホン１、2 ドアホン２）

消去のしかた（ドアホンの場合）

1 「登録のしかた」の手順１～５と同じ操作をする

2 ◀▲▶▼ を押して[名前消去]を選択し、(確定) を押す

3 ◀▲▶▼ を押して[はい]を選択し、(確定) を押す

- 選択された内線No.の名前が消去され、「登録のしかた」の手順５に戻ります。

MEMO

- 手順１～３は、メニュー特番９１７Ｘ２として電話機の (オート) に登録できます。(☞１４１ページ)
（Ｘ：1 ドアホン１、2 ドアホン２）

続けて別の内線を呼び出す（リセットコール）

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

内線呼出ししている相手が話中または不応答のとき、別の内線番号をダイヤルすると、次の内線番号の電話機を呼び出します。(例)内線１の電話機から内線２を呼び出したが、不応答のため、続けて内線３を呼び出す

【内線１】

1 ✆

- 内線発信音「プップップッ・・・」が聞こえます。
- ＷＳ６００電話機の場合は、(スピーカ) を押し、ＤＣ２３０電話機の場合は、(内線) を押します。

2 (カ ABC 2) を押す

- 内線リングバックトーン「プーッ」（音声呼出の場合）
- 内線リングバックトーン「プルル、プルル、プルル・・・」（信号呼出の場合）

【内線２不応答】

3 (サ DEF 3) を押す

- 続けて (サ DEF 3) を押します。
- 内線リングバックトーン「プーッ」（音声呼出の場合）
- 内線リングバックトーン「プルル、プルル、プルル・・・」（信号呼出の場合）

【内線３応答】

4 内線通話

他の内線呼出に応答する（内線代理応答）

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

呼び出されている他の内線の代わりに自内線で応答できます。

1 他の内線が呼び出されている

2

- 内線発信音「プップップッ・・・」が聞こえます。
- WS600電話機の場合は、スピーカを押し、DC230電話機の場合は、内線を押します。

3 ラ WXYZ 9 ハ MNO 6 ア 1 を押す

4 内線通話

MEMO

- 手順3は、内線特番961として電話機の オート に登録できます。（☞140、142ページ）
- 付属のステッカ「内線代理応答」シールを貼ると便利です。
- 内線呼出、およびサブアドレス着信のときに内線代理応答できます。

使用中の内線を呼び出したとき他の内線を呼び出す（スライド着信）

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

工事設定により代表番号を呼び出したとき、内線の代表番号が話中の場合は、工事設定で指定した電話機を呼び出します。
(例)内線4が通話中などで呼び出せない場合、内線5を呼び出す

1

- 内線発信音「プップップッ・・・」が聞こえます。
- WS600電話機の場合は、スピーカを押し、DC230電話機の場合は、内線を押します。

2 内線代表番号 タ GHI 4 を押す

- 内線リングバックトーン「プーッ」（音声呼出の場合）
- 内線リングバックトーン「プルル、プルル、プルル・・・」（信号呼出の場合）

【内線5応答】

3 内線通話

- 相手が出たら通話します。

MEMO

- 内線代表番号は、電話機の オート に登録できます。（☞140、142ページ）

すべての内線を呼び出す（一斉呼出／電話機グループ呼出）

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

電話機から未使用の電話機を一斉またはグループ呼出します。
・グループ呼出を行う場合、電話機ごとに内線グループA～Dのいずれかに工事設定します。
・単独電話機は、着信鳴動しません。

呼び出す側

1 スピーカ を押す

- WS600電話機の場合は、 スピーカ を押します。
- DC230電話機の場合は、 内線 を押します。
- 内線発信音「プップップッ・・・」が聞こえます。
  → スピーカ ランプ：赤点灯
  （多機能電話機、CL620親機のみ）

2 内線特番（3または4桁）を押す

- 9 7 0 ：一斉呼出
- 9 7 1 1：内線グループA呼出
- 9 7 1 2：内線グループB呼出
- 9 7 1 3：内線グループC呼出
- 9 7 1 4：内線グループD呼出

3 呼びかける

- 多機能電話機、CL620親機の場合は、 呼びかけます
  → スピーカ ランプ：消灯
  （多機能電話機、CL620親機のみ）

受ける側

1 呼出音が鳴る

- 呼び出し音「プー」が鳴り相手の声が聞こえます。
  →着信ランプ：点滅

2

- WS600電話機の場合は、 スピーカ を押し、DC230電話機の場合は、 内線 を押します。

3 ラ WXYZ 9 マ PQRS 7 ラ WXYZ 9 を押す

→着信ランプ：消灯

4 内線通話

MEMO

- 呼び出す側の操作および、受ける側の操作は、内線特番970、9711～9714、979として電話機の オート に登録できます。（☞140、142ページ）
- 付属のステッカ「一斉呼出」、「呼出応答」シールを貼ると便利です。
- 工事設定により、「音声呼」を「信号呼」に変更できます。
- 個別着信中の一斉着信についての表示は、個別着信のままとなります。

内線通話を保留する（内線独占保留）

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

内線独占保留のしかた

1 内線通話中

2 保 留 を押す

- 内線通話相手へ保留音が流れます。
- 保留音は、外線保留音と同じ曲が流れます。
  → 会 議 ランプ：赤点滅

【内線独占保留中】

3

- WS600電話機の場合は、 または 切 を押します。
- “解除する場合は受話器を上げて内線捕捉中メニューから解除してください”を表示します。

再応答のしかた

1

- 内線発信音「プップップッ・・・」が聞こえます。
  → 会 議 ランプ：点滅
- WS600電話機の場合は、 スピーカ を押します。

2 確定 を押す

- 「内線捕捉中メニュー」を表示します。

3 を押して[応答関係]を選択し、確定 を押す

- 「応答関係」メニューを表示します。

4 を[内線保留再応答]を選択し、確定 を押す

- 再度、内線通話ができます。
  → 会 議 ランプ：消灯

MEMO

- 内線独占保留操作後に受話器をおいても内線独占保留は切れません。
- 内線通話を保留した電話機のみ、再通話の操作ができます。
- 「再応答のしかた」の手順2～4は 会 議 （特殊番号42）として、電話機の オート に登録できます。（☞141ページ）
- 付属のステッカ「会議」シールを貼ると便利です。

内線通話を保留する（内線独占保留）

DC230電話機

内線独占保留のしかた

1 内線通話中

→内線ランプ：緑点灯

2 保留 を押す
再送/決定

- 内線通話相手へ保留音が流れます。
- 保留音は、外線保留音と同じ曲が流れます。
  → 会議 ランプ：赤点滅

3 電源 を押す

→内線ランプ：消灯

再応答のしかた

1 内線 を押す

- 内線発信音「プップップッ・・・」が聞こえます。
  → 内線 ランプ：緑点灯
  → 会議 ランプ：赤点滅

2 会議 を押す

- 再度、内線通話ができます。
  → 会議 ランプ：消灯

MEMO

- 内線独占保留操作後に 電源 を押しても内線独占保留は切れません。
- 内線通話を保留した電話機のみ、再通話の操作ができます。
- 未使用 外線 に 会議 を登録します。（☞32ページ）

内線通話を保留して、他の子機で再応答する(内線システム保留)

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

内線システム保留のしかた

1 内線通話中

2 ○機 能 サ DEF 3 を押す

- 内線通話相手へ保留音が流れます。
- 保留音は、外線保留音と同じ曲が流れます。
- 内線発信音「プップップッ・・・」が聞こえます。

【内線システム保留中】

3

- WS600電話機の場合は、 または 切 を押します。
- DC230電話機の場合は、 を押します。

再応答のしかた

1

- WS600電話機の場合は、 スピーカ を押し、DC230電話機の場合は、内線 を押します。
- 内線発信音「プップップッ・・・」が聞こえます。

2 ○機 能 サ DEF 3 を押す

- 再度、内線通話ができます。

MEMO

- 内線システム保留と再応答の手順2は機能特番3として電話機の ○オート に登録できます。(☞141、142ページ)

不在理由を登録する(不在理由表示機能)

多機能電話機、CL620親機

内線電話機に最大10種類の不在理由を設定できます。

登録のしかた

1 確定 を押す

2 ◇ を押して[その他]を選択し、確定 を押す

3 ◇ を押して[システム]を選択し、確定 を押す

4 ◇ を押して[不在関係]を選択し、確定 を押す

5 ◇ を押して[不在理由設定]を選択し、確定 を押す

6 ◇ を押して不在理由(0～9)を選択し、確定 を押す

- 不在理由の初期値は、以下のとおりです。
  0外出中　1会議中　2来客中　3食事中
  4出張中　5休暇中　6帰宅　7直帰
  8直行直帰　9(登録なし)

7 ◇ を押して[登録]を選択し、確定 を押す

8 不在理由を入力し、確定 を押す

- 不在理由は最大10桁まで入力できます。
- 不在理由の入力方法は、☞222ページをご覧下さい。
- 選択された不在理由が登録され、手順6に戻ります。

MEMO

- 手順1～5はメニュー特番9191、手順1～6はメニュー特番9191X(X：0～9)として、電話機の ○オート に登録できます。(☞141ページ)

内線を受けられないようにする（不在設定）

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

席を離れるときなどに内線呼出音を停止するようにセットします。
また、不在設定電話機を内線で呼び出した場合、呼び出した電話機に不在理由を表示させることができます。

設定のしかた

1 確定 を押す

●CL620子機の場合は、 切 を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから 確定 を押します。

2 ◯ を押して[その他]を選択し、確定 を押す

3 ◯ を押して[電話機]を選択し、確定 を押す

4 ◯ を押して[不在設定]を選択し、確定 を押す

●お買い上げ時は「設定なし」です。

5 ◯ を押して[不在モード]を選択し、確定 を押す

6 ◯ を押して不在理由（0～9）を選択し、確定 を押す

●不在理由がセットされ、「カレンダー・時計」表示に戻ります。
→ ◯機 能 ランプ：赤点滅

●不在理由の初期値は、以下のとおりです。
0 外出中　1 会議中　2 来客中　3 食事中
4 出張中　5 休暇中　6 帰宅　7 直帰
8 直行直帰　9 （登録なし）

MEMO

●手順1～4はメニュー特番922、手順1～5はメニュー特番9221、手順1～6はメニュー特番9221X（X：0～9）として、電話機の ◯オート に登録できます。
（☞141ページ）

●未使用 外線 に 機能 を登録します。（CL620子機、WS600電話機）

●付属のステッカ「不在設定」シールを貼ると便利です。

解除のしかた

1 不在設定中

→ ◯機 能 ランプ：赤点滅

2 確定 を押す

●CL620子機の場合は、 切 を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから 確定 を押します。

3 ◯ を押して[その他]を選択し、確定 を押す

4 ◯ を押して[電話機]を選択し、確定 を押す

5 ◯ を押して[不在設定]を選択し、確定 を押す

6 ◯ を押して[解除（設定なし）]を選択し、確定 を押す

●不在理由が解除され、「カレンダー・時計」表示に戻ります。
→ ◯機 能 ランプ：消灯

MEMO

●手順2～5はメニュー特番922、手順2～6はメニュー特番9220として、電話機の ◯オート に登録できます。
（☞141ページ）

内線を受けられないようにする（不在設定）

DC230電話機

設定のしかた

1 内線 保留（再送/決定）を押す

2 ＃（または ＊）を押して[その他]を選択し、保留（再送/決定）を押す

3 ＃（または ＊）を押して[電話機]を選択し、保留（再送/決定）を押す

4 ＃（または ＊）を押して[不在設定]を選択し、保留（再送/決定）を押す

- お買い上げ時は「設定なし」です。

5 ＃（または ＊）を押して[不在モード]を選択し、保留（再送/決定）を押す

6 ＃（または ＊）を押して不在理由（0～9）を選択し、保留（再送/決定）を押す

- 不在理由がセットされ、「カレンダー・時計」表示に戻ります。
  → 機能(F) ランプ：赤点滅

MEMO

- 未使用 外線 に 機能(F) を登録します。（☞ 32ページ）

解除のしかた

1 不在設定中

2 内線 保留（再送/決定）を押す
→ 機能(F) ランプ：赤点滅

3 ＃（または ＊）を押して[その他]を選択し、保留（再送/決定）を押す

4 ＃（または ＊）を押して[電話機]を選択し、保留（再送/決定）を押す

5 ＃（または ＊）を押して[不在設定]を選択し、保留（再送/決定）を押す

6 ＃（または ＊）を押して[解除（設定なし）]を選択し、保留（再送/決定）を押す

- 不在理由が解除され、「カレンダー・時計」表示に戻ります。
  → 機能(F) ランプ：消灯

不在時の内線呼出を他の子機に転送する（不在転送）

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

不在時の内線呼出を他の電話機へ転送するようにセットします。

1 確定 を押す

- CL620子機の場合は、切 を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから 確定 を押します。

2 ◯ を押して[その他]を選択し、確定 を押す

3 ◯ を押して[電話機]を選択し、確定 を押す

4 ◯ を押して[不在設定]を選択し、確定 を押す

- お買い上げ時は「設定なし」です。

5 ◯ を押して[不在転送]を選択し、確定 を押す

6 ◯ を押して転送先（内線Ｎｏ.）を選択し、確定 を押す

- 転送先がセットされ、「カレンダー・時計」表示に戻ります。
  → ◯機 能 ランプ：赤点滅

MEMO

- 手順１～４はメニュー特番９２２、手順１～５はメニュー特番９２２２、手順１～６はメニュー特番９２２２Ｘまたは９２２２ＹＹ（Ｘ：１～８（内線１桁モード時）、ＹＹ：１０～８９（内線２桁モード時））として、電話機の ◯オート に登録できます。（☞１４１ページ）
- 未使用 外線 に 機能 を登録します。（☞３１ページ）（CL620子機、WS600電話機）

解除のしかた

不在設定の「解除のしかた」と同じ操作です。（☞130ページ）

不在時の内線呼出を他の子機に転送する（不在転送）

DC230電話機

設定のしかた

1 内線 保留（再送/決定） を押す

2 ＃▷（または ＊◁）を押して[その他]を選択し、保留（再送/決定） を押す

3 ＃▷（または ＊◁）を押して[電話機]を選択し、保留（再送/決定） を押す

4 ＃▷（または ＊◁）を押して[不在設定]を選択し、保留（再送/決定） を押す

- お買い上げ時は「設定なし」です。

5 ＃▷（または ＊◁）を押して[不在転送]を選択し、保留（再送/決定） を押す

6 ＃▷（または ＊◁）を押して転送先（内線Ｎｏ.）を選択し、保留（再送/決定） を押す

- 転送先がセットされ、「カレンダー・時計」表示に戻ります。
  → 機能(F) ランプ：赤点滅

MEMO

- 未使用 外線 に 機能(F) を登録します。（☞３２ページ）

解除のしかた

不在設定の「解除のしかた」と同じ操作です。（☞131ページ）

通話中に他の電話機へ転送する（話中／不応答転送）

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

話中／不応答転送にセットすることで、内線呼出に対して、話中時や一定期間不応答の場合あらかじめ指定された他の内線へ転送することができます。

設定のしかた

1 確定 を押す

- CL620子機の場合は、切 を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから 確定 を押します。

2 ◯ を押して[その他]を選択し、確定 を押す

3 ◯ を押して[電話機]を選択し、確定 を押す

4 ◯ を押して[不在設定]を選択し、確定 を押す

- お買い上げ時は「設定なし」です。

5 ◯ を押して[話中／不応答転送]を選択し、確定 を押す

6 ◯ を押して転送先（内線Ｎｏ.）を選択し、確定 を押す

- 転送先がセットされ、「カレンダー・時計」表示に戻ります。
  → ◯機 能 ランプ：赤点滅

MEMO

- 手順１～４はメニュー特番９２２、手順１～５はメニュー特番９２２３、手順１～６はメニュー特番９２２３Ｘまたは９２２３ＹＹ（Ｘ：１～８（内線１桁モード時）、ＹＹ：１０～８９（内線２桁モード時））として、電話機の ◯オート に登録できます。（☞１４１ページ）
- 未使用 外線 に 機能 を登録します。（☞３１ページ）（CL620子機、WS600電話機）
- 付属のステッカ「話中設定」シールを貼ると便利です。

解除のしかた

不在設定の「解除のしかた」と同じ操作です。（☞130ページ）

通話中に他の電話機へ転送する（話中／不応答転送）

DC230電話機

設定のしかた

1 内線 保留（再送/決定） を押す

2 ＃▷（または ＊◁）を押して[その他]を選択し、保留（再送/決定） を押す

3 ＃▷（または ＊◁）を押して[電話機]を選択し、保留（再送/決定） を押す

4 ＃▷（または ＊◁）を押して[不在設定]を選択し、保留（再送/決定） を押す

- お買い上げ時は「設定なし」です。

5 ＃▷（または ＊◁）を押して[話中／不応答転送]を選択し、保留（再送/決定） を押す

6 ＃▷（または ＊◁）を押して転送先（内線Ｎｏ.）を選択し、保留（再送/決定） を押す

- 転送先がセットされ、「カレンダー・時計」表示に戻ります。
  → 機能(F) ランプ：赤点滅

MEMO

- 未使用 外線 に 機能(F) を登録します。（☞３２ページ）

解除のしかた

不在設定の「解除のしかた」と同じ操作です。（☞131ページ）

全電話機の不在設定を一括解除する（不在設定一括解除）

多機能電話機、CL620親機

全ての電話機の不在設定を一括解除します。

解除のしかた

1 (確定) を押す

2 ◯ を押して[その他]を選択し、(確定) を押す

3 ◯ を押して[システム]を選択し、(確定) を押す

4 ◯ を押して[不在関係]を選択し、(確定) を押す

5 ◯ を押して[全電話機の不在設定解除]を選択し、(確定) を押す

6 ◯ を押して[はい]を選択し、(確定) を押す

- 全ての電話機の不在設定が解除され、「カレンダー·時計」表示に戻ります。

MEMO

- 手順1～6はメニュー特番9192として〔オート〕に登録できます。（☞141ページ）

通話中の電話機を呼び出す（話中呼出）

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

話中の相手に呼び出し中であることを知らせます。
・単独電話機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機を話中呼出することはできません。

通知をする

1 ✆

- WS600電話機の場合は、✆ (スピーカ) を押し、DC230電話機の場合は、(内線) を押します。
- 内線発信音「プップップッ・・・」が聞こえます。

2 内線番号を押す

- 相手が通話中のときは話中音「プープープー・・・」が鳴ります。

3 〔＊〕を押す

- 相手のスピーカに話中呼出音「プー」音がでます。

応答をする

1 内線、外線通話中

- 内線、外線通話中に話中呼出音「プー」がでます。
  →着信ランプ：点滅

2 〔保　留〕を押す

- それまでの通話を保留し、待機者と通話します。
  →着信ランプ：消灯
  →〔会　議〕ランプ：赤点滅（内線通話の場合）
  →〔外　線〕ランプ：緑点滅（外線通話の場合）

話中のときはそのまま待って相手を呼び出す（コールウェイティング）

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

内線を呼び出して相手が話中のとき、そのまま待っていれば、相手の通話が終わりしだい呼び出します。

1

- WS600電話機の場合は、スピーカを押し、DC230電話機の場合は、内線を押します。
- 内線発信音「プップップッ・・・」が聞こえます。

2 内線番号を押す

- 相手が通話中のときは話中音「プープープー・・・」が鳴ります。

3 相手話中（そのまま待つ）

- 相手の通話が終わるまでそのまま待ちます。
- 受話器を置くと、コールウェイティングが解除されます。

4 内線通話

- 相手の通話が終わりしだい呼び出します。
- 相手が出たら通話します。

受話器を上げるだけで特定の内線、または内線グループに電話をかける（オフフック内線自動発信）

多機能電話機、CL620子機、WS600電話機

工事設定により、受話器を上げるだけで設定されている内線電話機、または内線グループ（グループホットライン）を呼び出すことができます。

1

- 呼出音「プー」が聞こえます。

2 内線通話

- 相手が出たら通話します。

MEMO

- 工事設定により内線呼出は、音声の他に信号でも呼び出せます。（お買い上げ時は「音声」です）
- ◯スピーカを押して内線発信をする以外は、操作できません。

内線捕捉中のメニュー操作（内線捕捉中メニュー）

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

内線捕捉中に以下のメニュー操作を行うことができます。

No.	機能名	機能内容	参照ページ
1	内線一覧	内線電話機の一覧、および詳細の表示	☞122ページ
1−1	呼び出し	特定の内線電話機を呼び出し、自動転送、強制転送	☞123ページ
2	応答関係	「応答関係」メニューを表示	−
2−1	内線代理応答	呼び出されている他の内線の代わりに自内線で応答	☞126ページ
2−2	自己保留外線再応答	自己保留している外線通話に再応答	−
2−3	内線保留再応答	内線通話を保留し、再度、自内線で保留を解除し再応答（会議通話の保留も同様）	☞128ページ
2−4	呼出応答	電話機からの未使用の電話機への一斉またはグループ呼出に応答	☞127ページ
3	呼出関係	「呼出関係」メニューを表示	−
3−1	一斉呼出	「一斉呼出」メニューを表示	−
3−1−1	全電話機	電話機から未使用の電話機への一斉呼出	☞127ページ
3−2	内線グループ呼出	内線グループを選択	☞127ページ
3−2−1	内線グループX呼出（X：A〜D）	電話機から未使用の電話機へのグループ呼出	☞127ページ
4	ドアホンモニタ	「ドアホンモニタ」メニューを表示	−
4−1	ドアホンモニタX（X：1〜2）	ドアホンの周囲をモニタする	☞171ページ
5	指定外線捕捉	外線発信時、使用したい外線番号を指定して捕捉する	☞117ページ

1

- 内線発信音「プップップッ・・・」が聞こえます。
- WS600電話機の場合は、 (スピーカ) を押します。

2 (確定) を押す

- 「内線捕捉中メニュー」を表示します。

会議通話

外線・内線で会議をする（会議通話）

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

「外線１人と内線２～３人」または「外線２人と内線１～２人」の会議通話ができます。会議通話は最大３組（内線会議通話と外線会議通話）までを同時に行うことができます。

外線会議通話（外線１人、内線２人）

1 外線通話中（例：外線１）

→ 〇外　線 １ランプ：緑点灯

2 保　留 を押す

- 内線発信音「プップップッ・・・」が聞こえます。
  → 〇外　線 １ランプ：緑点滅

3 内線番号を押す

- 会議に加えたい内線番号を押します。

4 内線通話

- 相手応答後、会議することを伝えます。

5 〇会　議 を押す

- 会議することを伝え、〇会　議 を押します。
- 三者通話（外線１人、内線２人）となります。
  → 〇外　線 １ランプ：緑点灯
  → 〇会　議 ランプ：赤点灯

外線会議通話（外線１人、内線３人）

外線会議中（外線１人、内線２人）に、もう１人の内線を参加させたい場合、「外線会議通話（外線１人、内線２人）」と同じ操作をします。

外線会議通話（外線２人、内線１人）

1 外線通話中（例：外線１）

→ 〇外　線 １ランプ：緑点灯

2 保　留 を押す

- 内線発信音「プップップッ・・・」が聞こえます。
  → 〇外　線 １ランプ：緑点滅

3 〇外　線（例：外線２）を押す

- 空いている 〇外　線 を押します。
  → 〇外　線 ２ランプ：緑点灯

4 電話番号を押す

- 会議に加えたい外線相手の電話番号を押します。

5 外線通話

- 相手応答後、会議することを伝えます。

6 〇会　議 を押す

- 会議することを伝え、〇会　議 を押します。
- 三者通話（外線２人、内線１人）となります。
  → 〇外　線 １ランプ：緑点灯
  → 〇外　線 ２ランプ：緑点灯
  → 〇会　議 ランプ：赤点灯

MEMO

- 外線どうしの通話音量は局線の状態により小さくなることがあります。
- 〇会　議（特殊番号４２）は、電話機の 〇オート に登録できます。（☞１４１、１４３ページ）
- 付属のステッカ「会議」シールを貼ると便利です。

外線会議通話（外線２人、内線２人）

外線会議中（外線２人、内線１人）に、もう１人の内線を参加させたい場合、「外線会議通話（外線１人、内線２人）」と同じ操作をします。

内線で会議をする（内線会議通話）

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

内線で会議通話ができます。会議通話は最大３組（内線会議通話と外線会議通話）まで同時に行うことができます。

内線会議通話（内線３人）

1 内線通話中

2 保　留 を押す

- 内線発信音「プップップッ・・・」が聞こえます。
  → ○会　議 ランプ：赤点滅

3 内線番号を押す

- 会議に加えたい内線番号を押します。

4 内線通話

- 相手応答後、会議することを伝えます。

5 ○会　議 を押す

- 会議することを伝え、○会　議 を押します。
- 三者通話（内線３人）となります。
  → ○会　議 ランプ：赤点灯

内線会議通話（内線４人）

内線会議中（内線３人）に、もう１人の内線を参加させたい場合、上記と同じ操作をします。

MEMO

- ○会　議（特殊番号４２）は、電話機の ○オート に登録できます。（☞１４１、１４３ページ）
- 付属のステッカ「会議」シールを貼ると便利です。

オートダイヤルにいろいろな機能を登録する（オートダイヤル）

〔オート〕にいろいろな機能を登録して、ワンタッチで利用できます。
・ご利用されていない〔外線〕を〔オート〕として使用することができます。
・登録できる機能は次のとおりです。
　1．電話番号
　2．内線番号／内線特番（一覧 ☞２１２ページ）
　3．機能特番（一覧 ☞２１３ページ）
　4．メニュー特番（一覧 ☞２１４ページ）
　5．特殊番号（一覧 ☞２１８ページ）
・内線番号／内線特番、機能特番、メニュー特番、特殊番号は、「番号入力による方法」と「名称選択による方法」があります。（DC230電話機は、「番号入力による方法」のみです。）

オートダイヤルにいろいろな機能を登録する（オートダイヤル）

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

登録のしかた（電話番号）

1 **(確定) を押す**

●CL620子機の場合は、〔切〕を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから (確定) を押します。

2 **(◯) を押して[オートダイヤル]を選択し、(確定) を押す**

3 **(◯) を押してオートＮｏ．を選択し、(確定) を押す**

4 **(◯) を押して[登録]を選択し、(確定) を押す**

5 **(◯) を押して[登録種別]を選択し、(確定) を押す。**

6 **(◯) を押して[電話番号]を選択し、(確定) を押す**

●登録種別が仮登録されます。
●登録できる登録種別は次のとおりです。
　1 電話番号　2 内線番号／内線特番
　3 機能特番　4 メニュー特番　5 特殊番号

7 **(◯) を押して[番号]を選択し、(確定) を押す。**

8 **番号を入力し、(確定) を押す。**

●番号が仮登録されます。
●番号は最大２４桁まで入力できます。
●番号の入力方法は、☞２２３ページをご覧下さい。

9 **(◯) を押して[名前]を選択し、(確定) を押す。**

10 **名前を入力し、(確定) を押す。**

●名前が仮登録されます。
●名前は最大１６桁まで入力できます。
●名前の入力方法は、☞２２２ページをご覧下さい。

11 **〔＃〕を押す**

●選択されたオートＮｏ．を本登録し、手順３に戻ります。

MEMO

●手順１～２は、メニュー特番６として電話機の〔オート〕に登録できます。（☞１４１ページ）

登録のしかた（内線番号／内線特番）

●番号入力による方法

1 確定 を押す

- CL620子機の場合は、切 を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから 確定 を押します。

2 ◯ を押して[オートダイヤル]を選択し、確定 を押す

3 ◯ を押してオートＮｏ．を選択し、確定 を押す

4 ◯ を押して[登録]を選択し、確定 を押す

5 ◯ を押して[登録種別]を選択し、確定 を押す

6 ◯ を押して[内線番号／内線特番]を選択し、確定 を押す

- 登録種別が仮登録されます。

7 ◯ を押して[番号]を選択し、確定 を押す

8 番号を入力し、確定 を押す

- 番号が仮登録されます。
- 番号は最大２４桁まで入力できます。
- 番号の入力方法は、☞２２３ページをご覧下さい。

9 ◯ を押して[名前]を選択し、確定 を押す

10 名前を入力し、確定 を押す

- 名前が仮登録されます。
- 名前は最大１６桁まで入力できます。
- 名前の入力方法は、☞２２２ページをご覧下さい。

11 ＃ を押す

- 選択されたオートＮｏ．を本登録し、手順３に戻ります。

●名前選択による方法

1 「番号入力による方法」の手順１～７と同じ操作をする

2 ◯機 能 を押す

MEMO

- 未使用 外線 に 機能 を登録します。（CL620子機、WS600電話機）（☞３１ページ）

3 ◯ を押して[内線番号／内線特番の名称]を選択し、確定 を押す

- オートダイヤル登録補助機能（内線番号／内線特番）の[レベル１]の名称が表示されます。[レベル１]で 確定 を押すと、[レベル２]の名称が表示されます。（☞ ２１９ページ）
- 番号／名前が仮登録されます。

4 ＃ を押す

- 選択されたオートＮｏ．を本登録し、「番号入力による方法」の手順３に戻ります。

登録のしかた（機能特番）

●番号入力による方法

●名前選択による方法

登録種別の選択にて、[機能特番]を選択する以外は「登録のしかた（内線番号／内線特番）」の手順と同様です。(☞140ページ)

●番号は最大16桁まで入力できます。

MEMO

●「番号入力による方法」手順8で機能特番881XY、882XY、883XY、884XY、885XY、886Xのいずれかを入力すると、〔オート〕に2つの機能（「機能1」と「機能2」）が同時に登録できます。(☞213ページ)

(例)機能特番881XY[X：1～4(外線転送1～4)、Y：1～3(留守録モード1～3)]

機能1	機能2	備考
外線自動転送モード(外線転送1～4)	留守番モード(留守録1～3)	留守番指定電話機のみ

登録のしかた（メニュー特番）

●番号入力による方法

●名前選択による方法

登録種別の選択にて、[メニュー特番]を選択する以外は「登録のしかた（内線番号／内線特番）」の手順と同様です。(☞140ページ)

●番号は最大16桁まで入力できます。

登録のしかた（特殊番号）

●番号入力による方法

●名前選択による方法

登録種別の選択にて、[特殊番号]を選択する以外は「登録のしかた（内線番号／内線特番）」の手順と同様です。(☞140ページ)

●番号は最大2桁まで入力できます。

確認のしかた

1 (確定) を押す

●CL620子機の場合は、〔切〕を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから(確定)を押します。

2 ◯ を押して[オートダイヤル]を選択し、(確定) を押す

3 ◯ を押してオートNo.を選択し、〔短　縮〕を押す

●〔短　縮〕を押すと「詳細画面」を表示します。

●選択されたオートNo.の登録内容を順に「オートNo.」、「登録種別」、「番号」、「名前」を表示します。

●再度、〔短　縮〕を押すと、「一覧表示」に戻ります。

●CL620子機、WS600電話機の場合は、番号が表示桁数以上の場合、◯を押すと続きの番号を表示します。

変更のしかた

変更のしかたは「登録のしかた」と同じです。(☞139ページ)

●登録種別を変更すると、番号と名前は消去されます。

消去のしかた

1 (確定) を押す

●CL620子機の場合は、(切) を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから (確定) を押します。

2 (◆) を押して[オートダイヤル]を選択し、(確定) を押す

3 (◆) を押してオートＮｏ．を選択し、(確定) を押す

4 (◆) を押して[消去]を選択し、(確定) を押す

5 (◆) を押して[はい]を選択し、(確定) を押す

●選択されたオートＮｏ．の登録内容が消去され、「登録なし」となり、手順３へ戻ります。

オートダイヤルにいろいろな機能を登録する（オートダイヤル）

DC230電話機

登録のしかた（電話番号）

1 (内線) (保留 再送/決定) を押す

2 (#▽) (または (*△)) を押して[オートダイヤル]を選択し、(保留 再送/決定) を押す

3 (#▽) (または (*△)) を押してオートＮｏ．を選択し、(保留 再送/決定) を押す

4 (#▽) (または (*△)) を押して[登録]を選択し、(保留 再送/決定) を押す

●お買い上げ時は「設定なし」です。

5 (#▽) (または (*△)) を押して [電話番号]を選択し、(保留 再送/決定) を押す。

6 番号を入力し、(機能(F)) を押す

●選択されたオートＮｏ．を本登録し、手順３に戻ります。

MEMO

●未使用 (外線) に (機能(F)) を登録します。（☞３２ページ）

登録のしかた（内線番号／内線特番）

登録種別の選択にて、[内線番号／特番]を選択する以外は左記の「登録のしかた（電話番号）」の手順と同様です。

●番号は最大１６桁まで入力できます。

登録のしかた（機能特番）

登録種別の選択にて、[機能特番]を選択する以外は左記の「登録のしかた（電話番号）」の手順と同様です。

●番号は最大１６桁まで入力できます。

登録のしかた（メニュー特番）

登録種別の選択にて、[メニュー特番]を選択する以外は「登録のしかた（電話番号）」の手順と同様です。（☞１４２ページ）

●番号は最大１６桁まで入力できます。

登録のしかた（特殊番号）

登録種別の選択にて、[特殊番号]を選択する以外は「登録のしかた（電話番号）」の手順と同様です。（☞１４２ページ）

●番号は最大２桁まで入力できます。

確認のしかた

1 内線 保留（再送/決定）を押す

2 ＃（または ＊）を押して[オートダイヤル]を選択し、保留（再送/決定）を押す

3 ＃（または ＊）を押してオートＮｏ．を選択し、短縮を押す

●選択されたオートＮｏ．の登録内容を順に「オートNo.」、「登録種別」、「番号」を表示します。
●再度、短縮を押すと、「一覧表示」に戻ります。
●番号が表示桁数以上の場合、会議を押すと続きの番号を表示します。

MEMO

●未使用 外線 に 短縮 と 機能(F) と 会議 を登録します。（☞３２ページ）

変更のしかた

変更のしかたは「登録のしかた」と同じです。（☞１４２ページ）

●登録種別を変更すると、番号と名前は消去されます。

消去のしかた

1 内線 保留（再送/決定）を押す

2 ＃（または ＊）を押して[オートダイヤル]を選択し、保留（再送/決定）を押す

3 ＃（または ＊）を押してオートＮｏ．を選択し、保留（再送/決定）を押す

4 ＃（または ＊）を押して[消去]を選択し、保留（再送/決定）を押す

5 1 アア を押す

●選択されたオートＮｏ．を消去し、手順３に戻ります。

タイマ連動について

特定日テーブルに設定した登録日は、他の曜日のタイマ動作に割り付けることができます。
・タイマ動作を行う機能は、以下の4組です。（各曜日ごとにタイマ設定ができます）
（1）留守番タイマ連動・・・・・・・・詳細は ☞１４９ページ
（2）夜間タイマ連動
（3）外線転送タイマ連動・・・・・・・詳細は ☞１４７ページ
（4）チャイムタイマ連動

特定日について

特定日の定義は、以下のとおりです。

1. 特定日テーブル種別

①特定日１
②特定日２

2. 特定日の登録方法

①固定日指定［年／月／日］
②毎年日指定［月／日］（年を省略）
テーブル登録時は、1件ごとに日付順で並び替えます。

3. 特定日の使用例

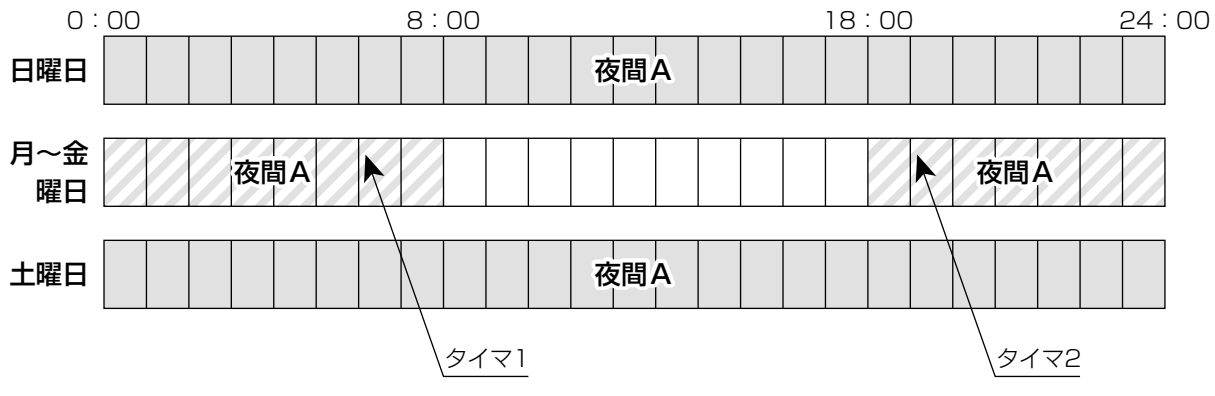
それぞれのテーブルを「日曜日～土曜日」のいずれかの曜日として動作させることができます。
使用例は以下のとおりです。
＜使用例＞
・特定日１……ウィークリ平日（月曜日～金曜日）の除外日として、日曜日として動作
・特定日２……ウィークリ休日（土曜日、日曜日）の除外日として、月曜日として動作

4. 特定日の最大登録数

特定日１と特定日２を合わせて、最大１００件です。
◆ご注意
①すでに登録されている固定日を追加登録された場合、古いデータが無効となります。また、毎年日も同様です。
使用例を以下に示します。
＜使用例＞
すでに「特定日１」に「２００５／３／２１」が登録されていて、「特定日２」へ同一「２００５／３／２１」を登録した場合、「特定日１」の「２００５／３／２１」は削除されます。
②固定日と毎年日で、「月／日」が同じものが登録されている場合、固定日が優先されます。

夜間タイマ連動

あらかじめ設定しておいた時刻になると、夜間モード切替を自動的に行うことができます。タイマは各曜日毎に２個のタイマを設定することができます。※夜間タイマ連動は「夜間Ａ」のみです。※手動で「夜間Ａ」設定がされている場合、夜間タイマ連動のタイマに従います。※手動で「夜間Ｂ」設定がされている場合、夜間タイマ連動は無効となり、手動での「夜間Ｂ」設定で動作します。



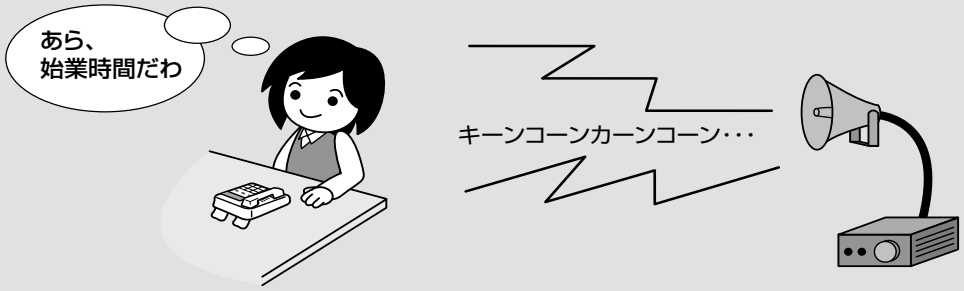
チャイムタイマ連動

あらかじめ登録された時刻になると、電話機のスピーカや外部スピーカからチャイム音が鳴ります。タイマは各曜日毎に２０個のタイマを設定することができます。

≪例≫始業／終業や昼休み時に、電話機や外部スピーカからチャイムを鳴動させることができます。

タイマNo.	日曜日	月曜日～金曜日	土曜日
タイマ０１		８：３０	
タイマ０２		８：４５	８：４５
タイマ０３		１０：００	
タイマ０４		１０：１５	
タイマ０５		１２：００	１２：００
タイマ０６		１２：３０	
タイマ０７		１２：４５	
タイマ０８		１５：００	
タイマ０９		１５：１５	
タイマ１０		１７：３０	１７：３０
タイマ１１			
・			
タイマ２０			

内　容
予　鈴
始　業
休憩時間
休憩終了
昼休み
予　鈴
昼休み終了
休憩時間
休憩終了
終　業



特定日を設定する(特定日設定)

多機能電話機、CL620親機

特定日の登録／確認／曜日指定を行うことができます。

登録のしかた

1 確定 を押す

2 ◯ を押して[その他]を選択し、確定 を押す

3 ◯ を押して[システム]を選択し、確定 を押す

4 ◯ を押して[カレンダー･時計]を選択し、確定 を押す

5 ◯ を押して[特定日設定]を選択し、確定 を押す

6 ◯ を押して[特定日１]または[特定日２]を選択し、確定 を押す

7 ◯ を押して[新規登録]を選択し、確定 を押す

8 特定日を入力する

- 固定日の場合
  - 年(西暦下２桁)、月(２桁)、日(２桁)を入力する。
  - 曜日は自動的に表示します。
- 毎年日を場合

① ＊ を押す。
- 年、および曜日の入力エリアを“＊”にします。

②特定日を入力する。
- 月(２桁)、日(２桁)を入力する。

9 確定 を押す

- 入力した特定日を登録し、チェックへ戻ります。

MEMO

- 手順１～５はメニュー特番９１６３、手順１～６はメニュー特番９１６３Ｘ、手順１～７はメニュー特番９１６３Ｘ１（※１）として電話機の ○オート に登録できます。（☞１４１ページ）

※１：登録後は、○オート を押すだけで特定日の登録ができます。（Ｘ：1 特定日１、2 特定日２）

確認のしかた

1 「登録のしかた」（☞145ページ）の手順1～6と同じ操作をする

2 ◀▶▲▼を押して[一覧表示]を選択し、確定を押す

- 選択された特定日の「一覧表示」へ進みます。

MEMO

- 手順1、2はメニュー特番9163X2（X：1特定日1、2特定日2）として電話機の ○オート に登録できます。（☞141ページ）

曜日指定のしかた

1 「登録のしかた」（☞145ページ）の手順1～6と同じ操作をする

2 ◀▶▲▼を押して[曜日指定]を選択し、確定を押す

3 ◀▶▲▼を押して曜日を選択し、確定を押す

- 曜日の選択はダイヤルボタンでもできます。
  0日曜日　1月曜日　2火曜日　3水曜日
  4木曜日　5金曜日　6土曜日
- 選択された特定日の曜日指定を登録し、手順2へ戻ります。

MEMO

- 手順1、2はメニュー特番9163X3（X：1特定日1、2特定日2）※1として電話機の ○オート に登録できます。（☞141ページ）
  ※1：登録後は、○オート を押すだけで特定日の曜日指定ができます。

消去のしかた（個別消去）

1 「登録のしかた」（☞145ページ）の手順1～6と同じ操作をする

2 ◀▶▲▼を押して[一覧表示]を選択し、確定を押す

3 ◀▶▲▼を押して消したい特定曜日を選択し、確定を押す

4 ◀▶▲▼を押して[1件消去]を選択し、確定を押す

5 ◀▶▲▼を押して[はい]を選択し、確定を押す

- 選択された特定日を消去し、手順3へ戻ります。

消去のしかた（全件消去）

1 「登録のしかた」（☞145ページ）の手順1～6と同じ操作をする

2 ◀▶▲▼を押して[一覧表示]を選択し、確定を押す

3 確定を押す

4 ◀▶▲▼を押して[全件消去]を選択し、確定を押す

- どの特定日を選択しても全件消去できます。

5 ◀▶▲▼を押して[はい]を選択し、確定を押す

- 選択された特定日を一括消去し、手順2へ戻ります。

外線転送機能を日時指定で利用する（外線転送タイマ連動）

多機能電話機、CL620親機

決まった日時に外線転送機能のセット・解除を自動的に行います。
外線転送タイマ連動は、曜日ごとにタイマ１，２があります。

登録のしかた

1 確定 を押す

2 ◯ を押して[外線転送関係]を選択し、確定 を押す

3 ◯ を押して[外線転送タイマ連動]を選択し、確定 を押す

4 ◯ を押して外線転送Ｎｏ．を選択し、確定 を押す

- 1外線転送１～4外線転送４

5 ◯ を押して曜日を選択し、確定 を押す

- 曜日の選択はダイヤルボタンでもできます。
  0日曜日　1月曜日　2火曜日　3水曜日
  4木曜日　5金曜日　6土曜日

6 ◯ を押してタイマＮｏ．を選択し、確定 を押す

- 1タイマ１ 2タイマ２

7 ◯ を押して[登録]を選択し、確定 を押す

- お買い上げ時は「登録なし」です。

8 ◯ を押して[転送先]を選択し、確定 を押す

9 外線転送先を選択して、確定 を押す

- 外線転送先１～８から、最大２ヶ所まで選択します。（工事設定が必要です）
- 外線転送先が選択されると、☑を表示します。
- 選択されていない場合は、「□」を表示します。
- 確定 を押すたびに☑→「□」を繰り返します。

10 # を押す

- 「外線転送先」を仮登録します。

11 ◯ を押して[切替時刻]を選択し、確定 を押す

12 切替時刻を入力して、確定 を押す

- ００：００～２４：００で入力してください。
- フラッシュ（または ◯）を押すと、カーソルの前の桁を削除します。
- 既に時刻が入っている場合は上書きします。
- 「切替時刻」を仮登録します。

13 # を押す

- 本登録され、手順６に戻ります。

MEMO

- 手順１～３はメニュー特番４３、手順１～４はメニュー特番４３Ｘ、手順１～５はメニュー特番４３ＸＹ、手順１～６はメニュー特番４３ＸＹＺとして電話機の オート に登録できます。（☞１４１ページ）
  （Ｘ：1外線転送１～4外線転送４）
  （Ｙ：0日曜日、1月曜日、2火曜日、3水曜日、4木曜日、5金曜日、6土曜日）
  （Ｚ：1タイマ１、2タイマ２）
- 外線転送タイマ連動は、手動で外線自動転送設定が設定されている場合、外線転送タイマ連動は無効となり、手動での外線自動転送設定で動作します。

コピーのしかた

1 「登録のしかた」（☞１４７ページ）の手順１～６と同じ操作をする

2 ◯ を押して[コピー]を選択し、確定 を押す

3 コピー先曜日を選択し、確定 を押す

- 選択されたコピー元曜日は☑印がついています。
- 曜日が選択されると、☑を表示します。
- 選択されていない場合は、「□」を表示します。
- 確定 を押すたびに☑→「□」を繰り返します。

4 ＃ を押す

- 選択されている曜日のタイマの登録内容がコピー先の曜日のタイマに登録され、「登録のしかた」（☞１４７ページ）の手順６に戻ります。

MEMO

- コピー先の曜日は、他の曜日をすべて選択できます。

消去のしかた（タイマ単位）

1 「登録のしかた」（☞１４７ページ）の手順１～６と同じ操作をする

2 ◯ を押して[消去]を選択し、確定 を押す

3 ◯ を押して[はい]を選択し、確定 を押す

- 選択された曜日のタイマＮｏ．が消去され、「登録のしかた」（☞１４７ページ）の手順６に戻ります。

消去のしかた（曜日単位）

1 「登録のしかた」（☞１４７ページ）の手順１～５と同じ操作をする

2 ◯ を押して[消去（曜日単位）]を選択し、確定 を押す

3 ◯ を押して[はい]を選択し、確定 を押す

- 選択された曜日の全タイマが消去され、手順２に戻ります。

MEMO

- 手順１～３はメニュー特番４３ＸＹ＊として電話機の オート に登録できます。（☞１４１ページ）
  （Ｘ：1 外線転送１～4 外線転送４）
  （Ｙ：0日曜日、1月曜日、2火曜日、3水曜日、4木曜日、5金曜日、6土曜日）

留守番機能を日時指定で利用する（留守番タイマ連動）

多機能電話機、CL620親機

決まった日時に留守番機能をセット・解除を自動的に行います。各留守番指定電話機から別々に操作します。
留守番タイマ連動は、各曜日ごとにタイマ１～４があります。

登録のしかた

1 確定 を押す

2 ◀▲▶▼ を押して[留守番関係]を選択し、確定 を押す

3 ◀▲▶▼ を押して[留守番タイマ連動]を選択し、確定 を押す

4 ◀▲▶▼ を押して曜日を選択し、確定 を押す

- 曜日の選択はダイヤルボタンでもできます。
  0日曜日　1月曜日　2火曜日　3水曜日
  4木曜日　5金曜日　6土曜日

5 ◀▲▶▼ を押してタイマＮｏ．を選択し、確定 を押す

- 1タイマ１～4タイマ４

6 ◀▲▶▼ を押して[登録]を選択し、確定 を押す

- お買い上げ時は「登録なし」です。

7 ◀▲▶▼ を押して[切替時刻]を選択し、確定 を押す

8 切替時刻を入力して、確定 を押す

- ００：００～２４：００で入力してください。
- フラッシュ（または ↩）を押すと、カーソルの前の桁を削除します。
- 既に時刻が入っている場合は上書きします。
- 「切替時刻」を仮登録します。

9 ◀▲▶▼ を押して[モード]を選択し、確定 を押す

10 モードを選択して、確定 を押す

- モードは以下のとおりで、ダイヤルボタンでもできます。
  1留守録１　2留守録２　3留守録３
  4お知らせ１　5お知らせ２　6お知らせ３
  7追っかけ１　8追っかけ２　9追っかけ３
- 「モード」を仮登録します。

11 ◀▲▶▼ を押して[サイレント]を選択し、確定 を押す。

12 ◀▲▶▼ を押してサイレントのON／OFFを選択し、確定 を押す

- 「サイレント」を仮登録します。

13 # を押す

- 本登録し、手順５に戻ります。

MEMO

- 手順１～３はメニュー特番５６、手順１～４はメニュー特番５６Ｘ、手順１～５はメニュー特番５６ＸＹとして電話機の ○オート に登録できます。（☞１４１ページ）
  （Ｘ：0日曜日、 1月曜日、 2火曜日、 3水曜日、 4木曜日、 5金曜日、 6土曜日）
  （Ｙ：1タイマ１、2タイマ２、3タイマ３、4タイマ４）
- 手動で留守番セットされている場合、指定した時刻になっても手動でセットした留守番が優先されます。
- タイマをセットした時刻になると、留守番指定電話機の表示に「Ｔ」が表示されます。

コピーのしかた

1 「登録のしかた」（☞１４９ページ）の手順１～５と同じ操作をする

2 ◯ を押して[コピー]を選択し、確定 を押す

- 選択されたタイマＮｏ．のコピー先設定へ進みます。

3 コピー先曜日を選択し、確定 を押す

- 選択されたコピー元曜日は☑印がついています。
- 曜日が選択されると、☑を表示します。
- 選択されていない場合は、「□」を表示します。
- 確定 を押すたびに☑→「□」を繰り返します。

4 # を押す

- 選択されている曜日のタイマの登録内容がコピー先の曜日のタイマに登録され、「登録のしかた」（☞１４９ページ）の手順５に戻ります。

MEMO

- コピー先の曜日は、他の曜日をすべて選択できます。

消去のしかた（タイマ単位）

1 「登録のしかた」（☞１４９ページ）の手順１～５と同じ操作をする

2 ◯ を押して[消去]を選択し、確定 を押す

3 ◯ を押して[はい]を選択し、確定 を押す

- 選択された曜日のタイマＮｏ．が消去され、「登録のしかた」（☞１４９ページ）の手順５に戻ります。

消去のしかた（曜日単位）

1 「登録のしかた」（☞１４９ページ）の手順１～４と同じ操作をする

2 ◯ を押して[消去（曜日単位）]を選択し、確定 を押す

- 選択された曜日の「消去確認（曜日単位）」へ進みます。

3 ◯ を押して[はい]を選択し、確定 を押す

- 選択された曜日の全タイマが消去され、手順２に戻ります。

MEMO

- 手順１～３はメニュー特番５６Ｘ＊として電話機の オート に登録できます。（☞１４１ページ）
  （Ｘ：0 日曜日、1 月曜日、2 火曜日、3 水曜日、4 木曜日、5 金曜日、6 土曜日）

夜に指定した電話機だけ鳴動する（夜間タイマ連動）

多機能電話機、CL620親機

決まった日時に夜間モード切替を自動的に行うことができます。
夜間タイマ連動は、各曜日ごとにタイマ１、２があります。

登録のしかた

1 確定 を押す

2 ◀◯▶ を押して[その他]を選択し、確定 を押す

3 ◀◯▶ を押して[システム]を選択し、確定 を押す

4 ◀◯▶ を押して[夜間設定]を選択し、確定 を押す

5 ◀◯▶ を押して[夜間タイマ連動]を選択し、確定 を押す

6 ◀◯▶ を押して曜日を選択し、確定 を押す

- 曜日の選択はダイヤルボタンでもできます。
  0 日曜日　1 月曜日　2 火曜日　3 水曜日
  4 木曜日　5 金曜日　6 土曜日

7 ◀◯▶ を押してタイマＮｏ．を選択し、確定 を押す

- 1 タイマ１ 2 タイマ２

8 ◀◯▶ を押して[登録]を選択し、確定 を押す

- お買い上げ時は「登録なし」です。

9 切替時刻を入力して、確定 を押す

- ００：００～２４：００で入力してください。
- フラッシュ（または ◀◯）を押すと、カーソルの前の桁を削除します。
- 既に時刻が入っている場合は上書きします。
- 本登録し、手順７に戻ります。

MEMO

- 手順１～５はメニュー特番９１２２、手順１～６はメニュー特番９１２２Ｘ、手順１～７はメニュー特番９１２２ＸＹとして電話機の ◯オート に登録できます。（☞１４１ページ）
  （Ｘ：0 日曜日、1 月曜日、2 火曜日、3 水曜日、4 木曜日 、5 金曜日、6 土曜日）
  （Ｙ：1 タイマ１、2 タイマ２）
- 夜間タイマ連動は「夜間Ａ」のみです。
- 手動で「夜間Ａ」設定がされている場合、夜間タイマ連動のタイマに従います。
- 手動で「夜間Ｂ」設定がされている場合、夜間タイマ連動は無効となり、手動での「夜間Ｂ」設定で動作します。

コピーのしかた

1 「登録のしかた」（☞151ページ）の手順1～7と同じ操作をする

2 ◯ を押して[コピー]を選択し、確定 を押す

3 コピー先曜日を選択し、確定 を押す

- 選択されたコピー元曜日は☑印がついています。
- 曜日が選択されると、☑を表示します。
- 選択されていない場合は、「□」を表示します。
- 確定 を押すたびに☑→「□」を繰り返します。

4 # を押す

- 選択されている曜日のタイマの登録内容がコピー先の曜日のタイマに登録され、「登録のしかた」（☞151ページ）の手順7に戻ります。

MEMO

- コピー先の曜日は、他の曜日をすべて選択できます。

消去のしかた（タイマ単位）

1 「登録のしかた」（☞151ページ）の手順1～7と同じ操作をする

2 ◯ を押して[消去]を選択し、確定 を押す

3 ◯ を押して[はい]を選択し、確定 を押す

- 選択された曜日のタイマNo.が消去され、「登録のしかた」（☞151ページ）の手順7に戻ります。

消去のしかた（曜日単位）

1 「登録のしかた」（☞151ページ）の手順1～6と同じ操作をする

2 ◯ を押して[消去（曜日単位）]を選択し、確定 を押す

- 選択された曜日の「消去確認（曜日単位）」へ進みます。

3 ◯ を押して[はい]を選択し、確定 を押す

- 選択された曜日の全タイマが消去され、手順2に戻ります。

MEMO

- 手順1～3はメニュー特番9122X＊として電話機の オート に登録できます。（☞141ページ）
（X：0 日曜日、1 月曜日、2 火曜日、3 水曜日、4 木曜日、5 金曜日、6 土曜日）

指定時刻にチャイムが鳴動する（チャイムタイマ連動）

多機能電話機、CL620親機

あらかじめ登録された時刻になると、電話機のスピーカや外部スピーカからチャイム音が鳴ります。
チャイムタイマ連動は、各曜日ごとにタイマが２０件あります。

登録のしかた

1 確定 を押す

2 ◯ を押して[その他]を選択し、確定 を押す

3 ◯ を押して[システム]を選択し、確定 を押す

4 ◯ を押して[カレンダー・時計]を選択し、確定 を押す

5 ◯ を押して[タイマ連動]を選択し、確定 を押す

6 ◯ を押して[チャイムタイマ連動]を選択し、確定 を押す

7 ◯ を押して曜日を選択し、確定 を押す

- 曜日の選択はダイヤルボタンでもできます。
  0 日曜日　1 月曜日　2 火曜日　3 水曜日
  4 木曜日　5 金曜日　6 土曜日

8 ◯ を押してタイマＮｏ．を選択し、確定 を押す

- 0 1 タイマ１～2 0 タイマ２０

9 ◯ を押して[登録]を選択し、確定 を押す

- お買い上げ時は「登録なし」です。

10 切替時刻を入力して、確定 を押す

- ００：００～２３：５９で入力してください。
- フラッシュ（または ◯）を押すと、カーソルの前の桁を削除します。
- 既に時刻が入っている場合は上書きします。
- 本登録し、手順８に戻ります。

MEMO

- 手順１～６はメニュー特番９１６４４、手順１～７はメニュー特番９１６４４Ｘ、手順１～８はメニュー特番９１６４４ＸＹＹとして電話機の オート に登録できます。
  （☞１４１ページ）
  （Ｘ：0 日曜日、1 月曜日、2 火曜日、3 水曜日、4 木曜日 、5 金曜日、6 土曜日）
  （ＹＹ：0 1 タイマ１、2 0 タイマ２０）

コピーのしかた

1 「登録のしかた」（☞153ページ）の手順1～8と同じ操作をする

2 ◯ を押して[コピー]を選択し、確定 を押す

3 コピー先曜日を選択し、確定 を押す

- 選択されたコピー元曜日は☑印がついています。
- 曜日が選択されると、☑を表示します。
- 選択されていない場合は、「□」を表示します。
- 確定 を押すたびに☑→「□」を繰り返します。

4 # を押す

- 選択されている曜日のタイマの登録内容がコピー先の曜日のタイマに登録され、「登録のしかた」（☞153ページ）の手順8に戻ります。

MEMO

- コピー先の曜日は、他の曜日をすべて選択できます。

消去のしかた（タイマ単位）

1 「登録のしかた」（☞153ページ）の手順1～8と同じ作業をする

2 ◯ を押して[消去]を選択し、確定 を押す

3 ◯ を押して[はい]を選択し、確定 を押す

- 選択された曜日のタイマNo.が消去され、「登録のしかた」（☞153ページ）の手順8に戻ります。

消去のしかた（曜日単位）

1 「登録のしかた」（☞153ページ）の手順1～7と同じ操作をする

2 ◯ を押して[消去（曜日単位）]を選択し、確定 を押す

- 選択された曜日の「消去確認（曜日単位）」へ進みます。

3 ◯ を押して[はい]を選択し、確定 を押す

- 選択された曜日の全タイマが消去され、手順2に戻ります。

MEMO

- 手順1～3はメニュー特番916444X＊として電話機の オート に登録できます。（☞140ページ）
（X：0 日曜日、1 月曜日、2 火曜日、3 水曜日、4 木曜日、5 金曜日、6 土曜日）

内線呼出時に受話器を置いたままで応答する（パーソナルハンズフリー）

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

内線通話の音声呼出をされたときだけ（応答側のみ）ハンズフリーができます。

セット／解除のしかた

1 (確定) を押す

- CL620子機の場合は、✎ [切] を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから (確定) を押します。

2 ◯ を押して[その他]を選択し、(確定) を押す

3 ◯ を押して[電話機]を選択し、(確定) を押す

4 ◯ を押して[ハンズフリー応答設定]を選択し、(確定) を押す

- お買い上げ時は「する」です。

5 ◯ を押して[する]を選択し、(確定) を押す

- ハンズフリー応答がセットされ、「カレンダー・時計」表示に戻ります。
- 「マイク」を表示します。（多機能電話機、CL620親機のみ）

●解除する場合、手順5で[しない]を選択し、(確定) を押す

- 「マイク」を消灯します。(多機能電話機、CL620親機のみ)

MEMO

- 手順1～4はメニュー特番923として電話機の [◯オート] に登録できます。（☞141ページ）
  登録後は、[◯オート] を押すごとに「セット」→「解除」を繰り返します。

パーソナルハンズフリー中のセット・解除のしかた

1 [◯機 能] [ｱ 1] を押す

- [◯機 能] [ｱ 1] を押すたびにパーソナルハンズフリーの「セット」→「解除」を繰り返します。
- 待機中でも操作できます。

MEMO

- 手順1は、機能特番1として電話機の [◯オート] に登録できます。（☞141ページ）
  登録後は、[◯オート] を押すごとに「セット」→「解除」を繰り返します。
- CL620子機、WS600電話機の場合は、未使用 [外線] に [機能] を登録します。（☞31ページ）

内線の電話を受ける

1 内線の音声呼出を受ける

- 「マイク」が表示されています。
  （多機能電話機、CL620親機のみ）

2 パーソナルハンズフリー通話をする

- 電話機のマイクに向かって話します。

MEMO

- パーソナルハンズフリー通話中に受話器を上げると、そのまま受話器で通話できます。
- 音声の反響がある所や、騒がしい所は避けてください。
- 電話機の正面から約30cm 離れて通話してください。大声や極端に小さな声で話すと相手に聞こえにくいことがあります。
- 信号呼出の場合は、[◯スピーカ] を押してから、ハンズフリー通話になります。

外線通話中に受話器を置いたままで相手と話す（外線ハンズフリー）

多機能電話機、CL620親機

外線発着信のときに、受話器を取らずに通話することができます。
この機能を使用される場合は工事設定が必要です。

セット／解除のしかた

1 確定 を押す

2 ◯ を押して[その他]を選択し、確定 を押す

3 ◯ を押して[電話機]を選択し、確定 を押す

4 ◯ を押して[ハンズフリー応答設定]を選択し、確定 を押す

- お買い上げ時は「する」です。

5 ◯ を押して[する]を選択し、確定 を押す

- ハンズフリー応答がセットされ、「カレンダー・時計」表示に戻ります。
- 「マイク」を表示します。

●解除する場合、手順 5 で[しない]を選択し、確定 を押す

- 「マイク」を消灯します。

MEMO

- 手順 1～4 はメニュー特番 9 2 3 として電話機の オート に登録できます。（☞ 1 4 1 ページ）
  登録後は、オート を押すごとに「セット」→「解除」を繰り返します。

外線に電話をかける

1 発 信（または 外 線）を押す

- 「マイク」が表示されています。
- 外線発信音「ツー」が聞こえます。

→ 外 線 ランプ：緑点灯
→ スピーカ ランプ：赤点灯

2 電話番号を押す

3 ハンズフリー通話をする

- 相手が応答したら電話機マイクに向かって話します。

外線の電話を受ける

1 外線着信中

- 「マイク」が表示されています。

→ 外 線 ランプ：赤点滅

2 外 線 を押す

→ 外 線 ランプ：緑点灯
→ スピーカ ランプ：赤点灯

3 ハンズフリー通話をする

- 相手が応答したら電話機マイクに向かって話します。

MEMO

- 外線ハンズフリー通話中に受話器を上げると、そのまま受話器で通話できます。
- 音声の反響がある所や、騒がしい所は避けてください。
- 電話機の正面から約 3 0 c m 離れて通話してください。大声や極端に小さな声で話すと相手に聞こえにくいことがあります。
- 相手と交互にお話ください。同時に話すと相手の声が途切れる場合があります。

通話中に相手の声をスピーカから聞く（スピーカ受話）

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

外線または内線通話の途中から受話専用にします。

1 外線または内線通話中

2 ◯スピーカ を押す

- CL620子機、WS600電話機の場合は、スピーカ を押すと、スピーカ受話となります。
  再度 スピーカ を押すと、相手と通話できます。
  → ◯スピーカ ランプ：赤点灯
  （多機能電話機、ＣＬ620親機のみ）

3

- スピーカ受話になり、こちらの声が相手に流れません。ただし、外線ハンズフリーをセットしていると流れます。（☞１５６ページ）

4

- 通話を開始する場合、受話器を上げて再度、相手と通話します。
  → ◯スピーカ ランプ：消灯
  （多機能電話機、ＣＬ620親機のみ）

内線番号の確認

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

1 確定 を押す

- CL620子機の場合は、切 を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから 確定 を押します。

2 ◀▲▶▼ を押して[その他]を選択し、確定 を押す

3 ◀▲▶▼ を押して[電話機]を選択し、確定 を押す

4 ◀▲▶▼ を押して[自己内線情報の確認]を選択し、確定 を押す

- 使っている電話機情報を上から「内線番号」、「内線名」を表示します。

内線番号の確認

DC230電話機

1 内線 保留（再送/決定） を押す

2 #▽（または *△）を押して[その他]を選択し、保留（再送/決定） を押す

3 #▽（または *△）を押して[電話機]を選択し、保留（再送/決定） を押す

4 #▽（または *△）を押して[自己内線情報確認]を選択し、保留（再送/決定） を押す

- 使っている電話機情報を上から「内線番号」、「内線名」を表示します。
- 内線名が表示桁数以上の場合は、会議 を押すと続きが表示されます。

MEMO

- 「内線番号の確認」の手順１～４は、メニュー特番９２６として、電話機の ◯オート に登録できます。（☞１４１、１４３ページ）
- DC230電話機の場合は、未使用の 外線 に 会議 を登録します。（☞３２ページ）

夜に指定した電話機だけ鳴動する（夜間モード切替）

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

「昼間モード」と「夜間モード」（着信音の鳴る電話機など）の切り替えができます。
夜間モードには夜間モードA／Bの2種類があります。
夜間モードの切り替え時刻が毎日同じ場合は、自動的に切り替えることもできます。（夜間タイマ連動は夜間Aモードのみです。）
お買い上げ時は、昼間モードでは「全電話機が鳴動する」、夜間A／Bでは「内線1，2のみ鳴動する」です。
昼間モードと夜間モードA／Bは、工事設定で鳴動する電話機の変更と、発信を規制する電話機の変更ができます。
・DC230電話機は、時計表示横に夜間モードを示すA（またはB）が表示されます。なお、A（またはB）の表示については、「カレンダー・時計」表示では表示されませんが、内線または外線通話終了後の待機状態の画面に戻るときなどに表示されます。

セット／解除のしかた（手動夜間設定の場合）

1 **確定 を押す**

- CL620子機の場合は、切 を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから 確定 を押します。

2 **◆ を押して[その他]を選択し、確定 を押す**

3 **◆ を押して[システム]を選択し、確定 を押す**

4 **◆ を押して[夜間設定]を選択し、確定 を押す**

- CL620子機とWS600電話機の場合、手順4は操作しません。手順5へ進みます。

5 **◆ を押して[手動夜間設定]を選択し、確定 を押す**

- お買い上げ時は「解除（設定なし）」です。

6 **◆ を押して[夜間A]または[夜間B]を選択し、確定 を押す**

- 選択された夜間モードにセットされ、「カレンダー・時計」表示に戻ります。
- このとき「夜間A」または「夜間B」を表示します。（多機能電話機、CL620親機）
- このとき「夜」を表示します。（CL620子機、WS600電話機）

●解除するときは、手順6で[解除（設定なし）]を選択し、確定 を押します

- 夜間設定が解除され、「カレンダー・時計」表示に戻ります。
- このとき、表示されていた「夜間A」または「夜間B」が消灯します。（多機能電話機、CL620親機）
- このとき、表示されていた「夜」が消灯します。（CL620子機、WS600電話機）

MEMO

- 手順1～4はメニュー特番912、手順1～5はメニュー特番9121、手順1～6はメニュー特番9121X（X：1夜間A、2夜間B）として電話機の オート に登録できます。（☞141ページ）
  登録後は、 オート を押すごとに「セット」→「解除」を繰り返します。
- 付属のステッカ「夜間設定」シールを貼ると便利です。
- 夜間タイマ連動は「夜間A」のみです。
- 手動で「夜間A」設定がされている場合、夜間タイマ連動のタイマに従います。
- 手動で「夜間B」設定がされている場合、夜間タイマ連動は無効となり、手動での「夜間B」設定で動作します。

確認のしかた（手動夜間設定の場合）

「セット／解除のしかた」の手順1～5と同じ操作をします。

登録／コピー／確認／消去（夜間タイマ連動の場合）

決まった日時に夜間モード切替を自動的に行います。

- 夜間タイマ連動の詳細は ☞151ページをご覧ください。

夜に指定した電話機だけ鳴動する（夜間モード切替）

DC230電話機

セット／解除のしかた

1 内線 保留（再送/決定）を押す

2 ＃（または ＊）を押して[その他]を選択し、保留（再送/決定）を押す

3 ＃（または ＊）を押して[システム]を選択し、保留（再送/決定）を押す

4 [手動夜間設定]を選択し、保留（再送/決定）を押す

- お買い上げ時は「設定なし」です。

5 ＃（または ＊）を押して[夜間A]または[夜間B]を選択し、保留（再送/決定）を押す

- 選択された夜間モードにセットされ、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

●解除するときは、手順5で[解除（設定なし）]を選択し、確定を押します。

- 夜間設定が解除され、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

MEMO

- 手順1～4はメニュー特番９１２１、手順1～5はメニュー特番９１２１Xとして電話機の オート に登録できます。（☞１４３ページ）
（X：1 夜間A、2 夜間B）
登録後は、オートを押すごとに「セット」→「解除」を繰り返します。

確認のしかた（手動夜間設定の場合）

「セット／解除のしかた」の手順1～4と同じ操作をします。

指定した電話機からアラーム音を出す（時刻アラーム）

多機能電話機、CL620親機

あらかじめセットした時刻に、「カレンダー・時計」表示のとき電話機から約１０秒間、時刻アラーム音「ピピピ・・・」を鳴らすことができます。時刻アラーム１（１回）は、1度時刻アラーム音が鳴ると自動的にリセットされます。時刻アラーム２（毎日）は、リセットされません。（毎日、定刻に鳴ります）

登録のしかた

1 確定 を押す

2 ◯ を押して[その他]を選択し、確定 を押す

3 ◯ を押して[電話機]を選択し、確定 を押す

4 ◯ を押して[時刻アラーム]を選択し、確定 を押す

5 ◯ を押して[時刻アラーム１(１回)]または[時刻アラーム２(毎日)]を選択し、確定 を押す

- お買い上げ時は「登録なし」です。

6 ◯ を押して[登録]を選択し、確定 を押す

7 時刻を入力して、確定 を押す

- ００：００～２３：５９で入力してください。
- フラッシュ（または ◯）を押すと、カーソルの前の桁を削除します。
- 既に時刻が入っている場合は上書きします。
- 選択された時刻アラームが登録され、「カレンダー・時計」表示に戻ります。
- このとき、時刻アラームの「🔔」を表示します。

MEMO

- 手順１～４はメニュー特番９２５、手順１～５はメニュー特番９２５X、手順１～６はメニュー特番９２５X１、手順１～７はメニュー特番９２５X１HHMMとして電話機の オート に登録できます。（☞１４１ページ）
  （X：1 時刻アラーム１、2 時刻アラーム２）
  （HH：時、MM：分）

確認のしかた

「登録のしかた」の手順１～５と同じ操作をします。

セット／解除のしかた

1 「登録のしかた」の手順１～５と同じ操作をする

2 ◯ を押して[セット／解除]を選択し、確定 を押す

【セット時に手順２を操作した場合】

- 選択された時刻アラームが解除され、「カレンダー・時計」表示に戻ります。
- このとき、時刻アラームの「🔔」を消灯します。

【解除時に手順２を操作した場合】

- 選択された時刻アラームがセットされ、「カレンダー・時計」表示に戻ります。
- このとき、時刻アラームの「🔔」を表示します。

MEMO

- 手順１～２はメニュー特番９２５X３として電話機の オート に登録できます。（☞１４１ページ）
  （X：1 時刻アラーム１、2 時刻アラーム２）
- 登録後は、オート を押すごとに「セット」→「解除」を繰り返します。

消去のしかた

1 「登録のしかた」の手順 1 ～ 5 と同じ操作をする

2 ◀▲▶▼ を押して[消去]を選択し、確定 を押す

3 ◀▲▶▼ を押して[はい]を選択し、確定 を押す

- 選択された時刻アラームが消去され、「カレンダー・時計」表示に戻ります。
・このとき、時刻アラームの「🔔」を消灯します。

MEMO

- 手順 1 ～ 3 はメニュー特番９２５Ｘ２として電話機の 〇オート に登録できます。（☞１４１ページ）
（Ｘ：1 時刻アラーム 1、2 時刻アラーム 2）

全電話機の時刻アラームを一括解除する（時刻アラーム一括解除）

多機能電話機、CL620親機

解除のしかた

1 確定 を押す

2 ◀▲▶▼ を押して[その他]を選択し、確定 を押す

3 ◀▲▶▼ を押して[システム]を選択し、確定 を押す

4 ◀▲▶▼ を押して[全電話機の時刻アラーム解除]を選択し、確定 を押す

5 ◀▲▶▼ を押して[はい]を選択し、確定 を押す

- 全電話機の時刻アラームを解除し、「カレンダー・時計」表示に戻ります。このとき、時刻アラームの「🔔」を消灯します。

MEMO

- 手順 1 ～ 4 はメニュー特番９１０として電話機の 〇オート に登録できます。（☞１４１ページ）

着信ランプの色を変える（着信ランプ切替）

多機能電話機、CL620親機

各種着信時に着信ランプの色を変えることができます。
（全電話機共通です）
・着信ランプの色の種類は、次のとおり 8 種類です。
1 シグナルレッド　2 レモンイエロー　3 グラスグリーン　4 ロイヤルブルー
5 ライトブルー　6 ピーチホワイト　7 バイオレット　8 7色
・お買い上げ時は、下記の通りです。.
1 外線着信：シグナルレッド　2 内線着信：ライトブルー
3 ドアホン着信：レモンイエロー　4 通話メモ／用件：ロイヤルブルー
5 時刻アラーム：バイオレット

セット／解除のしかた

1 確定 を押す

2 ◆ を押して[その他]を選択し、確定 を押す

3 ◆ を押して[システム]を選択し、確定 を押す

4 ◆ を押して[表示設定]を選択し、確定 を押す

5 ◆ を押して[着信ランプ]を選択し、確定 を押す

6 ◆ を押して変更したい着信ランプ状態を選択し、確定 を押す

→着信ランプ：点滅

7 ◆ を押して着信ランプの色を選択し、確定 を押す

●選択された状態の着信ランプの色が登録され、手順 6 へ戻ります。

MEMO

●手順 1 ～ 5 はメニュー特番 9 1 5 1、手順 1 ～ 6 はメニュー特番 9 1 5 1 X として電話機の オート に登録できます。
（☞ 1 4 1 ページ）
（1 外線着信、2 内線着信、3 ドアホン着信、4 通話メモ／用件、5 時刻アラーム）

通話料金を集計する（通話料金集計）

多機能電話機、CL620親機

デジタル回線の料金情報（基本サービス）を利用して、いままでに電話をかけた通話料金集計をシステム全体、外線ごと、および電話機ごとに表示できます。また、消去することもできます。
・マイライン、マイラインプラスでNTTグループ以外をご契約された場合は、料金表示しません。
・通話料金集計表示とNTTで集計した料金の内容がことなることがあります。同一料金とは限りません。あくまで目安としてご利用ください。（最大７桁まで表示されます。７桁を超えた場合には「桁数オーバー」を表示します）

システム全体の通話料金集計の場合

1 確定 を押す

2 ◀▲▶▼ を押して[その他]を選択し、確定 を押す

3 ◀▲▶▼ を押して[通話料金集計]を選択し、確定 を押す

4 ◀▲▶▼ を押して[システム]を選択し、確定 を押す

●システム全体の通話料金を集計し、表示します。

MEMO

●手順１～４はメニュー特番９３１として電話機の オート に登録できます。（☞１４１ページ）

消去する場合

1 「システム全体の通話料金集計の場合」の手順１～４と同じ操作をする

2 ◀▲▶▼ を押して[消去]を選択し、確定 を押す

3 ◀▲▶▼ を押して[はい]を選択し、確定 を押す

●システム全体の通話料金集計を消去し、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

外線ごとの通話料金集計の場合

1 「システム全体の通話料金集計の場合」の手順１～３と同じ操作をする

2 ◀▲▶▼ を押して[外線]を選択し、確定 を押す

3 ◀▲▶▼ を押して外線Ｎｏ．を選択し、確定 を押す

●選択された外線のＮｏ．通話料金を集計し、表示します。

MEMO

●手順１～２はメニュー特番９３２、手順１～３はメニュー特番９３２ＸＸとして電話機の オート に登録できます。（☞１４１ページ）
（ＸＸ：０１～３０（外線１～３０））

消去する場合

1 「外線ごとの通話料金集計の場合」の手順１～３と同じ操作をする

2 ◀▲▶▼ を押して[消去]を選択し、確定 を押す。

3 ◀▲▶▼ を押して[はい]を選択し、確定 を押す

●選択された外線Ｎｏ．の通話料金集計を消去し、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

電話機ごとの通話料金集計の場合

1 「システム全体の通話料金集計の場合」の手順１～３と同じ操作をする

2 ◯ を押して[電話機]を選択し、確定 を押す

3 ◯ を押して内線Ｎｏ．を選択し、確定 を押す

- 選択された内線Ｎｏ．の通話料金を集計し、表示します。

MEMO

- 手順１～２はメニュー特番９３３、手順１～３はメニュー特番９３３Ｘ（内線１桁モード時）、または９３３ＹＹ（内線２桁モード時）として電話機の 〇オート に登録できます。（☞１４１ページ）
（Ｘ：内線１～８、またはＹＹ：内線１０～８９）

消去する場合

1 「電話機ごとの通話料金集計の場合」の手順１～３と同じ操作をする

2 ◯ を押して[消去]を選択し、確定 を押す。

3 ◯ を押して[はい]を選択し、確定 を押す

- 選択された内線Ｎｏ．の通話料金集計を消去し、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

アナログ回線(DP)からプッシュ信号を送出する(プッシュ信号送出)

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

アナログ回線(DP)からでも、外線発信のときに電話機がつながると自動的にプッシュ信号(PB)に切り替わり、「ピポパ」音が送出されます。(自動PB切替)
銀行の残高照会、航空券予約などのサービス、ディスプレイポケベルの操作などができます。
また、自動でプッシュ信号に切り替わった後、通話中にダイヤル信号(DP)に戻す場合 リダイヤル を押します。
(＊ ＃ を押すと再度、プッシュ信号(PB)になります)

1 電話をかける

- サービス提供先などに電話をかけます。

2 相手につながる

- サービス提供先などに電話がつながります。

3 ダイヤルボタンを押す

- サービス提供先などの指示にしたがってダイヤルボタンを押す。

MEMO

- NTTのシャープダイヤル(＃△△△△)、伝言ダイヤルなどのサービスは、アナログ回線(PB)専用ですのでアナログ回線(DP)では利用できません。
- 外線着信、NTTへのお問い合わせ「１１３」、「１１６」(局番なし)、およびフリーダイヤル０１２０などは自動PB切替になりません。この場合、通話中に ＊ ＃ を押すとプッシュ信号に切り替わります。
- 構内交換機(PBX)に接続している場合は、自動PB切替ができないこともあります。
- リダイヤル (特殊番号４３)は、電話機の オート に登録できます。(☞１４１、１４３ページ)

キッチンタイマ

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

電話機から任意の時間を設定することにより、タイマ終了時に電話機からアラーム音を鳴動します。
(設定範囲は、００分０１秒～９９分５９秒です)

キッチンタイマ設定について

1 機能 ラ WXYZ 9 ＊ を押す

- CL620子機の場合は、 切 を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから、機能 ラ WXYZ 9 ＊ を押します。
- 「キッチンタイマ」設定画面へ進みます。
  → 機能 ランプ：赤点滅

2 タイマ値を入力する

- ００分０１秒～９９分５９秒の範囲で入力してください。
- ００分００秒の入力はできません。
- お買い上げ時は「３分」です。

3 確定 を押す

↓

キッチンタイマが終了すると

→着信ランプ：紫点滅(初期値)

- アラーム音が鳴動します。

↓

アラーム鳴動タイマが終了すると

→ 機能 ランプ：消灯
→着信ランプ：消灯

MEMO

- 手順１は、機能特番９＊として、電話機の オート に登録できます。(☞１４１ページ)
- キッチンタイマ起動中、あるいはアラーム鳴動中に停止する場合は、以下の操作を行います。
  1) 確定 を押す　2) 機能 を押す　3) 🎤　4) スピーカ を押す　5) フラッシュ を押す
- CL620子機、WS600電話機の場合は、未使用 外線 に 機能 を登録します。(☞３１ページ)

リモートコールバック

多機能電話機、CL620親機

あらかじめ登録した電話番号と発信者番号が一致した場合、外線着信時、設定時間以内に切断された場合、本システムから着信した電話番号にコールバックします。コールバック応答後、ダイヤル操作により内線呼出、内線グループ呼出、内線一斉呼出して通話することができます。
・リモートコールバックを利用する場合は、ナンバー・ディスプレイサービスのご契約と工事設定が必要です。
・登録は、１０件までできます。登録がいっぱいになったときには「１件消去」と「全件消去」があります。

※工事設定により、携帯電話に発信するとき、あらかじめ登録したアクセスコードを自動的に付加して発信することができます。

登録のしかた

1 確定 を押す

2 ◯ を押して[その他]を選択し、確定 を押す

3 ◯ を押して[リモートコールバック]を選択し、確定 を押す

4 ◯ を押して[新規登録]を選択し、確定 を押す

5 電話番号を入力し、確定 を押す

- 電話番号は最大２４桁入力できます。
- 入力番号を間違えた場合は フラッシュ を押して消去します。
- 入力された電話番号を登録し、手順４に戻ります。

MEMO

- 手順１～４は、メニュー特番９７１として、電話機の オート に登録できます。（☞１４１ページ）

確認のしかた

1 確定 を押す

2 ◯ を押して[その他]を選択し、確定 を押す

3 ◯ を押して[リモートコールバック]を選択し、確定 を押す

4 ◯ を押して[一覧表示]を選択し、確定 を押す

- 「リモートコールバック」一覧表示へ進みます。

MEMO

- 手順１～４は、メニュー特番９７２として、電話機の オート に登録できます。（☞１４１ページ）

一件消去のしかた

1 「確認のしかた」の手順１～４と同じ操作をする

2 ◯ を押してリモートコールバックＮｏ．を選択し、確定 を押す

3 ◯ を押して[一件消去]を選択し、確定 を押す

4 ◯ を押して[はい]を選択し、確定 を押す

- 選択されたリモートコールバックを消去し、「一覧表示」に戻ります。

全件消去のしかた

1 「確認のしかた」の手順１～４と同じ操作をする

2 ◯ を押してリモートコールバックＮｏ．を選択し、確定 を押す

3 ◯ を押して[全件消去]を選択し、確定 を押す

4 ◯ を押して[はい]を選択し、確定 を押す

- 選択されたリモートコールバックを全件消去し、「カレンダー・時計」表示へ戻ります

MEMO

- 手順１～４は、メニュー特番９７２＊として、電話機の オート に登録できます。（☞１４１ページ）

リモートコールバック（例：内線番号）

1 外線着信中

→ 外線 ランプ：赤点灯

2 外線着信停止（設定時間以内）

3 外線着信した電話番号へ発信

4 相手応答

- 「会社からのコールバックです。内線番号を入力してください。」のガイダンスが１回流れます。

5 （着信相手）リモコン操作（例：＊ 1 ）

→ 外線 ランプ：赤点滅
→着信ランプ：点滅

- （例：内線１に着信）
- スピーカから着信音が鳴動します。

6

- 着信先と外線通話します。
→ 外線 ランプ：緑点灯
→着信ランプ：消灯

- リモコン操作一覧

機能項目	リモコン番号	動作内容
内線呼出	＊ 1 ～ 8 ＊ 1 0 ～ 8 9	内線を呼び出す
一斉呼出	＊ 9 7 0	電話機を一斉呼出する
グループ呼出	＊ 9 7 1 X	グループを呼び出す（X: 1 グループA～4 グループD）
キャンセル	＊ ＊	リモコン操作をキャンセルしてリモコン番号の1桁目待ちになる
リモコン終了	＊ 0	リモコン操作を終了する

MEMO

- リモートコールバックによる発信で、相手応答がない場合には、３回リトライします。
- 手順５で、２０秒以内にダイヤル操作がない場合には、工事設定により回線切断、あるいは一斉着信となります。
- リモコン番号以外の番号を押すと、エラーメッセージ「番号が違います。リモコン番号を入力してください。」が聞こえます。２０秒以内に正しいリモコン番号を入力してください。
- 操作できないリモコン番号を押すと、エラーメッセージ「エラーです。リモコン番号を入力してください。」が聞こえます。２０秒以内に正しいリモコン番号を入力してください。
- いずれかのリモコンを利用しているときは、他のリモコンを操作することはできません。

電話機のボタン操作を規制する（キーロック）

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

電話機からのボタン操作を規制できます。

キーロック設定について

1 「カレンダー・時計」表示状態で、フラッシュ を押し続ける

- CL620子機の場合は、✎ 切 を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから フラッシュ を押します。

↓

約5秒経過後

- 多機能電話機、ＣＬ620親機の場合は、「🔒」が表示されます。
- ＣＬ620子機、WS600電話機の場合は、「鍵」が表示されます。

2 フラッシュ を離す

- 「カレンダー･時計」表示に戻ります。

キーロック解除について

1 （「カレンダー・時計表示」表示状態）で、フラッシュ を押し続ける

- CL620子機の場合は、✎ 切 を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから フラッシュ を押します。

↓

約5秒経過後

- 多機能電話機、ＣＬ620親機の場合は、「🔒」が消灯されます。
- ＣＬ620子機、WS600電話機の場合は、「鍵」が消灯されます。

2 フラッシュ を離す

- 「カレンダー･時計」表示に戻ります。

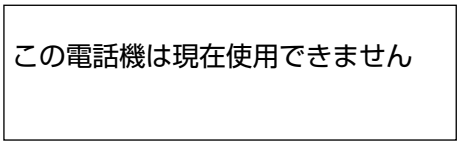
キーロック中のボタン操作について

1 「カレンダー・時計」表示中

- 「🔒」が表示されています。

↓

フラッシュ 以外のボタン操作をする



MEMO

- キーロック設定、および解除操作は、待機状態のみ有効です。
- キーロック中は、以下の操作のみが有効となります。
  - ①キーロック解除操作
  - ②内線発信操作（ 📞 または スピーカ を押す→内線番号のみ可）
  - ③各種着信自動応答操作（ 📞 または スピーカ を押す）
  - ④終話操作（ ⌒ ）
  - ⑤着信応答操作（ 📞 または スピーカ を押す）

電話機のボタン操作を規制する（キーロック）

DC230電話機

キーロック設定について

1 「カレンダー・時計」表示状態で フック 機能/クリア を押し続ける

- フック 機能/クリア と 電源 以外は無効となります。

キーロック解除について

1 「カレンダー・時計」表示状態で フック 機能/クリア を押し続ける

2つの機能を同時に登録する（W機能登録）

多機能電話機、CL620親機

2つの機能を同時に登録することができます。登録方法は、次の2とおりがあります。

機能特番	組合せ機能		備　考
	機能1	機能2	
881XY	外線自動転送モード（外線転送1～4）	留守番モード（留守録1～3）	X=1～4：外線転送1～4　Y=1～3：留守録1～3 留守番指定電話機のみ
882XY	外線自動転送モード（外線転送1～4）	留守番モード（お知らせ1～3）	X=1～4：外線転送1～4　Y=1～3：お知らせ1～3 留守番指定電話機のみ
883XY	外線自動転送モード（外線転送1～4）	手動夜間設定（夜間A,B）	X=1～4：外線転送1～4　Y=1：夜間A、2：夜間B
884XY	留守番モード（留守録1～3）	手動夜間設定（夜間A,B）	X=1～3：留守録1～3　Y=1：夜間A、2：夜間B 留守番指定電話機のみ
885XY	留守番モード（お知らせ1～3）	手動夜間設定（夜間A,B）	X=1～3：お知らせ1～3　Y=1：夜間A、2：夜間B 留守番指定電話機のみ
886X	外線着信鳴動拒否設定	不在設定（不在モード）	X=0～9（不在理由0～9）

MEMO

- 外線転送モードは、外線転送（X：1～4）の自動転送モード（転送先）をあらかじめ選択する必要があります。
- 留守番モード（留守録、お知らせ）は、あらかじめ留守番モードが利用できる状態にする必要があります。
- 本機能のセット／解除の動作は右記のとおりです。

操作前		操作後	
機能1	機能2	機能1	機能2
解除	解除	セット	
解除	セット	解除	
セット	解除		
セット	セット		

登録のしかた1（セット／解除）

【例】外線自動転送モード＋留守録モードのセット

1 ◯機 能 を押す

→ ◯機 能 ランプ：赤点灯

2 ヤ TUV 8 ヤ TUV 8 ア 1 を押す

- 設定画面へ進みます。

3 セットする外線自動転送番号（1～4）、留守録番号（1～3）を入力する

4 確定 を押す

- 以下の表示をします。
  （例）外線自動転送2＋留守録2
  外線転送2　　設定
  留守録2　　設定
- 外線自動転送モードと留守番モードを同時にセットし、「カレンダー・時計」表示に戻ります。
  → ◯機 能 ランプ：消灯

●解除する場合、セットする場合と同様の操作を行う。手順4の表示が以下のとおりとなります。

- 以下の表示をします。
  （例）外線自動転送2＋留守録2
  外線転送2　　解除
  留守録2　　解除
- 外線自動転送モードと留守録モードを同時に解除し、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

登録のしかた2（セット／解除）

【登録のしかた】

オートダイヤル（機能特番）に、2つの機能を同時に登録することができます。（☞141ページ）

【セット／解除のしかた】

登録した ◯オート を押すと、「セット」→「解除」を繰り返します。

電話機から着信メロディを登録する（着信メロディ登録）

多機能電話機、CL620親機

・ユーザー情報登録／送信（3ページ）を行わないと、この機能はご利用できません。

着信メロディについて

・何らかの理由により、主装置の工事設定データなどが初期化されると、お客様が登録したMIDI ファイルが再生できなくなります。（この場合、お買い上げ時の曲が再生されます。） この場合、再度着信メロディを登録してください。

1 確定 を押す

2 ◯ を押して[音関係]を選択し、確定 を押す

3 ◯ を押して[メロディダウンロード]を選択し、確定 を押す

4 ◯ を押してユーザーメロディを選択し、確定 を押す

1 ユーザーメロディ 1　2 ユーザーメロディ 2
3 ユーザーメロディ 3　4 ユーザーメロディ 4

5 ◯ を押して[実行]を選択し、確定 を押す

```
《メロディ1 ダウンロード》
サーバに接続中

*キャンセル
```

6 サーバ接続が正常終了

```
《メロディ1 ダウンロード》
今月はあと【3 曲】ダウンロード
出来ます。
確定 次へ
```

- サーバからのメッセージを表示します。

7 確定 を押す

```
《メロディ1ダウンロード》
01:幻想即興曲/CHOPIN
02:ワレキューレの騎行/WAGNER
03:「四季」より「春」/VIVALDI
```

- サーバからダウンロード可能なメロディ一覧を表示します。

↓

```
[曲名] 幻想即興曲
[ｱｰﾃｨｽﾄ] CHOPIN FREDERIC FRACOIS
[ｼﾞｬﾝﾙ] ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ
[備考]
```

＜詳細画面＞

- 短縮 を押すと選択されたメロディの詳細情報が、上から順に「曲名」、「アーティスト」、「ジャンル」「備考」と表示されます。
- 再度、短縮 を押すと「一覧表示」に戻ります。

8 ◯ を押してダウンロードするメロディを選択し、確定 を押す

```
01:幻想即興曲/CHOPIN
ダウンロードを開始します
1 実行
保留 戻る
```

9 ｱ 1 を押す

```
01:幻想即興曲/CHOPIN
ファイル受信中

*キャンセル
```

- その後、サーバからメロディ情報を受信中です。

10 ダウンロード終了

```
01:幻想即興曲/CHOPIN
ファイルの受信が完了しました

確定 戻る
```

11 確定 を押す

MEMO

- 手順5で * を押すと、サーバ接続を中止し、手順4に戻ります。
- 手順9で * を押すと、ファイル受信を中止し、手順7に戻ります。
- 手順1～3は、メニュー特番79として オート に登録できます。（☞141ページ）
- 本機能は、1台の電話機でのみ利用可能です。他の電話機操作中の場合は、「利用できません」のメッセージを表示します。
- 選択したメロディがシステムで利用中の場合は、「利用できません」のメッセージを表示します。
- メロディダウンロード中に、該当メロディを利用する着信や保留などが発生した場合は、お買い上げ時の曲が流れます。

ドアホン

本システムは、ドアホンと通話することができます。ドアホンアダプタが必要です。

ドアホンからの呼び出しで通話をする（ドアホン通話）

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

【ドアホンからの呼び出し】

1 呼出音が鳴る

- スピーカから呼出音が鳴ります。
  →着信ランプ：点滅

2

- DC230電話機の場合は、(内線) を押します。
- ドアホンと通話ができます。
  →着信ランプ：消灯

MEMO

- ドアホン呼出音の選択は、工事設定によります。
- ドアホン呼出音が鳴り始めてから、約１５秒内に応答してください。約１５秒過ぎると応答できません。
- ドアホンは、最大２台まで接続できます。ただし、同時通話は１台です。
- 外線通話中または内線通話中にドアホン呼出があると、スピーカから呼出音が鳴ります。通話終了するか保留してから応答してください。
- 工事設定により、ドアホン呼出にオフフックしただけでは、自動応答できなくすることもできます。
- カラーテレビドアホンの場合は、約２分３０秒後で、通話およびカラーモニタが切れます。
- 工事設定により、電話機ごとにドアホン呼出音の停止ができます。

ドアホンの周囲をモニタする（ドアホンモニタ）

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

1 ◯スピーカ を押す

- CL620子機の場合は、[切] を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから [スピーカ] を押します。
- DC230電話機の場合は、(内線) を押します。
- 内線発信音「プップップッ・・・」が聞こえます。
  → ◯スピーカ ランプ：赤点灯

2 [ラ WXYZ 9] [ヤ TUV 8] を押す

3 [ア 1] ～ [カ ABC 2] のいずれかを押す

- [1]：ドアホン１
- [2]：ドアホン２

4 ドアホンモニタ

5 ◯スピーカ（終了）を押す

- CL620子機の場合は、[ ] または [切] を押し、DC230電話機の場合は、(電源) を押します。
- モニターを止め、「カレンダー・時計」表示に戻ります。
  → ◯スピーカ ランプ：消灯

MEMO

- 手順２，３は内線特番９８１～９８２として、電話機の ◯オート に登録できます。（☞１４０、１４２ページ）
- 付属のステッカ「ドアホンモニタ」シールを貼ると便利です。
- ドアホンモニタを登録した電話機の ◯オート（内線特番９８１～９８２）のランプ状態は次のとおりです。
  ・ドアホン呼出（赤点滅）
  ・ドアホン通話中（赤点灯）

ＩＰ電話

IP電話回線で電話をかける（IP電話対応ACR機能）

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

外線をかけるとき、通話料金の安いIP電話回線を自動的に選択して発信することができます。
IP電話回線を利用して発信する場合は、「プリセットダイヤル」や「オフフック発信」を利用して発信します。
IP電話回線を利用される場合は、VoIPユニットと工事設定が必要です。
・IP電話回線をご利用にするには、IP電話サービスの提供会社との契約が必要です。

プリセットダイヤル

1 電話番号を押す

- CL620子機の場合は、切 を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから電話番号を押します。

2 発信 を押す

- CL620子機、WS600電話機の場合は、通話 を押します。
- DC230電話機の場合は、☎ を押します。
- IP電話サービスの提供エリアへの発信の場合は、自動的にIP電話回線を選択します。
- 「IP電話サービス　アクセス」表示
- IP電話サービスの提供エリアでない電話番号の場合、一般の電話回線を自動的に選択します。
  → ○外線 ランプ：緑点灯
  → ○スピーカ ランプ：赤点灯

オフフック発信（多機能電話機、CL620親機）

工事設定が必要です

1 電話番号を押す

2 📞

- IP電話サービスの提供エリアへの発信の場合は、自動的にIP電話回線を選択します。
- 「IP電話サービス　アクセス」表示
- IP電話サービスの発信エリアでない電話番号の場合、一般の電話回線を自動的に選択します。
  → ○外線 ランプ：緑点灯

NTT回線を利用して外線をかけるとき

1 フラッシュ 0 0 0 0 を押す

- ０００００は「NTT強制接続コード」です。
- CL620子機の場合は、切 を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから フラッシュ 0 0 0 0 を押します。

2 電話番号を押す

3 発信 を押す

- CL620子機、WS600電話機の場合は、通話 を押します。
- DC230電話機の場合は、☎ を押します。
- NTT回線を選択して発信します。
  → ○外線 ランプ：緑点灯
  → ○スピーカ ランプ：赤点灯

MEMO

- 電話番号の入力は、電話番号を押す以外に、電話帳や発信履歴、着信履歴から選んでかけることができます。
- IP電話回線の ○外線 を直接選んでから、電話番号を入力することもできますが、IP電話サービスの提供エリア以外の電話番号にはつながりませんのでご注意ください。提供エリアにつきましては、IP電話サービス提供会社にご確認ください。
- VoIPユニットはIP電話サービス提供会社が提供するネットワークサービスに、すべて対応しているものではありません。
- IP電話回線の ○外線 を直接選んでから、電話番号を入力する場合には、ダイヤルとダイヤルの間が規定時間以上かかったときには、つながりませんのでご注意ください。
- IP電話回線を利用しない場合には、一般電話回線の ○外線 を押します。

他システムの内線を個別に呼び出す（IP電話自動交換）

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

IP電話サービスを利用して各システムをグループ化することで、指定システムの子機を個別に呼び出すことができます。
・本機能を使用する場合には、VoIPユニットと工事設定が必要です。また、電話帳（工事設定で指定したグループ）に電話番号を登録することが必要です。（相手側の電話番号の登録が必要です）

1

●DC230電話機は、手順１の操作を行う必要がありません。
●内線発信音「プップップッ・・・」が聞こえます。

2 発信 （または 外線 ）を押す

●CL620子機、WS600電話機の場合は、通話（または 外線 ）を押します。
●DC230電話機の場合は、☎（または 外線 ）を押します。

●外線発信音「ツー」が聞こえます。
→ 外線 ランプ：緑点灯

3 電話番号を押す

●ダイヤルボタンで入力します。（相手電話番号→ ＊ →相手内線番号）
● ＃ を押すとすぐに電話がかかります。
＃ を押さなくても約５秒後に電話がかかります。

4 他システムが応答し、内線呼出音が聞こえる

MEMO

●本機能で電話帳（工事設定で指定したグループ）に登録した相手からの着信は、電話番号のあとに内線番号（表示例：０５０△△△△△△△△＊２）が表示され、また着信履歴にも同様な表示が残ります。
●本機能は、アナログ回線では使用できません。
●本機能を使用するとき、相手のキャリアによっては、相手応答にかかわらず通話料金が発生する場合があります。
●非通知で発信した場合には、通常着信となります。
●発信元の番号を電話帳に登録していない場合は、着信応答時に「ピポパポ・・・」音が聞こえます。
●オートリピートダイヤルができます。（☞４９ページ）

コンテンツ表示

コンテンツ表示の利用方法について

多機能電話機、CL620親機

コンテンツ表示は、インターネット上にあるサーバから、ニュースを定期的に自動取得して、電話機に表示させたり、主装置Web設定によりパソコンから編集できる掲示板情報を、電話機に表示させることができます。
・１０種類のニュースまたは５種類の掲示板を電話機に表示できます。
・コンテンツ表示を利用するには、VoIPユニットが必要です。
・掲示板Web編集の詳細については、サクサ株式会社ホームページ（http://www.saxa.co.jp）のWEB設定マニュアルを参照してください。
・ここでは、コンテンツ表示の「解除」、「ニュースのセット」、「掲示板のセット」のいずれかの設定を行います。

セットのしかた

1 確定 を押す

2 ◯ を押して[その他]を選択し、確定 を押す

3 ◯ を押して[システム]を選択し、確定 を押す

4 ◯ を押して[コンテンツ表示利用設定]を選択し、確定 を押す

5 ◯ を押して[ですくｄｅにゅーす]または[ですくｄｅ掲示板]を選択し、確定 を押す

- コンテンツ表示利用がセットされ、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

MEMO

- 手順１～５はメニュー特番９１８Xとして、電話機の〇オート に登録できます。（☞１４１ページ）
  この場合、〇オート を押すごとに「セット」→「解除」を繰り返します。（X：1 ですくdeにゅーす、2 ですくde掲示板）

解除のしかた

1 確定 を押す

2 ◯ を押して[その他]を選択し、確定 を押す

3 ◯ を押して[システム]を選択し、確定 を押す

4 ◯ を押して[コンテンツ表示利用設定]を選択し、確定 を押す

5 ◯ を押して[設定なし]を選択し、確定 を押す

- コンテンツ表示利用が解除され、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

MEMO

- 手順１～５はメニュー特番９１８０として、電話機の〇オート に登録できます。（☞１４１ページ）

コンテンツを手動で更新する（コンテンツ更新）

多機能電話機、CL620親機

1 確定 を押す

2 ◆ を押して[コンテンツ表示]を選択し、確定 を押す

3 ◆ を押して[手動更新]を選択し、確定 を押す

4 ◆ を押して[はい]を選択し、確定 を押す

- ニュースまたは掲示板を更新して、「カレンダー・時計」表示に戻ります。
- 設定内容無効または設定可能時間外の場合は、「無効、または時間外です」が表示されます。

MEMO

- 手順1～3はメニュー特番83として、電話機の 〇オート に登録できます。（☞141ページ）

電話機ごとに表示する／しないを設定する（コンテンツ個別表示設定）

多機能電話機、CL620親機

表示する場合は、ニュースまたは掲示板の流れる速度を設定します。

表示する／しない

1 確定 を押す

2 ◆ を押して[コンテンツ表示]を選択し、確定 を押す

3 ◆ を押して[スクロール設定]を選択し、確定 を押す

4 ◆ を押してスクロール表示の速さを選択し、確定 を押す

- スクロール表示の速さを選択します。
  2遅い　3標準　4速い
- 選択された速さでスクロール表示するように設定され、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

●表示しない場合、手順4で[表示しない]を選択し、確定 を押す

MEMO

- コンテンツ個別表示設定はメニュー特番として、電話機の 〇オート に登録できます。（☞141ページ）
  表示する場合：メニュー特番82X（X：2遅い、3標準、4速い）、表示しない場合：メニュー特番821

コンテンツ一覧を見る（コンテンツ一覧表示）

多機能電話機、CL620親機

1 確定 を押す

2 ◆ を押して[コンテンツ表示]を選択し、確定 を押す

3 ◆ を押して[一覧表示]を選択し、確定 を押す

4 ◆ を押してニュースまたは掲示板を選択し、確定 を押す

- 選択されたニュースまたは掲示板の内容が表示されます。

MEMO

- 手順1～3はメニュー特番81として、電話機の 〇オート に登録できます。（☞141ページ）
- 付属のステッカ「コンテンツ一覧」シールを貼ると便利です。

その他のオプション

FAXを自動的に受信する（TEL/FAX自動切替）

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

かかってきた電話をいったんシステムが応答して、FAXからの着信か電話からの着信かを自動的に判断します。
FAXからの着信の場合、自動的にFAXへ転送してFAXを受信します。
この機能を利用するには工事設定が必要です。
工事設定によりFAX信号か通常着信か検出中、電話機に着信表示させることもできます。

●FAXからの着信のとき、電話機が鳴らない場合

1 着信が入るとシステムが自動応答する

→〇外 線 ランプ：赤点灯

2 「ポーポー･･･」という音を検出する

●FAXに自動で転送されます。

3 FAXが応答する

●FAXを受信します。

MEMO

●同時に複数のFAXからの着信、電話機からの着信を自動的に判断することはできません。
●IP電話回線でのFAXの送受信は保証されません。

●FAXからの着信のとき、電話機が鳴る場合

自動でシステムが応答する

1 着信が入ると着信音が鳴り、システムが自動応答する

●外線着信音「プルル・・・(断続音)」が鳴ります。
→〇外 線 ランプ：赤点灯
→着信ランプ：点滅

2 FAX信号と判断される

●外線着信音が止まります。
●FAXに自動で転送されます。
→〇外 線 ランプ：赤点灯
→着信ランプ：消灯

3 FAXが応答する

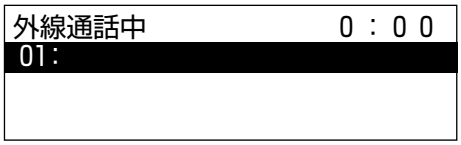
●FAXを受信します。

受話器を置くだけで転送する

1 着信が入ると着信音が鳴り、システムが自動応答する

●外線着信音「プルル・・・（断続音)」が鳴ります。
→〇外 線 ランプ：赤点灯
→着信ランプ：点滅

2 （または〇外 線 を押す）



●FAXに通常着信かシステムが判断中に受話器を上げた場合。
→〇外 線 ランプ：緑点灯
→着信ランプ：消灯

3 「ポーポー･･･」という音が聞こえたらFAX転送有効時間内に

●FAXに自動で転送されます。
→〇外 線 ランプ：赤点灯
●DC230電話機の場合は 電源 を押します。

4 FAXが応答する

●FAXを受信します。

MEMO

●受話器を置いて転送する場合、外線通話中の外線番号が反転表示でないときに受話器を置くと、FAXからの着信が切断されます。

受話器を置かないで転送する

1 着信が入ると着信音が鳴り、システムが自動応答する

●外線着信音「プルル・・・（断続）」が鳴ります。
→〇外　線ランプ：赤点灯
→着信ランプ：点滅

2 （または〇外　線を押す）

●外線着信音が止まります。
→〇外　線ランプ：緑点灯
→着信ランプ：消灯

3 「ポーポー･･･」という音を検出する

●FAXに自動で転送されます。
→〇外　線ランプ：赤点灯
●電話応答中にFAX信号か通常着信か判断されます。

4 FAXが応答する

●FAXを受信します。

外線着信をFAXに転送する

・FAXの無鳴動着信の受付はできません。
・電話とFAXを共有してご使用される場合は、ダイヤルインサービスまたはｉナンバーサービスを利用してのFAX接続をおすすめします。

●かかってきた電話がFAX送信のとき、FAXへ転送できます。

着信音が鳴る → → FAX送信音「ポーポー…」が聞こえる
→ 保　留 を押す→ FAXの内線番号（※1）を押す →

※1：FAXの内線番号の ハ MNO 6 を押します。

● ハ MNO 6 の代わりに ラ WXYZ 9 ラ WXYZ 9 ラ WXYZ 9 を押しても操作ができます。ラ WXYZ 9 ラ WXYZ 9 ラ WXYZ 9 は、内線特番９９９として電話機の〇オート に登録できます。（☞１４０、１４２ページ）
登録後は次の手順で操作します。

着信音が鳴る→ → 〇オート →

MEMO

●付属のステッカ「FAX」シールを貼ると便利です。
●保留転送後、転送先が約３０秒経過しても応答しない場合は、保留警報音がなります。

ヘッドセットの接続

多機能電話機

受話器の代わりにヘッドセット（推奨品）を接続して通話することができます。
ヘッドセットを接続するには、工事設定が必要です。

ヘッドセットでの発信

1 電話番号を押す

- ダイヤルボタンで入力します。
- 電話番号が17 桁以上になると、下16 桁を表示します。

2 発信 を押す

- 未使用外線を選択して、発信します。
  →未使用 ○外線 ランプ：緑点灯
  → ○スピーカ ランプ：赤点灯

【ヘッドセットで通話】

3 ○スピーカ（終話）を押す

- 終話をします。
  →○外線 ランプ：消灯
  → ○スピーカ ランプ：消灯

ヘッドセットでの応答

【外線着信に対しての応答】

1 ○スピーカ を押す

- 外線着信に応答します。
  →○外線 ランプ：緑点灯
  → ○スピーカ ランプ：赤点灯

【ヘッドセットで通話】

2 ○スピーカ（終話）を押す

- 終話をします。
  →○外線 ランプ：消灯
  → ○スピーカ ランプ：消灯

MEMO

- 受話器は、置いたままの状態（オンフック状態）で、ヘッドセット通話が利用できます。
- ヘッドセットの取付方法、操作方法は、ヘッドセットに付属の説明書をご覧ください。
- ヘッドセットは、当社推奨品をご利用ください。ヘッドセットの種類によっては、うまく動作しないものがあります。
- ヘッドセットを接続した電話機からは、次の機能は利用できません。
  ・スピーカ受話
  ・ハンズフリー通話
- ヘッドセットの購入については、お買い上げの販売店にご相談ください。

名前を確認してから電話をかける（メモリダイヤル）

相手の名前と電話番号を、ＤＣ230電話機に登録しておきます。（登録したＤＣ230電話機からのみ利用できます。）
登録しておくと簡単な操作で、相手の名前と電話番号を表示部で確認しながら、電話をかけれます。

登録のしかた

DC230電話機

1 （コール 文字/P）を押す

2 （＃）を押す

3 （＃）を押す

- 登録を追加するときは （＃） を押します。
- （＃） の代わりにメモリダイヤル番号（００１～３００のいずれか）を直接入力して登録することもできます。

4 電話番号を押す

- ダイヤルボタンで入力します。

5 （保留 再送/決定）を押す

6 名前の登録

- ダイヤルボタンで文字を入力します。（DC230電話機のローカル機能 ☞２２４ページ）
- 最大１２文字まで登録できます。（濁点「゛」「゜」も１文字としてカウントします）
- （コール 文字/P） 押すことでカナ→ＡＢ→(数字)の入力モードが切り替わります。

7 （保留 再送/決定）を押す

- メモリダイヤルに登録されます。
- 続けて登録するときには （＃） （２回）を押します。

MEMO

- （フック 機能/クリア）を押すと最後の１桁（カーソル位置）を消去します。

かけかた

DC230電話機

1 （コール 文字/P）を押す

2 （＊）を押す

- （＊） の代わりにメモリダイヤル番号（００１～３００のいずれか）を直接入力して登録することもできます。

3 名前入力

- 検索する文字を１文字から最大１２文字で入力します。（DC230電話機のローカル機能 ☞２２４ページ）
- 文字を入力しないで保留を押すと、若番に入力されたメモリダイヤルが表示されます。
- （コール 文字/P）押すことでカナ→ＡＢ→(数字)の入力モードが切り替わります。

4 （保留 再送/決定）を押す

- 検索結果を表示します。
- 該当する文字列がなかった場合には、「見つかりません」と表示します。ただし、１文字のみの検索のときは、１文字の次文字で始まる名前を表示することができます。

5 （＊）（または（＃））を押す

- 検索結果の次のデータを表示します。
- （＊）または（＃）を押し続けると、自動的にスクロール表示となります。

6 （☎）を押す

- かけたい番号が表示されているときに （☎） を押します。
  その番号で発信できます。
  →（外線）ランプ：緑点灯
  →（☎） ランプ：緑点灯

変更または消去のしかた

DC230電話機

すでに登録してある内容に変更や修正を加える必要が生じたときや、不要になったメモリダイヤルを消去するときは、次を参考にしてください。
・下記の手順5または6の前に フック 機能/クリア を長く押すと、名前と番号が同時に消去できます。

1 コール 文字/P を押す

2 ＃ を押す

3 ＊ を押す

- ＊の代わりにメモリダイヤル番号（００１～３００のいずれか）を直接入力して登録することもできます。この場合、手順6，5の順に変更します。

4 変更したい名前を入力して 保留 再送/決定 を押す

5 名前の登録を変更して 保留 再送/決定 を押す

- 名前に変更がないときは 保留 再送/決定 だけを押します。
- 名前の登録時、＊ でカーソル（■）が左へ、＃でカーソルが右へ移動します。
  フック 機能/クリア でカーソル位置の文字を消去できます。

6 電話番号を変更して 保留 再送/決定 を押す

- 番号に変更がないときは 保留 再送/決定 だけを押す。
- フック 機能/クリア でカーソル位置の数字を消去できます。

機能モード

機能モードの使いかた

DC230電話機

待機状態で フック 機能/クリア を押すと、DC230電話機の機能メニュー表示となります。機能メニュー表示から ☞１８１ページの項目番号を選ぶことで、各種機能の設定／変更ができます。

1 フック 機能/クリア を押す

- 「カレンダー・時計」表示状態で フック 機能/クリア を押す。
- 機能メニュー表示になります。

2 項目番号を押す

- 項目番号1桁または2桁を入力することができます。

3 ＊（または＃）を押す

- ＊または＃を押して、設定を切り替えたり、ダイヤルボタンで番号や文字を入力します。

4 保留 再送/決定 を押す

機能項目一覧

DC230電話機

項目番号		項　　目	内　　容	お買い上げ時の設定
0		自局番号表示	この機能には対応していません ・内線番号は通常の待ち受け画面に表示されます	000
1		自営発信モード		
1	0	自動モード	この機能には対応していません	－
1	1	会社1モード	会社1モードに設定します	
1	2	会社2モード	この機能は使用できません	－
1	3	会社3モード		
1	4	家庭モード		
2		トランシーバ発信モード	この機能は使用できません ・誤って設定したときは会社1モード（機能11）に設定し直してください	－
2	1	トランシーバ1モード		
2	2	トランシーバ2モード		
2	3	トランシーバ3モード		
2	4	トランシーバ4モード		
3		パスワードロック	パスワードロックを設定します	OFF
4		アラーム機能		
4	0	カレンダー時刻設定	年月日・時分・曜日を設定します ・本システムでは自動的に設定します	不要 （自動的に設定）
4	1	アラーム1設定	アラーム1の時刻およびその有無を設定します	00時00分 アラーム1:OFF
4	2	アラーム2設定	アラーム2の時刻およびその有無を設定します	00時00分 アラーム2:OFF
5		着信機能設定		
5	1	バイブレータ設定	バイブレータ(振動着信)の有無を設定します	OFF
5	2	着信音種設定	着信音の種類を設定します ・家庭およびトランシーバについてはご利用になれません	会社外線:1 会社内線:2
5	3	リレー着信モード	バイブレータと着信音を時間差で起動する機能を設定します	OFF
5	4	着信自動応答回数	この機能は使用できません	－
5	5	外線一般着信鳴動	この機能に対応していません ・設定しないでください	OFF
6		キー機能		
6	1	キータッチトーン設定	キーを操作したときなどの確認音の有無を設定します	ON
6	2	Fキーモード設定	外線ボタンをワンタッチダイヤルとして使用するときに設定します ・設定するときは注意事項があります	システム
6	＊	ワンタッチダイヤル設定	ワンタッチダイヤルの電話番号・名前を設定します	（登録なし）
7		オプション機能		
7	1	データ通信モード	この機能は使用できません	－
7	2	PC編集モード	メンテナンス用に使用します	－
8		保守設定		
8	1	パスワード設定	パスワードロックおよび全設定初期化に使用するパスワードを設定します	0000
8	2	LCDコントラスト設定	LCDのコントラストを調整します	不定 （最終の調整値）
8	3	内線データ通信特番	この機能は使用できません	－
8	4	圏外警報音	通話時に圏外になったときの警報音の有無を設定します	ON
8	5	マイネーム（家庭）	この機能は使用できません	－
8	6	全設定初期化	機能モード内の全設定データおよび発着信履歴を工場出荷状態に戻します	
9		着信履歴	この機能には対応していません ・システムの着信履歴をご利用ください	－

自営発信モードの設定

DC230電話機

発信モードは会社１モードのみ対応しています。
誤って他の発信モードを設定したときは、次の操作で必ず「会社１モード」に変更してください。

1 フック（機能/クリア） 1 アア を押す

2 1 アア を押す

- エリア内のときは、数秒後に発信できる状態になります。

パスワードの設定

DC230電話機

パスワードロックに使用するパスワードを設定します。
・パスワードを忘れるとパスワードロックが解除できなくなります。お手元に控えて保管するようにしてください。
・お買い上げ時は「００００」です。

1 フック 機能/クリア 8 TUV 1 を押す

2 旧パスワードを入力して、保留 再送/決定 を押す

- 旧パスワードは数字４桁（ 0 ～ 9 のいずれか）です。

3 新パスワードを入力して、保留 再送/決定 を押す

- 新パスワードは数字４桁（ 0 ～ 9 のいずれか）です。

パスワードロックの設定／解除

DC230電話機

他の人が不正に使用するのを防止するためにパスワードを必要とするキーロックをかけることができます。
・パスワードを忘れるとパスワードロックが解除できなくなります。お手元に控えて保管するようにしてください。

1 フック 機能/クリア 3 DEF を押す

2 パスワードを入力後、保留 再送/決定 を押す

- 設定したパスワード４桁を 0 ～ 9 いずれかで入力して 保留 再送/決定 を押します。
- お買い上げ時は「００００」です。
- 設定完了表示したのち、待機状態に戻ります。
- パスワードロック状態を [🔑] で表示します。

●解除のしかたは、「設定」の手順１，２と同様の操作をします。

- パスワードロックが解除され [🔑] が消えます。

着信音種の設定

DC230電話機

着信音を１６種類の中から選ぶことができます。また、外線と内線の着信音を個別に設定できます。
・家庭およびトランシーバについては現在ご使用になれません。

1 フック 機能/クリア 5 JKL 2 ABC を押す

2 ＊（または ＃ ）を押して選択する

- 設定を変更する項目を ＊ （または ＃ ）を押して選びます。
- 「会社外線」→「会社内線」→「家庭外線」→「家庭内線」→「トランシーバ」の順に表示します。
- 設定する項目は「会社外線」「会社内線」のみです。

3 保留 再送/決定 を押す

- 変更する項目を表示しているときに 保留 再送/決定 で選びます。

4 ＊（または ＃ ）を押して選択する

- 着信音の種別を ＊ （または ＃ ）を押して選択します。
- 「０１」～「１６」までの番号が順次切り替わります。
- 切り替えと同時にそれぞれの音が約３秒間鳴ります。

5 保留 再送/決定 を押す

MEMO

- DC230電話機は、システムで設定した着信音種別指定とは異なります。

アラームの設定

DC230電話機

設定した時刻になるとアラームが鳴るアラーム機能を２つの時刻設定ができます。
・アラーム音の音量については、小さめになっています。騒がしい場所などでは聞こえにくいことがありますので、ご注意ください。

1 フック 機能/クリア　4タッ GHI　1アア .,-　を押す

- （アラーム２のときは フック 機能/クリア　4タッ GHI　2カ ABC　を押す）

2 アラーム設定

- アラーム設定時刻を００：００～２３：５９の２４時間制で入力します。

3 ＊◁（または ＃▷）を押す

- ＊◁（または ＃▷）を押して「ON」「OFF」の設定を切り替えます。

4 保留 再送/決定　を押す

MEMO

- アラームは約３０秒間、鳴ります。鳴動中に 電源　を押すと止まります。

バイブレータ(振動着信)の設定

DC230電話機

着信音が他の人の迷惑になるような場所、または着信音が聞こえないほどの騒音の大きな場所などで使用するときなどにバイブレータ着信の設定ができます。「ドアホンの着信」と「充電器に置いている」ときは、バイブレータになりませんので、ご注意ください。

1 フック 機能/クリア　5ナ JKL　1アア .,-　を押す

2 ＊◁（または ＃▷）を押す

- ＊◁（または ＃▷）を押して「ＯＮ」「ＯＦＦ」の設定を切り替えます。

3 保留 再送/決定　を押す

リレー着信モードの設定

DC230電話機

着信のときに、初めに音で知らせて約１０秒間応答しなかったときにバイブレータに切り替えることができます。
また、同様にバイブレータから音に切り替えることもできます。

1 フック 機能/クリア　5ナ JKL　3サ DEF　を押す

2 ＊◁(または ＃▷)を押して選択する

- ＊◁（または ＃▷）を押して、設定する内容を選びます。
- 「しない」→「音→バイブ」→「バイブ→音」の順に表示します。

3 保留 再送/決定　を押す

バイブレータの設定	着信音量	リレー着信機能の設定		
		「音」→「バイブ」表示	「バイブ」→「音」表示	「しない」表示
ON	入	バイブレータと音が交互に動作		－
ON	切	バイブレータだけ	リレー着信（バイブ→音）	－
OFF	入	リレー着信（音→バイブ）	音だけ	－
OFF	切	しばらくしてバイブレータ動作	しばらくして音が漸増	－

圏外警告音の設定

DC230電話機

通話中に圏外になったときの警告音の有無を設定することができます。

1 フック 機能/クリア　8ヤ TUV　4タッ GHI　を押す

2 ＊◁（または ＃▷）を押す

- ＊◁ または ＃▷ を押して「ＯＮ」「ＯＦＦ」の設定を切り替えます。

3 保留 再送/決定　を押す

Fキーモードの設定

DC230電話機

外線ボタンをワンタッチダイヤルとして使うことができます。
・ワンタッチに設定すると、外線ボタンとしての機能（割り付け機能を含む）は全て使用できなくなります。

1 フック 機能/クリア 6 ハ MNO 2 カ ABC を押す

2 ＊ （または ＃ ）を押す

- ＊（または ＃ ）を押して、「システム」「ワンタッチ」の設定を切り替えます。

3 保留 再送/決定 を押す

MEMO

- ワンタッチに切り替えると、6個の外線ボタンはすべてワンタッチに切り替わります。外線ボタンとしては利用できなくなります。

ワンタッチダイヤルの設定

DC230電話機

6個のFキー（外線ボタン）にワンタッチダイヤルを設定することができます。電話番号とともに名前も設定できます。「Fキーモード」の設定を「ワンタッチ」にする必要があります。

1 フック 機能/クリア 6 ハ MNO ＊ を押す

2 Fキー（外線ボタン）を押す

- 設定するFキー（外線ボタン）1 ～ 6 のいずれかを押します。

3 電話番号（最大32桁）を押す

4 保留 再送/決定 を押す

- 名前を登録しない場合は、手順6へ進みます。

5 名前の登録（最大13文字）

- ダイヤルボタンで文字を入力します。（DC230電話機のローカル機能 ☞224ページ）
- 最大13文字まで登録できます。（濁点「゛」「゜」も1文字としてカウントします）
- コール 文字/P 押すことでカナ→ＡＢ→(数字)の入力モードが切り替わります。

6 保留 再送/決定 を押す

- メモリダイヤルに登録されます。
- 続けて登録するときは、＃ ＊ を押します。

全設定初期化

DC230電話機

機能モード内の全設定データおよび発信着信履歴を工場出荷状態に戻します。
・全設定初期化を行うとパスワードも、お買い上げ時の「００００」に戻ります。

1 フック 機能/クリア 8 ヤヤ TUV 6 ハ MNO を押す

2 パスワードを入力する

- 設定したパスワードは4桁（ 0 ワ ～ 9 ラ WXYZ のいずれか）です。

3 保留 再送/決定 を押す

内線優先編

受話器を上げて電話をかける（外線発信）

単独電話機

外線に電話をかけます。

1

●内線発信音「プップップッ…」が聞こえます。

2 **0を押す**

●外線発信音「ツー」が聞こえます。

3 **電話番号を押す**

●ダイヤルボタンで入力します。

4 **#を押す**

●すぐに電話がかかります。
●#押さなくても約5秒後に電話がかかります。
●アナログ回線は#を押しません。

5 **外線通話**

●相手先が応答したら通話します。

MEMO

●外線捕捉後、電話番号を押す間隔は5秒以内にしてください。5秒以上になると、相手につながらないことがあります。（デジタル回線）
●構内交換機（PBX）に接続している場合の外線発信は、相手の電話番号の前にPBXへアクセスする番号を押します。
●手順2で0を押すと、未使用のNTT外線やIP電話回線などの自動選局状態となります。また、9 8 9 を押すと、IP電話回線を優先的に捕捉します。

再度かけ直す（リダイヤル）

単独電話機

最後にかけた相手に、再度かけ直すことができます。

1

●内線発信音「プップップッ・・・」が聞こえます。

2 **9 8 4 を押す**

●プッシュ式の単独電話機の場合は9 8 4または#を押します。

3 **外線通話**

●相手先が応答したら通話します。

ダイヤル操作で外線をつかむ（指定外線捕捉）

単独電話機

外線発信時、いずれかの外線を選んで捕捉できます。

1

●内線発信音「プップップッ…」が聞こえます。

2 **9 6 3 を押す**

3 **外線番号を押す**

●外線番号は2桁を押します。
例：外線1の場合は0 1を押します。

4 **電話番号を押す**

●ダイヤルボタンで入力します。

5 **#を押す**

●すぐに電話がかかります。
●#を押さなくても約5秒後に電話がかかります。
●アナログ回線は#を押しません。

短縮ダイヤルから電話をかける

単独電話機

電話帳に登録された短縮番号（☞ 4 2 ページ）から電話をかけることができます。
・ダイヤル式（DP）の単独電話機では、ご利用できません。

1
●内線発信音「プップップッ…」が聞こえます。

2 ＊を押す

3 短縮番号を押す
●短縮番号0000～3999のいずれかを押します。

受話器を上げて応答する（外線着信）

単独電話機

外線の電話を受けます。

1 着信音が鳴る
●外線着信音「プルル…」が聞こえます。

2
●相手と通話します。

外線通話を保留にする（外線保留）

単独電話機

1 外線通話中

2
●受話器を置いてすぐに（0.8秒以内）受話器を上げると保留（システム保留）になります。
●内線発信音「プップップッ・・・」が聞こえます。
●受話器を0.8秒以上置いていると電話が切れます。
●保留中は相手に保留音が流れます。

再通話のしかた

3
●受話器を置いてすぐに（0.8秒以内）受話器を上げると外線相手と再通話できます。
●受話器を0.8秒以上置いていると、保留警報音「プルルプルル…」が鳴ります。

MEMO
●どの電話機からでも再通話できます。

内線通話後に外線を転送する（自動転送）

単独電話機

外線を保留して内線通話で転送先に転送することを伝えてから、転送します。

転送する側の操作

1 外線通話中

2
●受話器を置いてすぐに（0.8秒以内）受話器を上げると保留（システム保留）になります。
●内線発信音「プップップッ…」が聞こえます。
●受話器を0.8秒以上置いていると電話が切れます。
●保留中は相手に保留音が流れます。

3 内線番号を押す

4 内線通話
●内線相手と通話します。
例：「…さんから電話です！」

5
●受話器を置くと、外線が自動的に転送されます。

転送される側の操作

1 呼出音が鳴る
●呼出音「プププ」が鳴ります。

2
●受話器を上げて内線相手と通話します。
●相手が通話を切ると、外線が自動的に転送されます。

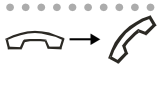
MEMO
●信号音個別呼出の場合には、呼出音「プープー…」が聞こえます。

内線通話をしないで直接外線を転送する（強制転送）

単独電話機

転送する側の操作

1 外線通話中

2 

- 受話器を置いてすぐに（0.8秒以内）受話器を上げると保留（システム保留）になります。
- 内線発信音「プップップッ…」が聞こえます。
- 受話器を0.8秒以上置いていると電話が切れます。
- 保留中は相手に保留音が流れます。

3 内線番号を押す

4

- 受話器を置くと、外線が自動的に転送されます。

【転送される側が応答しないで、約30秒経過したときは、次の手順5’、6’の操作をします】

5’ 呼出音が鳴る
- 保留警報音「プルル　プルル…」が鳴ります

6’

- 受話器を上げると、再度外線相手と通話できます。

転送される側の操作

1 呼出音が鳴る
- 転送されたことを表す呼出音「プルルル…」が鳴ります。
- 約30秒経過した場合、呼出音が止まります。
- このとき転送する側は保留警報音が鳴ります。

2

- 30秒以内に受話器を上げると、自動的に外線とつながります。

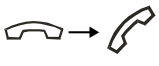
外線で会議をする（外線会議通話）

単独電話機

外線１人と内線3人まで会議通話できます。（最大4人）

外線1人と内線2人で会議する場合

1 外線通話中

2 

- 受話器を置いてすぐに（0.8秒以内）受話器を上げると保留（システム保留）になります。
- 内線発信音「プップップッ…」が聞こえます。
- 受話器を0.8秒以上置いていると電話が切れます。
- 保留中は相手に保留音が流れます。

3 内線番号を押す

4 内線通話

- 内線相手が応答したら通話します。

5

- 受話器を置いてすぐに（0.8秒以内）受話器を上げると会議通話ができます。
- 受話器を0.8秒以上置いていると自動転送されます。（☞１８６ページ）
- 内線を3人参加の場合も手順1～5を繰り返してください。

会議に参加する側

1 呼出音が鳴る

- 内線発信音「プップップッ…」が聞こえます。

2

- 受話器を上げ、内線相手と通話します。
- 内線相手が会議操作を行うと会議通話になります。

内線をかける（内線発信）

単独電話機

内線を呼び出して通話します。

音声個別呼出の場合

1

- 内線発信音「プップップッ・・・」が聞こえます。

2 内線番号を押す

- 呼出音「プー」が聞こえます。

3 内線通話

- 相手が応答したら通話します。

MEMO

- 信号音個別呼出の場合、呼出音「プルルル…」が聞こえます。
- 内線発信でダイヤルを操作しないで、約３分経過するとビジートーン「プープープー…」が鳴り、さらに約20秒経過するとハウラ音「ピピピ…」が鳴ります。

内線呼出音を切り替える（音声／信号音切替）

単独電話機

音声個別呼出／信号音個別呼出の切り替え
・ダイヤル信号（ＤＰ）の単独電話機では、ご利用になれません。
・工事設定により、電話機ごとに音声呼出から信号呼出に変更できます。（ただし、DC230電話機や単独電話機への内線呼出は、信号音のみです）

1 音声個別呼出中

- 音声個別呼出音「プー」が聞こえます。

2 ＊を押す

- ＊を押すと信号個別呼出音「プルルル…」に代わります。
- ＊を押すたびに音声→信号音を繰り返します。

続けて別の内線を呼び出す（リセットコール）

単独電話機

内線呼出している相手が話中または不応答のとき、別の内線番号をダイヤルすると、次の内線番号の電話機を呼び出します。

1

●内線発信音「プップップッ…」が聞こえます。

2 内線番号を押す

●呼出音「プー」が聞こえます。

【相手不応答】

3 別の内線番号を押す

●呼出音「プー」が聞こえます。

4 内線通話

●相手が応答したら通話します。

MEMO

●プッシュ信号の一般電話機から行なっている場合は、呼び出し操作後20秒以内に別の内線番号を押してください。

すべての内線を呼び出す（一斉呼出／電話機グループ呼出）

単独電話機

電話機一斉／電話機グループで呼出します。

1

●内線発信音「プップップッ…」が聞こえます。

2 内線特番を押す

- (9)(7)(0)：一斉呼出
- (9)(7)(1)(1)：内線グループA呼出
- (9)(7)(1)(2)：内線グループB呼出
- (9)(7)(1)(3)：内線グループC呼出
- (9)(7)(1)(4)：内線グループD呼出

応答のしかた

1

●内線発信音「プップップッ…」が聞こえます。

2 (9)(7)(9)を押す

●内線通話ができます。

MEMO

●単独電話機は電話機一斉／グループ呼出をされたときは、着信鳴動しません。

話中のときはそのまま待って相手を呼び出す（コールウェイティング）

単独電話機

内線相手が通話中にそのまま待っていると、相手の通話が終わりしだい呼び出します。

単独電話機側

1

●内線発信音「プップップッ…」が聞こえます。

2 内線番号を押す

●内線相手が通話中の場合、ビジートーン「プープープー…」が聞こえます。

3 そのまま待っていると

●内線相手が通話終了後、ビジートーンが消え、呼出音「プー」が鳴ります。
●相手が応答したら通話します。

内線相手側

1 呼出音が鳴る

●通話が終わると呼出音「プルル　プルル…」が鳴ります。

2

●受話器を上げると、内線相手と通話できます。

受話器を上げるだけで特定の内線、または内線グループに電話をかける（オフフック内線自動発信）

単独電話機

工事設定により、受話器を上げるだけで設定されている内線電話機、または内線グループを呼び出すことができます。ただし、他の操作はできなくなります。

1

●内線番号を呼び出します。

2 内線通話

●相手が応答したら通話できます。

MEMO

●工事設定により呼び出す内線電話機を設定します。

他の内線呼出に応答する（内線代理応答）

単独電話機

すべての内線の代わりに応答ができます。

他の内線に着信が入ったとき

1

●内線発信音「プップップッ…」が聞こえます。

2 9 6 1 を押す

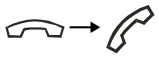
●代理応答として内線通話ができます。

内線通話を保留する（内線保留）

単独電話機

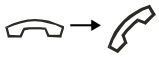
内線を保留します。

1 内線通話中

2 

- 受話器を置いてすぐに（0.8秒以内）受話器を上げると保留（システム保留）になります。
- 内線発信音「プップップッ…」が聞こえます。
- 受話器を0.8秒以上置いていると電話が切れます。
- 保留中は相手に保留音が流れます。

保留再応答のしかた

3 

- 受話器を置いてすぐに（0.8秒以内）受話器を上げると内線相手と再通話できます。
- 受話器を0.8秒以上置いていると、保留警報音「プルルプルル…」が鳴ります。

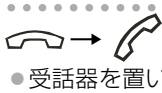
内線通話を保留して他の内線と通話後に転送する（内線保留転送）

単独電話機

内線通話後、別の内線に転送します。

転送する側の操作

1 内線通話中

2 

- 受話器を置いてすぐに（0.8秒以内）受話器を上げると保留（システム保留）になります。
- 内線発信音「プップップッ…」が聞こえます。
- 受話器を0.8秒以上置いていると電話が切れます。
- 保留中は相手に保留音が流れます。

3 内線番号を押す

4 内線通話

- 内線相手と通話します。
  例：「…さんから電話です！」

5

- 受話器を置くと、内線が自動的に転送されます。

転送される側の操作

1 呼出音が鳴る

- 呼出音「プルル　プルル…」が鳴ります。

2

- 受話器を上げて内線相手と通話します。
- 相手が通話を切ると、自動的に別の内線が転送します。

MEMO

- 信号音個別呼出の場合には、呼出音「プープー…」が鳴ります。

通話中の電話機を呼び出す（話中呼出）

単独電話機

内線相手が通話中のときに、自分が待っていることを内線相手に待機中通知音で知らせてくれます。
・単独電話機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機を話中呼出することはできません。
・ダイヤル式（DP）の単独電話機では、ご利用になれません。

待機中通知する側

1

- 内線発信音「プップップッ…」が聞こえます。

2 内線番号を押す

- 相手が通話中のとき話中音「プープープー…」が鳴ります。

3 (＊)を押す

- (＊)を押すと通話中の内線相手のスピーカから、待機中通知音が鳴ります。

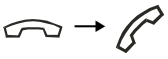
内線で会議をする（内線会議通話）

単独電話機

内線4人まで会議通話できます。

内線3人で会議する場合

1 内線通話中

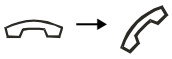
2 

- 受話器を置いてすぐに（0.8秒以内）受話器を上げると保留（システム保留）になります。
- 内線発信音「プップップッ…」が聞こえます。
- 受話器を0.8秒以上置いていると電話が切れます。
- 保留中は相手に保留音が流れます。

3 内線番号を押す

4 内線通話

- 内線相手が応答したら通話します。

5 

- 受話器を置いてすぐに（0.8秒以内）受話器を上げると会議通話ができます。
- 受話器を0.8秒以上置いていると内線保留転送されます。（☞１９１ページ）
- 内線を4人参加の場合も手順1～5を繰り返してください。

会議に参加する側

1 呼出音が鳴る

- 呼出音「プルル　プルル…」が鳴ります。

2

- 受話器を上げ、内線相手と通話します。
- 内線相手が会議操作を行うと会議通話になります。

ドアホンからの呼び出しで通話をする（ドアホン通話）

単独電話機

ドアホンと通話することができます。ドアホンアダプタが必要です。

・ドアホンから呼び出し

1 呼出音が鳴る

- ドアホン呼出音が聞こえます。

2

- ドアホン呼出音が鳴り始めてから約15秒以内に受話器を上げると、ドアホン通話ができます。

ドアホンの周囲をモニタする（ドアホンモニタ）

単独電話機

ドアホンモニタができます。ドアホンアダプタが必要です。

1

- 内線発信音「プップップッ…」が聞こえます。

2 内線特番を押す

- (9)(8)(1)：ドアホン1
- (9)(8)(2)：ドアホン2

外線優先編

受話器を上げて電話をかける（外線発信）

単独電話機

外線に電話をかけます。

1

●外線発信音「ツー」が聞こえます。

2 電話番号を押す

●ダイヤルボタンで入力します。

3 (#)を押す

●すぐに電話がかかります。
●(#)を押さなくても約5秒後に電話がかかります。
●アナログ回線は(#)を押しません。

4 外線通話

●相手先が応答したら通話します。

MEMO

●単独電話機から電話をかけるときは、未使用の空き外線を自動的に捕捉します。
●外線捕捉後、電話番号を押す間隔は5秒以内にしてください。5秒以上になると、相手につながらないことがあります。

受話器を上げて応答する（外線着信）

単独電話機

外線の電話を受けます。

1 着信音が鳴る

●外線着信音「プルル…」が聞こえます。

2

●相手と通話します。

MEMO

●単独電話機は、NTTのキャッチホンサービスなどが受けられません。

内線優先モードと共通操作

単独電話機

次の機能は内線優先モードの使いかたと同じ操作手順です。

●外線保留　（☞１８６ページ）
●自動転送　（☞１８６ページ）
●強制転送　（☞１８７ページ）
●外線会議通話（☞１８８ページ）

内線をかける（内線発信）

単独電話機

受話器を上げると外線発信音が聞こえます。
・内線を呼び出す場合は下記操作を行います。

1

●外線発信音「ツー」が聞こえます。

2

●受話器を置いてすぐに（0.8秒以内）受話器を上げると内線発信音「プップップッ…」が聞こえます。

3 内線番号を押す

●呼出音「プー」が聞こえます。

4 内線通話

●相手が応答したら通話します。

ISDNの基本サービス

ISDNのサービス一覧

NTTのISDNサービス（INSネット64）は、デジタル通信のメリットを生かし、通信からデータ通信、画像通信まで幅広く利用できる通信網サービスです。下記のサービスについて詳細は、最寄のNTT窓口にお問い合わせください。
・☞２０３ページまでの操作は、多機能電話機を例とします。

サービス名		内　　容
基本サービス	料金情報通知	通話終了後、その通話にかかった料金が表示されます。
	サブアドレス通知	電話番号にサブアドレス（内線番号）を付加してダイヤルすることにより、指定した電話機に着信させることができます。
	発信者番号通知	デジタル回線からの着信の場合、かけてきた相手の番号が電話機に表示されます。
付加サービス	迷惑電話おことわり（いたずら電話防止）	迷惑電話を受けた直後、契約者の電話機から登録操作を行なうと、以降同じ電話番号から着信がある場合、自動的にメッセージで応答します。
	INSボイスワープ	転送元（契約者）にかかってきた電話を転送先の電話や携帯電話へ自動転送できます。
	ダイヤルイン	ダイヤルイン番号を設定することにより、指定した外線電話機に着信させることができます。システムで32個まで使用できます。
	ナンバー・ディスプレイ	アナログ回線ユーザからの着信時も相手の発信電話番号が通知されます。発信者が番号を通知しなかった場合や番号が通知できない場合には、その理由を通知するサービスです。
	ネーム・ディスプレイ	発信企業名情報を含む着信の場合、その情報を発信者名表示として表示させることができます。
	i・ナンバー	デジタル1回線で、3つの電話番号が持てます。ただし、同時に利用できる通話数は2つまでです。 （代表取扱サービスやダイヤルインサービスなどと重複して契約はできません）

・アナログ回線でも「ダイヤルイン」「ナンバー・ディスプレイ」「ネーム・ディスプレイ」サービスが受けられます。

MEMO

- 付加サービスは別途、NTTへのお申し込みが必要です。付加機能使用料（月額）がかかります。
- 本システムは、スティミュラスプロトコル手順に対応しています。

料金情報通知

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

通話終了後、その通話にかかった料金が表示されます。

1 **電話をかける**

- 通話をします。

2

通話終了	0：15 9円

- 通話を終了すると、表示部に通話料金が表示されます。

MEMO

- 通話料金は目安としてご利用ください。
- 国際電話をかけたときは通話料金は表示されません。
- 104電話番号案内、携帯電話、PHS、船舶無線、ダイヤルQ2などにかけたときは通話料金が表示されなかったり、正しく表示されないことがあります。
- マイライン・マイラインプラスでNTTグループ以外をご契約された場合は、料金表示しません。

サブアドレス通知

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

電話番号にサブアドレス（内線番号）を付加してダイヤルすることにより、内線を個別に呼び出すことができます。
相手の電話設備がサブアドレスに対応している必要があります。

電話をかける場合

（例）電話番号が「03−1234−5678」でサブアドレスが「5」の相手への発信の場合
0 3 1 2 3 4 5 6 7 8 ＊ 5
とダイヤルします。
（通常の電話番号の後に ＊ を押します。＊ の次にサブアドレスを押します）

電話を受ける場合

サブアドレスに対応している電話設備（PHSやデジタル公衆電話など）から本システムに電話をかける場合は、内線番号がサブアドレスになります。

発信者番号通知

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

デジタル回線から着信の場合、発信者番号情報が通知されると、かけてきた相手の電話番号が電話機に表示されます。（ただし、相手が非通知発信の場合、電話番号は表示されません）
本システムでは、通知された電話番号が共通短縮ダイヤルに漢字登録されている場合、電話番号と一緒に登録されている名前も表示されます。

発信時の番号通知

電話をかける場合に、自分の番号を相手に通知するかどうかを、電話をかける度に切り替えることができます。
お買い上げ時は発信者番号通知は「通知する」になっています。通話が終わると番号通知は初期に戻ります。

1 受話器を取る

2 〔外　線〕を押す

→〔外　線〕ランプ：緑点灯

3 〔フラッシュ〕を押す

```
外線発信
０１：

発信者番号：非通知 フラッシュで変更
```

- 〔フラッシュ〕を押すごとに発信者番号通知を「通知」→「非通知」に切り替わります。

4 電話番号を押す

着信時の相手電話番号の表示

1 外線着信

```
外線着信
０１：０３１２３４５６７８
```

- 漢字登録なしの場合
- 表示例：相手の電話番号表示

```
外線着信
０１：０３１２３４５６７８
東京サクサ
```

- 漢字登録ありの場合
- 表示例：相手の電話番号および名前表示

MEMO

- 工事設定により自分の番号とともに、自分のサブアドレスを通知することができます。
- プリセット発信ではご利用になれません。この場合は、184（付加しない）または186（付加する）を電話番号の前に付けてダイヤルしてください。
- 通話中の電話機で、他の外線に着信したとき〔発信者番号〕を押してから、着信〔外　線〕を押すと発信者番号を確認することができます。
- 〔発信者番号〕は特殊番号15として電話機の〔オート〕に登録できます。（☞１４１、１４３ページ）

ISDNの付加サービス

迷惑電話おことわりの登録／確認／消去

迷惑電話を受けた直後、電話機から登録操作を行うと、以降同じ電話番号の相手から電話がかかってきても、着信音を鳴らさず、自動的にメッセージで応答します。登録できる電話番号は最大6件または30件です。限度を超えて登録した場合は、登録された最も古い番号から自動的に解除されます。（新しい電話番号が登録されます）
●別途、NTTへのお申し込みが必要です。
登録以外の電話番号から電話がかかってきた場合、通常どおりの着信音が鳴ります。

通話中に登録する

迷惑電話と外線通話中に次の操作を行ってください。

1 ◯機 能 を押す
→ ◯機 能 ランプ：赤点灯

2 ワシ 0 を押す
→ ◯機 能 ランプ：消灯

3 ア 1 タ GHI 4 タ GHI 4 カ ABC 2 を押す

4 # を押す

通話終了後に登録する

1 通話が終了して１分以内に、サービス契約している ◯外 線 を押す
●外線発信音「ツー」が聞こえます。
→ ◯外 線 ランプ：緑点灯
→ ◯スピーカ ランプ：赤点灯

2 ア 1 タ GHI 4 タ GHI 4 カ ABC 2 を押す

3 # を押す
●登録確認のアナウンスが流れます。

4 ◯スピーカ を押す
→ ◯外 線 ランプ：消灯
→ ◯スピーカ ランプ：消灯

登録を確認する

迷惑電話相手が登録後、何回かけてきたか件数をアナウンスで確認できます。

1 ◯外 線 を押す
●サービスを契約している ◯外 線 を押します。
●外線発信音「ツー」が聞こえます。
→ ◯外 線 ランプ：緑点灯
→ ◯スピーカ ランプ：赤点灯

2 ア 1 タ GHI 4 タ GHI 4 タ GHI 4 を押す

3 # を押す
●確認のアナウンスが流れます。

4 ◯スピーカ を押す
→ ◯外 線 ランプ：消灯
→ ◯スピーカ ランプ：消灯

登録を消去する

1 ◯外 線 を押す
●サービスを契約している ◯外 線 を押します。
●外線発信音「ツー」が聞こえます。
→ ◯外 線 ランプ：緑点灯
→ ◯スピーカ ランプ：赤点灯

2 ア 1 タ GHI 4 タ GHI 4 を押す

3 サ DEF 3 または ラ WXYZ 9 を押す
● サ DEF 3：最後に登録した番号を消去します。
● ラ WXYZ 9：全ての登録を消去します。

4 # を押す
●確認のアナウンスが流れます。

5 ◯スピーカ を押す
→ ◯外 線 ランプ：消灯
→ ◯スピーカ ランプ：消灯

MEMO

●「通話中に登録する」操作は、機能特番01442として電話機の ◯オート に登録できます。（☞１４１、１４２ページ）
●登録された電話番号から電話がかかってくると、「こちらは×××…（契約者の電話番号）です。この電話はお受けできません。ご了承ください」のメッセージが流れます。
●相手が構内交換機（PBX）経由で発信した場合は、その番号が登録できない場合があります。

ナンバー・ディスプレイ

着信時に発信者の電話番号または番号が通知されないときに、その理由を通知するサービスです。
アナログ回線からの着信時も、発信者の電話番号が表示されます。
●アナログ回線でもサービスを受けられます。

1 外線着信中

外線着信
０１：発番号通知なし
非通知

●外線の着信音が鳴り、表示部に通知内容が表示されます。
●表示例：相手番号非通知
→〔外　線〕ランプ：赤点滅
→着信ランプ：点滅

通知内容

通知内容	サービス名
一般回線から発信	例:03−1234−5678 外線着信 ０１：０３１２３４５６７８
公衆電話機から発信	「公衆電話」
相手非通知	「非通知」
サービス提供不可	「表示圏外」 ●番号通知不可のネットワークからの着信など

ネーム・ディスプレイ

発信企業名情報を含む着信の場合、その情報が発信者名表示として電話機に表示され、着信履歴にも残ります。
・アナログ回線でもサービスを受けられます。

1 外線着信中

外線着信
０１：０３１２３４５６７８
東京サクサ本社
ﾈｰﾑ･ﾃｨｽﾌﾟﾚｲ着信

●表示例：発信企業名情報を含む着信
→〔外　線〕ランプ：赤点滅
→着信ランプ：点滅

MEMO

●共通短縮ダイヤルに名前付きで登録されている番号から、発信企業名情報を含む着信があった場合は、短縮登録されている名前を優先して表示します。
●発信企業名情報を含む着信の場合は、4行目に「ネーム・ディスプレイ着信」と表示されます。（CL620子機、WS600電話機の場合、3行目に表示されます。DC230電話機には電話番号と名前のみ表示されます）
●発信企業名情報を含む着信の場合は、着信履歴に、例「001>東京サクサ」が表示されます。

INSボイスワープ

INSボイスワープの転送について

かかってきた電話をあらかじめ登録した電話番号へ自動的に転送することができます。
●別途、NTTへのお申し込みが必要です。
転送のしかたには、次の4種類があり、転送セットするときに選択します。

1 無条件転送

●かかってくる電話を無条件で転送します。

2 無応答時転送

●転送元で一定時間応答がない場合のみ転送します。

3 話中時転送

●転送元が通話中の場合のみ転送します。

4 無応答および話中時転送

●転送元で一定時間応答がない場合、および転送元が通話中、双方の場合に転送します。

MEMO

●本システムが故障中の場合、ネットワーク（NTT）が自動的にかかってきた電話を転送します。
●INSボイスワープは、NTTの転送サービスです。ご利用の際は、NTTの「INSボイスワープ使用説明書」を併せてお読みください。
●転送先は5ヵ所まで登録できます。5ヵ所の中から一つの転送先を選びます。

転送元電話番号受信サービス対応

INSボイスワープ、アナログ回線のボイスワープを利用して、転送された電話の転送元番号と転送理由を表示することができます。
・本機能を利用するためには、転送先がISDN回線で、「転送元電話番号受信サービス」への契約が必要です。
・転送元案内トーキ設定を「有り」にしてください。
・多機能電話機とCL620親機のみ表示が切り替わります。

1 転送元から着信が入る

```
外線着信
01：0312345678
```

●発信者の電話番号を表示します。

3秒ごとに切り替わります。

```
外線着信
01：0387654321
ボイスワープ          [無条件転送]
```

●転送された電話の転送元電話番号と転送理由を表示します。

転送先電話番号の登録／確認

転送先電話番号を登録します。転送先は転送先番号リスト0～4を指定することにより、最大5ヵ所登録できます。
電話番号の登録は上書き方式です。新しい電話番号を登録すると前の電話番号は消去されます。

転送先番号リスト0への登録

1 ◯外　線 を押す

- サービスを契約している ◯外　線 を押します。
- 外線発信音「ツー」が聞こえます。
  → ◯外　線 ランプ：緑点灯
  → ◯ｽﾋﾟｰｶ ランプ：赤点灯

2 ｱ 1 タ GHI 4 カ ABC 2 カ ABC 2 を押す

- アナウンスが流れます

3 転送先電話番号を押す

- アナウンスが流れます

4 ◯ｽﾋﾟｰｶ を押す

→ ◯外　線 ランプ：消灯
→ ◯ｽﾋﾟｰｶ ランプ：消灯

転送先番号リスト1～4への登録

1 ◯外　線 を押す

- サービスを契約している ◯外　線 を押します。
- 外線発信音「ツー」が聞こえます。
  → ◯外　線 ランプ：緑点灯
  → ◯ｽﾋﾟｰｶ ランプ：赤点灯

2 ｱ 1 タ GHI 4 カ ABC 2 タ GHI 4 を押す

- アナウンスが流れます

3 ﾜﾝ 0 を押す

- アナウンスが流れます

4 ｱ 1 ～ タ GHI 4 のいずれかを押す

- 登録するリスト番号（ ｱ 1 ～ タ GHI 4 ）を選択し、押します。
- アナウンスが流れます。

5 転送先電話番号を押す

- アナウンスが流れます

6 ◯ｽﾋﾟｰｶ を押す

→ ◯外　線 ランプ：消灯
→ ◯ｽﾋﾟｰｶ ランプ：消灯

転送先電話番号の確認

現在の転送先電話番号を確認します。

1 ◯外　線 を押す

- サービスを契約している ◯外　線 を押します。
- 外線発信音「ツー」が聞こえます。
  → ◯外　線 ランプ：緑点灯
  → ◯ｽﾋﾟｰｶ ランプ：赤点灯

2 ｱ 1 タ GHI 4 カ ABC 2 ヤ TUV 8 を押す

- アナウンスが流れます。

3 ﾜﾝ 0 を押す

- アナウンスが流れます。

4 ◯ｽﾋﾟｰｶ を押す

→ ◯外　線 ランプ：消灯
→ ◯ｽﾋﾟｰｶ ランプ：消灯

転送先リストの指定

登録されている転送リストの中から、実際に転送される相手を1つ指定します。

転送先番号リストの指定

1 **〇外　線 を押す**

- サービスを契約している〇外　線を押します。
- 外線発信音「ツー」が聞こえます。
  →〇外　線 ランプ：緑点灯
  →〇スピーカ ランプ：赤点灯

2 **ア1 タGHI4 カABC2 タGHI4 を押す**

- アナウンスが流れます

3 **ア1 を押す**

- アナウンスが流れます

4 **ワ0 ～ タGHI4 のいずれかを押す**

- 転送先電話番号リスト番号（ ワ0 ～ タGHI4 ）を選択し、押します。
- アナウンスが流れます。

5 **〇スピーカ を押す**

→〇外　線 ランプ：消灯
→〇スピーカ ランプ：消灯

MEMO

- ボイスワープのサービス開始後にこの操作を行うと、転送先を変更することができます。
- 転送先リストを指定せずにボイスワープを開始した場合、リスト0の転送先に転送されます。

サービスの開始／確認／停止

転送先電話番号の登録（☞198ページ）、および転送先リストの指定を行ったあとで、ボイスワープの開始を行ってください。

転送サービスの開始のしかた

1 **〇外　線 を押す**

- サービスを契約している〇外　線を押します。
- 外線発信音「ツー」が聞こえます。
  →〇外　線 ランプ：緑点灯
  →〇スピーカ ランプ：赤点灯

2 **ア1 タGHI4 カABC2 ア1 を押す**

- アナウンスは流れませんので、すぐに手順3を行います。

3 **ア1 ～ タGHI4 のいずれかを押す**

- 転送方法を以下の（ ア1 ～ タGHI4 ）の番号で選択します。
  ア1：無条件転送
  カABC2：無応答時転送
  サDEF3：話中時転送
  タGHI4：無応答および話中時転送
- アナウンスが流れます。

4 **〇スピーカ を押す**

→〇外　線 ランプ：消灯
→〇スピーカ ランプ：消灯

転送サービスの停止のしかた

1 **〇外　線 を押す**

- サービスを契約している〇外　線を押します。
  →〇外　線 ランプ：緑点灯
  →〇スピーカ ランプ：赤点灯

2 **ア1 タGHI4 カABC2 ワ0 を押す**

- アナウンスが流れます。

3 **〇スピーカ を押す**

→〇外　線 ランプ：消灯
→〇スピーカ ランプ：消灯

転送サービス状態の確認のしかた

1 ◯外　線 を押す

- サービスを契約している ◯外　線 を押します。
- 外線発信音「ツー」が聞こえます。
  → ◯外　線 ランプ：緑点灯
  → ◯ｽﾋﾟｰｶ ランプ：赤点灯

2 ｱ 1 ﾀ GHI 4 ｶ ABC 2 ﾔ TUV 8 を押す

- アナウンスが流れます。

3 ◯ｽﾋﾟｰｶ を押す

→ ◯外　線 ランプ：消灯
→ ◯ｽﾋﾟｰｶ ランプ：消灯

無応答時転送の起動時間の指定

無応答転送を指定した場合に、転送元が何秒後応答しなかった時点で転送を行うかを指定します。

1 ◯外　線 を押す

- サービスを契約している ◯外　線 を押します。
- 外線発信音「ツー」が聞こえます。
  → ◯外　線 ランプ：緑点灯
  → ◯ｽﾋﾟｰｶ ランプ：赤点灯

2 ｱ 1 ﾀ GHI 4 ｶ ABC 2 ｻ DEF 3 を押す

- アナウンスが流れます

3 ﾜﾗ 0 ～ ｱ 1 ｱ 1 のいずれかを押す

- 転送するまでの時間を次の(ﾜﾗ 0 ～ ｱ 1 ｱ 1)の番号で選択します。
  ﾜﾗ 0：5秒　ｱ 1：10秒　ｶ ABC 2：15秒
  ｻ DEF 3：20秒　ﾀ GHI 4：25秒　ﾅ JKL 5：30秒
  ﾊ MNO 6：35秒　ﾏ PQRS 7：40秒　ﾔ TUV 8：45秒
  ﾗ WXYZ 9：50秒　ｱ 1 ﾜﾗ 0：55秒　ｱ 1 ｱ 1：60秒
- アナウンスが流れます。

4 ◯ｽﾋﾟｰｶ を押す

→ ◯外　線 ランプ：消灯
→ ◯ｽﾋﾟｰｶ ランプ：消灯

転送通知用トーキの設定／確認

転送通知用トーキの設定のしかた

電話をかけてきた人に、転送を通知するアナウンスを設定することができます。アナウンスには3種類の内容があります。

1 ◯外　線 を押す

- サービスを契約している ◯外　線 を押します。
- 外線発信音「ツー」が聞こえます。
  → ◯外　線 ランプ：緑点灯
  → ◯ｽﾋﾟｰｶ ランプ：赤点灯

2 ｱ 1 ﾀ GHI 4 ｶ ABC 2 ﾀ GHI 4 を押す

- アナウンスが流れます

3 ｶ ABC 2 を押す

- アナウンスが流れます

4 ﾜﾗ 0 ～ ｻ DEF 3 のいずれかを押す

- アナウンスを以下の（ ﾜﾗ 0 ～ ｻ DEF 3 ）の番号で選択します。
  ﾜﾗ 0：アナウンスなし
  ｱ 1：「ただいまより電話を転送いたします」
  ｶ ABC 2：「ただいまより電話を転送いたします。転送先までの電話料金は当方で負担いたします」
  ｻ DEF 3：「ただいま電話を呼び出しております」
- アナウンスが流れます。

5 ◯ｽﾋﾟｰｶ を押す

→ ◯外　線 ランプ：消灯
→ ◯ｽﾋﾟｰｶ ランプ：消灯

転送通知用トーキの確認のしかた

1 ◯外　線 を押す

- サービスを契約している◯外　線を押します。
- 外線発信音「ツー」が聞こえます。
  → ◯外　線 ランプ：緑点灯
  → ◯ｽﾋﾟｰｶ ランプ：赤点灯

2 ｱ 1 ﾀ GHI 4 ｶ ABC 2 ﾔ TUV 8 を押す

- アナウンスが流れます

3 ｱ 1 を押す

- アナウンスが流れます

4 ◯ｽﾋﾟｰｶ を押す

→ ◯外　線 ランプ：消灯
→ ◯ｽﾋﾟｰｶ ランプ：消灯

転送元案内トーキの設定／確認

転送元案内トーキ（転送先へのアナウンス）の設定のしかた

転送先が応答したとき、転送電話であることを通知するアナウンスの設定ができます。

1 ◯外　線 を押す

- サービスを契約している◯外　線を押します。
- 外線発信音「ツー」が聞こえます。
  → ◯外　線 ランプ：緑点灯
  → ◯ｽﾋﾟｰｶ ランプ：赤点灯

2 ｱ 1 ﾀ GHI 4 ｶ ABC 2 ﾀ GHI 4 を押す

- アナウンスが流れます

3 ﾀ GHI 4 を押す

- アナウンスが流れます

4 ﾜﾗ 0 または ｱ 1 を押す

- ﾜﾗ 0 または ｱ 1 の番号でアナウンスの有無を選択します。
  ﾜﾗ 0：アナウンスなし
  ｱ 1：「この電話は（転送元電話番号）から転送されました」
- アナウンスが流れます。

5 ◯ｽﾋﾟｰｶ を押す

→ ◯外　線 ランプ：消灯
→ ◯ｽﾋﾟｰｶ ランプ：消灯

転送元案内トーキ（転送先へのアナウンス）の確認のしかた

1 ◯外　線 を押す

- サービスを契約している◯外　線を押します。
- 外線発信音「ツー」が聞こえます。
  → ◯外　線 ランプ：緑点灯
  → ◯ｽﾋﾟｰｶ ランプ：赤点灯

2 ｱ 1 ﾀ GHI 4 ｶ ABC 2 ﾔ TUV 8 を押す

- アナウンスが流れます

3 ｻ DEF 3 を押す

- アナウンスが流れます

4 ◯ｽﾋﾟｰｶ を押す

→ ◯外　線 ランプ：消灯
→ ◯ｽﾋﾟｰｶ ランプ：消灯

リモートコントロール機能

リモートコントロール機能を利用して、本システム外の電話からでもボイスワープの開始、停止および転送先変更の操作ができます。

暗証番号の設定

1 **〇外　線 を押す**

- サービスを契約している〇外　線を押します。
- 外線発信音「ツー」が聞こえます。
  → 〇外　線 ランプ：緑点灯
  → 〇ｽﾋﾟｰｶ ランプ：赤点灯

2 **ｱ 1 ﾀ GHI 4 ｶ ABC 2 ﾀ GHI 4 を押す**

- アナウンスが流れます

3 **ｻ DEF 3 を押す**

- アナウンスが流れます

4 **ｱ 1 を押す**

- アナウンスが流れます
- ﾏｸﾛ 0 を押すと、リモートコントロール機能を「利用しない」設定となり、手順6へ進みます。

5 **暗証番号を押す**

- 登録する暗証番号（４桁）を押します。
- アナウンスが流れます。

6 **〇ｽﾋﾟｰｶ を押す**

→〇外　線 ランプ：消灯
→〇ｽﾋﾟｰｶ ランプ：消灯

MEMO

- 暗証番号に # や * を含めて登録することはできません。また1111などのように、同じ数字を4桁続けて登録することもできません。
- 暗証番号登録後、リモートコントロール機能を「利用しない」に設定変更し、再度「利用する」に変更した場合は、改めて暗証番号の登録を行います。

利用可否の確認

1 **〇外　線 を押す**

- サービスを契約している〇外　線を押します。
- 外線発信音「ツー」が聞こえます。
  → 〇外　線 ランプ：緑点灯
  → 〇ｽﾋﾟｰｶ ランプ：赤点灯

2 **ｱ 1 ﾀ GHI 4 ｶ ABC 2 ﾔ TUV 8 を押す**

- アナウンスが流れます

3 **ｶ ABC 2 を押す**

- アナウンスが流れます

4 **〇ｽﾋﾟｰｶ を押す**

→〇外　線 ランプ：消灯
→〇ｽﾋﾟｰｶ ランプ：消灯

リモートコントロール操作のしかた

リモートコントロール機能を利用して、プッシュ信号を送出できる外出先の電話からでもボイスワープの開始、停止および転送先変更の操作ができます。

1 **外出先から次の番号へ電話をかける**

2 **1 4 2 7 を押す**

- アナウンスが流れます

3 **電話番号を押す**

- サービスを契約している電話番号を市外局番から押します。
- アナウンスが流れます。

4 **暗証番号を押す**

- 暗証番号（4桁）を押します。
- アナウンスが流れます。

5 **0 ～ 2 のいずれかを押す**

- 操作の種類により選択します。
  0：転送サービスの停止
  1：転送サービスの開始
  2：転送先リストの変更

6 **電話を切る**

- 転送先リストを変更する場合は、転送先リスト番号（0 ～ 4 のいずれか）を押します。
- このとき、アナウンスが流れます。

MEMO

- 暗証番号を4回連続間違えると、一時的に利用できなくなります。この場合、暗証番号を再度登録し直す必要があります。

各種情報の確認

システムバージョンを確認する（システムバージョン確認）

多機能電話機、CL620親機

システムのソフトウェアバージョンを確認することができます。

1 確定 を押す

2 ◯ を押して[その他]を選択し、確定 を押す

3 ◯ を押して[システム]を選択し、確定 を押す

4 ◯ を押して[システムバージョン確認]を選択し、確定 を押す

- メインCPUおよびサブCPUのソフトウェアバージョンが表示されます。

MEMO

- 手順１～４はメニュー特番９１１として、電話機の〇オート に登録できます。（☞ １４１ページ）

ネットワークの情報を確認する（ネットワーク情報確認）

多機能電話機、CL620親機

主装置、VoIPユニットのIPアドレスを確認します

主装置の場合

1 確定を押す

2 ◇を押して[その他]を選択し、確定を押す

3 ◇を押して[ネットワーク]を選択し、確定を押す

4 ◇を押して[主装置]を選択し、確定を押す

- 主装置のIPアドレス、サブネットマスク、MACアドレスが表示されます。

VoIPユニットの場合

1 確定を押す

2 ◇を押して[その他]を選択し、確定を押す

3 ◇を押して[ネットワーク]を選択し、確定を押す

4 ◇を押して[ＶｏＩＰ＋ルータ]を選択し、確定を押す

- VoIPユニットのLAN側IPアドレス、サブネットマスク、MACアドレスが表示されます。
- VoIPユニットが実装されていない場合には、「VoIP」と表示されます。

5 ○を押す

- VoIPユニットのWAN側IPアドレス、サブネットマスク、MACアドレスが表示されます。

MEMO

- 手順１～４はメニュー特番９４Ｘとして、電話機の オート に登録できます。（☞１４１ページ）
  （Ｘ：1 主装置、2 ＶｏＩＰユニット）

Ｗｅｂ設定

パソコンから電話帳を編集する（電話帳Ｗｅｂ編集）

主装置と同一LAN 上に接続したパソコンからブラウザを使用して電話帳の編集ができます。
使用可能なブラウザは「Internet Explorer 5.5 以上」または「Netscape 6.0 以上」です。
主装置のLAN 接続については工事店にお問い合わせください。
・電話帳Web 編集の詳細については、サクサ株式会社ホームページ（http://www.saxa.co.jp ）のWEB設定マニュアルを参照して行ってください。

Web設定ログインのしかた

1 パソコンのブラウザを起動する

2 ブラウザのアドレスバーに主装置のIPアドレスを入力し、Web設定画面を開く

- 主装置のIP アドレスは、お買い上げ時「192．168．1．253」です。
- 主装置のIP アドレスは、多機能電話機から確認できます。（☞204ページ）

3 ログイン をクリックする

4 ログイン画面のユーザ名に、内線番号を入力する

- （例） 内線番号1 を使用しているユーザは、ユーザ名：1 と入力します。

5 パスワードは未登録のため、省略する

- パスワードは、お買い上げ時、未登録のため省略してログインできます。
- Web 設定にログインした後に、パスワードを設定することができます。

6 ＯＫ をクリックすると、Web 設定（電話帳画面）に進む

グローバルIPアドレスを通知する（グローバルIPアドレス通知）

主装置内ブロードバンドルータのWAN側グローバルIPアドレス変更時に、あらかじめ登録してあるE-Mailアドレス（最大2ヶ所）へ通知します。
・通知先のE-Mailアドレス編集の詳細については、サクサ株式会社ホームページ（http://www.saxa.co.jp ）のWEB設定マニュアルを参照して行ってください。

MEMO

- 工事設定により、メール通知の有無を設定できます。

パソコンから着信メロディを登録する（着信メロディWeb 登録）

主装置と同一LAN 上に接続されたパソコンから、ブラウザを使用して着信メロディWeb 登録ができます。
使用可能なブラウザは「Internet Explorer 5.5 以上」または「Netscape 6.0 以上」です。
主装置のLAN 接続については工事店にお問い合わせください。
着信メロディWeb 登録は、ユーザ管理者レベルで使用できます。
・着信メロディWeb 登録の詳細な操作資料については、サクサ株式会社ホームページ（http://www.saxa.co.jp ）のWEB設定マニュアルを参照して行ってください。

着信メロディについて
●再生可能な着信メロディのフォーマットは、次の通りです。
・SMF 形式（拡張子：.mid ）Format 0　1曲のデータサイズ80KB 以下

・上記条件を満たしたMIDI ファイルであっても、MIDI ファイルの作り方によっては、再生がうまくできない場合があります。あらかじめご了承のうえご利用ください。また、利用される楽曲によっては、お客様ご自身での音楽著作権の利用申請などが必要になる場合があります。あらかじめ、MIDI ファイル供給元へご確認のうえご利用ください。
・何らかの理由により、主装置の工事設定データなどが初期化されると、お客様が登録したMIDI ファイルが再生できなくなります。（この場合、お買い上げ時の曲が再生されます。） この場合、再度着信メロディを登録してください。
・登録するMIDI ファイルは、パソコンなどへ必ずバックアップをしてください。

ユーザ管理者レベルでのログインのしかた

1 パソコンのブラウザを起動する

2 ブラウザのアドレスに主装置のIPアドレスを入力し、Web設定画面を開く

●主装置のIPアドレスは、お買い上げ時「192.168.1.253」です。
●主装置のIPアドレスは、多機能電話機から確認できます。（☞２０４ページ）

3 ログイン をクリックする

4 ユーザ名・パスワードを入力する

（お買い上げ時）
●ユーザー名　uadmin
　パスワード　uadmin
●パスワードは、ログイン後に変更することができます。

5 OK をクリックすると、ユーザー管理者レベルのページに進む

停電について

通話中に停電になると、通話が切断されます。停電中に電話をかけたり受けたりするとき、アナログ回線の場合は、APF610電話機（停電用電話機）、デジタル回線の場合は、IPF610電話機（停電用電話機）をお使いください。
停電用電話機には停電用シールが添付されています。
・停電時、多機能電話機、CL620子機、WS600子機のバックライトは点灯しません。
・停電時、VoIPユニット［IPFU300、IPNT300］は使用できません。

APF610、IPF610電話機(停電用電話機)での電話のかけかた(発信)

●発信以外は、ダイヤルできません。　●内線通話はできません。

1

●外線発信音「ツー」が聞こえます。

2 電話番号を押す

●ダイヤルボタンで入力します。

3 ＃ を押す

●すぐに電話がかかります。
●＃を押さなくても約5秒後に電話がかかります。
●アナログ回線は＃を押しません。

4 外線通話

●相手先が応答したら通話します。

APF610、IPF610電話機(停電用電話機)での電話の受けかた(着信)

1 着信音が鳴る

●停電時はブザーから着信音が鳴ります。通常の着信音とは異なります。

2

●相手と通話します。

MEMO

●一通話のみ通話が可能です。通話中の着信は受けられません。(相手には話中音が聞こえます)
●デジタル回線の場合は、ボイスワープ設定などの操作はできません。
●通話中に停電が復旧すると、通話中の通話は切れてしまいます。
●表示部やランプは表示しません。
●通話中に停電になった場合は局側(NTT)が回線を開放するまでご利用できないことがありますので、しばらくしてから、おかけ直しください。
●APF610電話機は、アナログ回線の付加サービス(ダイヤルイン、ナンバー・ディスプレイなど)を契約されている場合、応答は最初の着信音鳴動から約6秒経過後に行ってください。それ以前に応答すると、電話を受けることができないことがあります。

機能ランプリセット

機能ランプリセットは各電話機に設定されている外線着信鳴動拒否、不在設定、不在転送のすべてを解除します。

機能ランプリセット

多機能電話機、CL620親機

1 ◯機 能 を押す

```
                内線 1
11月  5日(土)
午前  9:00
```

→ ◯機 能 ランプ：赤点灯

2 ラWXYZ9 ラWXYZ9 を押す

```
《機能ランプ強制リセット》
```

→ ◯機 能 ランプ：赤点滅

3 ◯機 能 を押す

```
《機能ランプ強制リセット》
機能ランプ  リセット
```

→ ◯機 能 ランプ：消灯

- 約5秒後に「カレンダー・時計」表示に戻ります。

機能ランプリセット

CL620子機、WS600電話機、DC230電話機

1 機能 ラWXYZ9 ラWXYZ9 機能 を押す

```
機能ﾗﾝﾌﾟ  ﾘｾｯﾄ
```

- 約5秒後に「カレンダー・時計」表示に戻ります。
- DC230電話機は 機能(F) 9ラWXYZ 9ラWXYZ 機能(F) を押します。

MEMO

- 各電話機の一連の操作は、機能特番99として電話機の◯オート に登録できます。（☞１４１、１４２ページ）
- CL620子機、WS600電話機は未使用 外線 に 機能 を登録します。（☞３１ページ）
- DC230電話機は未使用 外線 に 機能(F) を登録します。（☞３２ページ）

故障かな？とお考えになる前に

こんなときは	お確かめ下さい
多機能電話機、CL620 親機	
すべての電話機の表示が消えている。 またはランプが点灯しない。	・主装置の電源プラグが電源コンセントから抜けていませんか。
電話機の表示が消えている。 またはランプが点灯しない。	・電話機コードのモジュラープラグがはずれていませんか。
電話機の機能ランプが消えなくなった。	・機能ランプリセットを行ってください。（☞２０９ページ参照）
電話機の表示が消えている。 または黒く表示されている。	・コントラストがかすれていませんか。 ・コントラスト調整を行ってください。（☞３５ページ参照）
CL620子機、WS600電話機	
子機がまったく作動しない。	・電池残量が少なくありませんか。（☞２１ページ参照）
子機から着信音が鳴らない。	・着信音量が「OFF」になっていませんか。（☞２７ページ参照）（表示部に「S」マークが付いていませんか） ・親機と離れすぎていませんか。
子機で外線ボタンを押すとエラー音が聞こえる。	・親機の電話機コードのモジュラープラグが外れていませんか。 ・親機と離れすぎていませんか。 ・子機を他の電話機の近くに置いていませんか。
子機を充電器に置いても、充電器の充電ランプが点灯しない。	・充電端子が汚れていませんか。 ・充電器のACアダプタが電源コンセントから外れていませんか。（☞２０ページ参照）
DC230電話機	
まったく作動しない。	・電源は入っていますか。（☞２４ページ参照） ・電池パックは充分に充電されていますか。また、ACアダプタが充電器または電源コンセントから抜けていませんか。（☞２３ページ参照） ・電池パックは正しく取り付けられていますか。（☞２３ページ参照）
電話がかけられない。 または、着信音が鳴らない。	・電池パックは充分に充電されていますか。 ・接続装置から離れすぎていたり、表示部に「圏外」と表示されていませんか。（☞２４ページ参照） ・近くに雑音を発生する機器がありませんか。（☞９ページ参照） ・着信音が鳴らないように設定されていませんか。（☞２７ページ参照） ・発信モードが正しく設定されていますか。（☞１８１ページ参照） ・接続装置の電話機コードが正しく接続され電源と通話のランプが正常に点灯または点滅していますか。（☞１７ページ参照） ・自営発信モード（フック機能/クリア＋1）が「会社1モード」に設定されていますか？（☞１８１ページ参照） ・Fキーモード（フック機能/クリア＋6＋2）が「システム」に設定されていますか？（☞１８４ページ参照）
通話が時々とぎれる。	・接続装置から離れすぎていませんか。（☞２４ページ参照） ・近くに雑音を発生する機器がありませんか。また、接続装置との間に電波をさえぎる障害物はありませんか。（☞９ページ参照）
充電中に充電ランプが点灯しない。	・子機や充電器の充電端子が汚れていませんか。（☞２４ページ参照） ・ACアダプタが充電器または電源コンセントから抜けていませんか。（☞２３ページ参照）
発信や着信応答の操作ができない。	・アンテナの表示が消灯していませんか。消灯している場合は、点灯を待ってから、もう一度操作してください。

MEMO

DC230電話機での注意事項について

- プリセット発信時、ダイヤルを押しているときに着信があると、電話番号の表示が消え、ボタンの入力を受け付けなくなり発信ができなくなります。着信に応答するか、空いている外線ボタンを押したあとにダイヤルを入力して発信してください。
- 外線再捕捉をすぐに行うとエラーとなることがあります。そのときは、アンテナが表示されていることを確認してからかけ直してください。
- 外線着信時、他の電話機とほぼ同時に応答すると、外線ランプが一瞬緑点滅して、赤点灯になります。

保証とアフターサービス

保証について

●本システムには、保証書がついております。

保証書は、取扱説明書についておりますので、「販売店名、お買い上げ日」など必要事項の記入をお確かめになり、保証書に記載されている保証内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

●保証期間は、お買い上げ日から１年間です。

・保証期間中でも有料になることがあります。保証書をよくお読みください。
・本システムの不具合により生じた損害の補償については、当社では、一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

修理を依頼されるときには

●本取扱説明書の「故障かな？とお考えになる前に」の項目をよくご覧になって、もう一度ご確認ください。

それでも異常の場合は、使用をやめてお買い上げの販売店または当社へ次のことをご確認のうえ、ご相談ください。
・品名「ボタン電話装置」
・故障の状況（できるだけ詳しく）
・お客様の名前、住所、電話番号

●保証期間中の修理は…

正常な使用状態で発生した故障につきましては、保証書の記載内容に基づき無料で修理いたします。修理時に保証書をご提示ください。

●保証期間経過後の修理は…

修理によって本システムの性能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理いたします。
ただし、補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後7年です。

おわかりにならないことは

●本システムの取扱説明書に関するご質問は、お買い上げの販売店または「お問い合わせ窓口のご案内」（☞２３１ページ）の営業所などにご相談ください。

●増設、移設については、お買い上げの販売店にご相談ください。

内線番号/内線特番の一覧

多機能電話機、CL620親機の〔オート〕に登録できます。(☞140ページ)
CL620子機、WS600電話機は、未使用〔外線〕に〔オート〕を登録します。(☞31、140ページ)
DC230電話機は、未使用〔外線〕に〔オート〕を登録します。(☞32、142ページ)
・受話器を置いた状態または未使用状態(「カレンダー・時計」表示時)で登録してください。

内線番号 内線特番	機能名称	参考ページ	備　　考
0	NTT外線を自動選局捕捉する	☞41	
1～8	内線番号	☞55	・お買い上げ時、内線番号は1～6 です。 ・工事設定により、内線10～89に変更できます。
	スライド着信	☞126	内線代表の電話機を呼び出す。
961	内線代理応答	☞126	
962	自己保留外線の再応答	☞54	
963XX	指定外線捕捉	☞117	XX:外線番号(2桁)
966	コールピックアップ	☞117	
970	一斉呼出(電話機)	☞127	
9711	グループ呼出(グループA)	☞127	
9712	グループ呼出(グループB)	☞127	
9713	グループ呼出(グループC)	☞127	
9714	グループ呼出(グループD)	☞127	
979	呼出応答	☞127	
981	ドアホンモニタ1	☞171	
982	ドアホンモニタ2	☞171	
984	リダイヤル※2	☞185	
#			
986	送話ミュート付き外線通話割込	☞118	
989	IP電話回線の自動選局	☞41	
999	単独電話(FAXなど)へ着信音転送する	☞177	
*XX	指定外線捕捉※1	－	XX:外線番号(2桁)
*XXXX	短縮ダイヤル発信※2	－	XXXX:短縮番号(4桁)

※1　単独電話機を除く電話機で使用できます。
※2　単独電話機のみ使用できます。

機能特番の一覧

多機能電話機、CL620親機の〔オート〕に登録できます。（☞１４１ページ）
CL620子機、WS600電話機は、未使用〔外線〕に〔オート〕を登録します。（☞３１、１４１ページ）
DC230電話機は、未使用〔外線〕に〔オート〕を登録します。（☞３２、１４２ページ）
・受話器を置いた状態または未使用状態（「カレンダー・時計」表示時）で登録してください。

機能特番	機能名称	参考ページ	備　　考
01442	迷惑電話おことわり（NTT付加サービス）	☞１９６	外線通話中の電話に「迷惑電話おことわり」を登録する。
1	ハンズフリー応答の設定／解除	☞１５５	
2	送話ミュートの設定／解除	☞１１６	
3	内線システム保留の設定／解除	☞１２９	
4	内線番号の確認	－	
84	外線話中設定の設定／解除	☞１２１	
99	機能ランプリセット	☞２０９	
9＊	キッチンタイマ※1	☞１６５	

※1　DC230電話機を除く電話機で使用できます。

2つの機能が登録できる機能特番

多機能電話機、CL620親機の〔オート〕に登録できます。（☞１４１ページ）

機能特番	組合せ機能		備　　考
	機能１	機能２	
881XY	外線自動転送モード（外線転送1～4）	留守番モード（留守録1～3）	X=1～4：外線転送1～4　Y=1～3：留守録1～3 留守番指定電話機のみ
882XY	外線自動転送モード（外線転送1～4）	留守番モード（お知らせ1～3）	X=1～4：外線転送1～4　Y=1～3：お知らせ1～3 留守番指定電話機のみ
883XY	外線自動転送モード（外線転送1～4）	手動夜間設定（夜間A、B）	X=1～4：外線転送1～4 Y=1～2：夜間A、B
884XY	留守番モード（留守録1～3）	手動夜間設定（夜間A、B）	X=1～3：留守録1～3 Y=1～2：夜間A、B 留守番指定電話機のみ
885XY	留守番モード（お知らせ1～3）	手動夜間設定（夜間A、B）	X=1～3：お知らせ1～3 Y=1～2：夜間A、B 留守番指定電話機のみ
886X	外線着信鳴動拒否設定	不在設定（不在モード）	X=0～9（不在理由0～9）

メニュー特番のショートカット一覧

多機能電話機、CL620親機の ○オート に登録できます。（☞１４１ページ）
CL620子機、WS600電話機は、未使用 外線 に オート を登録します。（☞３１、１４１ページ）
DC230電話機は、未使用 外線 に オート を登録します。（☞３２、１４３ページ）
・受話器を置いた状態または未使用状態（「カレンダー・時計」表示時）で登録してください。

メニュー特番	機能名称	参考ページ	備　考
0	ルートメニュー	−	
1	履歴（発信／着信）メニュー	−	
11	発信履歴表示	☞４７	
11＊	発信履歴の全件消去	☞６９	
12	システム着信履歴表示	☞５０	
12＊	システム着信履歴の全件消去	☞７０	
13	個別着信履歴表示	☞５０	
13＊	個別着信履歴の全件消去	☞７０	
2	電話帳メニュー	☞ −	
21	電話帳の新規登録	☞５８	
22	電話帳の一覧表示	☞４６	
23	電話帳のカナ検索	☞４３	
24	電話帳のグループ検索	☞４５	
24X	電話帳の選択グループ一覧表示	☞４５	X：0〜9（グループ0〜9） ＊（個別グループ）
25	電話帳の個別カナ検索	☞４３	
3	内線一覧表示	☞１２２	
4	外線転送関係メニュー	−	
41	外線転送モードメニュー	☞８４	
41X	外線転送Xモードの編集メニュー	☞８４	X：1〜4（外線転送1〜4）
41X1YZ	外線転送Xの転送先YZ（最大2カ所）のセット/解除	☞８４	X：1〜4（外線転送1〜4） Y：1〜8（外線転送先1〜8、転送先1番目） Z：1〜8（外線転送先1〜8、転送先2番目）
41X2	外線転送Xモードの消去	☞８３	X：1〜4（外線転送1〜4）
41X3	外線転送Xモードのセット/解除	☞８３	X：1〜4（外線転送1〜4）
42	外線転送先電話番号メニュー※1、※2	☞８２	
42X	外線転送先Xの編集メニュー※1、※2	☞８２	X：1〜8（外線転送先1〜8）
42X1	外線転送先Xの電話番号編集画面※1、※2	☞８２	X：1〜8（外線転送先1〜8）
42X2	外線転送先Xの電話番号消去※1、※2	−	X：1〜8（外線転送先1〜8）
43	外線転送タイマ連動メニュー※1、※2	☞１４７	
43X	外線転送Xタイマ連動の曜日選択メニュー※1、※2	☞１４７	X：1〜4（外線転送1〜4）
43XY	外線転送X タイマ連動のY 曜日のタイマ選択メニュー※1、※2	☞１４７	X：1〜4（外線転送1〜4） Y：0〜6（日曜日〜土曜日）
43XYZ	外線転送Xタイマ連動のY曜日のタイマZの編集メニュー※1、※2	☞１４７	X：1〜4（外線転送1〜4） Y：0〜6（日曜日〜土曜日） Z：1〜2（タイマ1〜2）
43XY＊	外線転送Xタイマ連動のY曜日の全タイマ消去※1、※2	☞１４８	X：1〜4（外線転送1〜4） Y：0〜6（日曜日〜土曜日）
44	外線転送リモコン用暗証番号の消去※1、※2	☞８８	
44XXXX	外線転送リモコン用暗証番号のセット※1、※2	☞８８	XXXX：0000〜9999
5	留守番関係メニュー※1、※2	−	
51	各種メッセージの設定メニュー※1、※2	☞９８	

メニュー特番	機能名称	参考ページ	備　考
51X	メッセージXの編集メニュー※1、※2	☞ 98	X：1～3（留守番メッセージ1～3） 4～6（応答専用メッセージ1～3） 7（お待たせメッセージ） 8（外線転送用メッセージ） 9（非通知着信拒否メッセージ） 0（迷惑電話拒否メッセージ） ＊（ワン留守メッセージ）
51X1	メッセージXの録音※1、※2	☞ 98	X：1～3（留守番メッセージ1～3） 4～6（応答専用メッセージ1～3） 7（お待たせメッセージ） 8（外線転送用メッセージ） 9（非通知着信拒否メッセージ） 0（迷惑電話拒否メッセージ） ＊（ワン留守メッセージ）
51X2	メッセージXの再生※1、※2	☞ 99	X：1～3（留守番メッセージ1～3） 4～6（応答専用メッセージ1～3） 7（お待たせメッセージ） 8（外線転送用メッセージ） 9（非通知着信拒否メッセージ） 0（迷惑電話拒否メッセージ） ＊（ワン留守メッセージ）
51X3	メッセージXの消去※1、※2	☞ 99	X：1～3（留守番メッセージ1～3） 4～6（応答専用メッセージ1～3） 7（お待たせメッセージ） 8（外線転送用メッセージ） 9（非通知着信拒否メッセージ） 0（迷惑電話拒否メッセージ） ＊（ワン留守メッセージ）
52	留守番自動応答時間の編集画面※1、※2	☞ 100	
52XXX	留守番自動応答時間のセット※1、※2	☞ 100	XXX：001～180（秒）
53	用件の一括消去メニュー※1、※2	☞ 111	
531	留守番用件の一括消去※1、※2	☞ 111	
532	通話メモの一括消去※1、※2	☞ 111	
54	留守番サイレント設定のセット／解除※1、※2	☞ 101	
55	追っかけ転送先電話番号メニュー※1、※2	☞ 103	
551	追っかけ転送先電話番号の編集画面※1、※2	☞ 103	
552	追っかけ転送先電話番号の消去※1、※2	☞ 103	
56	留守番タイマ連動メニュー※1、※2	☞ 149	
56X	留守番タイマ連動のX曜日のタイマ選択メニュー※1、※2	☞ 149	X：0～6（日曜日～土曜日）
56XY	留守番タイマ連動のX曜日のタイマYの編集メニュー※1、※2	☞ 149	X：0～6（日曜日～土曜日） Y：1～4（タイマ1～4）
56X＊	留守番タイマ連動のX曜日の全タイマ消去※1、※2	☞ 150	X：0～6（日曜日～土曜日）
57	留守番リモコン用暗証番号の消去※1、※2	☞ 112	
57XXXX	留守番リモコン用暗証番号のセット※1、※2	☞ 112	XXXX：0000～9999
6	オートダイヤルメニュー	☞ 139	
7	音設定メニュー	－	
71	着信音量調節画面※2	☞ 26	外線着信音
72	着信音量調節画面※2	☞ 26	内線呼出音
73	着信音量調節画面※2	☞ 26	ドアホン呼出音
74	受話音量調整※2	☞ 28	
75	スピーカ受話音量調節画面※2	☞ 29	
76	話中音量調節画面※2	☞ 29	
77	メロディ設定メニュー※1、※2	☞ 78	
77X	メロディXの曲選択メニュー※1、※2	☞ 78	X：1（保留）、2（着信）
78	ボタン押下音のセット／解除※2	☞ 30	
79	メロディダウンロード	☞ 170	
8	コンテンツ表示メニュー※1、※2	－	
81	コンテンツ表示※1、※2	☞ 175	

メニュー特番	機能名称	参考ページ	備　考
82	スクロール方法の編集画面※1、※2	☞175	
83	コンテンツ手動更新※1、※2	☞175	
9	その他設定メニュー	−	
91	システムメニュー※1、※2	−	
911	システムバージョン確認※1、※2	☞204	
912	夜間設定メニュー※1、※2	☞158	
9121	手動夜間設定の登録メニュー※1、※2	☞158	
9121X	手動夜間設定のセット／解除	☞158	X：1（夜間A） 2（夜間B）
9122	夜間タイマ連動メニュー※1、※2	☞151	
9122X	夜間タイマ連動のX曜日のタイマ選択メニュー※1、※2	☞151	X：0～6（日曜日～土曜日）
9122XY	夜間タイマ連動のX 曜日のY タイマの編集メニュー※1、※2	☞151	X：0～6（日曜日～土曜日） Y：1～2（タイマ1～2）
9122X*	夜間タイマ連動のX曜日の全タイマ消去※1、※2	☞152	X：0～6（日曜日～土曜日）
913	迷惑電話メニュー※1、※2	−	
9131	迷惑電話の新規登録※1、※2	☞71	
9132	迷惑電話リストの一覧表示※1、※2	☞73	
9132*	迷惑電話リストの全件消去※1、※2	☞73	
914	グループ設定メニュー※1、※2	☞75	
914X	グループXの設定メニュー※1、※2	☞75	X：0～9（グループ0～9）
914X1	グループXのグループ着信音編集画面※1、※2	☞76	X：0～9（グループ0～9）
914X2	グループXのグループ着信ランプ編集画面※1、※2	☞77	X：0～9（グループ0～9）
914X3	グループXのグループ名編集メニュー※1、※2	☞75	X：0～9（グループ0～9）
914X31	グループXのグループ名編集画面※1、※2	☞75	X：0～9（グループ0～9）
914X32	グループXのグループ名消去※1、※2	☞75	X：0～9（グループ0～9）
914X4	グループXのFAX指定の設定/解除※1、※2	☞77	X：0～9（グループ0～9）
915	表示関係メニュー※1、※2	☞162	
9151	着信ランプメニュー※1、※2	☞162	
91511	外線着信時の着信ランプ表示色の選択画面※1、※2	☞162	
91512	内線呼出時の着信ランプ表示色の選択画面※1、※2	☞162	
91513	ドアホン呼出時の着信ランプ表示色の選択画面※1、※2	☞162	
91514	通話メモ/用件あり時の着信ランプ表示色の選択画面※1、※2	☞162	
91515	時刻アラーム動作時の着信ランプ表示色の選択画面※1、※2	☞162	
9152	発信履歴表示設定画面※1、※2	☞64	
9153	着信履歴表示設定画面※1、※2	☞66	
9154	着信表示設定画面※1、※2	☞52	
9155	待機表示設定画面※1、※2	☞37	
9156	時刻表示設定画面※1、※2	☞37	
916	カレンダー／時刻設定メニュー※1、※2	−	
9161	カレンダーの編集画面※1、※2	☞36	
9161 YYMMDD	カレンダーのセット※1、※2	−	YY ：00～99（20YY：西暦下2桁） MM：01～12（01～12月） DD ：01～31（01～31日）
9162	時計の編集画面※1、※2	☞36	
9162 HHMM	時計のセット※1、※2	−	HH ：00～23（00～23時） MM：00～59（00～59分）
9163	特定日設定メニュー※1、※2	☞145	
9163X	特定日Xの編集メニュー※1、※2	☞145	X：1～2（特定日1～2）
9163X1	特定日Xの日付入力※1、※2	☞145	X：1～2（特定日1～2）
9163X2	特定日Xの一覧表示※1、※2	☞146	X：1～2（特定日1～2）
9163X2*	特定日Xの全日付消去※1、※2	−	X：1～2（特定日1～2）
9163X3	特定日Xの曜日選択メニュー※1、※2	☞146	X：1～2（特定日1～2）
9164	タイマ連動メニュー※1、※2	☞153	
91641	外線転送タイマ連動メニュー※1、※2	−	メニュー特番43の代わりでも操作可
91642	留守番タイマ連動メニュー※1、※2	−	メニュー特番56の代わりでも操作可
91643	夜間タイマ連動メニュー※1、※2	−	メニュー特番9122の代わりでも操作可
91644	チャイムタイマ連動メニュー※1、※2	☞153	
91644X	チャイムタイマ連動の曜日選択メニュー※1、※2	☞153	X：0～6（日曜日～土曜日）

メニュー特番	機能名称	参考ページ	備　考
91644XYY	チャイムタイマ連動のタイマ選択メニュー※1、※2	☞153	X：0～6（日曜日～土曜日） YY：01～20（タイマ01～20）
91644X*	チャイムタイマ連動の全タイマ消去メニュー※1、※2	☞154	X：0～6（日曜日～土曜日）
917	ドアホン設定メニュー※1、※2	☞125	
917X	ドアホンXの編集メニュー※1、※2	☞125	X：ドアホン1～2
917X1	ドアホンXの名前編集画面※1、※2	☞125	X：ドアホン1～2
917X2	ドアホンXの名前消去※1、※2	☞125	X：ドアホン1～2
918	コンテンツ表示利用設定のセット／解除※1、※2	☞174	
919	不在関係メニュー※1、※2	☞129	
9191	不在理由設定メニュー※1、※2	☞129	
9192	全電話機の不在設定解除※1、※2	☞134	
910	全電話機の時刻アラーム解除※1、※2	☞161	
91*	非通知着信メッセージ外線設定※1、※2	☞108	
92	電話機メニュー	－	
921	外線着信鳴動拒否設定のセット／解除※1、※2	☞27	
922	不在設定の編集画面	☞130	
9220	不在設定の解除	☞130	
9221	不在モードのセット／解除	☞130	
9221X	不在モードの不在理由を選択	☞130	X：0～9（不在理由）
9222	不在転送メニュー	☞132	
9222X 9222YY	内線X（YY）への 不在転送のセット／解除	☞132	X：1～8（内線番号1桁） YY：10～89（内線番号2桁）
9223	話中/不応答転送メニュー	☞133	
9223X 9223YY	内線X（YY）への 話中･不応答転送のセット／解除	☞133	X：1～8（内線番号1桁） YY：10～89（内線番号2桁）
923	ハンズフリー応答設定のセット／解除※2	☞155	
924	コントラスト調整画面※2	☞35	
925	時刻アラームメニュー※1、※2	☞160	
925X	時刻アラームXの編集メニュー※1、※2	☞160	X：1～2（時刻アラーム1～2）
925X1	時刻アラームXの編集画面※1、※2	☞160	X：1～2（時刻アラーム1～2）
925X1 HHMM	時刻アラームXのセット／解除※1、※2	☞160	X：1～2（時刻アラーム1～2） HH：00～23（00～23時） MM：00～59（00～59分）
925X2	時刻アラームXの消去※1、※2	☞161	X：1～2（時刻アラーム1～2）
925X3	時刻アラームXのセット／解除※※1、※2	☞160	X：1～2（時刻アラーム1～2）
926	自己内線情報の確認	☞157	
927	LCDバックライト設定※2	☞38	
92#	子機サイレント設定のセット／解除※3	☞27	
93	通話料金集計メニュー※1、※2	☞163	
931	システムの通話料金集計の確認※1、※2	☞163	
9311	システムの通話料金集計の消去※1、※2	☞163	
932	外線の通話料金集計メニュー※1、※2	☞164	
932XX	外線XXの通話料金集計の確認※1、※2	☞164	XX：外線番号（2桁）
932XX1	外線XXの通話料金集計の消去※1、※2	☞164	XX：外線番号（2桁）
933	電話機の通話料金集計メニュー※1、※2	☞164	
933X 933YY	内線X（YY）の通話料金集計の確認※1、※2	☞164	X：1～8（内線番号1桁） YY：10～89（内線番号2桁）
933X1 933 YY1	内線X（YY）の通話料金集計の消去※1、※2	☞164	X：1～8（内線番号1桁） YY：10～89（内線番号2桁）
94	ネットワークメニュー※1、※2	－	
941	主装置情報の確認※1、※2	☞205	
942	VoIP+ルータユニット情報の確認※1、※2	☞205	

メニュー特番	機能名称	参考ページ	備　考
95	ユーザー設定メニュー※1、※2	☞ 3	
96	セーフティ関係メニュー	※ 4	
96X	セーフティグループXメニュー	※ 4	X：1（グループA）
96X1	セーフティモード解除用暗証番号	※ 4	X：1（グループA）
96X2	通報ガイダンス設定	※ 4	X：1（グループA）
96X3	通報先電話番号メニュー	※ 4	X：1（グループA）
96X3Y	通報先Yの電話番号の編集メニュー	※ 4	X：1（グループA）、Y：1～5（通報先）
96X3Y1	通報先Yの電話番号の編集画面	※ 4	X：1（グループA）、Y：1～5（通報先）
96X3Y2	通報先Yの電話番号の消去	※ 4	X：1（グループA）、Y：1～5（通報先）
96X4	セーフティリモコン用暗証番号	※ 4	X：1（グループA）
962	威嚇音設定	※ 4	
97	リモートコールバックメニュー※1、※2	☞ 166	
971	リモートコールバック−新規登録メニュー※1、※2	☞ 166	
972	リモートコールバックの電話番号一覧※1、※2	☞ 166	
972*	リモートコールバックの電話番号の全件消去※1、※2	☞ 166	
9#	キー登録メニュー※2、※3	☞ 31	

※1　CL620子機、WS600電話機では動作しません。
※2　DC230電話機では動作しません。
※3　多機能電話機では動作しません。
※4　取扱説明書～セーフティ機能編を参照してください。

特殊番号の一覧

多機能電話機、CL620親機の 〇オート に登録できます。（☞ 141ページ）
CL620子機、WS600電話機は、未使用 外線 に オート を登録します。（☞ 31、141ページ）
DC230電話機は、未使用 外線 に オート を登録します。（☞ 32、143ページ）
・受話器を置いた状態または未使用状態（「カレンダー・時計」表示時）で登録してください。

特殊番号	機能名称	参考ページ	備　考
10	外線手動転送	☞ 86	
12	お待たせ	☞ 107	
15	発信者番号	☞ 195	
17	表示切替※1	☞ 44	
20	留守※2	☞ 96	
21	再生※2	☞ 96	
22	消去※2	☞ 96	
23	スキップ※2	☞ 96	
24	用件再生※2	☞ 96	
25	レビュー※2	☞ 96	
26	通話メモ※2	☞ 96	
27	メモ再生※2	☞ 96	
28	迷惑電話登録※2	☞ 71	
29	留守子機切替※2	☞ 96	
30	ワン留守※2	☞ 96	
40	◀※1	−	
41	▶※1	−	
42	会議※2	☞ 137	
43	リダイヤル※3	☞ 48	
60	警戒A ※4	☞ ※4	

※1　DC230電話機のみ使用できます。
※2　多機能電話機、CL620親機のみ使用できます。
※3　多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機のみ使用できます。
※4　取扱説明書～セーフティ機能編を参照してください。

オートダイヤル登録補助機能

内線番号／内線特番

	内線番号 内線特番	レベル1	レベル2
多機能電話機	1～8 10～89	内線番号 内線番号	内線1～8 内線10～89
	961	内線代理応答	
	962	自己保留外線再応答	
	963 ※1	指定外線捕捉	
	966	コールピックアップ	
	970	一斉呼出（電話機）	
	971 ※1	内線グループ呼出	
	979	呼出応答	
	981	ドアホンモニタ1	
	982	ドアホンモニタ2	
	986	送話ミュート付き 外線通話割込	

	内線番号 内線特番	レベル1	レベル2
CL620子機・WS600電話機	1～8 10～89	内線番号 内線番号	内線1～8 内線10～89
	961	内線代理応答	
	962	自己保留外線再応答	
	963 ※1	指定外線捕捉	
	966	コールピックアップ	
	970	一斉呼出（電話機）	
	971 ※1	内線グループ呼出	
	979	呼出応答	
	981	ドアホンモニタ1	
	982	ドアホンモニタ2	
	986	送話ミュート付き 外線通話割込	

※1 963XX（XX＝01～30：外線01～30）、971X（X＝1～4：内線グループA～D）でもレベル1となります。

機能特番

	機能特番	レベル1
多機能電話機	01442	迷惑電話おことわり
	1	ハンズフリー応答の設定/解除
	2	送話ミュートの設定/解除
	3	内線システム保留の設定/解除
	84	外線話中設定の設定/解除
	886	外線着信鳴動拒否&不在モード
	99	機能ランプリセット
	9*	キッチンタイマ

	機能特番	レベル1
CL620子機・WS600電話機	01442	迷惑電話おことわり
	1	ハンズフリー応答の設定/解除
	2	送話ミュートの設定/解除
	3	内線システム保留の設定/解除
	84	外線話中設定の設定/解除
	99	機能ランプリセット
	9*	キッチンタイマ

メニュー特番

	メニュー特番	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
多機能電話機	11	履歴（発信／着信）	発信履歴	発信履歴		
	11*			発信履歴ー全件消去		
	12		システム着信履歴	システム着信履歴		
	12*			システム着信履歴ー全件消去		
	13		個別着信履歴	個別着信履歴		
	13*			個別着信履歴ー全件消去		
	21	電話帳	電話帳ー新規登録			
	22		電話帳ー一覧表示			
	23		電話帳ーカナ検索			
	24 ※2		電話帳ーグループ検索			
	25		電話帳ー個別カナ検索			
	3	内線一覧				
	71	音関係	外線着信音量			
	72		内線着信音量			
	73		ドアホン着信音量			
	74		受話音量			
	75		スピーカ受話音量			
	76		話中着信音量			
	77 ※2		メロディ設定			
	78		ボタン押下音設定			
	81	コンテンツ表示	コンテンツ表示ー一覧表示			
	82 ※2		コンテンツ表示ースクロール設定			
	83		コンテンツ表示ー手動更新			
	9121※1	その他	システム	手動夜間設定		
	9131			迷惑電話	迷惑電話ー新規登録	
	9132				迷惑電話ー一覧表示	
	9132*				迷惑電話ー全件消去	
	91511			表示設定	着信ランプ	着信ランプー外線着信
	91512					着信ランプー内線着信
	91513					着信ランプードアホン着信
	91514					着信ランプー通話メモ／用件
	91515					着信ランプー時刻アラーム
	9152				発信履歴表示	
	9153				着信履歴表示	
	9154				着信表示	
	9155				待機表示	
	9156				時刻表示	
	9180			コンテンツ表示利用設定	コンテンツ表示利用設定ー解除	
	9181				ですくdeにゅーすーセット/解除	
	9182				ですくdeにゅーすーセット/解除	
	921		電話機	外線着信鳴動拒否設定		
	9220			不在設定	不在設定ー解除	
	9221 ※3				不在モード	
	9222 ※3				不在転送	
	9223 ※3				話中／不応答転送	
	925 ※1			時刻アラーム設定	アラーム1（1回）ーセット／解除	
	92523				アラーム2（毎日）ーセット／解除	
	927			LCDバックライト設定		

	メニュー特番	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
CL620子機・WS600電話機	11	履歴（発信／着信）	発信履歴	発信履歴		
	11*			発信履歴−全件消去		
	12		システム着信履歴	システム着信履歴		
	12*			システム着信履歴−全件消去		
	13		個別着信履歴	個別着信履歴		
	13*			個別着信履歴−全件消去		
	21	電話帳	電話帳−新規登録			
	22		電話帳−一覧表示			
	23		電話帳−カナ検索			
	24※2		電話帳−グループ検索			
	25		電話帳−個別カナ検索			
	3	内線一覧				
	71	音関係	外線着信音量			
	72		内線着信音量			
	73		ドアホン着信音量			
	74		受話音量			
	75		スピーカ受話音量			
	76		話中着信音設定			
	78		ボタン押下音設定			
	9121※1	その他	システム	手動夜間設定		
	92#		電話機	子機サイレント設定		
	9220			不在設定	不在設定−解除	
	9221※3				不在モード	
	9222※3				不在転送	
	9223※3				話中／不応答転送	
	927			LCDバックライト設定		

※1　9121X（X=0：解除、X=1：夜間A、X=2：夜間B）でもレベル3となります。
※2　24X（X=0〜9：グループ0〜9）、77X（X=1：保留メロディ、X=2：着信メロディ）、
　　82X（X=0：表示しない、X=1：遅い、X=2：標準、X=3：速い）でもレベル2となります。
※3　9221X（X=0〜9：不在理由0〜9）、9222n（n=1〜8：内線1〜8、n=10〜89：内線10〜89）、
　　9223n（n=1〜8：内線1〜8、n=10〜89：内線10〜89）でもレベル4となります。

特殊番号

	特殊番号	レベル1	レベル2
多機能電話機	10	外線手動転送	
	12	お待たせ	
	15	発信者番号	
	20	留守	
	21	再生	
	22	消去	
	23	スキップ	
	24	用件再生	
	25	レビュー	
	26	通話メモ	
	27	メモ再生	
	28	迷惑電話登録	
	29	留守子機切替	
	30	ワン留守	
	42	会議	
	43	リダイヤル	
	60※1	警戒A	

	特殊番号	レベル1	レベル2
CL620子機・WS600電話機	10	外線手動転送	
	12	お待たせ	
	15	発信者番号	
	42	会議	
	43	リダイヤル	
	60※1	警戒A	

※1　取扱説明書〜セーフティ機能編を参照してください。

文字、番号入力のしかた

文字、番号入力のしかた

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

漢字入力

【例】電話帳の名前登録（多機能電話機）

1 [電話帳登録ー名前]の入力画面

《電話帳登録ー名前》
■

桁数：最大１６桁
漢

2 文字を入力する

《電話帳登録ー名前》
とうきょう

桁数：最大１６桁
漢

→ うと■を交互に表示する

- 入力文字は、ダイヤルボタンから入力します。
- 短 縮 で文字入力モードを変換します。
  かな(漢)→カナ(カナ)→英字(英)→数字(数)を繰り返します
- 入力できる文字は、☞２２４ページの文字入力一覧をご覧ください。

3 ◯ を押す

《電話帳登録ー名前》
東京

桁数：最大１６桁
漢

→ 点滅

- 「かな」モードで入力された文字を漢字に変換します。
- 表示例：「とうきょう」を変換して「東京」を表示
- ◯ で変換する文字数を変更できます。
- 表示された候補の次の候補を表示させたいときは、◯を押してください。
- 変換候補で、確定する漢字が表示されないときは、フラッシュ を押したあとにかな文字で変換文字を変更してください。

4 確定 を押す

《電話帳登録ー名前》
東京■

桁数：最大１６桁
漢

- 変換候補が決定されます。
- 行末で # を押すと、スペース（空き）が入力できます。

カナ入力

【例】電話帳のカナ登録（多機能電話機）

1 [電話帳登録ー名前]の入力画面

《電話帳登録ーカナ》
トウキョウサクサホンシャ

桁数：最大１６桁
カナ

- カナは、名前入力時に自動的に入力されます。

2 カナを編集する

《電話帳登録ーカナ》
トウキョウサクサホンシャ

桁数：最大１６桁
カナ

- 入力文字は、ダイヤルボタンから入力します。
- ◯でカーソルを移動し、カナを編集します。
- 短 縮 で文字入力モードを変換します。
  カナ(カナ)→英字(英)→数字(数)を繰り返します
- 入力できる文字は、☞２２４ページの文字入力一覧をご覧ください。
- 多機能電話機、CL620親機の場合は、「英字」モードで 0 を押したときの「～」は「‾」になります。「カナ」モードで行末で
  # を押すとスペース(空き)ができます。
- CL620子機、WS600電話機の場合は、「英字」モードで 0 を押したときの「$」、「%」、「+」、「¥」はスペース(空き)になります。「カナ」モードで行末で # を押すとスペース(空き)ができます。

【例】電話帳の電話番号登録（多機能電話機）

1 [電話帳登録ー電話番号]の入力画面

《電話帳登録ー電話番号》
▌
桁数：最大２４桁
短縮 特殊コード

2 電話番号を編集する

《電話帳登録ー電話番号》
0312345678▌
桁数：最大２４桁
短縮 特殊コード

《電話帳登録ー電話番号》
[0001][0002][0003][0004]
桁数：最大２４桁
短縮 特殊コード

- 電話番号は、ダイヤルボタンから入力します。
- 複数の短縮番号を組み合わせて登録するネスティングダイヤルの場合、[　]内に短縮番号(０００００～３９９９)を入れてください。
- 入力した文字を間違えた場合は、フラッシュ を押して消去します。
- 表示例：(上)電話番号、(下)ネスティング

MEMO

- 電話番号入力時、短縮 を押すと特殊コードが入力できます。
- 短縮 を１回押すと「P」(ポーズ)を入力することができます。(待ち時間：お買い上げ時は約3秒)
  電話番号の途中にポーズを入れないでください。相手につながらないことがあります。(デジタル回線)
  (登録されたポーズの後の番号は、相手応答がなくても続けて番号を送出します。)
- 短縮 を2回押すと「E」(切断コード)を入力することができます。
- 短縮 を3回押すと「−」(ハイフン)を入力することができます。
- 短縮 を4回押すと「[ ]」(ネスティング)を入力することができます。
  短縮Aに短縮A(ネスティングさせたい短縮番号)を登録することはできません。
  共通短縮番号に個別短縮番号を登録することはできません。
- 短縮 を5回押すと「P」(ポーズ)に戻ります。入力モードが「数字」の場合には、＊ と ＃ は入力できません。「英文字」モードで入力します。

文字入力一覧

多機能電話機、CL620親機、CL620子機、WS600電話機

・ダイヤルボタンの形状は多機能電話機を例としています。
・「カナ検索」、「個別カナ検索」で英字モードの［ア 1］を押した場合、スペース（空き）は入力できません。

ダイヤルボタン	かな（漢）	カナ（カナ）	英字（英）	数字（数）
［ア 1］	あいうえお　ぁぃぅぇぉ	アイウエオ　ァィゥェォ	スペース（空き）	1
［カ 2］	かきくけこ	カキクケコ	ＡＢＣ ａｂｃ	2
［サ 3］	さしすせそ	サシスセソ	ＤＥＦ ｄｅｆ	3
［タ 4］	たちつてと　っ	タチツテト　ッ	ＧＨＩ ｇｈｉ	4
［ナ 5］	なにぬねの	ナニヌネノ	ＪＫＬ ｊｋｌ	5
［ハ 6］	はひふへほ	ハヒフヘホ	ＭＮＯ ｍｎｏ	6
［マ 7］	まみむめも	マミムメモ	ＰＱＲＳ ｐｑｒｓ	7
［ヤ 8］	やゆよ　ゃゅょ	ヤユヨ　ャュョ	ＴＵＶ ｔｕｖ	8
［ラ 9］	らりるれろ	ラリルレロ	ＷＸＹＺ ｗｘｙｚ	9
［ワ 0］	わをん゛゜ー・！？、。	ワヲン゛゜ー・！？、。	@．～／：＿！？’－＆（）”＄％＋，；＜＝＞［¥］＾｀｛｜｝「」＊＃	0
（フラッシュ）	一文字消去			
◎	カーソル右左移動（同じ文字を続けて入力するときなどに押します）			

・CL620子機、WS600電話機の半角での「＄％＋￥」はスペース（空き）となります。
・CL620子機、WS600電話機の半角「abc～xyz」は「ABC～XYZ」となります。

文字入力一覧

DC230電話機

・「カナ検索」、「個別カナ検索」で英字モードの（1 ア）を押した場合、スペース（空き）は入力できません。

ダイヤルボタン	カナ（カナ）	英字（英）	数字（数）
（1 ア）	アイウエオ　ァィゥェォ	スペース（空き）	1
（2 カ）	カキクケコ	ＡＢＣ ａｂｃ	2
（3 サ）	サシスセソ	ＤＥＦ ｄｅｆ	3
（4 タ）	タチツテト　ッ	ＧＨＩ ｇｈｉ	4
（5 ナ）	ナニヌネノ	ＪＫＬ ｊｋｌ	5
（6 ハ）	ハヒフヘホ	ＭＮＯ ｍｎｏ	6
（7 マ）	マミムメモ	ＰＱＲＳ ｐｑｒｓ	7
（8 ヤ）	ヤユヨ　ャュョ	ＴＵＶ ｔｕｖ	8
（9 ラ）	ラリルレロ	ＷＸＹＺ ｗｘｙｚ	9
（0 ワ）	ワヲン゛゜ー・！？、。	@．～／：＿！？’－＆（）”＄％＋，；＜＝＞［¥］＾｀｛｜｝「」＊＃	0
（＊）	一文字消去		
（＃）	カーソル右移動（同じ文字を続けて入力するときなどに押します）		

DC230電話機のローカル機能

設定モード、メモリダイヤル登録で文字を入力するときの、各入力モードにおけるボタンと文字の対応を示します。

ダイヤルボタン	カタカナモード	英字モード	数字モード	記事
（1 ア）	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ	.,-:;'"!#$%&()＊+/<=>?@	1	
（2 カ）	ｶｷｸｹｺ	ABCabc	2	
（3 サ）	ｻｼｽｾｿ	DEFdef	3	
（4 タ）	ﾀﾁﾂﾃﾄ	GHIghi	4	
（5 ナ）	ﾅﾆﾇﾈﾉ	JKLjkl	5	
（6 ハ）	ﾊﾋﾌﾍﾎ	MNOmno	6	
（7 マ）	ﾏﾐﾑﾒﾓ	PQRSpqrs	7	
（8 ヤ）	ﾔﾕﾖｬｭｮ	TUVtuv	8	
（9 ラ）	ﾗﾘﾙﾚﾛ	WXYZwxyz	9	
（0 ワ）	ﾜﾗﾝﾞﾟ(ｽﾍﾟｰｽ) -。「」、･[¥]^_	(ｽﾍﾟｰｽ)}｛	0	
（＊）	カーソルを左に移動			
（＃）	カーソルを右に移動			
（フック 機能/クリア）	一文字クリア（長く押すと一項目すべてクリア）			クリア
（コール 文字/P）	文字の入力モード切替（カタカナ→英字→数字を繰り返す）			ｶﾅ／英／数

・システムの電話帳を登録するときの文字入力は、メモリダイヤル登録の場合と異なりますので、ご注意ください。

【索引】(INDEX)

【A】
APF610電話機 …… 10
【C】
CL620電話機 …… 12
CL620親機からCL620 子機へ切り換える …… 39
CL620子機からCL620 親機へ切り換える …… 39
【D】
DC230電話機 …… 16
【F】
Fキーモードの設定 …… 184
【I】
ISDNのサービス一覧 …… 194
INSボイスワープ …… 198
IPF610電話機 …… 10
IP電話回線 …… 172
IP電話自動交換 …… 173
IP電話対応ACR機能 …… 172
【L】
LD600電話機 …… 14
【S】
SS610電話機 …… 11
SS620電話機 …… 11
【T】
TD610電話機 …… 10
TD620電話機 …… 11
TEL ／FAX自動切替 …… 176
【V】
VoIP …… 205
VoIPユニットの自動ファームアップ …… 25
【W】
Web設定 …… 206
WS600電話機 …… 12
W機能登録 …… 169

【ア行】
アラームの設定 …… 183
安全にお使いいただくために …… 5
一次応答付き外線自動転送 …… 85
一斉呼出／電話機グループ呼出 …… 127、189
オートダイヤル …… 139
オートダイヤル登録補助機能 …… 219
オートリピートダイヤル …… 49
追っかけ転送先電話番号の
登録／確認／変更／消去 …… 103
オフフックダイヤル …… 41
オフフック内線自動発信 …… 135、190
オフフック発信 …… 42
お問い合わせ窓口のご案内 …… 231
お待たせメッセージ応答 …… 107
おわかりにならないことは …… 211
音声／信号音切替 …… 188
オンフックダイヤル …… 41

【カ行】
会議通話 …… 137
外線通話中メニュー …… 121
外線会議通話 …… 188
外線会議転送 …… 86
外線自動転送セット …… 83
外線手動転送 …… 86
外線着信 …… 186、193
外線着信鳴動拒否 …… 27
外線通話割込 …… 118
外線転送コールバック …… 87
外線転送タイマ連動 …… 85、147
外線転送について …… 79
外線転送リモコン用暗証番号 …… 88
外線発信 …… 40、185、193
外線ハンズフリー …… 156
外線保留 …… 54、186
各種機能ボタン割付 …… 31
各種メッセージの録音／確認／変更／消去 …… 98
カレンダー・時計の設定 …… 36
キー押下音 …… 30
キーロック …… 168
擬似コールウェイティング …… 120
キッチンタイマ …… 165
機能項目一覧 …… 181
機能特番の一覧 …… 213
機能モードの使いかた …… 180
機能ランプリセット …… 209
強制転送 …… 56、187
クイック通話 …… 115

つづく➡

グループFAX 指定 …… 77
グループ識別着信 …… 76
グループ識別着信転送 …… 85
グループ識別着信留守番 …… 107
グループ名登録 …… 74
グローバルIPアドレス通知 …… 206
携帯電話対応ACR機能 …… 119
圏外警告音の設定 …… 183
コールウェイティング …… 135、190
コールピックアップ …… 117
口頭転送 …… 57
故障かな？とお考えになる前に …… 210
ご使用前の注意事項 …… 19
コンテンツ表示の利用方法について …… 174
コンテンツ一覧表示 …… 175
コンテンツ更新 …… 175
コンテンツ個別表示設定 …… 175
コンテンツ表示 …… 174
コントラスト調整 …… 35

【サ行】

サクサエコ商品認定基準 …… 228
サブアドレス通知 …… 195
サブアドレスリモコン …… 89
自営発信モードの設定 …… 181
識別着信 …… 59
時刻アラーム …… 160
時刻アラーム一括解除 …… 161
システムバージョン確認 …… 204
指定外線捕捉 …… 117、185
自動選局発信 …… 41
自動着信リモコン …… 90
自動転送 …… 55、186
修理を依頼されるときには …… 211
主装置のプログラム自動更新 …… 25
受話音量調節 …… 28
スピーカ受話 …… 157
スピーカ受話音量調節 …… 29
スライド着信 …… 126
全設定初期化 …… 184
送話ミュート …… 116
送話ミュート付き外線通話割込 …… 118

【タ行】

タイマ連動について …… 144
ダイレクトリモコン …… 88
誰カラー着信 …… 77
短縮ダイヤルから電話をかける …… 186
短縮番号検索発信 …… 42
チェーンダイヤル …… 119
チャイムタイマ連動 …… 153
着信音種の設定 …… 182
着信音量調節 …… 26
着信自動応答 …… 52
着信メロディWeb登録 …… 207
着信メロディ登録 …… 170
着信ランプ切替 …… 162
着信履歴 …… 66
着信履歴消去 …… 70
着信履歴登録 …… 61
着信履歴発信 …… 50
通話メモ …… 109
通話料金集計 …… 163
通話料金集計消去 …… 163
停電について …… 208
転送先電話番号登録 …… 82
電話帳一覧 …… 46
電話帳Web編集 …… 206
電話帳カナ検索発信 …… 43
電話帳グループ検索発信 …… 45
電話帳登録 …… 58
ドアホン通話 …… 171、192
ドアホンモニタ …… 171、192
特殊番号の一覧 …… 218
特定日設定 …… 145

【ナ行】

内線一覧 …… 122
内線オフフック発信 …… 51
内線オンフック発信 …… 51
内線会議通話 …… 138、192
内線システム保留 …… 129
内線代理応答 …… 126、190
内線／ドアホン名前登録 …… 124
内線独占保留 …… 128
内線発信 …… 51、188、193
内線番号／内線特番の一覧 …… 212
内線番号の確認 …… 157
内線プリセットダイヤル …… 51
内線捕捉中メニュー …… 136
内線保留 …… 191
内線保留転送 …… 191
内線優先モードと共通操作 …… 193
内線ワンタッチ発信 …… 122
ナンバー・ディスプレイ …… 197
任意外線応答 …… 53
ネーム・ディスプレイ …… 197
ネスティングダイヤル …… 116
ネットワーク情報確認 …… 205

つづく➡

【ハ行】

パーソナルハンズフリー …… 155
バイブレータ（振動着信）の設定 …… 183
パスワードの設定 …… 182
パスワードロックの設定／解除 …… 182
バックライトの設定 …… 38
発ID識別着信 …… 60
発信者番号通知（ISDN） …… 195
発信履歴 …… 64
発信履歴消去 …… 69
発信履歴登録 …… 61
発信履歴発信 …… 47
非通知着信メッセージ応答 …… 108
不在設定 …… 130
不在設定一括解除 …… 134
不在転送 …… 132
不在理由表示機能 …… 129
プッシュ信号送出 …… 165
フラッシュ機能 …… 120
プリセットダイヤル …… 41
ヘッドセット接続 …… 178
保証とアフターサービス …… 211

【マ行】

迷惑電話おことわり（NTT 付加サービス） …… 196
迷惑電話登録 …… 71
メニューの説明 …… 33
メモリダイヤル …… 179
メニュー特番のショートカット一覧 …… 214
メロディ切替 …… 78
文字入力一覧 …… 224

【ヤ行】

夜間タイマ連動 …… 151
夜間モード切替 …… 158
ユーザー登録 …… 3
用件一括消去 …… 111

【ラ行】

リセットコール …… 125、189
リダイヤル …… 48、185
リモコン操作一覧（外線転送機能） …… 91
リモコン操作一覧（留守番機能） …… 114
リモコン操作をする（留守番機能） …… 113
リモートコールバック …… 166
略図の説明 …… 2
料金情報通知（ISDN） …… 194
リレー着信モードの設定 …… 183
留守子機切替 …… 106
留守番サイレント設定 …… 101
留守番指定電話機 …… 96
留守番自動応答時間指定 …… 100
留守番セット中に電話がかかってきたら …… 101
留守番セットのしかた …… 100
留守番タイマ連動 …… 105、149
留守番の概要 …… 92
留守番リモコン用暗証番号 …… 112
留守録 …… 98
録音された用件の再生／消去 …… 104

【ワ行】

話中設定 …… 121
話中着信音量調節 …… 29
話中／不応答転送 …… 133
話中呼出 …… 134、191
ワンショット留守番 …… 106
ワンタッチ発信 …… 115
ワンタッチダイヤルの設定 …… 184

当社では、今後も環境に配慮した製品の開発を推進し、サクサブランドのエコ商品をグループ一体となって生み出すことにより、地球環境保全に貢献していきたいと考えています。

サクサエコマークは、下記の条件を満たした商品に適用します。

サクサエコ商品認定基準

＜環境に配慮した材料の採用＞

・当社の定めた含有禁止物質を製品には使用しません。
・当社の定めた含有抑制物質については、その使用量を把握管理し抑制に努めます。
・酸性雨で地中に溶けだし人体に影響がある鉛については、使用量を把握管理し抑制に努めます。
・焼却時にダイオキシンが発生する恐れのある、ポリ塩化ビニル（ＰＶＣ）や特定臭素難燃剤(PBDE及びPBB)の使用を抑制します。
・廃棄時の環境影響に配慮した当社の基準で推奨するプラスチック材料や金属材料を使用します。
・取扱説明書には、エコ認定商品の再生紙を使用し、使用する印刷インキは大豆油インキ等の非石油系インキを使用します。

＜リサイクルしやすい設計＞

・リサイクルを容易にするために、プラスチック部品には材料名を表示します。
・リサイクルを考慮しプラスチック材料はできる限り統一してます。
・プラスチック材料への二次加工を抑制した設計を行います。

＜環境に配慮した梱包材＞

・緩衝材に発泡スチロールはできる限り使用しないようにしてます。

＜省エネルギー＞

・省エネルギーを考慮した設計を行います。

＜事前評価＞

・設計・製造にあたっては、当社の定めた製品アセスメントを実施し、製品が環境に与える影響を評価しています。

MEMO

お問い合わせ窓口のご案内

このたびは、当社の商品をお求めいただき、誠にありがとうございます。
商品についてのお問い合わせ、ご相談、アフターサービス（修理）などにつきましては、お求めになられました販売店または下記の当社窓口にご相談ください。

サクサビジネスシステム株式会社

●ホームページアドレス
http://www.saxa.biz

●営業窓口

東京支社	☎03-3495-5040
北関東支社	☎048-650-9311
関西支社	☎06-6361-3331
中部支社	☎052-582-7201
九州支社	☎092-712-2941
札幌営業所	☎011-281-1035
仙台営業所	☎022-291-2141
金沢営業所	☎076-291-3492
静岡営業所	☎054-265-1300
広島営業所	☎082-227-0111
高松営業所	☎087-861-7450

●工事保守窓口

札幌サービスセンタ	☎011-281-1046
仙台サービスセンタ	☎022-291-2320
山形サービスセンタ	☎0238-21-8190
宇都宮サービスセンタ	☎028-635-0400
大宮サービスセンタ	☎048-650-9322
相模原サービスセンタ	☎042-772-4745
首都圏サービスセンタ	☎03-3495-6013
千葉サービスセンタ	☎043-276-4181
長野サービスセンタ	☎026-226-4930
新潟サービスセンタ	☎025-260-2214
金沢サービスセンタ	☎076-291-3492
静岡サービスセンタ	☎054-265-1300
名古屋サービスセンタ	☎052-561-0097
大阪サービスセンタ	☎06-6360-6191
高松サービスセンタ	☎087-861-7450
広島サービスセンタ	☎082-228-5210
福岡サービスセンタ	☎092-713-8243

サクサ株式会社（田村大興サクサグループ）

●お客様相談室 ☎03-3493-5432

上記住所・電話番号などは都合により、変更になる場合がございます。その際は、販売店にご相談ください。
または、当社ホームページ（http://www.saxa.co.jp）より最新情報を入手してください。

本商品はサクサエコマークの製品です。

Li-ion
リチウムイオン電池の
リサイクルに
ご協力ください

Ni-Cd
ニカド電池の
リサイクルに
ご協力ください

PRINTED WITH SOY INK
環境を考えて
大豆インクを
使用しています

サクサ株式会社

●お問い合わせ、ご用命は

ご購入年月日	年　月　日
ご購入店名	

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準にもとづくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

773BT | 063-1 | K

この資料の内容は、平成18年3月現在のものです。

この資料は、再生紙を使用しています。

4280060100